

史料目録 第80集

信濃国高井郡東江部村山田庄左衛門家文書目録
(その2)

平成17年 3月

人間文化研究機構国文学研究資料館
アーカイブズ研究系編

史料目録 第80集

信濃国高井郡東江部村山田庄左衛門家文書目録

(その2)



写真1 穀蔵（右側入口）と二間蔵（左側入口）



写真2 穀蔵2階内部。当館所蔵分はかつてここに収納されていた。



写真3 大段ボール箱の内部



写真4 大こおりの外見



写真5 466の束。「雑」の荷札が付くが、多数の仕切状等を含む。



写真6 二間蔵2階内部。今も多くの書籍を収納している。

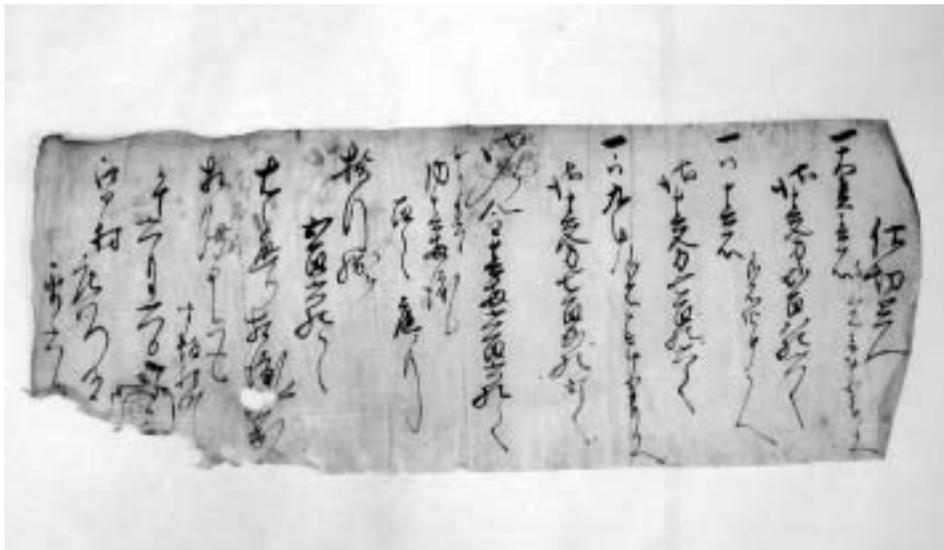


写真7 須坂新町五郎兵衛の大豆仕切覚（466-168）

凡 例

- 1 本目録は、『史料目録』第80集として「しなのくにたかいくんひがしえむらやまだしょうざえもんけもんじょ信濃国高井郡東江部村山田庄左衛門家文書（その2）」を収めた（以下では、目録（その2）と略す。他も同様）。目録（その1）は第75集として既刊、目録（その3）は第81集として来年度刊行予定である。文書群名については、同村の山田理右衛門家文書（マイクロフィルム紙焼本）を当館で所蔵しているのので、これと区別するために通名をあわせて表記した。
- 2 目録の編成にあたっては文書群の階層構造に留意し、ISAD(G)(国際標準：記録史料記述の一般原則)の考え方も参考にしつつ、大・中・小項目で編成する方式をとった。大項目はすべてサブフォンドに相当し、中項目以下はシリーズまたはサブ・サブフォンドなどである。
- 3 袋・こより紐などによる一括史料は一括掲載し枝番号付与で物理的階層を示すことを原則としたが、その必要がないと判断し一括を崩して配列した場合もある。袋や包紙の表書を一括表題として採用した場合は「 」で表記した。小項目内は原則として現状順に配列した。重出については表題の先頭に*を付した。
- 4 史料の集合的記述は、フォンドとサブフォンドのレヴェルで解題を記した。なお、目録（その1）と重複する説明も多いため、その内の一部の記述や図表については省略した。
- 5 史料1点ごとの記述は、表題・作成等（表題、作成 宛所、備考）、年代（作成年月日）、形態・数量、整理番号、の順に記載した。

表題は、冊子型史料も書付型史料も原表題もしくは柱書を取り、それが無い場合には（ ）で仮表題を付与した。原表題や柱書だけで不十分な場合は、その後に（ ）で内容を摘記した。

形態は、冊子型史料の場合、半（半紙縦折判）、美（美濃紙縦折判）、横長半（半紙横折判）、横長美（美濃紙横折判）、横半半（半紙半裁横折判）、横美半（美濃紙半裁横折半）などの略称によって原書の大概を示した。書付型史料の場合、縦紙、折紙、縦切紙、横切紙、縦継紙、横切継紙、小切紙、などと表記した。また絵図など大きいものは寸法をタテ×ヨコのようにミリ単位で表記した。

なお、端裏書、印刻、包紙・封筒上書等については、特に必要と思われる場合に、必要な部分に限って記した（表題・作成等との間で情報が重複する煩雑さを避けるため）。
- 6 本目録では史料が保管されてきた秩序に応じて史料番号を付与したため、目録上で史料が番号順に並んでいない。そのため番号による検索には不便をきたすので、史料の引用に際しては番号のほか掲載頁もできるならば併記することをお願いしたい。
- 7 本目録はアーカイブズ研究系山崎圭が担当し、2003・2004年度に松本剣志郎（東洋大学大学院生）がデータ作成の補助にあたった。

[付記]

本目録の作成に当たっては山田顕五氏はじめ山田家の皆様、中野市教育委員会、長野県立歴史館、その他御名前をすべて列挙することはできないが、多くの方々・諸機関のご協力をいただいた。特

に山田正子氏（山田家長女、元長野県史編纂室）には山田家の歴史・史料にかかわって多くの御教示をいただいた。ここに記して謝意を表する。

総 目 次

口 絵

凡 例

総目次

本文細目次〔文書群の構造〕 1

山田庄左衛門家文書全体解題 5

 文書群記号

 文書群名

 年 代

 数 量

 入手の経緯

 山田家の歴史

 文書群の構造と内容

 文書群の形態と整理の方針

 関連史料

 参考文献

目録本文（個別解題）

 家 9

 地主 73

 諸経営 107

 堤防組合総代 167

 村役人 187

 近代の役職 193

 書状入袋 203

 郷村仮会所・富田屋 215

付録・マイクロ収集史料目録（1）・（2）

掲載図表一覧

図	表
図1：江部および中野・長野周辺地図 6	表1：山田顕善履歴 6
図2：山田庄左衛門家系図 10・11	表2：帳崩れ中の解体された帳簿 12
	表3：山田庄左衛門家の所持高 74
	表4：東江部村村役人表 188・189
	表5：第19大区の構成 193

本文細目次〔文書群の構造〕

家	9
経営	14
家計	
込入勘定	
奉公人・雇傭	
台所	
納税	
印紙類売捌	
家政	63
相続	
婚礼・養子縁組	
法事・寺社	
家普請	
交際	
日記・文化	
情報	
地主	73
所持地改	77
土地移動	77
綿内村質流地受取関係	
川直地替	
廃道払下	
その他	
小作証文	82
地主小作関係帳簿	87
小作料収納	88
相論・訴願	91
新保村小作相論	
吉田村小作相論	
その他	
小作人合力	99
年貢諸役負担	100
諸経営	107
金融	110
借用願・返済延期願	
借金証文	
返済訴訟	
無尽	
大名貸	
本多氏借財整理	
貸金帳簿	
その他	
酒造	136
酒株	
酒造改	
酒販売	
湯田中店	
その他	
水車	138
貸家	138
穀物等売買	138
綿作・販売	147
北信商社	148

二分金・金札等引換	差加金	商社金貸付	
商社事件	諸入用	その他	
証券投資・銀行業			162
横浜生糸合名会社	第六十三国立銀行	信濃銀行	
信濃貯金銀行	信濃電気株式会社		
江部製糸場			165
鉦山			165
堤防組合総代			167
慶応以前			169
慶応期堤防工事			169
組合村々水難高取調	村々評議	江戸訴訟	
人足・諸入用	絵図		
千曲川瀬直し			180
出願・相論	会計所御用	人足・諸入用	
村役人			187
領主関係			191
夫食拝借			191
相論			191
普請			191
その他			192
近代の役職			193
幕末維新期の陣屋・県御用			195
第19大区副区長			195
地租改正	区会	大区会所経費	県道工事
その他			
下高井郡全部組合会			202
貴族院議員			202
書状入袋			203
郷村仮会所・富田屋			215

信濃国高井郡東江部村山田庄左衛門家文書 全体解題

文書群記号	32H
文書群名	信濃国高井郡東江部村山田庄左衛門家文書（その2）
年代	内容年代 万治3（1660）年～昭和11（1936）年 成立年代 元禄11（1698）年～昭和17（1936）年
数量	今回目録掲載分4016点（枝番号をも1点と数える目録上でのレコード数）

今回整理したのは大段ボール箱入り（口絵写真3）の全てと、大こおり入り（同写真4）の大半である。この他に当館所蔵分の未整理のものとして、小ダンボール箱2、りんご箱1、大こおり入文書の一部がある。

入手の経緯

この文書は、1957（昭和32）年に文部省史料館が、原蔵者である山田顕五氏（長野県中野市江部在住）より直接譲り受けたものである。第2次大戦前、山田家の古文書は敷地内の「三階蔵」と呼ばれる蔵に一括保管されていたが、戦争中にこの蔵を売却したため、その際に文書を質蔵、文庫蔵、二間蔵、穀蔵に移して、別々に保管していた。その後、1957年に穀蔵収納分の文書について文部省史料館が譲渡を受けた。質蔵、文庫蔵、二間蔵には今日でも総計で1万点をこえる多量の文書が残されている（アーカイブズ研究系ではこの分についても調査を進めて、中野市教育委員会と協力しながら目録刊行を目指している）。

以上のように山田庄左衛門家文書は現在、東京と中野の2か所に分かれて保管されているが、本目録では、同文書のうち当館所蔵分を「当館分」、山田顕五氏所蔵分を「現地分」と呼んで区別することにしたい。

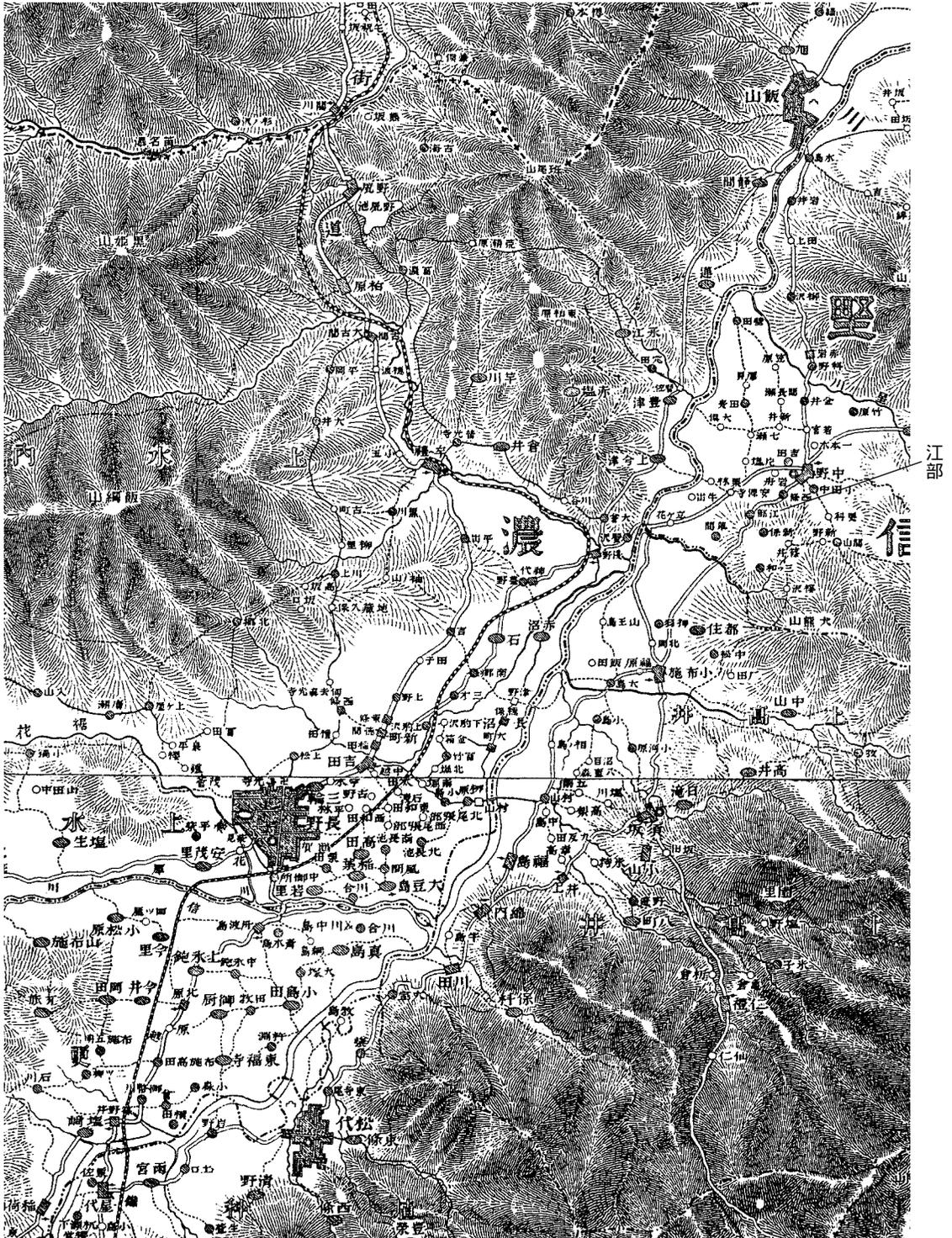
山田家の歴史

（1）東江部村の概要

山田家の歴史について述べる前に、まず同家が存在した東江部村について説明しておきたい。信濃国高井郡東江部村は中野扇状地の末端から千曲川沖積地にかけて開け、延徳田圃（えんとくたんぼ、近世では圓徳の字が当てられることも多い）の北縁に位置する。延徳田圃は延徳年間（1489 - 92）に開発されたといわれる低地帯で、千曲川の氾濫原である。中世には東江部・西江部あわせて江部郷と称されたが、慶長検地以前に村切りが行われて分離した。山田家はこの地を開発するために近世初頭に土着したとみられる。

東江部村の領知関係は、はじめ松代藩領（森忠政、松平忠輝）慶長8（1603）年から飯山藩領、元和2（1616）年から幕府領、同5年から福島正則領、寛永元（1624）年から幕府領、天和2（1681）年から坂木藩領、元禄15（1702）年から幕府領、正徳元（1711）年から飯山藩領、享保2（1717）年から幕末まで幕府領であった。周辺地域全体は、初期の変動を経たのち18世紀以降は主として幕府領・松代藩領・飯山藩領などの村々によって構成された。この時期東江部村が属した幕府領は概ね中

図1 江戸および中野・長野周辺地図



出典：明治20（1887）年参謀本部陸軍部測量局輯成「高田」「長野」
 （『幕末・明治日本国勢地図初版輯成20万分の1図集』柏書房、1983年）

野役所（代官所）の支配を受けた（中野役所の代官変遷については『中野市誌歴史編（前編）』531頁の表を参照）。明治以降は、明治元（1868）年2月から信濃旧幕領を接收した尾張藩取締所、同年8月から伊那県中野局、明治3（1870）年9月から中野県、明治4（1871）年6月から長野県の支配に属している。その後の東江部村は明治7年に西江部村と一時合併した後再び分村し（江部村）、明治22（1889）年に平野村、昭和29（1954）年に中野市に編入されて今日に至っている。

村高は「慶長打立帳」で387石余、「正保書上」で499石余、「元禄郷帳」で603石、「天保郷帳」で610石余となっており17世紀に著しい伸長が見られる。安永7（1778）年の村明細帳を例に村内の様子を見てみると、村高603石・反別57町に対して田方418石・反別39町となっており田高が全体の69%を占めており田勝ちと言えるが、田高のうち合計32石5斗が永引高、合計222石5斗が畑扱いとなっている（あわせて田高の61%に相当）。このことは耕地の不安定性を物語っていると言えよう。

産業としては近世後期以降、菜種・木綿の栽培が盛んになっており、「女八太木綿稼」と村明細帳にも記されている。一方、明治期以降大きく展開した養蚕・製糸業がこの地に普及・定着するのは幕末開港以後のことのようである。

（2）山田家の活動

活動の詳細については活動内容ごとに後述することとし、ここでは簡単な概要を記しておきたい。

かつてこの地を支配していた上杉景勝は慶長3（1598）年に中間・小者にまでいたる全家臣団をともなって会津へ移封するが、山田家はその後元和年間に東江部村に土着したと言われている。家の由緒として武田遺臣の伝承を持っている。近世初期の状況を語る史料は多くないが、持高は延宝検地で24石、17世紀中は庄屋も別の家が勤めるなど、当初は村内の有力者の一人であっても最有力者ではなかった。

しかし享保期には村内持高で164石、全所持地で8か村423石にまで成長し、酒造業や年貢米換金・金貸などでも利益を上げていき、村外での集積も拡大している。その後、明治4（1871）年に875石、さらに大正13（1924）年には145町歩と長野県最大の地主に発展していく。この間、東江部村名主は分家の理右衛門・文六など一族が独占するところとなり、庄左衛門家は名主をほとんど勤めず、幕末に郡中取締役・掛屋（中野役所の公金取扱）などを勤めた。また弘化4（1847）年の善光寺地震以降洪水被害がいつそう深刻化し、地域をあげてこの問題に取り組むようになると、堤防組合惣代を勤め対岸村々との交渉や江戸への出願などに奔走し、明治4（1871）年には千曲川瀬直し工事が完成するに至っている。一方、明治3（1870）年12月に発生した中野騒動では、旧郡中取締役・北信商社社員として屋敷を焼き討ちされている。

明治期には、戸籍区制下で第22区戸長、第43区区长兼第44区区长を勤め、大区小区制下では第19大区副区長として地租改正などの事業を進めた。その後も下高井郡郡書記、下高井郡選出県会議員はじめ多くの公職を歴任するが、明治23（1890）年には貴族院議員（多額納税議員）に選出され、明治31（1898）年3月には分家の理兵衛が自由党から衆議院議員に当選し、同年9月には庄左衛門が憲政党から同じく衆議院議員に当選している。経営面では、明治10（1877）年代以降これまでのような資金貸付と土地取得のための投資を抑えて、より収益のあがる証券投資を積極的に行い、自らも明治23

表1 山田顕善履歴（第11代当主莊左衛門）

年	西暦	月日	履 歴
文政4	1821	8.1	出生、幼名四郎三郎
弘化元	1844	2	水内郡牟礼村高野式左衛門へ養子、謙介と改名（24才） 同所において水内郡新町大内勘左衛門長女さいと結婚
弘化4	1847	3	同家にて震災、家蔵皆潰
嘉永元	1848		同家離縁、山田へ復籍
嘉永2	1849		妻子改めて大内より山田へ引取
		12	出府、 仏光寺御門跡貸附所 出稼中、山田図書と称す
安政元	1854		浅草黒船町河岸において震災にあい家蔵焼失、三好町へ家作新築
安政6	1859	8	妻子一同帰国、兄縫之介入替出府につき同人宅に仮住居
万延元	1860		本家より分地、江部村分高10石8斗余頂戴、山田理兵衛と改名
文久2	1862	6	兄縫之介江戸にて死去
		8	分家建築落成につき新宅へと居す（本家より300両、その他は自費）
文久4	1864	正	父死去
		4	本家より村方 名主役 引受
		5	18か村助郷惣代 として出府、間山村小林与左衛門と同道、8月帰村
元治2	1865	3	中山篤室江戸にて大病につき出府の処、母病気急変につき帰宅
		4.10	母死去
			中山篤室死後取片付のため出府、坂本幸右衛門と同道、8月帰国
		10	江戸貸付金取片付のため出府、小川五郎太夫と同道、12月帰国
慶応2	1866	2	堤防一件29か村惣代 として出府、丸山要左衛門と同道、4月帰国
明治2	1869	2	本家兄死去
		11	名主退役、文六へ引き渡す
		12	伊那県御用郡中身元ノ者惣代 として伊那郡飯島本県へ出頭、篠田市左衛門と同道、贖二分金引換方法につき商社設立の儀申し付けられる
明治3	1870	8	右商社事件につき嫌疑をかけられ、民部省より関係者が召し出され、惣代として出府、小林九之丞と同道、12月帰国
		12.19	旧日中野陣屋付村々人民暴動のため家宅悉皆焼亡、当分庚申堂に仮寓
明治4	1871		倅忠蔵 横浜商法 にて損失
		11	弟小川五郎太夫死去
明治5	1872	3	妻病にかかる
		6	忠蔵商法一件中野町喜兵衛・弥五左衛門より出訴を受け親子長野県へ出張中、本家健蔵事庄左衛門急死
		9	親戚一同協議の上顕善夫婦本家へ復籍、 11代相統莊左衛門と改名 、別家は忠蔵事理兵衛と改め家名を譲る
明治6	1873	2	第43区区长 拝命
		6.19	妻病死
明治7	1874	2	長野県庁新築につき郡中惣代として 建営事務重立取扱方 拝命
		3	第44区区长兼務 拝命
		7	第19大区区长 拝命（準15等官・月給9円）、第15中学区取締兼務
		11	為替方小野組瓦解につき当分 出納課附屬 申し付けらる、しばらく勤務の上区長兼務難渋につき御免願
明治11	1878	4.20	県庁願済の上間山小林九之丞同道出京、横浜より松三郎引戻、5月29日同伴帰国
明治12	1879	1.20	郡画改正により副区長廃止、大区会所事務下高井郡郡長大井泰殿へ引き渡す
		1.21	下高井郡郡書記 拝命（14等官・月給12円）、病氣猶予を願い2月5日より中野町郡役所に勤務、2月8日・3月4日に辞表差出、3月15日御聞届
		12	岩船・吉田・片塩・江部西組・新保で小作事件あり、旧通に到着

典拠：「山田顕善履歴」（山田顕五氏所蔵、3-1-5）

註：没年は明治18（1885）年

(1890)年に第六十三国立銀行、同38(1905)年に信濃銀行の頭取となっている。

参考までに明治初年に当主を勤めた山田顕善の履歴を表1に掲げておいた。また上記のほかにも文化・文政期の山田松齋など文化面での活動も顕著である。

文書群の構造と内容

以上より山田家が多様な活動をしてきたことがうかがえるが、今回の目録では、山田家の組織・活動歴に対応して以下のサブ・グループを設定した。

家	(詳細は9頁)
地主	(73頁)
諸経営	(107頁)
堤防組合惣代	(167頁)
村役人	(187頁)
近代の役職	(193頁)
書状入袋	(203頁)
郷村仮会所・富田屋	(215頁)

基本的な考え方は目録(その1)と変わっていないが、今回新たに「書状入袋」と「郷村仮会所・富田屋」の二つのサブグループを加えた。その理由については後述する。

山田家の場合、地主経営を基盤としつつ酒造業・貸金業などを行い、近代に入っては地主資本を証券・銀行業などへ多角的に投資しているので諸部門の有機的な一体性は重要だと考えるが、これらを一括して「地主経営」などとすると巨大なサブグループができてしまうし、また各部門ごと別々にサブ・グループを立てようとするとう酒造部門、金貸部門、というようには十分確立していないものも多々あるので、やや便宜的ではあるが「地主」関係と「諸経営」関係の2つに大別することとした。

また近世の山田家の経営組織については、明確に組織化されたものを持ってはいなかったと考えられる(たとえば、内方と酒造方、呉服店などが分化し、内方が全体を統括していた信濃国埴科郡松代伊勢町八田家などとは異なる)。それゆえ「家」と「地主」・「諸経営」を区別するのも、厳密に言うならば困難さを伴う。たとえば生活上の出費と経営上の支出が十分区別されずに記録されたり、個々の奉公人の雇傭も家内部での仕事をするためのものか地主手作や酒造のためのものか判別できない。ここでは、明確に組織化こそされていないが、家は単なる生活の場としてだけでなく、地主経営も含めた諸経営を統括する場でもあったと考え、経営全般に関わるような史料はここに編成した。明治期以降の台所や、大正期以降の江部合名会社はこの機能の延長線上にあるのではないかと考える。

「堤防組合惣代」には、延徳耕地組合ほか深刻な洪水被害をもたらしていた千曲川の治水に幕末維新期に取り組んだ際に、山田家が惣代としてこれに関与したときの史料を収めた。

「村役人」には、山田家が村役人を勤めた際の史料を収めたが、東江部村の名主を勤めたのはごく短期間であったため、残された史料は量的にも多くない。

「近代の役職」には、明治期以降(ごくわずかだが幕末維新期のものを含む)の、第19大区副区長を勤めた際の史料を中心に、下高井郡全部組合会、貴族院議員関係の史料を収めた。

「書状入袋」には、山田家の組織や機能に即してサブグループを設定するという原則からははずれるものの、明治5年前後と同10年前後の書状一括袋を2袋分収めた。書状の性格上、内容や年代等がはっきりしないものも含まれているので、理解の手助けとなるよう保管されていた現状のまま掲載することにした。

「郷村仮会所・富田屋」は、数は少ないが、位置付けの難しい文書である。主に郷村仮会所（旧郷宿）の富田屋に宛てられた代金受取書などであるが、山田家文書の中に存在する理由が明確でないため、ここに掲載することにした。

文書群の形態と整理の方針

史料整理や目録編成にあたっては、山田家文書が持っている独自の構造を追求することに努めた。そのための手がかりとして保管現状が有する情報が重要であるが、史料の東京への移送、史料館内での度重なる移動などを経て、現在ではあまり多くのことはわからない。ただし、袋・こより紐などによる一括史料はまとめて掲載したり、枝番号を付与するなど物理的階層を明示することを原則とした。帳簿類の丁間に挟み込まれた書付類も同様に枝番号を付与して掲載し、備考にその状況を注記した。

なお、麻紐で縛ってあったものなど、受入前後の作業であることが明白なものについては、一括を崩して配列した場合もある。その結果、これらの枝番号付文書は親番号や一連の枝番号から離れてリスト上で孤立して存在する形になっている（466、475、597、598、705、935。例えば935は「文化元年十一月上野四郎三郎様御手代堀丈助様御逗留諸入用覚」という上書のある袋入り文書であるが、その中味は正徳5年から明治40年に及ぶ互いに関係のない様々な文書である。こういったものも崩して配列した）。

関連史料

目録（その1）を参照。

参考文献

目録（その1）を参照。

家

年代 成立年代 正徳元（1711）年～大正9（1920）年

数量 1371点

歴史

図2の山田庄左衛門家系図からわかるように、同家は近世前期以来多くの分家を出してきた。主なところでも17世紀に理右衛門家、文右衛門家、茂右衛門家、18世紀に文六家、庄兵衛家、19世紀に鶴屋、亀屋（理兵衛家）が分かれた。これら一族の関係は現在でも保たれているが（積善会の運営など）、かつてはより一層緊密なもので、本家の相続人決定の際には諸分家も集めた親族会議が開催されることもあった。

庄左衛門家自体の家の機能としては、消費など生活に関わる面のほかに経営全体に関わる面があったと考えられる。その点で明治30（1897）年代以降、山田家には台所という組織が形成されることに注目される。台所は正式にはおそらく「山田本宅台所帳場方」と言うようで、史料には「山田台所帳場」、「山田台所」、「山田帳場」、「山田本宅帳場」などとも表記されている。この台所の帳簿方が「御茶間」（当主とその妻など本家の主要構成員のことと思われる）の監督下で、帳簿に記録しながら、自家消費分の米や味噌仕込みに使う穀物、奉公人飯米、酒造米などの出入を管理していたことなども知られている。

構造と内容

ここでは（1）経営と（2）家政の2つのシリーズを編成した。

（1）経営

ここでは、サブ・シリーズとして「家計」、「込入勘定」、「奉公人・雇傭」、「台所」、「納税」、「印紙類売捌」を編成した。

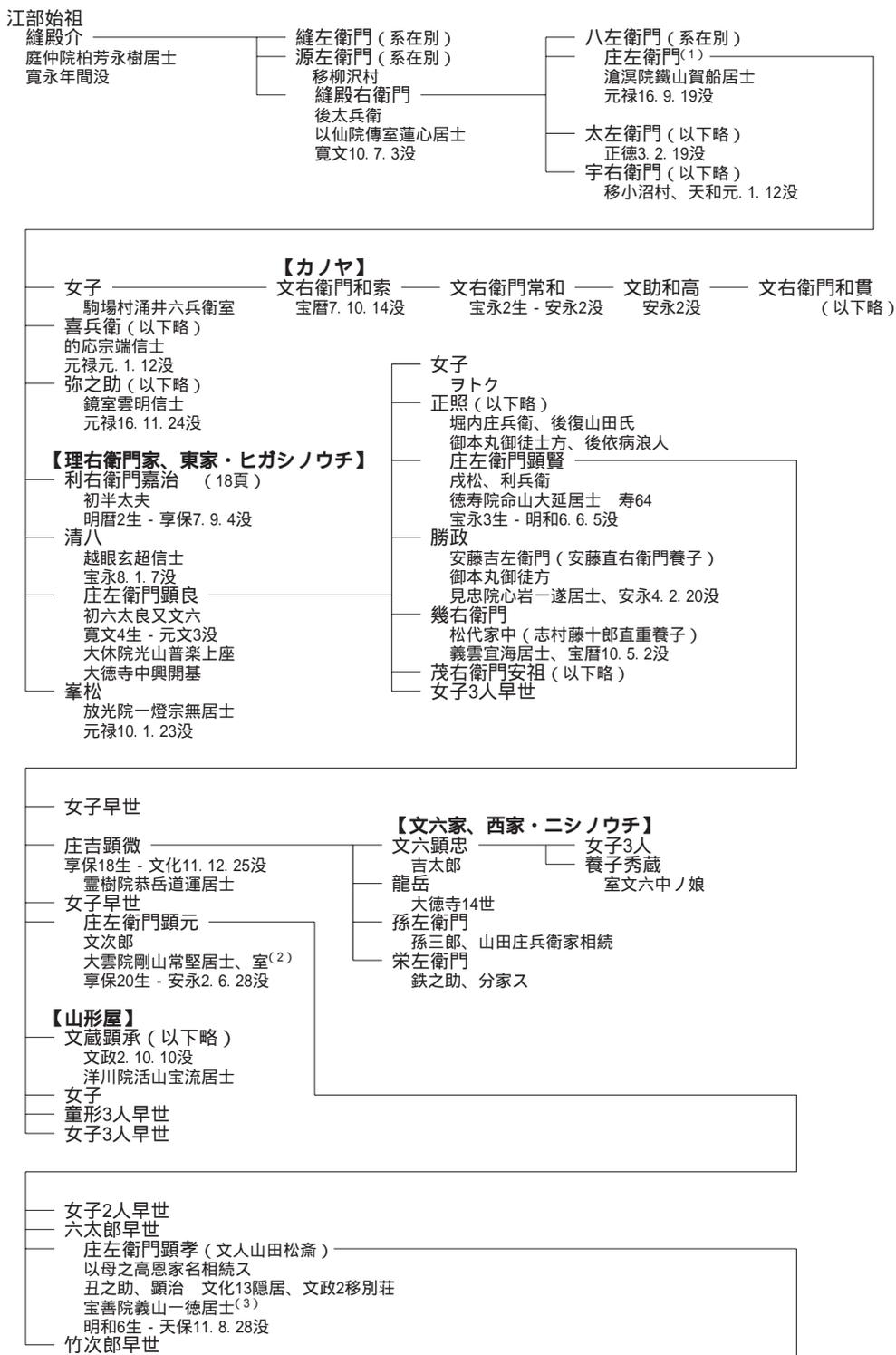
「家計」は山田家の消費にかかわる代金受取書を主とするが、経営全般に関わるとされるものも若干はある。また、貴族院議員を勤めたなどの理由により東京にも一時期屋敷があったため、東京での消費生活にかかわる代金受取書もまとめて残されている（明治35年前後の別宅住所は日本橋区浜町3-1であった）。これらについては「東京」として区分してある。

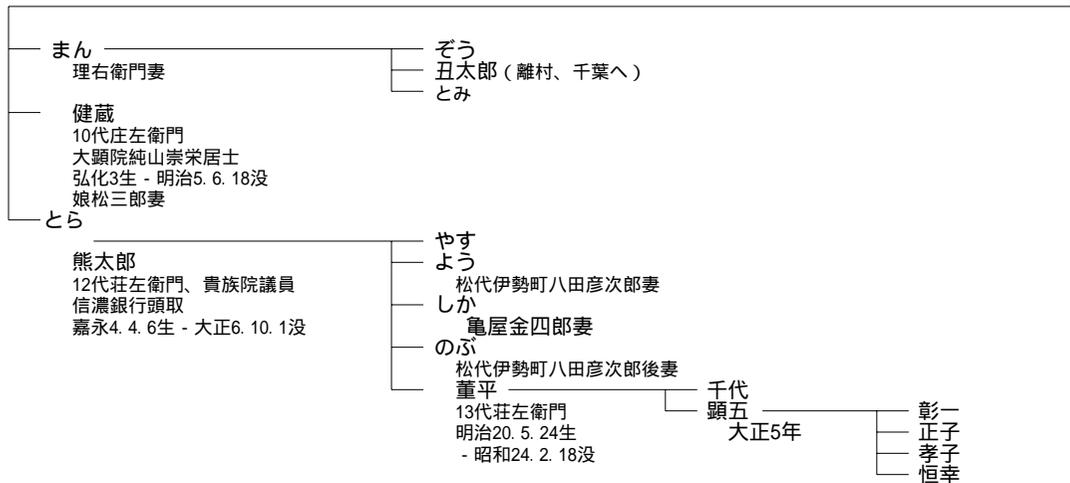
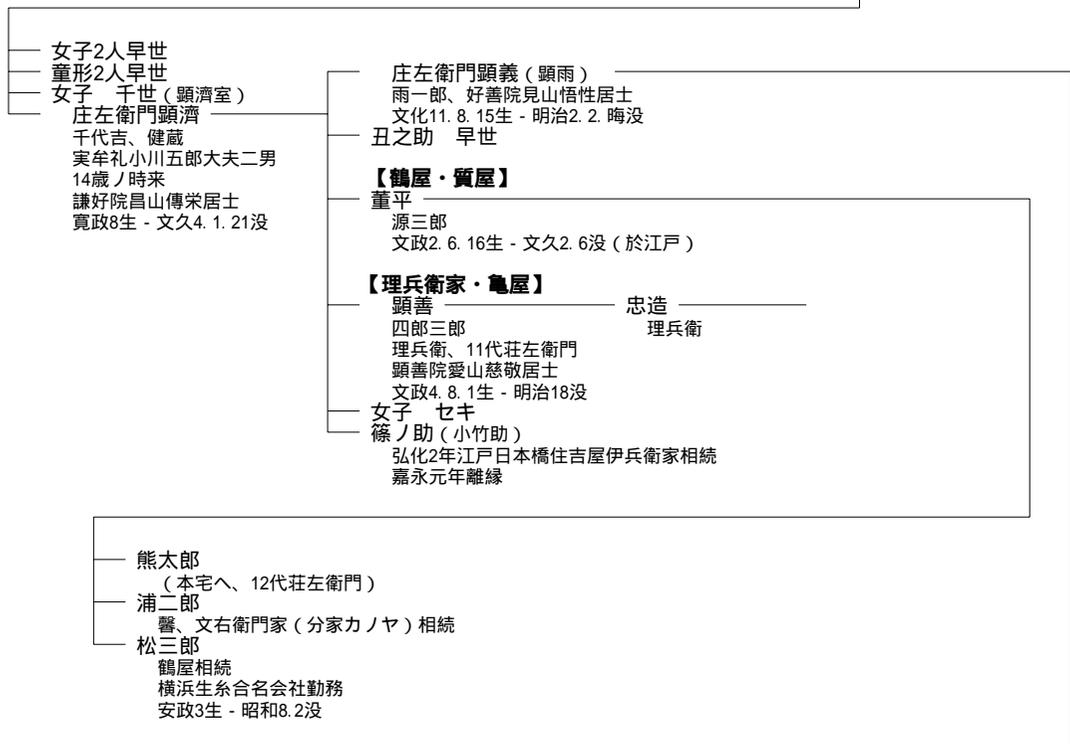
「込入勘定」は「込入り勘定端紙入」という表書のある袋に入った169点の史料であるが、これら全体でまとまりがあるわけではなく、こみいった事情のある勘定書等はどれでもこの袋に入れて管理していたようである。内容は米代、小作料、学校費用、郷宿払、無尽金、御仕法金、綿屋勘定など多岐にわたる。

「奉公人・雇傭」は奉公人請証、雇人届、雇人日数書などで、元文2（1737）年のものが1点あるのを除けば、残りの年代がわかるものは明治中期から大正期のものである。

「台所」には、台所が作成した初等の出納帳、日雇賃帳、諸職人帳等を収めた袋と、台所関係と思われる横帳帳崩れの一括がある。いずれも明治40（1907）年から大正13（1924）年頃までのものであ

図2 山田庄左衛門家系図





典拠：「信濃山田氏系譜」(山田顯五氏所蔵)

「年回弔表」(山田顯五氏所蔵、2-1-20)、明治以降の一部は山田正子氏の御教示によるデータ

註

- (1)「寛文延宝之頃西江部村帳面二東江部村ヨリ入作沖(迎力)伊之介高十五石余ト在、考幼名カト」、
「故家ヲ左衛門讓、別ニ一家ヲサレタリ、以仙院夫婦ヲ孝養ス」
- (2)「領悟院一山指大姉 顯元君室、顯孝松齊母、飯山上町中野基左衛門娘」
- (3)「後名靜字太古号松齊文化丙子隱居称太一又改縫殿助文政二巴丑移別莊」
「初室長沼村吉村伴七娘無子早死後配中山氏新野村中山五郎右衛門娘四十才二而死松齊此春四十九齡也」

表2 帳崩れ中の解体された帳簿の例

帳簿名	年代	作成
物品売買附込帳	大正13年1月	台所帳場
白米御茶ノ間入覚	大正15年度	山田本宅台所帳場
手控帳	大正11年1月	山田
台所勘定出入帳	大正14年12月	
味噌醤油有形桶樽受出帳	大正7年3月	山田台所帳場
蚕業組員伍長催青員名簿	大正7年5月	組合長山田本宅
下方玄米不納調	大正3年寅12月	
昭和三年前半期勘定帳	8月13日	本宅
昭和四年前半期勘定	8月15日	山田
五年後半期勘定帳		山田
炭每方取調出入手控帳	明治40年末2月	山田台所
昭和四年後半期勘定		台所
蚕業組員出勤簿	大正9年度	山田
峰永・原両兵士送迎会	大正10年カ	
飛喜屋帳	明治43年1月	山田台所

典拠：山田庄左衛門家文書1020

る。後者については、下張りなどへの再利用のため帳を崩してまとめてあったものと思われるが、元の帳簿名がわかるものを表2にまとめておいた。ここから山田台所が作成し、破棄していた帳簿の種類の一部がうかがえる。

「納税」には、明治以降の税金等領収証（共益費なども若干含む）を中心に、税金算定のための所得届、醤油製造申告・免許などがある。なお、近世の場合、所持高に賦課される年貢諸役については「地主／年貢諸役負担」の項に収めてあるが、明治以降については、土地以外の収入に賦課されるものと一緒に、納税を家全体の機能にかかわるものとして、ここに位置付けることにした。

このほかに「印紙類売捌」として、3か月ごとの山形屋酒店（山田家の酒造部門）から本宅宛の報告、山田庄左衛門から知事等への報告などが一括で残されている。明治20年代から30年代ははじめのものである。

（2）家政

ここでは、サブシリーズとして「相続」、「婚礼・養子縁組」、「法事・寺社」、「家普請」、「交際」、「日記・文化」、「情報」を編成した。

そのうち「婚礼・養子縁組」には、山田家の娘たち（せき、亀＝栄、ふさ）の婚礼準備にかかわるものや（表題にある「むかさり」は嫁入りの意）、天保8（1837）年の「牟礼宿祝儀諸書物」1袋などがある。

「法事・寺社」は、天明・明和期の大徳寺客殿修復関係史料が比較的まとまっている。

「交際」には、私的な交際に関するものだけでなく、中野代官所役人ほかとの公私にわたる交際に関するもの含まれている。その内、荻野広介は中野代官高木清左衛門（中野在任は弘化3年正月～安政2年8月）の手代で、その後高木の転任にともなって出雲崎陣屋に移ったと考えられる（山田家文書

現地分の中に中野時代を中心に荻野の書状等が数点見られる)。安政2(1855)年に荻野と山下道平(724-1)は信越辺で箱館奉行所のスクーネル船建造計画への出資者を募り山田家にも呼び掛けていた(谷本晃久「信州山田家文書中の箱館奉行関係書簡について」2005年2月21日、国文学研究資料館での研究会レジュメによる)。また、文化元(1804)年11月「上野四郎三郎様御手代堀丈助様御逗留諸入用覚」1袋(全体解題で述べたように、この袋には表書と全く関係のないものが多数入っており、それらは別の項に配置してある)は、代官上野が同月に転任し、その陣屋・村々引き渡し御用に手代堀が訪れた際の入用に関するものである。

「日記・文化」には、かなり多様なものを収めてあるが、(江戸の須原屋からの)書籍購入、刀剣購入などに関係するもの、拓本類、書籍断簡等がある。

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
家			
経営			
家計			
覚(絹切・風呂敷等代金書上、前) 466-1～3は1通の文書が分解したもの		横切紙・1通	466-1
(絹切・風呂敷等代金書上、中)		横切紙・1通	466-2
(絹切・風呂敷等代金書上、後) 清六 江部村文六様	未12月29日	横切紙・1通	466-3
覚(鍬先・包丁等代金1貫908文書上) 権之丞 文六様旨		横切紙・1通	466-4
雑用覚(夕飯ほか計190人分代9貫572文書上、金2両受取) 中野宿平右衛門 東江部村庄吉様 裏表紙上書「中野宿芝屋平右衛門」、印形出入一件か	未3月28日	1綴	466-10
覚(墨・筆等代金3分余受取)		横切継紙・1通	466-100
(という1反代132文ほか書上) 前後欠		帳崩れ・1枚	466-220
(利足初・貸金・種買金など書上)		帳崩れ・1枚	466-232
(人別・夫食米書上綴)		(横長美)・1綴	466-247
利兵衛取かい物書出し(差引残金1貫720文受取) 文右衛門(印) 利兵衛殿	辰閏4月15日	帳崩れ・1通	466-284
おぼへ(代金×449文受取) しばや長三郎(印) 酒や丑之助様	(天明元)閏5月2日	切紙・1通	466-300
覚(かへ物1貫672文受取) 鈴木屋六五郎(印、「信州飛脚」) 丑之助様	(天明元)丑閏5月5日	切紙・1通	466-301
覚(油5升代金1分受取) 中野米屋廣吉(印) 東江部村丑之助様	(天明元)丑閏5月7日	切紙・1通	466-302
おぼへ(鱒等代金の内232文受取、残額貸し) しばや長三郎 酒や丑之助様	(天明元)閏5月11日	切紙・1通	466-303
おぼへ(鱒1本代金432文書上) 中野しばや長三郎 江部酒や丑之助様	(天明元)閏5月8日	切紙・1通	466-304
覚(鱒残金受取、5月8日分さし鮭代貸し) 中野芝や長三郎 東江部酒や丑之助様	(天明元)閏5月12日	切紙・1通	466-305
覚(御ざ8枚代1貫受取、119文かし) 中野芝や長三郎 江部酒や丑之助様	(天明元)丑閏5月17日	切紙・1通	466-306
覚(板寸5わほか代1貫受取) 釘屋定兵衛 江部村丑之助様	(天明元)閏5月22日	切紙・1通	466-307
覚(気多茶・干大根等代326文書上、内200文受取) 中の芝屋長三郎 江部村丑之助様	(天明元)丑6月4日	切紙・1通	466-308
覚(椎茸代14匁6分受取) 一無助	(天明元)閏5月19日	切紙・1通	466-309
覚(花せんへい1匁余受取) 一無助(印) 鈴木屋六五郎様	(天明元)丑閏5月	切紙・1通	466-310
覚(太白砂糖代金受取) 河内屋七兵衛(印、「二葉町河内屋	閏5月19日	切紙・1通	466-311

菓種店) 鈴木屋六五郎様			
覚(笹絵茶碗20個代744文書上) あらやと平次(印、「善光寺大門町」) 堺や弥右衛門様	6月朔日	切紙・1通	466-312
覚(花立1対代154文書上) さこた庄助 弥右衛門様	6月朔日	切紙・1通	466-313
覚(大茄子・蓮根ほか代514文書上) 八百や平四郎(印、「善光寺下堀小路」) さかいや佐七様	6月朔日	切紙・1通	466-314
おぼへ(紙3状ほか代744文内700文受取) しばや長三郎(印) 酒や丑之助様	6月9日	切紙・1通	466-315
おぼへ(山いも3本代72文書上) しばや長三郎 酒や丑之助様	(天明元) 丑6月9日	切紙・1通	466-316
覚(油5升ほか代金受取) 中野米屋廣吉(印) 東江部村山田丑之助様	6月15日	切紙・1通	466-317
覚(銭600文受取) 釘屋定兵衛 []江部村丑之助様	6月23日	切紙・1通	466-318
おぼへ(梅干・芋ほか代金808文受取) しばや長三郎 []や丑之助様	(天明元) 丑6月27日	切紙・1通	466-319
覚(品物代金600文内500文受取) 中の芝屋長三郎 丑之助様	(天明元) 丑6月25日	切紙・1通	466-320
覚(油5升代金内1分受取) 中野米や廣吉(印) 東江部村山田丑之助様	(天明元) 丑7月18日	切紙・1通	466-322
おほへ(椀ほか代金差引、残646文差上) 山形屋久七 []田丑之助様 張付文書1通(塩送り駄賃請求書)あり	8月7日	横切紙・1通	466-323
(駄数書付)		切紙・1通	466-324
かや代覚(2分片塩村武右衛門ほか) 後欠		切紙・1通	466-325
覚(しゐら1本300文書上) 中の芝屋長三郎 江部酒や丑之助様	(天明元) 丑9月30日	切紙・1通	466-326
(品物領収書類一括) 綴紐なし、開披不能		1綴	466-327
覚(尺5寸半鐘代金6両1分ほか書上) 京岩上通六角下ノ町成嶋播磨(印) 信州高井郡東江部村山田文治郎様	正月19日	横切紙・1通	466-328
覚(六味丸代金受取) 大墨(カ)肥後(印) 文治郎様	子正月18日	横切紙・1通	466-329
(品物領収書類一括) 綴紐なし	(享保16年)	1綴	466-330
[]出シ帳 帳簿表紙の断片		1枚	466-332
萬小遣はり付長金銀大福長 信州高井郡山田戌松 表紙のみ、紙背に高菜蒔き前後の日記	正徳4年正月吉日	横半帳・1枚	466-333
覚(鍬先・鎌ほか代金書上) 権之丞 文六殿	午ノ12月23日	横切紙・1通	466-338
覚(といろ2反ほか代金5貫800文済) いわふね九郎右衛門 東江部村庄左衛門殿	卯3月	横切紙・1通	466-342
覚(沓野材木書上) 紙背に書状下書(金子間違の詫びほか)あり		折紙・1通	466-346
覚(敷板ほか代金×703文受取) くきや宇兵衛(印) 山田庄左衛門様	4月13日	横切紙・1通	466-357
覚(竹1300本ほか代金書上)		横切紙・1通	466-358
覚(馬鍬2丁代金800文受取) 飯山新町源五右衛門(印、「山根屋」) 左七殿	4月13日	切紙・1通	466-359

(善光寺・小布施等買物書上、錦絵5枚ほか)		帳崩れ・1枚	466-366
(諸品代金書上)		帳崩れ・3枚	466-374
(江部庄左衛門分江戸雑用等金額書付)		小切紙・2通	466-384
覚(鉄重目万石納1張代金1分受取) ひしや伊助(印、「善光寺大門町」)	丑8月16日	切継紙・1通	466-499
覚(水差しほか代金1分余受取) ひしや伊助(印)	丑8月16日	横切紙・1通	466-500
覚(金4両の内3両余納、残り金2分余返し)		切紙・1通	466-517
(金3両3分余書上)		切紙・1通	466-519
(渋湯二而宿借賃覚、享保8年送状写ほか、帳崩れ)			466-525
記(羽織ほか差引代金1円71銭受取) (印、「長野善光寺大門町[]右衛門」) 山田様 「藤井丸為本店之印」の長印あり	酉8月4日改	横切継紙・1通	578
記(上等檜板代金受取) 喜多や富吉(信州善光寺西門町) 山田利兵衛様 581-1・2は一緒に畳込	第11月18日	切紙・1通	581
記(代金53銭受取、綿代力) 柳田屋忠兵衛(長野大門町) 山田様	11月18日	切紙・1通	581-1
記(代金1円31銭受取) つたや平兵衛(蕨平) 山田様	11月18日	切紙・1通	581-2
覚(天笠代受取) あかしや重助 (マルに叶)様		切紙・1通	583
覚(鯉・鮭・鰯ほか代金書上)		折紙・1通	598-2
子ノ年細工書[](代金1分200文書上) 西江部村次郎兵衛 東江部村酒屋文六様	子ノ12月23日	切紙・1通	598-3
覚(鍬先・鉞等代金ノ1貫820文書上) 権之丞 当村文六殿	子ノ12月	横切紙・1通	598-5
記(手間人足・橋石など代金ノ6円10銭書上、内金6円受取) 中の町石屋傳蔵 平野村山田荘左衛門様	1月31日	横切紙・1通	600
記(掃除丁場杭拵・大工扶持手間ほかノ91銭山田本宅より受取) 同村山田作事方(印) 江部村村用掛様	第10月5日	切紙・1通	609
註文受取約定券(吸物椀10人前ほか注文) 石川県能登国鳳至郡輪島町漆器製造所桐本久太郎 山田荘左衛門様	明治35年10月24日	切紙・1通	623
記(金2円余受取) よしや(印、東京よし町) 山田様	12月30日	切紙・1通	653
(書状、金銭返却のこと、ほか)	(明治12年力)	折紙・1通	655
(領収証等入袋) 683-1~23を封入	(明治)	袋・1袋	683
領収証(1~4月分、5~12月分、新聞代) 信濃新聞社 下高井郡平野村山田庄左衛門殿 2通は重折	明治23年8月10日	切紙・2通	683-1
記(洗濯代、ネル単物代など書上) 山城屋仲之助 山田様、御内	7月6日	切継紙・1通	683-2
おみず長野行入費		切紙・1通	683-3
(8名分各月勤日数および賃金等受取書) 木嶋村大塚金左衛門	(明治)8月12日	折紙・1通	683-4
記(板代金受取) 古田嘉太郎 山田殿	(明治)23年8月	横切継紙・1通	683-5
* (書状、町税第二期分至急納税の督促) 白井彦兵衛	7月23日	切紙・1通	683-6

山田様			
記(上々鯨代43銭受取) いづ友(信州中野松川) 山田様	7月26日	切紙・1通	683-7
記(代金2円64銭余受取) 柳田屋忠兵衛 山田様	7月25日	横切紙・1通	683-8
記(代金18銭9厘受取) 萬屋助左衛門(信州高井郡中野町) 上	7月26日	切紙・1通	683-9
記(金子受取) 青木屋清兵衛(信州高井郡中野町) 山田様 うち1通は晒一反代、2通は重折	7月31日	切紙・2通	683-10
辰七月卅一日廣吉長野行買物受取類 帯封一括			683-11
記(代金20銭受取) つるや(カ)平兵衛 上	7月31日	小切紙・1通	683-11-1
記(杏干代50銭受取) 若松屋正右衛門(信州長野東町) 上	7月31日	小切紙・1通	683-11-2
記(里一肴代31銭受取) 小妻屋万青 正左衛門殿	7月31日	切紙・1通	683-11-3
記(極細2丁代受取) 三才かじや玉助 山田庄左衛門殿	(明治)23年7月31日	切紙・1通	683-11-4
記(気発代(カ)8銭受取) 小箱や太助(信州長埜東街) 上様	7月31日	小切紙・1通	683-11-5
記(極上松永塩代2円30銭受取) のたや傳之丞 山田庄左衛門様	明治23年7月30日	切紙・1通	683-11-6
記(代金2円受取) 柳田屋忠兵衛(長野大門町) 山田様	7月31日	切紙・1通	683-11-7
覚(上々棕欄綱(カ)代1円受取) 榎屋三五郎(信州長野宮澤三五郎) 山田様	(明治)23年7月31日	切紙・1通	683-11-8
(6・7月分授業料領収証、山田ノブ納) 平野村収入役 原弥太郎	明治23年8月1日	小切紙・1通	683-12
記(絹細前かけ等代金50銭余受取) 指物屋榮之助 山田様	8月5日	切紙・1通	683-13
記(金3円47銭余受取) 指物屋茂助(信州中野町) 山田様	7月6日	切紙・1通	683-14
記(洋釘代80銭受取) 古田嘉太郎 山田庄左衛門様	7月29日	切紙・1通	683-15
記(真田紐等代53銭余受取) 青木屋弥兵衛(信州高井郡中野町) 山田様	8月9日	切紙・1通	683-16
記(提灯2張代23銭受取) 中の町梅田や重太郎 江部山田様 683-16に挟込	8月9日	切紙・1通	683-17
記(松板等代金3円68銭受取) 奈良定助(信州中野) 上	6月11日	切紙・1通	683-18
(書状、利子金差上、元金返済延期願) 湯田中温泉湯本五郎治 山田庄左衛門様、侍史 包紙共、(包紙上書) 「貨幣在中」	7月31日	横切紙・1通	683-19
記(石墨(カ)大俵12俵代請求) 長野越後屋商店 平野邨山田様	10月17日	切紙・1通	683-20
記(瓦諸品の送り書) くり林村瓦屋覚蔵 江部村山田様	7月16日	切紙・1通	683-21
(初俵数書上) 3枚は疊込		切紙・3枚	683-22
記(紋付、羽織、小袖、下着等代金3円9銭受取) 湯田中山岸や荒太郎 江部村山田本宅様	10月11日	横切紙・1通	683-23

記(平野村往復・豊野行ほかノ21円19銭受取) 北岡安太郎(印) 山田様	(明治24年)4月17日	横切継紙・1通	684
(諸費用書上、横浜行・董平買物分・髭剃ほか)		折紙・1通	691
記(春慶塗丸盆代金1円56銭受取) 木や九兵衛 上	12月29日	切継紙・1通	692
記(蛇の目傘1本ほかノ金16円余受取) 伊賀屋新左衛門(印、「東京人形町通新乗物町」) 山田様	12月29日	横切紙・1通	693
記(水油3升代金84銭受取) 片塩油屋惣吉(印) 江部山田御本宅様	明治23年2月17日	横切紙・1通	694
(白紙)		折紙・1枚	695
(受取書等一括) 700-1~79は括り紐一括		紙縫り紐一括・	700
中野手問記(雇人日数・給金勘定書) 700-1と2は畳込み一括		折紙・1枚	700-1
本宅記(雇人日数・給金勘定書)		折紙・1枚	700-2
請取証(証書1千枚印刷代金31銭) 中野印刷所、代芋川六 太郎 山田様	第1月22日	切紙・1通	700-3
記(豆腐代・茶駄賃ほかノ金2円51銭余受取) 字江部植多や 山田荘左衛門様 全面に墨消		横切継紙・1通	700-4
記(品物代金5銭5厘受取) 中野新町金長(印) 上	寅2月5日	切紙・1通	700-5
記(椎茸1斤代金58銭受取) 八百庄(印、「長野大門町」) 山田様	2月25日	切紙・1通	700-6
記(品物代金55銭余受取) 増屋太兵衛(印、「信州長野」) 上	2月24日	切紙・1通	700-7
記(品物代金受取) や(印) 上	2月24日	切紙・1通	700-8
キ(蓮根ほか代金21銭余書上) 金長(印、「中野新町市村」) 上	2月27日	切紙・1通	700-9
(金3円13銭受取) 長野大門町山城屋仲之助(印) 山田様 印刷、700-11を挟込	明治23年3月3日	切紙・1通	700-10
記(束髪アミ・丸櫛代金3円13銭書上) 山城屋仲之助 山田様	3月3日	切紙・1通	700-11
送り(荷物遞送代金請求) 野田屋重右衛門(印、「飯山」) 江部村山田庄左衛門様 「立替運賃計算書」(信濃中牛馬会社中野支店)を貼付	明治23年3月4日	切紙・1通	700-12
記(前かけほか代金2円77銭5厘受取) 北沢與右衛門 山田様	12月27日	横切紙・1通	700-13
記(品物代金76銭受取) 青木や弥兵衛 山田様	12月27日	切継紙・1通	700-14
記(七分公債500円分金7円30銭、明治22年12月28日中野支店より取付) 市村忠助殿	(明治22)	小切紙・1通	700-15
記(池の尾1斤代金45銭受取) [カクー]塩屋店(印、「小布施上町」) 山田様 700-17を挟込	30日	切紙・1通	700-16
記(代金50銭受取) 小布施中町なかや要之助(印)	12月30日	切紙・1通	700-17
記(人足賃・縄代ほかノ8円3銭受取) 中野荒井保之助(印) 山田様 700-19・20を挟込	12月31日	横切継紙・1通	700-18
記(あかちち代ほかノ97銭受取) 中の荒井保之助(印)	12月25日	切紙・1通	700-19

山田様			
記(品物代金5円余受取、引残75銭かり) 中野町荒井保之助 山田様	12月	横切紙・1通	700-20
(七分公債500円分ほか計18円30銭、明治22年12月28日中野支店より取付) 山田荘左衛門殿	(明治22)	小切紙・1通	700-21
キ(とり貝代16銭受取) 金長 上		切紙・1通	700-22
記(上付木代11銭受取) ひしや金次(印) 山田様	12月31日	切紙・1通	700-23
記(綿打・篠巻賃ノ1円66銭書上) 上 700-25を挟込	明治22年2月20日	切紙・1通	700-24
記(初410俵挽きほか書上) 挽屋山田忠治	明治23年1月30日	切紙・1通	700-25
記(運賃書上カ、中野ヨリ赤岩田中迄ほかノ11円余) 原安 山田様	1月26日	横切継紙・1通	700-26
証(5円60銭領収書) 下高井郡中野町西川薬局(印) 江部山田荘左衛門殿	明治23年1月30日	切紙・1通	700-27
記(膏薬ほか代金5円60銭書上) 西川薬局(印) 江部村山田荘左衛門様	11月27日	横切継紙・1通	700-28
覚(絹糸・ビロードほか代金1円88銭余受取) 新保若松波吉、使義太郎 江部山田荘左衛門様	(明治)23年1月30日	横切継紙・1通	700-29
記(小倉帯・前掛ほか代金ノ44銭受取) 青木屋弥兵衛(印、「信州高井郡中野町」) 山田様	2月1日	切紙・1通	700-30
記(座布団仕立代・真綿代ほかノ22円7銭5分、内20円受取) 山城屋仲之助 山田庄左衛門様	12月	横切紙・1通	700-31
(金2円7銭5分受取) 長野大門町山城屋仲之助(印) 山田様 700-32に挟込	明治22年12月29日	切紙・1通	700-32
記(上等みりん2升代金60銭受取) 喜多や久右衛門(印、「信州長野」) 山田様	12月16日	切紙・1通	700-33
記(品物代金1両37銭受取) 柳田屋忠兵衛(印、「長野大門町」) 山田様	12月16日	切紙・1通	700-34
記(小杉紙3束ほか代金73銭受取) 柏屋与助(印、「信濃国長野大門」) 山田様	12月16日	切紙・1通	700-35
記(ブリキ・銅鍋ほか代金3円28銭受取) 下高井郡中の東町土野方蔵(印) 山田庄左衛門様	明治22年12月21日	横切紙・1通	700-36
記(帯・絹糸・紺糸ほか代金書上) 青木屋弥兵衛 山田様	(明治20)12月19日	横切紙・1通	700-37
キ(塗下駄代金18銭受取) 高のやなす 上	12月15日	切紙・1通	700-38
記(品物代金47銭6分受取) 山屋作左衛門(印、「信州中野西町」) 山田利右衛門様	11月27日	切紙・1通	700-39
下高井高等小学校授業料(納入3年級山田やす50銭領収) 下高井郡長箕輪鼎(印) 700-40~43は量込括	明治22年12月20日	切紙・1通	700-40
(山田のぶ12月分授業料10銭領収書) 平野村収入役原弥太郎(印)	明治22年12月19日	切紙・1通	700-41
(山田のぶ1月分授業料10銭領収書) 平野村収入役原弥太郎(印)	明治23年1月31日	切紙・1通	700-42
(山田のぶ2月分授業料10銭領収書) 平野村収入役原弥太郎(印)	明治23年2月24日	切紙・1通	700-43

記(材木・板代金2円89銭8分書上) 中山文左衛門 上	12月26日	切紙・1通	700-44
記(板代金5円90銭書上) 中山文左衛門 江部山田莊 左衛門様 700-44に挟込	12月26日	横切紙・1通	700-45
記(反こん丹ほか薬代金27銭書上、まけ18銭9厘) 代 銀次郎 上々様	11月6日	切紙・1通	700-46
証(リスリン・青竹代金10銭受取) 町田儀平(印、「信 州高井郡中野町・菱儀」) 上	明治22年11月6日	縦切紙・1通	700-47
記(紅摺ノ大巾6反3寸代金94銭余受取) 青木屋弥兵 衛(印) 山田様 700-47に挟込	11月6日	切紙・1通	700-48
記(上等芋・上々柿代金1円40銭書上) 科の村湯本彦 作(印) 西江へ村山田庄左衛門様	11月17日	切紙・1通	700-49
記(小児シャツ・股引代金92銭受取) 青木や弥兵衛 (印) 山田様	11月21日	切紙・1通	700-50
記(品物代金32銭受取) (印、「信州中野縣富田屋要七」) 上 700-50に挟込	11月21日	横紙・1通	700-51
記(丸1寸ほか代金1円39銭書上、釘代力) 古田嘉太郎 山田庄左衛門様	11月15日	切紙・1通	700-52
記(帯・羽織ほか代金ノ5円10銭4厘、内2円受取) 湯 田中山岸や 平野村山田本宅様 700-52に挟込	11月22日	横切紙・1通	700-53
記(貸金115円の差引勘定、小出茂三郎へ年賦貸金21 年分100円) 平野邨山田莊左衛門(印) 市川邨岸勝次 郎殿、外式人	明治21年5月30日	切紙・1通	700-54
記(小出茂三郎へ年賦貸金21年分5円受取) 平野邨 山田莊左衛門 市川邨岸勝次郎殿 700-54に挟込	明治21年5月30日	切紙・1通	700-55
覚(東京丑久保村荷物2品賃25銭受取) 中村要之助、 同代円蔵(印) 山田庄左衛門様	12月1日	切紙・1通	700-56
証(カルメスミ5個代金15銭受取) 町田儀平 上	明治22年12月2日	縦切紙・1通	700-57
記(形紙1枚ほか代金69銭6厘) 行田屋仙作(印、「下高 井郡中野町中嶋仙作」) 山田様 700-57と重ねて折畳	11月26日	横切紙・1通	700-58
記(雇人日数・給金勘定書)		折紙・1枚	700-59
記(雇人日数・給金勘定書)		横切紙・1通	700-60
記(金6銭受取) ならや 上	4月2日	切紙・1通	700-61
記(金60銭受取) 天龍屋 上 700-61に挟込	4月2日	切紙・1通	700-62
下高井高等小学校授業料(納入2年級山田よう3月分 50銭領収書) 下高井郡長箕輪郡(印)	明治23年3月20日	切紙・1通	700-63
下高井高等小学校授業料(納入3年級山田やす3月分 50銭領収書) 下高井郡長箕輪郡(印)	明治23年3月20日	切紙・1通	700-64
(山田のぶ3月分授業料10銭領収書) 平野村収入役原 弥太郎(印)	明治23年3月18日	切紙・1通	700-65
記(紺単代ノ24銭受取) 青木や弥兵衛(印) 山田様	3月21日	切紙・1通	700-66
記(角ピン代ほかノ47銭受取) 川辺定吉 上 700-66 に挟込	3月4日	切紙・1通	700-67
記(糸び50ほか代金ノ24銭5厘受取) 柳や長助 上 700-69・70を挟込	3月19日	切紙・1通	700-68

覚(筭代金11銭6厘書上) いつみや友吉(印、「中野川」) 上	3月19日	切紙・1通	700-69
記(41銭受取) 青木屋弥兵衛(印) 山田様	3月19日	切紙・1通	700-70
記(板入表替40畳糸手間代ほかノ金4円8銭書上) 戸狩佐藤光太郎(印、「下高井郡戸狩佐藤光明」) 江部山田荘左衛門様 700-72・73を挟込	第3月30日	切紙・1通	700-71
記(大巾代金39銭受取) 青木や弥兵衛 山田様	3月29日	切紙・1通	700-72
記(酢・徳利ほか代金56銭6分書上)	寅3月29日	切紙・1通	700-73
記(舶来イルキ代金56銭受取) 永寿や太七(印、「信州長野大門町・ヤマ太・葉舗永壽屋多七」) 上 700-74~78は重ねて折畳	3月22日	切紙・1通	700-74
記(舶来イルキ代金28銭受取) 永寿や太七(印、「信州長野大門町・ヤマ太・葉舗永壽屋多七」) 上	3月22日	切紙・1通	700-75
記(瓶付すき油代金8銭4厘受取) 牧屋録之助(印、「信州善光寺大門町・マル三・油店牧六」) 上	3月21日	切紙・1通	700-76
記(味醂・白酒代金1円5銭8厘受取) 喜多屋久右衛門(印) 山田様	3月22日	切紙・1通	700-77
記(薫の花ほかノ円34銭受取) 蔦屋平兵衛(印) 上	3月21日	切紙・1通	700-78
金員領収証(別上々御用紙1束代金46銭受取) 下高井郡中野東町西山武兵衛(印、「信州中野・カネ万・加賀武」) 山田殿	明治23年3月17日	切紙・1通	700-79
「(湯本)浅吉書類」(代金受取・返済)	(明治)	封筒入り・1袋(6通)	705-26
(真綿代金受取書綴) 信州須坂町坂口商店 郵便物受領証2通貼付	明治42年3月28日	縦切紙・1綴	705-33
「緊要書類 東之宅分」	(明治)32年11月ヨリ	封筒入り・1袋(7通)	705-36
記(6分板ほか代金1円53銭4厘受取) 大坂仙蔵(印、「下高井平野村江部大坂仙蔵」) 高木善作様	(明治)35年1月31日以後)	横切紙・1通	705-36-1
(芋ほか代金22円39銭受取)	11月1日	横切紙・1通	705-36-2
(葉書、萬山と無名の画金3円にて交渉のこと、承諾ならば山田本宅にて受け取られたきこと) 上総木更津八幡町浪人山田丑太郎 信濃下高井郡平野村片塩吉見久衛様	(明治)32年12月2日	葉書・1通	705-36-3
記(針金ほかノ1円82銭1厘受取) 西条村木屋安治郎 東江部村山田利右衛門様	2月4日	切紙・1通	705-36-4
(材木・栗ドッコー一式ほか代金ノ10円書上) 亀吉	(明治)32年11月10日	横切紙・1通	705-36-5
証(戸・唐紙・畳代金62円で買取の約束) 下高井郡平野村山田小忠太(印) 同所山田荘左衛門殿	明治34年11月3日	縦切紙・1通	705-36-6
記(浅吉ほか3名の唐箕・臼・鋤ほか品物代金書上)		横切紙・1通	705-36-7
覚(品代改め、入帳願) 上林善助、善三郎 治御店様	卯2月6日	切紙・1通	715
覚(かきがねほか代金書上) 北かじや 山田様		横切紙・1通	739
「郵便印紙、同はかき、証券印紙入」(中味は代金受取書・名刺・反故紙ほか) 紙帯一括		1束	742
「明治四拾壹年七月 請取書入」	明治41年7月	1袋	743

「参拾貳年十一月迄諸受取」 (請取書類2袋一括) 748-1・2の2袋をこよりで一括	(明治32)	1袋	744
「大正四年一月より 請取書在中」 (請取書類一括)	大正4年1月～ (大正期)	1包 1包	749 750
記(紬ほか代金計3円64銭書上) 近江屋代三郎 山田御 本宅様	辰1月	切紙・1通	752
(梨シキ[]5丁代金4円50銭受取) 糸や[]	第6月28日	横切紙・1通	753
「参拾三年六月己降 諸受取」	明治33年6月～	1袋	756
未正月金銀出入帳	文化8年	横長美・1冊	806
「西組新田掛入費受取并諸書類入」 袋表書と中味は対応 していないと思われる		1袋	935-1
(書状、東京での屋敷購入に関して意見) 山田松三郎 小坂善之助様	17日	横切紙・1通	935-1-1
記(長野行経費ほか金額書上)		横切紙・1通	935-1-2
記(酒肴、内山紙代等書上) 935-1-2に巻込		横切紙・1通	935-1-3
記(金75銭受取) 黒川村近藤藤左衛門 山田庄左衛門 殿	明治15年3月3日	切紙・1通	935-1-4
記(金60銭受取) 黒川村近藤藤左衛門 山田庄左衛門 殿	明治15年6月8日	切紙・1通	935-1-5
(人足数・坪数等書付)		切紙・3通	935-1-6
おほへ(豆腐代金受取) 磯右衛門 山田御本宅様	申極月	横切紙・1通	935-2
十一月十日ヨリ十二月四日迄潮堂氏持小買物明細書立 勘定		横長半・1冊	1043
諸入費日誌	従明治18年酉9月至同 19年戌3月	横半半折・1冊	1046
辰極月金銀出入帳		横長半・1冊	1047
東京行諸掛り覚帳 敬介	明治3 午5月ヨリ	横長半・1冊	1048

東京

キ(鮭・数の子ほか計12円85銭受取) 鈴木(印、「東京日 本橋本船町・熊鶴・ヤマス」) 山田様 571-1と2は折込一括	12月26日	横切紙・1通	571-1
証(鮭・数の子ほか郵送証、長野県下高井郡平野村山田 荘左衛門殿宛) 三立社(印、「東京、鉄道貨物扱所、三立 社出張所」) 熊鶴殿	明治35年12月26日	横切紙・1通	571-2
受取証(海苔ほか6円87銭受取) 東京日本橋針店山形 屋御海苔調進司[ヤマ惣]窪田惣八(印) 濱町山田様	明治35年2月6日	切紙・1通	572
記(上角板6枚代金3円60銭受取) 日本橋本小田原町六神 茂(印) 山田様	12月28日	切紙・1通	573
証(エキストラ煙草300本代金6円受取) 東京市京橋区 竹川町11番地肥前屋(印) 上殿	明治35年12月30日	切紙・1通	574
記(蜜柑6個代金6円30銭受取) 東京日本橋区四日市蜜 柑問屋丁子屋瀧次郎(印) 山田荘左衛門殿	明治35年12月26日	切紙・1通	575

記(6寸鍋ほか計2円36銭受取) 東京市日本橋区本銀町1丁目商号井坂屋河合半兵衛商店小売部(印) 上	明治35年12月20日	切紙・1通	576
記(木綿前掛ほか代金57円余領収書) 三井呉服店三番今井(印、「東京駿河町合名会社三井呉服店、品代金領収印」) 山田様	12月29日	ピン留一括・1通(2枚)	656
(受取書類一括) 括り紐一括			708
記(枕・髪剃ほか代金18円74銭受取) 林右衛門(印、「東京室町二丁目」) 山田様	3月28日	横切継紙・1通	708-1
証(西洋料理代75文受取) 呉服橋外八洲亭(印) 上様	6月11日	切紙・1通	708-2
証(実母散代金3円35銭受取) 東京市京橋区中橋大鋸町6番地実母散本舗喜谷市郎右衛門(印) 山田庄左衛門様	明治36年7月2日	切紙・1通	708-3
記(琴糸代金3円受取) 重本(印、「東京元大坂町・琴三味線師・重本岩治郎」) 山田様	月2日	切継紙・1通	708-4
記(雲母1瓶ほか代金3円20銭領収) 高田や茂七(印、「長野市大門町通・御菓子調進所・高田屋前島茂七」) 山田様 郵便物受領証を巻込	7月6日	横切継紙・1通	708-5
記(金製帯・銀製簪ほか代金24円80銭受取) 丸屋嘉助(印、「東京両国若松町廿二番地」) 山田様	6月30日	横切継紙・1通	708-6
記(白半衿ほか代金26円56銭受取) 衿口屋店(印、「東京葺屋町糸り善受取印」)	6月30日	横切継紙・1通	708-7
記(剃刀・鯉節剃り代金48銭書上) うふけや(印、「東京長谷川町・人形町通」) 上	6月30日	横切紙・1通	708-8
記(餅1反ほか代金計11円45銭受取) 久留米屋商店(印、「久留米商会」) 山田様	6月30日	切継紙・1通	708-9
記(硝子すたれ35枚代金1円65銭受取) 布利商店(印) 山田様	6月30日	切紙・1通	708-10
記(洋桃10本代金1円83銭3リ受取) 長野市大門町四丁目前島寛造 屋殿	明治36年6月24日	切紙・1通	708-11
領収証(金8円領収) 東京神田区駿河台南甲賀町19・20番地渡邊良齋會計掛(印、「種美堂治療所」) 山田庄左衛門殿	明治36年6月27日	切紙・1通	708-12
記(琥珀紋織傘代金4円30銭受取) 仙女香坂本商店(印、「東京市京橋区南伝馬町三丁目」) 山田様	明治36年6月29日	切紙・1通	708-13
(受取人信濃銀行支店の振出・支払書半券、9940円、4379円13銭)	(明治36)	切紙・2通	708-14
記(鼠羽重ねほか代金102円20銭受取) 三井呉服店三番越本(力)(印、「東京駿河町合名会社三井呉服店、品代金領収印」) 山田様 ピン留	月11日	横切紙・1通(2枚)	708-15
記(萌黄木綿ほか代金18円90銭受取) 三井呉服店三番越本(力) 山田様 ピン留	7月3日	横切紙・1通(2枚)	708-16
(領収書類一括) 包紙一括、1~22		包紙・	725
証(舶来ナイフほか代金1円88銭受取) 日本橋区小網町1丁目3番地字てりふり町なごや亀山久太郎(印) 上	明治37年8月27日	切紙・1通	725-1
記(料理ほか代金計6円42銭受取) 偕楽園(印) 上	10月1日	切紙・1通	725-2
記(ゴムブラシほか代金49円50銭受取) 大津屋卯三郎(印、「東京南伝馬町2丁目・各国物品売捌舗印」) 山田	10月9日	切紙・1通	725-3

様			
(布引晒10反ほか代金7円60銭受取) 東京市伊勢町野 本茂兵衛(印) 濱町山田様	明治37年9月30日	切紙・1通	725-4
記(すきぐし1枚ほか代金60銭受取) 美濃や(印) 山 田様	9月29日	切紙・1通	725-5
(布引晒10反ほか代金7円60銭書上) 東京市伊勢町野 本茂兵衛 濱町山田様 725-4の請求書力	明治37年9月28日	切紙・1通	725-6
証(小巾藤色リボンほか代金5円56銭受取) 東京市 京橋区南金六町一番地関口洋品店(印) 山田様	明治37年9月29日	切紙・1通	725-7
領収証(キュラソー4本代金9円20銭領収) 東京市京 橋区銀座2丁目直輸入商合名会社明治屋東京支店取扱人 新銀(印) 浜町山田様	明治37年9月8日	切紙・1通	725-8
証(20円89銭受取) 木原店中華亭(印) 上	10月6日	縦切紙・1通	725-9
記(極上等鯉節代金31円受取) 東京日本橋釘店1番地 大瀧善吉(印) 山田様会計係御中	8月28日	縦切紙・1通	725-10
証(花月ノほか代金6円88銭2リ領収) 東京日本橋区 芳町10番地佐竹組系店 山田様	明治37年10月4日	縦切紙・1通	725-11
証(御所桜10匁ほか代金30円受取) 東京市日本橋区 通2丁目21番地煙草調進処商号柳屋外池昌治郎(印) 山 田様	明治37年10月8日	縦切紙・1通	725-12
領収証(5円50銭領収) 東京神田区駿河台南甲賀町19・ 20番地渡邊良齋会計掛(印、「種美堂治療所」) 山田庄左 衛門殿	明治37年4月8日	縦切紙・1通	725-13
領収証(バター上ほか代金19円87銭領収) 東京市京 橋区銀座2丁目直輸入商合名会社明治屋東京支店(印)取 扱人(印、「鈴木」) 山田様 代金明細書を挟込	明治37年4月8日	縦切紙・1通	725-14
記(朱母曲リ1本代金4円受取) 仙女香坂本商店(印、 「東京市京橋区南伝馬町3丁目」) 上	明治37年4月8日	縦切紙・1通	725-15
記(品物代金計19円35銭受取) 久留米屋(印) 山田様	4月9日	切紙・1通	725-16
証(金5円40銭受取) 南新堀1丁目5番地醤油味噌問屋中 澤彦吉醤油店(印) 山田殿 貨物領収書(醤油樽入2個) を挟込	明治37年4月8日	切紙・1通	725-17
記(舶来アイロン代金1円50銭受取) 湯浅七左衛門 (印、「通油町すみや」) 上	明治37年4月6日	切紙・1通	725-18
記(白酒ほか代金13円40銭受取) 森本(印、「森本酒 店」) 山田様	4月6日	切紙・1通	725-19
記(竹箸ほか代金3円60銭受取) 堀津長右衛門(印) 山田様御中	4月11日	横切紙・1通	725-20
証(料理代金2円68銭受取) ときは(印、「常磐」) 上	明治(空白)年4月7日	切紙・1通	725-21
領収証(キヤンデー代金5円領収) 東京市京橋区銀座 2丁目直輸入商合名会社明治屋東京支店(印)取扱人(印、 高橋) 濱町山田様	明治37年3月21日	切紙・1通	725-22
(受取書等一括) こよりで一括			727
証(カステラ代金2円30銭領収) 本郷4丁目藤村忠次郎 (印) 上様 727-1-2~15を包込	(明治)34年3月20日	切紙・1通	727-1-1
記(水引・漉返し6本他代金11円5銭受取) 大橋清右衛 門(印、「本町四丁目廿三番地」) 山田様	(明治)34年6月27日	横切紙・1通	727-1-2

記(柏餅・カステラ他代金13円12銭受取) 越後屋(印) 山田様	6月30日	横切継紙・1通	727-1-3
(人名・金額書上)		切紙・1通	727-1-4
記(料理14名分他代金28円72銭領収) 水月(印) 山田様	6月24日	横切紙・1通	727-1-5
記(品物代金34円60銭受取) 伊勢屋平蔵(印) 山田様	6月30日	横切継紙・1通	727-1-6
記(赤毛氈5枚代8円受取) 越條商店(印) 山田様	6月14日	切紙・1通	727-1-7
証(中形ゴム球他代18円10銭受取) 東京市本郷区本郷5丁目10番地美満津商店体操部諸学校御用達伊東卓夫(印) 山田様	明治34年6月9日	豎切紙・1通	727-1-8
記(料理代酒共代3円90銭受取) 八百善(印、「浅草八百屋善四郎」) 上	6月18日	横切継紙・1通	727-1-9
記(400円受取) 伊勢清代藤吉(印) 山田様	6月30日	切継紙・1通	727-1-10
記(象眼入?ほか代金7円65銭受取) 川 屋栄太郎(印、「日本橋区両国若松町」) 上	6月27日	横切継紙・1通	727-1-11
荷積報告(木炭90俵) 内国通運株式会社取引店信州豊野駅山田分店(印) 届先東京日本橋区濱町3ノ1山田荘左衛門殿別宅	明治34年6月26日	切紙・1通	727-1-12
記(品物4反他代金9円5銭受取) 屋支店 山田様	6月29日	切紙・1通	727-1-13
記(帯揚代金7円18銭受取) 葺屋町三河屋兵助(印) 御用	6月28日	切継紙・1通	727-1-14
証(国華6冊代7円50銭領収) 東京市京橋区弥左衛門町10番地国華社(印) 山田荘左衛門殿	明治34年6月27日	切紙・1通	727-1-15
(包紙) 727-2-2~28を包む、書画展覧会案内を転用		豎切紙・1通	727-2-1
証(旧党報14冊代1円40銭領収) 立憲政友会会報局(印) 山田荘左衛門殿	明治33年12月日	切紙・1通	727-2-2
領収証(品物代54円85銭) 東京市京橋区銀座2丁目直輸入商宮内省御用達明治屋東京支店(印) 上様	明治34年3月28日	切紙・1通	727-2-3
領収証(モカコヒ一代14円5銭領収) 東京市京橋区銀座2丁目直輸入商宮内省御用達明治屋東京支店(印) 山田様	明治34年3月30日	切紙・1通	727-2-4
記(ベルモット1本他代金54円85銭請求書) 東京市京橋区銀座2丁目6番地直輸入商宮内省御用達明治屋東京支店 上	明治34年3月28日	切紙・1通	727-2-5
証(カツスル他葉巻代4円80銭受取) 東京市京橋区竹川町11番地肥前屋(印) 上殿 727-2-7と疊込一括	明治33年12月20日	切紙・1通	727-2-6
証(染付他葉巻代値引14円10銭受取) 東京市京橋区竹川町11番地肥前屋(印) 上殿	明治33年12月20日	切紙・1通	727-2-7
記(白水代12円受取) 森本(印、「川岸浦」) 山田様	4月1日	切紙・1通	727-2-8
記(蒲焼御膳御座敷代金1円93銭受取) 大黒屋平吉(印) 上	2月20日	豎切紙・1通	727-2-9
(袋、ノ2円19銭書上) 壺屋 日本濱町三、壺 山田荘左衛門様 727-2-11在中、727-2-12挟込		1袋	727-2-10
記(賄代金1円50銭書上) 賄方鶴鳴[] 山田荘左衛門殿 破損	明治34年3月23日	切紙・1通	727-2-11

(料理2人様・キリンビール・室代計6円10銭書上) THE IMPERIAL HOTEL, L'D. TOKIO, JAPAN		切紙・1通	727-2-12
証(ピラミッド他葉巻代11円40銭受取) 東京市京橋区竹川町11番地肥前屋(印) 上殿	明治34年3月30日	切紙・1通	727-2-13
証(小形丸代金41銭受取) 日本橋区てりふり町なごや久太郎(印) 上	明治34年4月2日	切紙・1通	727-2-14
記(停車場送り迎え他2円77銭書上) 車屋佐助 山田様	12月17日	横切紙・1通	727-2-15
記(陶器代金5円受取) 藤屋嘉助(印、「長野大門町藤屋陶器商舗」) 山田様	12月17日	切紙・1通	727-2-16
記(絹入毛メリヤス他代金46円25銭受取) 大城屋卯之助(印) 山田様	12月21日	横切紙・1通	727-2-17
証(1円85銭受取) 木原店中華亭(印) 上	4月1日	縦切紙・1通	727-2-18
領収証(唧筒他代金102円50銭) 東京市日本橋区蛸壳町3丁目2番地唧筒諸機械製作所市原求(印) 山田荘左衛門殿	明治34年2月17日	縦切紙・1通	727-2-19
領収証(キューブシュガー・マニラコヒー他代金4円5銭) 東京市京橋区銀座2丁目直輸入商宮内省御用達明治屋東京支店(印) 山田様	明治34年3月30日	切紙・1通	727-2-20
領収証(会費50円) 立憲政友会本部(印) 山田荘左衛門殿	明治34年3月26日	切紙・1通	727-2-21
証(小紋2反染他代金3円90銭受取) 京や辰吉(印、「日本橋」) 山田様	3月31日	切紙・1通	727-2-22
領収証(ウイスキーインペリアル代金2円25銭) 東京市京橋区銀座2丁目直輸入商宮内省御用達明治屋東京支店(印) 山田様	明治34年4月5日	切紙・1通	727-2-23
受取証(海苔10帖ブリキ入他代金1円61銭) 東京日本橋釘店山形屋御海苔調進司窪田惣八(印) 山田様	明治34年4月6日	横切紙・1通	727-2-24
記(利久地上々1丈ほか代金36円97銭5厘受取) 水島店代半七(印、「東京本町壱、増見屋」) 山田様上	3月30日	横切紙・1通	727-2-25
記(布地ほか代金35円36銭受取) 三井呉服店式番今井(印) 山田様	4月1日	横切紙・1通	727-2-26
記(鏡ほか代金38円35銭受取) 大津屋卯三郎(印、「東京南伝馬町貳丁目・各国物品売捌舗」) 山田様	6月21日	横切紙・1通	727-2-27
記(品物代金98銭受取) 東京市日本橋区通1丁目1番地標原直次郎(印) 上	明治34年4月2日	切紙・1通	727-2-28
「廿四年九月出京買物受取入」	(明治24)	1袋	748-1
記(料理・酒代金3円78銭受取) 濱丁常盤屋(印) 御客様	(明治)24年11月6日	切紙・1通	748-1-1
覚(引手ほか代金2円80銭受取) 堀津長右衛門(印) 山田様	11日	切紙・1通	748-1-2
記(品物代75円35銭受取) 井上薬局松岡勅太郎(印) 飯田平助様	10月6日	切紙・1通	748-1-3
証(中板2枚代1円受取) 神豊(印、「日本橋区室町壱丁目五番地」) 上	10月6日	切紙・1通	748-1-4
記(3幅代金121円受取) はやし(印、「林」) 麴池殿	(明治)24年10月6日	切紙・1通	748-1-5

記(菓子代1円10銭受取) 田月堂(印、「東京本石町十軒店」) 上	6日	切紙・1通	748-1-6
記(御干菓子代1円50銭受取) 梅花亭(印、「大伝馬三・東京御菓子所・森田清翁」) 山田様	10月6日	切紙・1通	748-1-7
記(京御召代ほか10円50銭受取) 伊勢啓 山田様	10月6日	切紙・1通	748-1-8
記(名栗材代・運賃 2円15銭受取) 木村屋木店(印、「日本橋区材木支店」) 山田荘左衛門殿	(明治24)年10月4日	切紙・1通	748-1-9
証(ワニ革書物入代金3円70銭受取) 京橋区南伝馬町一丁目十六番地鞆絵屋真吉(印) 上	10月4日	切紙・1通	748-1-10
記(手提鞆・白粉入代金3円90銭受取) 大津屋卯三郎(印、「東京南伝馬町式町目、各国物品売捌舗印」) 上	10月4日	横切紙・1通	748-1-11
記(極上薩摩大節代12円50銭受取) 高津伊兵衛、代光太郎(印、「瀬戸物町伊勢屋伊兵衛」) 山田様	10月1日	切紙・1通	748-1-12
仮証(品物代金5円30銭受取) 本多銀次郎(印、「朝倉屋」) 上	明治24年10月6日	切紙・1通	748-1-13
仮記(花色絹代6円受取) 本多(印) 上	10月2日	切紙・1通	748-1-14
記(篠田佐賢月々暮金4か月分28円借用) 篠田和介代兼篠田佐賢(印) 山田荘左衛門殿	(明治)24年9月29日	切紙・1通	748-1-15
記(品物代金11円13銭5厘受取) 三越得右衛門(印)、売場芳二郎 山田様 袖に越後屋の大角印	(明治)24年9月29日	横切紙・1通	748-1-16
覚(竹140本代1円40銭受取) 和泉屋(印、「京橋竹川岸炭町二番地和泉定」) 上	10月4日	切紙・1通	748-1-17
(領収証一括、東京関係)	(明治23年頃)	1袋	748-2
(受取類一括) 773-1~16はこより紐一括	(明治)		773
管外出寄留届、管外寄留届(雛形) 戸主氏名 原籍地 町村長何某殿、東京市日本橋区長仁杉英殿	明治35年3月何日	縦紙・1通	773-1
記(錦黒8丈・銘仙緋ほか代金74円余受取) 三井呉服店三番今井(印、「東京駿河町合名会社三井呉服店」) []様 773-3~16を挟込		切紙・2枚	773-2
記(4月分、綿帽子代金18銭受取) 日本橋区駿河町7番地合名会社三井呉服店二番売場(丙)代子松武一(印) []様 []三丁め一	明治35年4月27日	切紙・1通	773-3
記(白縮緬・桐箱ほか代金差引17円26銭受取) 日本橋区駿河町7番地合名会社三井呉服店三番売場今井代子松武一(印) []様	明治35年4月27日	切紙・1通	773-4
証(年賀広告料50銭領収) 東京市京橋区元数奇屋町3丁目5番地民聲新報社(印) 山田荘左衛門殿	明治(30年代)年月日	切紙・1通	773-5
証(政友会会報広告料1円領収) 芝区愛宕町式丁目14番地立憲政友会々報政友会事務所廣通社(印) 山田荘左衛門殿	明治35年5月1日	切紙・1通	773-6
請取証(場所代下2人分ほか代金2円72銭) 明治座附仙吉	明治(30年代)年月日	横切紙・1通	773-7
記(極上土佐帯代金3円4銭5厘受取) 高津伊兵衛(印) 山田様	2月11日	横切紙・1通	773-8
証(祝賀会会費4円受取) (印、「植田」) 山田荘左衛門殿	(明治)35年2月17日	切紙・1通	773-9

記(さしみ・往復人力車代ほか1円32銭受取) 下総成 田町海老屋甚兵衛(印) 上様	4月13日	切紙・1通	773-10
(ケーキ代1円余受取書) 両国若松町米津松造(印) 風月堂米津本店 773-11と12は畳込一括	3月5日	切紙・1通	773-11
証(品物代金計1円40銭領収) 東京市浅草区北元町5番 地医療器械舗号遠州屋石代十兵衛(印) 山田様	明治35年3月5日	切紙・1通	773-12
記(コース3斤代金1円50銭領収) よし町今清(印) 上 様 773-13と14は畳込一括	2月9日	切紙・1通	773-13
小包請取証(山田荘左衛門宛) (印、「東京蠣売町郵便 請取所」) 差出人浜町3-1山田別宅	2月9日	切紙・1通	773-14
証(葉巻・紙巻代金計7円65銭受取) 東京市京橋区竹 川町11番地肥前屋(印) 上殿	明治35年2月16日	切紙・1通	773-15
記(焼物ほか食事代3円68銭受取) 明神下神田川 (受取類一括) 紙帯・紐一括	2月8日 明治18年	豎切紙・1通 136通	773-16 774
記(美濃紙・屏風仕立直しほか代金6円79銭受取) 山 下兼吉(印) 上	12月15日	切紙・1通	774-1
記(手燭1本ほか代金1円86銭4厘受取) 名古屋長十郎 (印) 上	12月17日	切紙・1通	774-2
記(金50円借用証文) 大工清太郎(印) 山田御店様	12月16日	切紙・1通	774-3
記(鍋・大根おろしほか浅草市買物代金1円80銭4厘書 上)	12月17日	切紙・1通	774-4
記(石工・大工手伝代金1円55銭受取) 新門金太郎 (印) 山田様	12月14日	切紙・1通	774-5
記(桜台鏡ほか代金3円15銭受取) 三河屋久兵衛(印、 「東京浅草駒形町」) 山田様	12月15日	切紙・1通	774-6
記(紡績紬白茶格子代金3円5銭受取) 上総屋吉兵衛 山田様	12月17日	切紙・1通	774-7
(広告・家具指物) 東京日本橋新右衛門町太田萬吉 「池のはた仲町神戸や受取書」		切紙・1通 1包	774-8 774-9
記(薩摩五徳・小刀ほか代金1円22銭5厘受取) 神戸 や宇右衛門(印) 上	11月12日	横切紙・1通	774-9-1
記(鍍料理鉤附鍋・ふた付1枚ほか1円23銭受取) 神 戸や宇右衛門(印) 上	11月13日	横切紙・1通	774-9-2
記(真鍮錠前・ねじ回しほか代金80銭5厘受取) 神戸 や宇右衛門(印) 山田様	12月12日	横切紙・1通	774-9-3
記(紙裁包刀小形1枚代金28銭) 神戸や宇右衛門(印) 山田様	11月26日	横切紙・1通	774-9-4
記(銅たらい・御膳蒸2人前ほか代金3円60銭5厘受取) 神戸屋宇右衛門(印) 山田様	11月30日	横切紙・1通	774-9-5
記(熊手・鍍物網ほか代金16銭6厘受取) 神戸や宇右 衛門(印) 山田様	12月6日	横切紙・1通	774-9-6
証(印章代65銭領掌) 東京本郷区湯島切通坂町畑河雄 (印) 山田様	11月30日	切紙・1通	774-10
記(押入襖代ほか代5円20銭受取) 川本金十郎(印、	12月14日	切紙・1通	774-11

「浅草西仲町」上			
記(平碁盤・炬燵檯ほか代2円58銭受取) 菊池(印) 山田御氏様	12月14日	切紙・1通	774-12
証(柁大形・桧トギ出シほか代金1円68銭8厘) 菊池上	12月6日	切継紙・1通	774-13
記(楳外輪尺5寸ほか代金1円73銭受取) 桶喜(印、「中橋大鋸町」上	12月10日	切継紙・1通	774-14
記(材木大工代金30円借用証) 大工清太郎(印) 山田御店様	11月30日	切紙・1通	774-15
人力車総テ上等仕立積書(金35円) 神田松永町16番地宮川庄吉(印、「人力職神田和泉橋松永町」) 大久保真作様 774-16と17は重ねて折畳	(明治)18年12月3日	豎紙・1通	774-16
証(人力車手付金5円受取、残金出来上がりと引替) 神田区松永町16番地宮川庄吉(印) 山田様	明治18年12月7日	切紙・1通	774-17
証(古谷石・額ほか代金21円受取) 須原鉄二(印、「仁誌雅史・須原畏三」) 山田様	(明治18)酉12月7日	切紙・1通	774-18
証(下駄代金4円68銭8厘受取) 菊池(印、「浅草馬道五丁目」) 上	12月6日	切紙・1通	774-19
記(金12銭受取) ほきや(印、「浅草南馬道・御篝細工所・城花屋宇兵衛」)	11月24日	豎紙・1通	774-20
(牛乳卸小売11月分5合代金24銭確収) (印、「所有地東京浅草日本堤八拾三番所有地・島」) 山田様	11月	切紙・1通	774-21
請取証(布袋置物代金8円50銭) 鎌田彦兵衛(印) 山田様 布袋屋開店時大黒柱残りで作成 恵比寿や嶋田八右衛門・布袋や嶋田八左衛門 の切紙を挟込	12月11日	切紙・1通	774-22
仮書(たたき分尺6寸6枚・のミ切尺6寸6枚ほか代金10円82銭受取) 浅草阿部川町113番地福山半蔵(印) 上	酉12月11日	横切継紙・1通	774-23
記(上等巻留付ほか代金差引4円65銭受取) 銀座4丁目京や支店(印) 山田様	(明治)18年12月7日	横切継紙・1通	774-24
記(天然真綿代金2円10銭受取) 京屋亀尾(印、「金銀請取・亀尾」) 上	12月8日	切継紙・1通	774-25
記(明橋包帖代金26銭受取) はりま屋(印、「浅草三間町・播磨屋」) 上	11月28日	切紙・1通	774-26
記(カキ灰・カラス板ほか代金51銭5厘)		切継紙・1通	774-27
記(香炉ほか代金2円50銭受取) 水戸屋幸助(印) 山田様	11月30日	切紙・1通	774-28
(こたつ・袖口・足袋ほか書上)		切紙・1通	774-29
記(黒煙草置象牙ふた代金2円受取) 水戸屋幸助(印) 山田様	12月10日	切紙・1通	774-30
証(茶箸・灰吹代金23銭受取) (印、「浅草御蔵前南元町・万竹細工所・近江屋伊兵衛」)	12月10日	豎切紙・1通	774-31
記(三寸深奴1本ほか代金1円68銭受取) 浅草馬道町5丁目9番地菊池 山田御氏様	11月30日	切紙・1通	774-32
記(溜塗めし次1ツほか代金3円15銭受取) 水戸屋幸助(印、「道具水戸孝」) 山田様	12月10日	切紙・1通	774-33

記(布目三重組重箱ほか代金3円50銭受取) 水戸屋 幸助(印) 山田様	12月7日	切継紙・1通	774-34
記(自由量1個代金15銭受取) 渡辺儀助(印、「権衡・上 野元黒門町・売捌所」) 上	(明治)18年12月12日	横切紙・1通	774-35
記(建具代金の内5円借用) 建具師平井芳太郎代大工 清二郎(印) 山田御店様	11月28日	切継紙・1通	774-36
記(桑八百膳形灰吹立1個代金25銭受取) 太田万吉 (印、「東京日本橋新右衛門町四番地」) 上	12月10日	切紙・1通	774-37
(金16銭書上) 駒形町三十三ばん地相 屋清吉		縦紙・1通	774-38
証(品物代金35銭受取) 菊池(印、「浅草馬道五丁目」) 上	12月13日	切紙・1通	774-39
記(法被・桐生紡績ほか代金5円34銭8厘受取) 上総 屋吉兵衛(印、「呉服古着・東京元数寄屋町二丁目・正札附 引なし」) 山田様 774-41を挟込	12月7日	横切継紙・1通	774-40
請取証(小袖20揃代金9円93銭) 上総屋吉兵衛(印) 山田様	12月7日	横切継紙・1通	774-41
記(十能ほか代金2円25銭受取) 坂屋長右衛門(印) 上	12月10日	切紙・1通	774-42
御受取証(珠子1個代金3円) 菊池(印) 山田御氏様	12月11日	切継紙・1通	774-43
記(燭台代金2円30銭受取) 矢ノ倉町1番地山幸(印) 上		縦切紙・1通	774-44
記(灰吹2本・紫檀蓋3枚代金17銭5厘書上) 近江屋伊 兵衛(印、「浅草御蔵前南元町・万竹細工所」) 上	12月13日	縦紙・1通	774-45
記(刺身・井物12人前ほか代金5円受取) 一直(印) 山田様	12月14日改	横切紙・1通	774-46
記(小敷物1枚代金60銭受取) 菊池(印) 山田御氏様	12月13日	切紙・1通	774-47
記(尺2寸5分・車力代ほか8円40銭受取) 福山半蔵 (印、「浅草」) 上	西12月13日	横切紙・1通	774-48
記(三寸角重代金10銭受取) 今利屋伊兵衛(印、「浅草 駒形瀬戸物店」) 上	11月18日	切紙・1通	774-49
覚(桜ランプ台代金50銭受取) 下総や武兵衛(印) 上	[]月18日	切紙・1通	774-50
記(上等小形代金3円20銭受取) 銀座4丁目京屋支店 (印、「京伊和支店」) 山田様	(明治)18年11月18日	切紙・1通	774-51
記(煙管目方14匁2分代金3円40銭受取) 伊豆屋卯之 吉(印、「東京元大坂町若松卯之吉」) 山田様	(明治)18年11月19日	切紙・1通	774-52
記(金150円割引貸ほか代金45銭領収) 第六十三国立 銀行東京支店(印) 山田荘左衛門様	明治18年11月6日	切紙・1通	774-53
記(焼印3個代金60銭受取) 小杉又造(印、「御金印・浅 草茅町一丁目・萬金物細工・桑玉齋亦造」) 宝善堂様	12月10日	切紙・1通	774-54
記(品物2貫目ほか代金3円4銭受取) 東京銀座3丁目 10番地なんでも交換弁理売買所岩谷松平(印) 山田様	明治18年11月21日	切紙・1通	774-55
記(菓子井・染付皿ほか代金3円50銭受取) 水戸屋幸 助(印) 山田様	11月20日	切継紙・1通	774-56
記(1升徳利ほか代金1円66銭5厘受取) 今利屋伊兵衛 (印) 上	11月21日	横切紙・1通	774-57

記(煙草入・菓子ほか代金3円30銭書上)		切紙・1通	774-58
記(源氏方手あぶり1本ほか代金3円受取) 花川戸川 越屋惣助(印、「浅草花川戸」) 山田様	11月21日	横切継紙・1通	774-59
記(エブミフトウ2本ほか代金1円66銭書上) 大光本 店 山田様	12月13日	切継紙・1通	774-60
記(郡内懐巻ほか代金6円12銭受取) (印、「呉服古着・ 東京元数寄屋町2丁目・上総屋吉兵衛」)代茂三郎 山田 様	11月18日	横切継紙・1通	774-61
覚(三寸杉丈角ほか代金55銭受取) 竹長(印) 上	11月24日	切継紙・1通	774-62
記(万年竹箸1膳・灰吹2本蓋付代金42銭受取) 近江 屋伊兵衛(印) 上	11月23日	豎紙・1通	774-63
記(金20円借用) 大工清太郎(印) 奥山御店様	11月16日	切紙・1通	774-64
記(槻門戸付代金1円40銭受取) 森田や金兵衛(印、「豊 島町壱丁目」) 上	11月15日	切継紙・1通	774-65
証(さしみ・塩焼ほか代金68銭5厘受取) 浅草公園地 花屋敷一直(印) 御客様	11月15日	切紙・1通	774-66
記(炬燵檣代金1円書上) 遠州屋平次郎(印、「小傳馬町 壱丁目」) 上	11月15日	切継紙・1通	774-67
記(代金1円57銭9厘受取) 叶屋源助(印、「浅草」) 上	11月13日	切紙・1通	774-68
覚(杉丸太・釘ほか代金5円50銭受取) 竹長(印、「浅草 材木町」) 材木や岩こし様	11月17日	横切継紙・1通	774-69
証(茶そば12人前・土産ほか代金1円44銭受取) 浅草 公園地人丸際萬盛庵(印) 御客様	12月13日	切紙・1通	774-70
証(真中丸形火鉢1個代金1円50銭受取) 花川戸丁青 山(印、「青山亀蔵」) 山田様	11月14日	切紙・1通	774-71
誌(宿泊・食事代金計3円69銭受取) 小松屋新兵衛 (印、「東京浅草駒形町」) 山田様	11月16日	横切継紙・1通	774-72
記(代金3円60銭受取) 東京銀座3丁目10番地なんでも 交換弁理売買所岩谷松平(印) 山田様	明治18年11月12日	切紙・1通	774-73
記(9丈京目9寸6枚ほか代金1円56銭4厘受取) 近江 屋藤右衛門(印、「日本橋」) 上	11月11日	切継紙・1通	774-74
記(木綿夜具ほか代金7円2銭受取) (印、「上総屋吉兵 衛」)代茂三郎 山田様	11月11日	横切継紙・1通	774-75
記(代金3円60銭受取) 東京銀座3丁目10番地なんでも 交換弁理売買所岩谷松平(印) 上山田様	明治18年11月11日	切紙・1通	774-76
証(茶そば4人前代金48銭受取) 浅草公園地人丸際萬 盛庵(印) 御客様	11月29日	切紙・1通	774-77
記(大極上々柳島縁8畳ほか代金8円14銭受取) 西川 甚四郎(印、「日本橋通四丁目」) 山田様	(明治)18年11月11日	横切紙・1通	774-78
記(桜ランプ台代金45銭受取) 下総屋(印、「下武」) 上	11月11日	切紙・1通	774-79
記(ランプ1ツホヤ2本・ボラカケ2ツ代金1円40銭受 取) 松喜屋九兵衛(印、「銀座壱丁目」) 上	11月11日	切紙・1通	774-80
(すし代金38銭書上) 浅草弁天内をかだ		小切紙・1通	774-81
覚(軽子代ほか代金2円40銭余受取) 森田屋久兵衛	11月9日	切紙・1通	774-82

(印、「豊島町耆丁目」) 上			
証(火鉢紫檀台付ほか代金5円50銭受取) 花川戸丁青山亀蔵(印) 山田様	11月10日	切紙・1通	774-83
証(さしみ・飯ほか代金25銭受取) 浅草公園地花屋敷一直(印) 御客様	11月9日	切紙・1通	774-84
記(材木大工手間代金10円借用) 大工清太郎(印) 上	11月10日	切紙・1通	774-85
記(棋盤・石揚器付代金5円50銭受取) 菊池 上	11月10日	切紙・1通	774-86
証(2尺3寸火鉢ほか代金4円50銭受取) 中橋和泉町3番地林清次郎(印) 上	酉11月6日	切紙・1通	774-87
記(風呂五徳ほか代金6円37銭5厘受取) 水戸屋幸助(印) 山田様	11月6日	切紙・1通	774-88
記(大形分代金13銭5厘受取) 竹屋清蔵(印) 上	第11月6日	切紙・1通	774-89
記(上等1張ほか代金55銭受取) 諏訪町甘番地田中義一(印、「東京浅草」) 山田様 後半部におきさ宛25銭領収あり	11月23日	横切紙・1通	774-90
記(品物代金計62銭6厘受取) 東京日本橋区通四町目七番地堀津長右衛門(印) 上	11月6日	切紙・1通	774-91
覚(かなめ・ちゃぼしばほか代金5両37銭受取) 岩次郎(印) 上		横切紙・1通	774-92
覚(建仁寺・大津・いせほか品物代金87銭受取) 竹屋長三郎(印、「浅草材木町」) 上	(明治)18年12月11日	横切紙・1通	774-93
記(品物代金17円受取) 長しまや傳一郎(印、「東京小伝馬町耆丁目」) 山田様	11月6日	切紙・1通	774-94
記(朱檀花台1個代金1円受取) 下総や武兵衛(印、「銀座四町目指物店下武」) 上	12月7日	切紙・1通	774-95
覚(布袋・上等植木ほか代金46銭8厘受取) 上総や七左衛門(印、「浅草・瀬戸物」) 山田様	第11月27日	切紙・1通	774-96
記(檜木地代金差引50銭受取) 遠州屋平次郎(印、「小伝馬町耆丁目」) 上	11月30日	切紙・1通	774-97
(三州上上等1円50銭ほか書上)		切紙・1通	774-98
記(つけな代42銭受取) 中松(印、「東京根岸入口中屋」) 上	12月5日	切紙・1通	774-99
記(台付鏡・午付鏡代金3円15銭受取) 三河屋久兵衛(印) 山田様	12月20日	切紙・1通	774-100
記(会席膳(力)代金6円受取) 高森 嵩代村田伊平(印) 山田老君	12月1日	切紙・1通	774-101
記(筆筒ほか代金内金差引12円70銭受取) 長しまや傳郎(印、「東京小伝馬町耆丁目長嶋屋」) 山田様上	12月3日	横切紙・1通	774-102
記(厚地獅子毛織毛布代金2円受取) 中島屋熊次郎(印、「東京日本橋区通耆丁目」) 上	11月26日	切紙・1通	774-103
記(まき6本入30束ほか代金3円70銭1厘受取) 叶屋源助(印、「浅草駒形町」) 公園地山田様	(明治)18年12月12日	切紙・1通	774-104
記(柳ノ露ほか代金51銭2厘受取) 萬屋万蔵(印、「東京浅草御門跡前」) 上	11月25日	切紙・1通	774-105
覚(手間9人半分3両32銭5厘受取) 巖次郎(印) 上		横切紙・1通	774-106

記(食塩1本代金17銭受取) 丸善(印)、東京通三丁目丸 ゼン [](上カ)	11月26日	切紙・1通	774-107
記(地代、直上ケ、骨折分ほか代金内金差引5円85銭書 上)		切紙・1通	774-108
記(蝋燭100丁代金78銭受取) (印、「東京日本橋万町・ 蝋燭問屋・[]右衛門」) 上	11月26日	切紙・1通	774-109
記(染付小井、德利代金8円75銭受取) 水戸屋幸助 (印) 山田様	11月26日	切紙・1通	774-110
記(桐梓2本代金2円20銭受取) 大鋸町水戸屋幸助判 山田様	12月3日	切紙・1通	774-111
記(唐草1升德利1本ほか代金49銭受取) 今利屋伊兵 衛(印、「浅草駒形瀬戸物店」) 山田様	[]月24日	切紙・1通	774-112
記(葡萄酒上1本ほか代金73銭受取) 萬金商店(印、 「東京通四丁目四番地・萬金商店」) 上様江	11月26日	切紙・1通	774-113
覚(上古白米4斗代金3円74銭受取) 丸屋清七(印、「浅 草馬道五丁目」) 上	12月1日	切紙・1通	774-114
記(桜炭・割薪代金31銭受取) 浅草馬道町五丁目式番 地笹源佐兵衛 上様	12月1日	横切紙・1通	774-115
記(桑経机ほか代金1円90銭受取) 浅草公園地津田 (印) 山田様	明治18年11月29日	縦切紙・1通	774-116
覚(東唐500匁代金23銭受取) 浅草随臣門外川越屋清 吉(印、「浅草馬道町」) 上	11月27日	縦切紙・1通	774-117
(27銭5厘受取) 伊勢町中惣 上	11月30日	縦切紙・1通	774-118
記(9丈利休ほか代金1円4銭8厘受取) 東京通式丁目 近江屋藤右衛門(印) 山田様	明治18年11月26日	横切紙・1通	774-119
記(万上白味噌1升代金38銭受取) 大光本店(印、「浅 草馬道町」) 山田様	11月27日	切紙・1通	774-120
記(糶3枚代金18銭受取) 花川戸十六番地稲荷や(印)、 戸田長助 上	11月27日	切紙・1通	774-121
記(蘇鉄代金1円受取) 高藤徳兵衛(印) 上	11月26日	切紙・1通	774-122
証(煙草3斤代金2円55銭受取) 日本橋区通三丁目七番 地柏屋小柳彦八(印) 上	明治18年12月10日	切紙・1通	774-123
証(急須・煎茶・盆代金25銭受取) 齊藤陸市(印) [] [] 27日		切紙・1通	774-124
(大工手間薦1人代金受取書) 新門金太郎(印) 上 破損		縦切紙・1通	774-125
記(半紙20丈代金10銭受取) (印、「紙問屋壱番組・東京 よし町・内田金六」) 上	[]10日	切紙・1通	774-126
記(代金受取) 小川屋 郎(印、「東京浅草諏訪町・呉服太 物類(力)・小川屋友八」) 山田様	[]4日	切紙・1通	774-127
証(草履5足代金60銭受取) 菊池(印、「浅草馬道五丁 目」) 上	12月8日	切紙・1通	774-128
記(赤切子コップ、瑠璃色コップほか代金2円17銭受 取) 松喜屋九兵衛(印、東京銀座1丁目) []	[]6日	切紙・1通	774-129
記(返地借地願3通半価代金、郵便切手計18銭5厘受 取) 津田 []	[]	切紙・1通	774-130

込入勘定

「込入り勘定端紙入、辛未十二月ヨリ明治八年亥二月二日迄」	(明治4年12月～明治8年2月2日)	1袋	1058
記(新蔵無尽勘定書) 世話人 山田様	(明治8) 亥1月18日	横切継紙・1通	1058-1
亥二月二日理右衛門勘定(米代差引勘定書)	(明治8) 亥2月2日	小切紙・1通	1058-2
亥一月調五郎左衛門勘定(小作料・米代・貸金等差引勘定書)	(明治8)	切紙・1通	1058-3
記(山田・亀屋・質屋・関屋・下酒屋より金73円余受取) 世話人 御本宅様	1月29日	切紙・1通	1058-4
(逸作分初代銭・利金・小作料差引勘定書)		切紙・1通	1058-5
記(亀の代、雪龍代金1円500文書上) 綿屋溜店 江部村 山田御本宅様	(明治8) 亥1月30日	切紙・1通	1058-6
記(真木320駄余代金33円余等書付)		小切紙・1通	1058-7
(久米蔵・酒くら金11円余と蕎麦代差引勘定書)		小切紙・1通	1058-8
(久米蔵分蕎麦代、永井村より駄賃書付)		小切紙・1通	1058-9
記(学校勘定)	(明治8) 亥1月30日相済	切継紙・1通	1058-10
(西組源左衛門地代残金20円、文八等利足金4円余書付)		小切紙・1通	1058-11
(新野村分小作料勘定書) 第十九大区会所罫紙を利用		薄青罫紙・1通	1058-12
記(営繕会所関係諸費用勘定書) 小林 山田様	12月30日	横切継紙・1通	1058-13
(預り金20円5銭および金銭出入書上、元利金等)		折紙・1通	1058-14
記(預り金41円65銭および金銭出入書上、絹糸代・古ねだ代・貸金ほか)		折紙・1通	1058-15
(預り金52円25銭および金銭出入書上)		折紙・1通	1058-16
(金174円余から郵便税・利足・小遣等差引勘定書)		切紙・1通	1058-17
記(新川入費割から学校勘定・算盤代・テーブル代差引勘定、文六差引)	(明治7) 甲戌8月15日	切紙・1通	1058-18
記(本家・理兵衛・隈太郎・善如分学校寄付金利足半割金額書上)		切紙・1通	1058-19
(預り金30円15銭および金銭出入書上) 金子勘定の書付1枚置込		切紙・1通	1058-20
文六勘定(差引勘定書) 可取分に畑地代・学校関係立替代等、可渡分に地代・太々講割戻等		切継紙・1通	1058-21
(船賃・茶代ほか金子出入書付)		横切継紙・1通	1058-22
(いつ新への500両貸渡し方書付)		切紙・1通	1058-23
記(塩(カ)10駄代金・利足等差引勘定書) 菊屋	戌3月15日	切紙・1通	1058-24
記(酒蔵差引勘定書) 山形屋酒店 御本宅様	(明治7) 3月1日	切継紙・1通	1058-25
記(理兵衛長野行諸費用覚) 1058-25の中に置込	(明治7) 甲戌3月25日	切継紙・1通	1058-26
記(関沢村新蔵無尽金受取) 世話人 御本宅様	戌2月21日	切継紙・1通	1058-27

記(三納并印税等と諸雑用差引勘定書)		切紙・1通	1058-28
(文六差引勘定書)		2通貼合せ・	1058-29
理右衛門差引(郷宿払、時貸、小作料ほか)		横切継紙・1通	1058-30
(新井武右衛門・岩船幸吉・ひし屋との差引勘定書)		切紙・1通	1058-31
覚(玄米代等9両2分余送状)		折紙・1通	1058-32
(預り金75両より時貸・給金等差引勘定書)		切紙・1通	1058-33
(文六勘定書、村方貸金より無尽・上田行入費等差引)		2通貼合せ・	1058-34
(長野行諸費用書上)		折紙・1通	1058-35
記(元利金32円58銭返済) 中野休七郎 山田庄左衛門様、 御苗五郎左衛門様	第12月30日	折紙・1通	1058-36
記(屋根代・扶持金勘定書)		切紙・1通	1058-37
(久印、了然ほか8名出金額書上、ノ598両2分477文)		切紙・1通	1058-38
(長助ほか10名俵数書上、ノ98俵6合)		切継紙・1通	1058-39
(金子出入書上、西ノ内・無尽花・手間代ほか)		切紙・1通	1058-40
(金子出入書上、上納夫銭・小遣・米代ほか)		切継紙・1通	1058-41
(書状、金子20両父上様へ拝借願) たい おなほ様	12月13日夜	折紙・1通	1058-42
覚(金札20両受取) 泉龍寺内周方 1058-42に挟込	12月14日	切紙・1通	1058-43
(富山太田屋久兵衛より仕入れ菓草代銀勘定書)		折紙・1通	1058-44
記(丹波島より戸倉まで人力車代ほか諸入用書上)		切紙・1通	1058-45
記(山田、質屋、亀屋、久蔵分ノ金3両3分書上、無尽関係)		2通貼合せ・	1058-46
(木綿買入金・貸金差引勘定書)		小切紙・1通	1058-47
(課賦金より書籍代・教師給金等差引勘定書)		切紙・1通	1058-48
(預り金35両2分等より切類品代・屋根屋手間板代等差引勘定書)		切紙・1通	1058-49
(戸倉・上田方面での路用書上)		折紙・1通	1058-50
(安源寺要左衛門元利勘定書)	(明治6)	切紙・1通	1058-51
記(飛脚賃・舟賃・小遣・印紙代等と西江部直蔵より預り金差引勘定書)		横切紙・1通	1058-52
(明治6年分酒蔵勘定書) 糊封を剥がした	(明治6)	横切継紙・1通	1058-53
間山小林氏勘定(営繕日給、倉持様家来出立振舞入用ほか)		切紙・1通	1058-54
「癸酉九月廿八日新のへ出張、小作方不納取調書類一式」	(明治6)	1束	1058-55
中山差引		横切継紙・1通	1058-55-1
(18名分不納・滞金等書上)		横切継紙・1通	1058-55-2
(金子出入書上、壬申五分引が多数あり)		横切継紙・1通	1058-55-3
役元取替覚(水防夫銭、地券検査、郷社祭典料ほか)	(明治6) 癸酉9月21日受取済	折紙・1通	1058-56

(癸酉春会分新蔵無尽掛け金書上)	(明治6)	切紙・1通	1058-57
記(薩摩緋・茶代等差引勘定書)	(明治6)酉6月27日取済	切紙・1通	1058-58
記(玄米28俵・粳87俵1斗5升受取) 綿屋 山田様	(明治5)申11月28日	切紙・1通	1058-59
(茶代・年玉・石油等代金書上、ほかに二十八両宅ニアリ、七十五両箱ニアリ等とあり)		横切紙・1通	1058-60
(有金28両・綿内小作料25両から種穀・数の子代・年玉等差引勘定書) 1058-60に挟込		切紙・1通	1058-61
ツ印差引坂口屋ト其外仮覚		横切紙・1通	1058-62
(大徳寺・おみち小作入書上)		切紙・1通	1058-63
西ノ勘定(貸金元利差引勘定書)		横切紙・1通	1058-64
(太右衛門分金子勘定書)		小切紙・1通	1058-65
(人名書上)		切紙・1通	1058-66
(金子出入書上)		切紙・1通	1058-67
(時貸・古貸等書上) 1058-67に挟込、全面墨消		横切紙・1通	1058-68
(源之助・六兵衛分金子勘定書)		切紙・1通	1058-69
記(敷(力)金45両より差引金送書) 玉木世話人笹岡藤平 東江部邨山田庄左衛門様	酉1月21日	横切紙・1通	1058-70
記(松三郎へ渡す分150両ほか差引勘定書)		切紙・1通	1058-71
癸酉一月廿二日理右衛門差引(小作料・取替手間代・無尽懸金等) 白米6俵改革見舞として遣ス	(明治6)	切紙・1通	1058-72
新蔵むしん(本宅ほか5家分ノ金44両余書上、内29両余を忠造へ渡す)	(明治6)	切紙・1通	1058-73
記(吉田村・新井村・中野町・柳屋長右衛門・篠井村分ノ金56両余書上) 端書「五拾五両預り」		切紙・1通	1058-74
記(差引勘定願、玄米代等ノ9両2分2朱書上) 山田庄左衛門 安田村御役人中様	(明治6)癸酉1月19日	横切紙・1通	1058-75
記(申三納・諸掛より米代9両2分2朱差引) 安田村戸長 小野澤栄作 江部村山田庄左衛門殿	(明治6)酉1月19日	切紙・1通	1058-76
(吉村・安田・中村分ノ金83両余書上、金100両渡し、残16両余)		切紙・1通	1058-77
記(時借85両より粳・玄米代差引勘定書)	(明治5)壬申11月8日	切紙・1通	1058-78
文六差引		切紙・1通	1058-79
覚(金10両此者にお渡し願) みか 山田様御本宅	12月29日	縦紙・1通	1058-80
(書状・組合よりの取立金にて恩借金70両差引き入帳願) (篠田)修輔 山田様、玉案下	大晦日	横切紙・1通	1058-81
(申6月迄利足金9両3分余を会宿へ持参願) 玉木世話人 東江部山田様		切紙・1通	1058-82
(三分金6両3分1朱余を小布施鈴木屋へ持参して集会願) 玉木世話人 東江部山田様		切紙・1通	1058-83
手間代記	(明治5)壬申7月16日渡済	横切紙・1通	1058-84

久平勘定	(明治5) 壬申7月15日取 済	切紙・1通	1058-85
記(片塩桶屋払、縄・草鞋・炭代等差引勘定書)	7月15日相済	横切紙・1通	1058-86
記(諸村からの縄・ねこ・ほや代等および手間賃と小作 不納金・米代の差引勘定書)	(明治5) 申7月14日夕	横切紙・1通	1058-87
政之丞勘定(本・久分の貸付金元利より壬申7月入分の 差引勘定)		切紙・1通	1058-88
新保改右衛門勘定(間山材木駄賃・木挽手間賃よりほや 山代差引勘定)		切紙・1通	1058-89
要左衛門差引(貸金元利・会計時借より見舞金差引勘定 書)	(明治4) 辛未12月22日	横切紙・1通	1058-90
実次郎分(金子差引勘定、35両質地代渡し) 貼紙とも		切紙・1通	1058-91
(新保貸金・同村水場決算より夫錢差引勘定書)		切紙・1通	1058-92
(質屋・亀屋・みか貸金元利より20両時借を差引勘定書)		切紙・1通	1058-93
覚(立枯につき小作金21兩余・粃7俵4斗5升勘弁願) 新 保村惣左衛門 山田庄左衛門様	(明治4) 未12月晦日	切紙・1通	1058-94
記(庄左衛門・理兵衛分ノ金29兩余より辰年拝借金元利 30兩差引勘定) 新保村名主七次郎 東江部村山田庄左 衛門様	(明治4) 辛未12月晦日	横切紙・1通	1058-95
記(質地渡す約定で内金123両受取) 山田熊太郎 浦野 長左衛門殿 全面に抹消あり	(明治4) 辛未12月29日	横切紙・1通	1058-96
藤右衛門(ツ印利足等より久蔵為替・古貸差引勘定)	大晦日渡済	切紙・1通	1058-97
弥右衛門勘定		切紙・1通	1058-98
(本宅・亀屋分蓬菜・三とめ・小袖錦等代金受取書) 湯 本治兵衛 山田様	(明治4) 未極月晦日	横切紙・1通	1058-99
ひしや勘定		切紙・1通	1058-100
おみち勘定(差引勘定、亀屋預り金之内より本宅江入 済) カよりおみち渡し、ひしや払金の書付を挟込		切紙・1通	1058-101
ツ印勘定(本宅等との差引勘定)	(明治4) 壬申正月2日質 屋へ渡入	切紙・1通	1058-102
西差引(一寸貸55両より杉正板代等差引勘定)		切紙・1通	1058-103
(楢板種類・代金書上)		切紙・1通	1058-104
記(小倉女帯・紫緋等代金差上入記願) きくや	(明治5) 申正月6日	切紙・1通	1058-105
記(金子出入書上)		横切紙・1通	1058-106
新の実助差引	(明治5) 壬申4月26日渡 済	横切紙・1通	1058-107
壬申四月三日小沼平八(時計直し・堺久酒代・法状仕立・ 鯉節代差引勘定の受取書) 小沼平八 東江部村山田 様	(明治5)	横切紙・1通	1058-108
記(寄金等より糶出金差引残金82兩1分3朱上納書) 発 記要作無尽会社 山田様	(明治5) 申3月10日	縦紙・1通	1058-109
(西差引、新野清蔵無尽掛り、の差引勘定書)	(明治5) 壬申7月11日勘 定相済	横切紙・1通	1058-110

(よし束数書上)	(明治2~3)	切紙・1通	1058-111
(米穀摺賃・手問賃勘定書) 内新蔵	(明治5) 申正月8日	切紙・1通	1058-112
記(本宅・鶴屋・亀屋・水防組合関係諸費用勘定書) 覚 書2通貼付		折紙・1通	1058-113
(明治3年拝借の元金1724両余の返済勘定書)		切紙・1通	1058-114
(書状、町田氏へ差送金300両受取) 山岸精一郎 山田庄 左衛門様 1058-114に挟込	極月23日	横切紙・1通	1058-115
辛未十二月廿三日調、普請大徳寺差引	(明治6)	切紙・1通	1058-116
(諸村宛出金額書上)	(明治3~4)	折紙・1通	1058-117
第十五番元帳ノ間二有之候端紙書類		・1包	1058-118
覚(御仕法金107両余受取) 中野村郡中市右衛門 山 田庄左衛門殿	文久3亥年12月2日	縦紙・1通	1058-118-1
桑山圭助殿預り金(元金1000両の元利・返済勘定)		切紙・1通	1058-118-2
覚(差引金217両余の受取) 西江部村市左衛門 東江部 村山田庄左衛門殿	文久2戌年12月22日	横切紙・1通	1058-118-3
亥七月綿屋勘定		切紙・1通	1058-118-4
戌十二月綿屋勘定		切紙・1通	1058-118-5
覚(元利金勘定書、御手許帳算当願)	12月27日	横切紙・1通	1058-118-6
覚(金100両を当正月改預り分より受取) 西江部村市左 衛門 東江部村山田庄左衛門殿 1058-118-6に挟込	亥10月7日	切紙・1通	1058-118-7
(惣左衛門無尽入金49両1分書上)		切紙・1通	1058-118-8
(又平ほか4名分金子書上)		切紙・1通	1058-118-9
(元利金勘定書、利足ノ121両)		切紙・1通	1058-118-10
(元利金勘定書、利足ノ10両3分余)		切紙・1通	1058-118-11
(元利金勘定書、利足ノ10両1分余)		切紙・1通	1058-118-12
戌七月わたや勘定 1058-118-13~16は重ねて折置		切紙・1通	1058-118-13
西十二月綿屋勘定		切紙・1通	1058-118-14
西七月綿屋勘定		切紙・1通	1058-118-15
申十二月綿屋勘定		切紙・1通	1058-118-16
覚(御預り金元利差引勘定、惣残元金高1100両)		横切紙・1通	1058-118-17
覚(元利金ノ250両余書上、預り金証書改めにつき) 市 左衛門 山田庄左衛門	12月24日	横切紙・1通	1058-118-18
亥十二月晦日調綿屋勘定		切紙・1通	1058-118-19
(元利金勘定書、利足酒掛・質掛ノ金33両3分)		切紙・1通	1058-118-20
覚(去子年貸付金300両の受取) 飯山町出野宇左衛門 東江部村山田庄左衛門殿	元治2年丑正月	縦紙・1通	1058-118-21
(取懸金27両、ほか無懸・無取の名前書上)		横切紙・1通	1058-118-22
(酒掛り・質掛り元利金勘定書)		横切紙・1通	1058-118-23

(酒掛り・質掛り元利金勘定書)		切紙・1通	1058-118-24
覚(御預ヶ金1000両ほかの勘定御差上願) 西江部篠田 市左衛門 山田庄左衛門様 1058-118-26・27を挟込	卯12月25日	横切紙・1通	1058-118-25
覚(御預けの内へ金100両受取) 西江部村市左衛門代二 郎三郎 東江部山田庄左衛門様	亥10月9日	切紙・1通	1058-118-26
午四月廿三日西江部しのた(元利金返済勘定書)		切紙・1通	1058-118-27
覚(初70俵代送り書) 中沢孫右衛門 山田庄左衛門殿	子12月	横切紙・1通	1058-118-28
覚(金82両を15人に割賦勘定) 山田様、逸作様		横切紙・1通	1058-118-29
覚(二番当金8両3分1朱余受取) 安田村発起人豊左衛門 東江部村山田庄左衛門様	丑4月18日	切紙・1通	1058-118-30
覚(無尽掛金2両3分3朱余受取) 戸狩村金預り人彦市、上条 村発起徳兵衛 山田庄左衛門様	4月14日	切紙・1通	1058-118-31
寅七月わたや利勘定		切紙・1通	1058-118-32
(酒掛りほか元利金勘定書)		切紙・1通	1058-118-33
(貸付金元利86両余の奉公人給与引当勘定書)	卯8月10日改	横切紙・1通	1058-118-34
寅大晦日わたや勘定		切紙・1通	1058-118-35
卯七月わたや勘定書		切紙・1通	1058-118-36
山田分土手一件差引		横切紙・1通	1058-118-37
辰七月改わたや利勘定 1058-118-39に挟込		切紙・1通	1058-118-38
卯大晦日わたや勘定		切紙・1通	1058-118-39
辰大晦日改わたや利勘定		切紙・1通	1058-118-40
巳年分わたや勘定		切紙・1通	1058-118-41
覚(無尽掛金110両より御口入金1000両の利足100両を 差引き残り分を渡す) 飯山嶋津東籬 東江部山田庄左 衛門様 1058-118-43～45を挟込	明治2年巳5月21日	切紙・1通	1058-118-42
記(去巳六月御預け金利足12両受取) 西江部村南(力) 世話人太左衛門 東江部村山田庄左衛門様	(明治4)辛未6月29日	切紙・1通	1058-118-43
辰暮改松代(元利金勘定書)		切紙・1通	1058-118-44
(8名分11両と糶金・茶代・寄金等ノ34両書上)		切紙・1通	1058-118-45
覚(末年1年分利足金150両受取) す坂小布施土佐五郎 東江部村山田庄左衛門殿	明治4未9月27日	切紙・1通	1058-118-46
午四月四会目上田無尽三分巻取入(惣金高3000両)		切紙・1通	1058-118-47
(13名分質渡金額等書上)		切紙・1通	1058-118-48

奉公人・雇傭

(雇人出勤日数書上)		帳崩れ・1枚	466-224
(月別人数書上、雇用人足力)		帳崩れ・1枚	466-347
(杣・木挽の日数書上)		横切紙・1通	466-363

元文二年巳[](雇人賃銭帳力) 破損甚大	(元文2)	横長美・1冊	478
奉公人請証(1年金30円) 下高井郡平野村字片塩本人飛田井右衛門(拇印)、同郡同村保証人岩月相太郎(印)、同郡同村同意人飛田惣三(印) 同村山田荘左衛門殿	大正6年3月3日	豎罫紙・1通	608
雇人御届(計12人書上) 下高井郡江部邨拾六番地雇主山田荘左衛門 長野県中野警察署長警部相澤重之助殿	明治21年	1冊	612
雇人御届(計12人書上) 下高井郡江部邨拾六番地雇主山田荘左衛門 安源寺邨外八ヶ村戸長森重次殿	明治21年	1冊	613
奉公人契証(母山田りい給金年25円、内5円領収) 下高井郡平野村大字片塩305番地契約人山田歳治(印)、同郡同村本人山田りい(印) 山田荘左衛門殿	大正7年2月13日	豎紙・1通	705-23
「明治廿九年七月廿一日後 諸請取書 大洪水以後分」	明治29年	1袋	760
雇人御届(9名) 下高井郡平野村廿九番地雇主山田荘左衛門	明治25年5月27日	朱罫紙・1通	1049

台所

(稗・初売り渡し、日雇等台所関係書類一括) 992-1~7 はこより紐で十文字縛り			992
「[]稗売渡し受取証入」	(明治)41年度	1袋	992-1
日誌(初、日常品等の出納帳) 山田台所	明治40年12月(～大正8)	横美半・1冊	992-2
大正七年前半期日料書抜其他支払控 本宅台所帳場	(大正7)8月10日	横美半・1冊	992-3
大正七年后期日雇賃書抜帳 本宅台所帳場	(大正7)12月	横美半・1冊	992-4
大正七年度日雇帳 表書「保存スベシ」	(大正7)	仮綴・1冊	992-5
大正七年度諸職人帳 表書「保存スベシ」	(大正7)	仮綴・1冊	992-6
(出勤簿)		仮綴・1冊	992-7
(台所関係横帳帳崩れ等一括) 大正期買物帳ほか、数点借金証文等を含む		147枚	1020

納税

(山田理兵衛分所得金高届一括) 下高井郡平野村居住山田理兵衛 下高井郡長殿 紙帯で一括	明治20年～明治30	1束(4冊・6通・1綴)	504
明治貳拾九年度所得下調、下木島耕地馬曲川堤防工事ノ費	明治29年4月調	朱罫紙・1通	505
明治廿八年度小作米金収入計算帳		横美半・1冊	506
(所得金高・所得高内訳明細・明治29年度所得下調・酒造高等調書、明治30年進達控)	(明治30)	半・1冊	507
所得税調ノ罫(罫紙)		縦罫紙・2枚	508
(所得金高届・明治29年進達控、所得高内訳明細書・同、明治28年分所得下調、明治29年酒造高等調書)	(明治29)	半・1冊	509
(所得金高届・明治28年進達控、所得高内訳明細書・同、所得税納入地届・進達控、明治28年株式貸金利息下	(明治28)	半・1冊	510

調、明治27年度所得下調、明治28年酒造高等調書)			
(所得金高届・明治27年進達控、所得税納入地届、所得金高明細調・明治27年進達控、明治26年度所得税下調、酒造高等調書) 1丁目の後ろに「明治27年公債株式貸金利息調」挟込	(明治27)	半・1冊	511
(明治26年公債株券貸金利息調・進達下調ほか、所得金高・所得高内訳明細・酒造高等調書)	(明治26)	半・1冊	512
(明治25年公債株券貸金利息調・進達控ほか、所得金高・所得高内訳明細・酒造高等調書)	(明治25)	半・1冊	513
(明治24年公債株券貸金利息調・進達控ほか、所得金高・所得高内訳明細・酒造高等調書)	(明治24)	半・1冊	514
(明治23年公債株券貸金利息調・進達控ほか、所得金高・所得高内訳明細・酒造高等調書)	(明治23)	半・1冊	515
(明治22年公債株券貸金利息調・進達控ほか、所得金高・所得高内訳明細・酒造高等調書)	(明治22)	半・1冊	516
(明治21年公債株券貸金利息調・下調ほか、所得金高・所得高内訳明細・酒造高等調書)	(明治21)	半・1冊	517
(明治19年公債株券貸金之利子調・明治20年下調ほか、所得金高・所得高内訳明細・酒造高等調書)	(明治20)	半・1冊	518
(税法の抜き書き、法律第卅号非常特別税法中改正・明治38年1月1日官報より、地租税・所得税など)	(明治38年力)	1冊	603
国税(県税)(村税)納税管理人届 下高井郡平野村式十九番地所有者山田庄左衛門、納税管理人土屋孫市 岩村田稅務署長長久保得平殿、佐久郡長宮澤宗三郎殿、東長倉村長長谷川宇平殿	明治38年9月5日	豎罫紙・1通	604
* (書状、町税第二期分至急納税の督促) 白井彦兵衛 山田様	7月23日	切紙・1通	683-6
「諸納税領収証」 包紙・括り紐で一括	明治43年1月～12月	1包	696
「納税領収証」 包紙・括り紐で一括	大正2年1月～9月	1包	697
「諸税領収証」 包紙・括り紐で一括	明治45年1月～大正元年12月	1包	698
「地租其外領収証」 包紙・括り紐で一括	明治30年1月～12月	1包	699
記(大野田ブシン人足料5円領収) 山崎啓作(印) 山田様	大正7年5月2日	切紙・1通	705-1
配賦(山田庄左衛門教育分1銭2厘・協議費2銭4厘領収) 上水内郡蟹澤村戸帳役場(印)	(明治)17年12月19日	切紙・1通	705-2
配賦(山田庄左衛門地租ほか計16銭7厘5毛領収) 上水内郡蟹澤村戸帳役場(印)	(明治)16年7月30日	切紙・1通	705-3
配賦(山田庄左衛門学校ほか計12銭5厘5毛領収) 上水内郡蟹澤村戸帳役場(印)	(明治)17年10月5日	切紙・1通	705-4
配賦(山田庄左衛門教育費ほか計2銭4厘領収) 上水内郡蟹澤村戸帳役場(印)	(明治)16年10月1日	切紙・1通	705-5
配賦(山田庄左衛門地租ほか計10銭3厘5毛領収) 上水内郡蟹澤村戸帳役場(印)	(明治)17年8月6日	切紙・1通	705-6
配賦(山田庄左衛門公儲金2厘領収) 上水内郡蟹澤村戸帳役場(印)	(明治)18年2月23日	切紙・1通	705-7

(山田庄左衛門地方税ほか計3銭6厘領収) 上水内郡蟹澤村戸帳役場(印)	(明治)17年12月8日	切紙・1通	705-8
(山田庄左衛門連合町村費建坪ほか計45銭領収) 上水内郡蟹澤村戸帳役場(印)	(明治)17年12月8日	切紙・1通	705-9
領収証(上水内郡大倉村協議費、村費・教育費地価割計金4銭領収) 上水内郡豊野村外六ヶ村戸長役場(印) 納入山田庄左衛門 705-10と11は重ねて折畳	明治18年4月11日	堅切紙・1通	705-10
納金切符(上水内郡蟹澤村分協議費、村費・教育費地価割計金4銭請求) 上水内郡豊野村外六ヶ村戸長役場(印) 下高井郡江部村納入山田庄左衛門	明治18年3月31日	堅切紙・1通	705-11
(自家用醤油製造申告・免許申請・免許・減石届・製造場略図等綴) 705-12~21は重ねて折畳	(明治)32~38)	1綴	705-12
(自家用醤油第二種製造免許状) 松本税務管理局長飯塚忠成(印) 山田荘左衛門 705-12の2丁目に挟込	明治33年10月15日	堅切紙・1通	705-12-1
醤油諸味仕込帳 下高井郡平野村廿九番地醤油製造人山田荘左衛門	明治32年11月	横半半折・1冊	705-13
検査調書 山田荘左衛門	8月28日~11月17日	1冊	705-14
(自家用醤油製造免許申請、自家用醤油製造免許取消願、下書) うち1通は未使用の罫紙		罫紙・2通	705-15
受検査簿 下高井郡平野村自家用料醤油製造主山田荘左衛門 705-17~21は16に畳込	(明治)32年11月7日~33年4月28日)	1冊	705-16
自家用醤油製造免許申請(第貳種) 下高井郡平野村貳拾九番地山田荘左衛門 中野税務署長佐伯鍾吉殿	明治39年9月22日	堅切罫紙・1通	705-17
(自家用醤油製造第一種免許状) 中野税務署長税務属竹田弥生(印) 下高井郡平野村二十九番地山田荘左衛門	明治43年10月24日	堅切罫紙・1通	705-18
(自家用醤油製造第貳種免許状) 中野税務署長税務属佐伯鍾吉(印) 長野県下高井郡平野村二十九番地山田荘左衛門	明治39年9月26日	堅切罫紙・1通	705-19
(自家用醤油製造第一種免許取消承認書) 中野税務署長税務属佐伯鍾吉(印) 長野県下高井郡平野村二九番地山田荘左衛門	明治38年12月28日	堅切紙・1通	705-20
自家用醤油製造申告(諸味2石5斗) 下高井郡平野村廿九番地山田荘左衛門、代理山田理兵衛 中野税務署長坂口円造殿	明治36年10月日	堅切罫紙・1通	705-21
(受取書類一括) 新聞紙上書「諸受取入」		新聞紙包み・1包	705-22
(天神堂組費・上河原新堰水路費・耕地整理年賦償還費・土木費領収証)	(大正)9)	1綴	705-22-1
(大正9年度給料受取書綴)	大正9年12月	1綴	705-22-2
(土木費・用水修繕費・手間代・水利費領収証綴)	(大正)9年)	1綴	705-22-3
(村税241円52銭徴税令書・領収証書綴、木嶋村分)	(大正)9年)	1綴	705-22-4
(雑地租・宅地租・所得税付加税領収書、往郷村分)	(大正)9年)	1綴	705-22-5
記(4泊宿料ほか×11円28銭受取) 山さきや(印、「下高井郡穂高村山崎店三郎」) 山田寿作様	12月31日	横切紙・1通	705-22-6
(入庫米立替金181円80銭領収書) 長野県下高井郡穂高村有限責任木島平販売組合(印) 山田荘左衛門様	大正9年12月30日	罫紙・1通	705-22-7
(葉書綴、水利土木費・天神堂組費・入庫米御立替金・静	(大正)9年12月)	1綴	705-22-8

間組費請求)			
(秋津村静間組費・木島村上新田組土木費領収書綴)	(大正9年12月)	1綴	705-22-9
(寿作の土地調査依頼書・植木島村役場地図閲覧料領収書綴)	(大正9)	1綴	705-22-10
(畑租・田租・雑地租・宅地租領収証、飯山町分) いずれも中林素友が代納(中林は、飯山本町の売薬・化粧品・学校用医療器械商店)	(大正8・9年度)	1綴	705-22-11
自家用醤油製造免許取消願(第1種) 下高井郡平野村大字江部108番地山田浦次郎(印) 中野税務署長竹内弥生殿 705-30と重ねて折畳	明治44年12月23日	豎罫紙・1通	705-29
(自家用醤油製造免許第1種取消指令書) 中野税務署長竹内弥生(印) 長野県下高井郡平野村108番山田浦次郎	明治44年11月8日	豎切紙・1通	705-30
証(樽川堤防工事費29円48銭領収) 木島組安田惣代(印) 山田荘左衛門殿	大正4年9月28日	豎切罫紙・1通	705-31
「明治十二年ヨリ地券証印税受取書付入 山田本宅」	明治12年～	1袋(44通)	706
「大正式年拾月ヨリ大正参年拾式月迄納税領収書 但高石泉竜寺立替分共」	大正2年10月～大正3年12月	1包	707
「明治貳拾九年一月十二日迄之分領収証」	(明治29)	1包	713
消防ハッピー調製費(山田荘左衛門・理兵衛・松三郎・ひろ計9円余受取) 惣代宮崎茂兵衛(印) 713 127まで新聞紙包一括	明治29年1月5日	切紙・1綴(4通)	713-1
領収証書(地租計45円余) 下高井郡木島村収入役坂原林作(印) 山田庄左衛門納	明治29年1月10日	切紙・1綴(4通)	713-2
領収証書(田租21円余) 下高井郡穂高村収入役本山仙之助(印) 山田荘左衛門納	明治29年1月10日	切紙・1通	713-3
領収証書(田租8円余) 下高井郡瑞穂村収入役吉原治良右衛門(印) 山田庄左衛門納	明治29年1月9日	切紙・1通	713-4
領収証書(田租41銭3厘) 下高井郡平岡村収入役徳永兵三郎(印) 山田庄左衛門納	明治29年1月10日	切紙・1通	713-5
証(用水費59銭1厘受取) 下高井郡木嶋村字上新田人民惣代小林新左衛門(印) 山田荘左衛門殿	明治28年12月29日	切紙・1通	713-6
領収証書(地租計4円余、山田理兵衛・曾我新蔵・有賀高之助・曾我新造代山田荘左衛門・常田ヨキ分)(下高井郡木島村・瑞穂村収入役)	(明治29年1月)	切紙・1綴(6通)	713-7
領収証(田租計26円余、山田荘左衛門・理兵衛分) 延徳村収入役柴本禧之助(印) 糊付一括	明治29年1月11日	切紙・2通	713-8
領収証(村税計11円余、山田庄左衛門・理兵衛分) 延徳村収入役柴本禧之助(印) 糊付一括	明治29年1月17日	切紙・2通	713-9
領収証書(田租2円余) 下高井郡中野町収入役蘆澤市郎次(印) 山田庄左衛門代納人白井彦兵衛	明治29年1月14日	切紙・1通	713-10
領収証書(田租計82円余、山田荘左衛門・理兵衛・松三郎・篠田佐賢代人山田荘左衛門分) 下高井郡平野村収入役原弥太郎(印)	明治29年1月14日	切紙・1綴(4通)	713-11
廿八年度耕地修繕費(計9円余領収、山田荘左衛門・理兵衛分) 平野村西江部惣代佐藤繁太郎(印) 糊付一括	明治29年1月21日	切紙・2通	713-12
廿八年度耕地修繕費(22銭1厘領収、篠田佐賢分) 平	明治29年1月21日	切紙・1通	713-13

野村西江部惣代佐藤繁太郎(印)			
明治廿八年度土木費(1円余領収、山田荘左衛門分) 岩船惣代町田熊太郎(印)	(明治29年)1月22日	切紙・1通	713-14
明治廿八年度土木費(22銭6厘領収、篠田佐賢代人山 田荘左衛門分) 岩船惣代町田熊太郎(印)	(明治29年)1月22日	切紙・1通	713-15
領収(土木費19円余) 安田組惣代(印、「ふぢた」) 山田 荘左衛門殿	明治29年1月28日	切紙・1通	713-16
記(明治22年より地租諸役ノ高、消防有志金計6円余 ほか書上) 小林永太郎(印) 山田荘左衛門殿	明治29年1月28日	切紙・1通	713-17
(領収書、雑種税・人力車税・荷車税計3円余、山田荘左 衛門・理兵衛分) 下高井郡平野村収入役原弥太郎 (印)	明治29年1月31日	切紙・1綴(6通)	713-18
領収証(雑種税1円30銭) 延徳村収入役柴本禧之助 (印) 山田庄左衛門納	明治28年7月15日	切紙・1通	713-19
領収証(雑種税1円30銭) 延徳村収入役柴本禧之助 (印) 山田荘左衛門納	明治29年1月22日	切紙・1通	713-20
領収証(村税小布施村分2円余・都住村分7銭5厘) (小布施村・都住村収入役) 山田庄左衛門代納人涌井逸 作納 糊付一括	明治29年1月22日	切紙・2通	713-21
領収証書(田租2円余山田庄左衛門代納人白井彦兵衛 納、夜間瀬川用水組合費23銭山田荘左衛門納) 下 高井郡中野町収入役蘆澤市郎次(印) 糊付一括	明治29年2月18日	切紙・2通	713-22
領収証書(田租計26円余、山田荘左衛門・理兵衛分) 延徳村収入役柴本禧之助(印) 糊付一括	明治29年2月22日	切紙・2通	713-23
領収証書(田租計82円余、山田荘左衛門・理兵衛・松三 郎・篠田佐賢代人山田荘左衛門分) 下高井郡平野 村収入役原弥太郎(印)	明治29年2月22日	切紙・1綴(4通)	713-24
領収証(田租小布施村分3円余・都住村分11銭5厘) (小布施村・都住村収入役) 山田庄左衛門代納人涌井逸 作納 糊付一括	明治29年2月20日	切紙・2通	713-25
(地租領収証、山田庄左衛門・理兵衛・曾我新造代山田 荘左衛門・常田ヨキ・曾我新造・有賀高之助分) (木島村・穂高村・瑞穂村・平岡村収入役)	明治29年2月	切紙・1綴(13通)	713-26
明治廿八年度土木協議費(地価割2円92銭領収) 下 高井郡平野村大字吉田惣代竹内宗平 山田庄左衛門殿	明治29年2月28日	切紙・1通	713-27
土木費(2円85銭領収) 片塩惣代堀内清左衛門(印) 納 人山田庄左衛門	明治29年3月1日	切紙・1通	713-28
廿八年度土木費第二期(計13円余領収、山田荘左衛 門・理兵衛・松三郎・ひろ分) 惣代宮崎茂兵衛(印)	明治29年3月6日	切紙・1綴(4通)	713-29
領収証書(田租11銭5厘) 都住村収入役鈴木右衛門 (印) 平野山田庄左衛門代納人涌井逸作納	明治29年3月18日	切紙・1通	713-30
領収証(地租計26円余、山田理兵衛・庄左衛門分) 延 徳村収入役柴本禧之助(印)	明治29年3月23日	切紙・1綴(2通)	713-31
領収証書(田租計82円余、山田荘左衛門・理兵衛・松三 郎・篠田佐賢代人山田荘左衛門分) 下高井郡平野 村収入役原弥太郎(印)	明治29年3月25日	切紙・1綴(4通)	713-32
(領収書、田租・村税、山田庄左衛門・理兵衛・曾我新 造・有賀高之助・曾我新造代山田庄左衛門・常田よ き分) (木島村・穂高村・瑞穂村・平岡村収入役)	明治29年3月	切紙・1綴(14通)	713-33

領収証(田租2円余) 下高井郡中野町収入役蘆澤市郎次(印) 山田庄左衛門代納人白井彦兵衛納	明治29年3月26日	切紙・1通	713-34
領収証書(所得税106円余、山田庄左衛門・理兵衛分) 下高井郡平野村収入役原弥太郎(印)	明治29年3月31日	切紙・1綴(2通)	713-35
領収証(田租3円余) 小布施村収入役高澤長之助(印) 山田庄左衛門代納人涌井逸作納	明治29年3月23日	切紙・1通	713-36
領収証(村税7銭6厘) 都住村収入役鈴木治右衛門(印) 平野山田庄左衛門代納人涌井逸作納	明治29年4月22日	切紙・1通	713-37
領収証(村税7円余) 延徳村収入役柴本禧之助(印) 山田庄左衛門納	明治29年5月1日	切紙・1通	713-38
領収証(村税1円余) 延徳村収入役柴本禧之助(印) 山田理兵衛納	明治29年5月1日	切紙・1通	713-39
領収証書(県税地租割1円余) 下高井郡中野町収入役米澤金次郎(印) 山田庄左衛門代納人白井彦兵衛納	明治29年5月12日	切紙・1通	713-40
領収証書(県税地租割4銭5厘・戸数割1銭9厘) 下高井郡中野町収入役米澤金次郎(印) 山田理兵衛代納人白井彦兵衛納	明治29年5月12日	切紙・1通	713-41
領収証(町税計3円余) 下高井郡中野町収入役米澤金次郎(印) 山田庄左衛門代納人白井彦兵衛納	明治29年5月11日	切紙・1通	713-42
賦課令状(村税3円7銭6厘) 下高井郡中野町長近山勝右衛門(印) 山田庄左衛門代納人白井彦兵衛	明治29年4月25日	豎切紙・1通	713-43
領収証(町税98銭7厘) 下高井郡中野町収入役米澤金次郎(印) 山田理兵衛納	明治29年5月11日	切紙・1通	713-44
賦課令状(村税98銭7厘) 下高井郡中野町長近山勝右衛門(印) 山田理兵衛代納人白井彦兵衛	明治29年4月25日	豎切紙・1通	713-45
領収証(県税計16円余、山田庄左衛門・理兵衛分) 延徳村収入役柴本禧之助(印) 糊付一括	明治29年5月11日	切紙・2通	713-46
賦課令状(村税29円余) 下高井郡延徳村長青木彦兵衛(印) 山田庄左衛門 713 47と48は折畳一括	明治29年4月24日	豎切紙・1通	713-47
賦課令状(村税5円余) 下高井郡延徳村長青木彦兵衛(印) 山田理兵衛	明治29年4月24日	豎切紙・1通	713-48
(村税領収書、山田庄左衛門・理兵衛・松三郎・亡山田ひろ代人山田庄左衛門・篠田佐賢代人山田庄左衛門分) 平野村収入役原弥太郎(印)	明治29年5月12日	切紙・1綴(11通)	713-49
(県税領収書、山田庄左衛門・理兵衛・松三郎・亡山田ひろ進退人山田庄左衛門・篠田佐賢代人山田庄左衛門分) 下高井郡平野村収入役原弥太郎(印)	明治29年5月12日	切紙・1綴(5通)	713-50
賦課令状(村税182円余) 下高井郡平野村長山田理兵衛(印) 山田庄左衛門 713 51~55は折畳一括	明治29年4月15日	豎切紙・1通	713-51
賦課令状(村税18円余) 下高井郡平野村長山田理兵衛(印) 山田理兵衛	明治29年4月15日	豎切紙・1通	713-52
賦課令状(村税1円99銭6厘) 下高井郡平野村長山田理兵衛(印) 山田松三郎	明治29年4月15日	豎切紙・1通	713-53
賦課令状(村税4銭6厘) 下高井郡平野村長山田理兵衛(印) 亡山田ひろ代人山田庄左衛門	明治29年4月15日	豎切紙・1通	713-54
賦課令状(村税1円71銭5厘) 下高井郡平野村長山田理兵衛(印) 篠田佐賢代人山田庄左衛門	明治29年4月15日	豎切紙・1通	713-55

(領収書、県税51銭3厘・村税29銭5厘) 下高井郡平岡村収入役徳永兵三郎(印) 山田庄左衛門納 糊付一括	明治29年	切紙・2通	713-56
(村税・県税領収書) 下高井郡木島村収入役小林新左衛門(印) 山田庄左衛門	明治29年5月	切紙・1綴(8通)	713-57
(村税・県税領収書) 下高井郡瑞穂村収入役吉原治良右衛門(印) 山田庄左衛門 糊付一括	明治29年5月14日	切紙・2通	713-58
領収証書(村税・県税計19円34銭余) 下高井郡穂高村収入役山崎清蔵(印) 山田庄左衛門納 糊付一括	明治29年	切紙・2通	713-59
(村税・県税領収書、山田理兵衛・曾我新造・有賀高之助・曾我新蔵代山田庄左衛門・常田ヨキ分)(木島村・瑞穂村収入役)	明治29年5月	切紙・1綴(12通)	713-60
賦課令状(村税7円余) 下高井郡瑞穂村長小林賢作(印) 山田庄左衛門 713 61~63は折畳一括	明治29年4月23日	切紙・1通	713-61
賦課令状(村税97銭3厘) 下高井郡瑞穂村長小林賢作(印) 常田ヨキ	明治29年4月23日	切紙・1通	713-62
賦課令状(村税38銭7厘) 下高井郡瑞穂村長小林賢作(印) 曾我新造代山田庄左衛門	明治29年4月23日	切紙・1通	713-63
領収証(田租11銭5厘) 都住村収入役鈴木治右衛門(印) 平野村山田庄左衛門代納入涌井逸作納	明治29年5月12日	切紙・1通	713-64
領収証書(県税8銭6厘) 都住村収入役鈴木治右衛門(印) 平野村山田庄左衛門代納入涌井逸作納	明治29年5月12日	切紙・1通	713-65
領収証書(県税5円98銭3厘) 小布施村収入役高澤長之助(印) 山田庄左衛門代納入涌井逸作納	明治29年5月14日	切紙・1通	713-66
領収証(田租2円21銭6厘) 中野町収入役米澤金次郎(印) 山田庄左衛門代納入三三白井彦兵衛納	明治29年5月21日	切紙・1通	713-67
領収証書(田租、山田庄左衛門・理兵衛・松三郎・篠田佐賢代人山田庄左衛門分) 下高井郡平野村収入役原弥太郎(印)	明治29年5月22日	切紙・1綴(4通)	713-68
領収証(田租3円32銭8厘) 小布施村収入役高澤長之助(印) 山田庄左衛門代納入涌井逸作納	明治29年5月22日	切紙・1通	713-69
領収証書(地租15銭4厘) 都住村収入役鈴木治右衛門(印) 平野村山田庄左衛門代納入涌井逸作納	明治28年11月21日	切紙・1通	713-70
領収証(村税2円25銭5厘) 小布施村収入役高澤長之助(印) 山田庄左衛門代納入涌井逸作納	明治29年5月1日	切紙・1通	713-71
領収証(田租22円余) 延徳村収入役柴本禧之助(印) 山田庄左衛門納	明治29年5月25日	切紙・1通	713-72
領収証(田租4円17銭5厘) 延徳村収入役柴本禧之助(印) 山田理兵衛納	明治29年5月25日	切紙・1通	713-73
(地租領収書、山田理兵衛・曾我新造・有賀高助・曾我新造代山田庄左衛門・常田ヨキ代山田庄左衛門分)(木島村・瑞穂村収入役)	明治29年5月25日	切紙・1綴(6通)	713-74
(田租領収書) (平岡村・木島村・穂高村・瑞穂村収入役) 山田庄左衛門納	明治29年5月	切紙・1綴(7通)	713-75
(村税領収書) (木島村・穂高村・瑞穂村収入役) 山田庄左衛門	明治29年	切紙・1綴(6通)	713-76
(領収書、村税77銭5厘、山田理兵衛・曾我新造・有賀高之助・曾我新造代山田庄左衛門分) (木島村・瑞穂	明治29年7月21日	切紙・1綴(4通)	713-77

村収入役)			
(村税領収書、山田莊左衛門・理兵衛分) 平野村収入役原弥太郎(印) 糊付一括	明治29年7月29日	切紙・2通	713-78
(車税・県税領収書、山田莊左衛門・理兵衛分) 下高井郡平野村収入役原弥太郎(印)	明治29年7月29日	切紙・1綴(6通)	713-79
領収証書(村税、山田庄左衛門・理兵衛分) 下高井郡延徳村収入役柴本禧之助(印) 糊付一括	明治29年7月31日	切紙・2通	713-80
領収証書(村税5円71銭) 小布施村収入役高澤長之助(印) 山田庄左衛門代納入涌井逸作納	明治29年7月20日	切紙・1通	713-81
領収証書(村税7銭6厘) 都住村収入役鈴木治右衛門(印) 平野村山田庄左衛門代納入涌井逸作納	明治29年7月28日	切紙・1通	713-82
(協議費1円7厘領収書) 下高井郡新井惣代(印「平岡村大字新井惣代之印」) 納入江部山田庄左衛門	明治29年8月7日	切紙・1通	713-83
受取証(土木費4円64銭6厘) 中村組総代本山伊兵衛(印) 山田庄左衛門殿	(明治29年)8月20日	切紙・1通	713-84
領収証書(地租・所得税計215円余、山田莊左衛門・理兵衛・松三郎・亡山田ひろ進退入山田莊左衛門・篠田佐賢代入山田莊左衛門分) 下高井郡平野村収入役原弥太郎(印)	明治29年9月23日	切紙・1綴(7通)	713-85
領収証書(地租計20円17銭) 小布施村収入役高澤長之助(印) 山田庄左衛門代納入涌井逸作納	明治29年9月21日	切紙・1通	713-86
領収証書(畑租15銭5厘) 都住村収入役鈴木治右衛門(印) 平野村山田莊左衛門代納入涌井逸作納	明治29年9月17日	切紙・1通	713-87
領収証書(地租計2円74銭7厘) 中野町収入役細野泰作(印) 山田莊左衛門代納入白井彦兵衛納	明治29年9月24日	切紙・1通	713-88
領収証書(郡村宅地租19銭9厘) 中野町収入役細野泰作(印) 山田理兵衛代納入白井彦兵衛納	明治29年9月24日	切紙・1通	713-89
(地租・村税領収書) (木島村・穂高村・瑞穂村・平岡村収入役) 山田庄左衛門	明治29年	切紙・1綴(8通)	713-90
(地租領収書、計1円52銭9厘理兵衛へ貸、山田理兵衛・曾我新蔵・曾我新造代山田庄左衛門分) (木島村・瑞穂村収入役)	明治29年9月25日	切紙・1綴(3通)	713-91
領収証書(地租計21円30銭2厘) 下高井郡延徳村収入役柴本禧之助(印) 山田莊左衛門納	明治29年9月29日	切紙・1通	713-92
領収証書(畑租3円77銭7厘) 下高井郡延徳村収入役柴本禧之助(印) 山田理兵衛納	明治29年10月5日	切紙・1通	713-93
領収証(夜間瀬川用水8ヶ郷水利組合費4円57銭9厘) 下高井郡中野町収入役細野泰作(印) 山田莊左衛門納	明治29年10月10日	切紙・1通	713-94
領収証(夜間瀬川用水8ヶ郷水利組合費差引3厘) 下高井郡中野町収入役細野泰作(印) 山田理兵衛納	明治29年10月10日	切紙・1通	713-95
領収証書(村税1円30銭) 延徳村収入役柴本禧之助(印) 山田理兵衛納	明治29年10月26日	切紙・1通	713-96
領収証書(村税7円25銭7厘) 延徳村収入役柴本禧之助(印) 山田莊左衛門納	明治29年10月26日	切紙・1通	713-97
領収証書(村税7銭5厘) 都住村収入役鈴木治右衛門(印) 平野村山田庄左衛門代納入涌井逸作納	明治29年10月16日	切紙・1通	713-98
領収証書(県税地租割追加12銭4厘) 下高井郡平岡村	明治29年11月9日	切紙・1通	713-99

収入役徳永兵三郎(印) 平岡村山田庄左衛門納			
領収証書(県税地租割50銭8厘) 下高井郡平岡村収入役徳永兵三郎(印) 平岡村山田庄左衛門納	明治29年11月9日	切紙・1通	713-100
(県税計56円余領収書) 下高井郡平野村収入役原弥太郎(印) 山田庄左衛門納	明治29年11月11日	切紙・1通	713-101
(県税追加計19円余領収書) 下高井郡平野村収入役原弥太郎(印) 山田庄左衛門納	明治29年11月11日	切紙・1通	713-102
(村税54円余領収書) 平野村収入役原弥太郎(印) 山田庄左衛門納	明治29年11月11日	切紙・1通	713-103
(村税5円余領収書) 平野村収入役原弥太郎(印) 山田理兵衛納	明治29年11月11日	切紙・1通	713-104
領収証書(県税計18円余) 延徳村収入役柴本禧之助(印) 山田庄左衛門納	明治29年11月12日	切紙・1通	713-105
領収証書(県税計4円余) 延徳村収入役柴本禧之助(印) 山田理兵衛納	明治29年11月12日	切紙・1通	713-106
領収証書(県税1円60銭) 下高井郡中野町収入役細野泰作(印) 山田庄左衛門代納人白井彦兵衛納	明治29年11月15日	切紙・1通	713-107
領収証書(県税38銭8厘) 中野町収入役細野泰作(印) 山田庄左衛門代納人白井彦兵衛納	明治29年11月15日	切紙・1通	713-108
領収証書(県税計6銭2厘) 下高井郡中野町収入役細野泰作(印) 山田理兵衛代納人白井彦兵衛納	明治29年11月15日	切紙・1通	713-109
領収証書(県税計21銭9厘) 中野町収入役細野泰作(印) 山田理兵衛代納人白井彦兵衛納	明治29年11月15日	切紙・1通	713-110
(地租・県税・村税領収書、3円余理兵衛へ貸、山田理兵衛・曾我新造・有賀高之助・曾我新蔵代山田庄左衛門分)(木島村・瑞穂村収入役)	明治29年11月	切紙・1綴(14通)	713-111
(地租・県税・村税領収書)(木島村・穂高村・瑞穂村収入役) 山田庄左衛門	明治29年11月	切紙・1綴(22通)	713-112
領収証書(地租、山田庄左衛門・理兵衛・松三郎・亡山田ひろ進退人山田庄左衛門分) 下高井郡平野村収入役原弥太郎(印)	明治29年11月24日	切紙・1綴(4通)	713-113
(県税・地租領収書) 下高井郡平野村収入役原弥太郎(印) 篠田佐賢代人山田庄左衛門納 糊付一括	明治29年11月24日	切紙・3通	713-114
領収証書(地租計20円30銭1厘) 延徳村収入役柴本禧之助(印) 山田庄左衛門納	明治29年11月26日	切紙・1通	713-115
領収証書(地租3円77銭6厘) 延徳村収入役柴本禧之助(印) 山田理兵衛納	明治29年11月26日	切紙・1通	713-116
領収証書(地租計20円16銭9厘) 小布施村収入役高澤長之助(印) 山田庄左衛門代納人涌井逸作納	明治29年11月22日	切紙・1通	713-117
領収証書(地租15銭4厘) 都住村収入役鈴木治右衛門(印) 平野村山田庄左衛門代納人涌井逸作納	明治29年11月10日	切紙・1通	713-118
領収証(県税2銭1厘) 都住村収入役鈴木治右衛門(印) 山田庄左衛門代納人涌井逸作納	明治29年11月10日	切紙・1通	713-119
領収証書(県税8銭5厘) 都住村収入役鈴木治右衛門(印) 平野山田庄左衛門代納人涌井逸作納	明治29年11月10日	切紙・1通	713-120
領収証書(地租19銭9厘) 中野町収入役細野泰作(印) 山田理兵衛代納人白井彦兵衛納	明治29年11月28日	切紙・1通	713-121

領収証書(地租計2円74銭6厘) 下高井郡中野町収入役細野泰作(印) 中野町山田庄左衛門代納人白井彦兵衛納	明治29年11月28日	切紙・1通	713-122
(協議費47銭6厘領収書) 下高井郡新井惣代(印) 納人山田庄左衛門	明治29年12月15日	切紙・1通	713-123
領収証書(田租11銭4厘) 都住村収入役鈴木治右衛門(印) 平野村山田庄左衛門代納人涌井逸作納	明治29年12月24日	切紙・1通	713-124
領収証(土木費・荒地取調費計21円余) 下高井郡木島村大字下木島組惣代小野沢源兵衛(印、「幸盛」) 平野村山田庄左衛門殿	明治29年12月15日	切紙・1通	713-125
(土木費2円47銭4厘領収書、理兵衛へ貸) 下高井郡木島村大字下木島組惣代小野沢源兵衛(印、「幸盛」) 高丘村有賀高之助殿	明治29年12月15日	切紙・1通	713-126
領収証書(田租3円32銭9厘) 小布施村収入役高澤長之助(印) 山田庄左衛門代納人涌井逸作納	明治29年12月19日	切紙・1通	713-127
「明治廿七年一月ヨリ同年十二月三十一日迄 諸税領収証入」	明治27年1月～12月31日	新聞紙包・1枚	731
領収証書(地租計2円94銭6厘) 下高井郡中野町助役白井彦兵衛 こより紐一括	明治27年9月22日	切紙・3通	731-1
徴税令書(山田庄左衛門・理兵衛町税) 下高井郡中野町長近山勝右衛門(印) 豊込一括	明治27年8月17日～18日	切紙・2通	731-2
領収証書(地租計75円62銭) 木島・穂高・瑞穂・平岡村収入役 こより紐一括	明治27年5月25日～26日	切紙・14通	731-3
(地租計82円16銭領収書) 下高井郡平野村収入役原弥太郎(印) こより紐一括	明治27年5月24日	切紙・4通	731-4
領収証書(地租2円21銭6厘) 下高井郡中野町収入役土屋安之助(印) 山田庄左衛門代納人白井彦兵衛納	明治27年5月24日	切紙・1通	731-5
領収証書(地租山田庄左衛門・理兵衛分) 延徳村収入役西沢光太郎(印)	明治27年5月22日	切紙・2通	731-6
領収証書(夜間瀬川用水8ヶ郷水利組合費山田庄左衛門・理兵衛分) 下高井郡中野町収入役土屋安之助(印)	明治27年5月20日	切紙・2通	731-7
(県税領収証書8口計45円67銭3厘) 中野町・平岡村・木島村・往郷村・瑞穂村収入役 こより紐一括	明治27年5月10日	切紙・17通	731-8
(県税領収証書計68円97銭9厘) 下高井郡平野村収入役原弥太郎(印) こより紐一括	明治27年5月9日	切紙・6通	731-9
領収証書(県税山田庄左衛門・理兵衛分) 延徳村収入役西沢光太郎(印)	明治27年5月9日	切紙・2通	731-10
徴税令書(町税山田庄左衛門・理兵衛分) 下高井郡中野町長近山勝右衛門(印)	明治27年4月30日～5月1日	切紙・2通	731-11
(小布施村県税・村税・地租領収証書) 小布施村長・収入役 山田庄左衛門代納人涌井逸作	明治27年3月～5月	切紙・3通	731-12
(村税領収証書計40円60銭4厘) 平野村収入役原弥太郎(印) こより紐一括	明治27年5月5日	切紙・6通	731-13
(村税領収証書計24円34銭7厘) 平岡・木島・瑞穂・穂高村収入役 こより紐一括、こより紐破損、こより紐附札「合計式拾四円三拾四銭七リ」	明治27年4月20日～5月1日	切紙・16通	731-14

(県税領収書山田荘左衛門・理兵衛・関谷孝之助分) 下高井郡中野町助役白井彦兵衛(印)	明治25年5月7日	切紙・3通	731-15
(地租領収書) 下高井郡平野村収入役原弥太郎(印) こ より紐一括	明治27年1月11日	切紙・4通	731-16
(村税・地租計75円91銭5厘領収書) 平岡・木島・穂高・ 瑞穂村 こより紐一括	明治26年12月15日～明 治27年1月11日	切紙・15通	731-17
(平野村県税・車税領収証山田荘左衛門・理兵衛分) 下高井郡平野村収入役原弥太郎(印) こより紐一括	明治27年1月23日	切紙・6通	731-18
領収証書(地租山田庄左衛門・理兵衛分) 延徳村収入 役西澤光太郎(印)	明治27年1月9日	切紙・2通	731-19
記(土木費19円37銭5厘受取) 下高井郡木島村旧安田 惣代佐藤惣之助(印) 全郡旧江部山田庄左衛門殿 731-20-1～3を挟込	明治27年1月26日	横切紙・1通	731-20
(明治26年度分用水費79銭8厘請求書、1月26日付受取 書) 下高井郡木島旧上新田惣代中沢茂八(印) 下高 井郡平野村旧江部山田庄左衛門殿	明治27年1月21日	横切紙・1通	731-20-1
廿六年度耕地修繕費(山田荘左衛門・篠田佐賢分領 収) 西江部惣代丸山多重郎(印)	明治27年1月21日	切紙・2通	731-20-2
領収証(土木協議費山田荘左衛門・篠田佐賢分) 平 野村岩舟惣代(印)	明治27年1月21日	切紙・2通	731-20-3
領収証書(県税1円30銭) 延徳村収入役西澤光太郎 (印) 延徳村山田荘左衛門田中清吉代	明治27年1月24日	切紙・1通	731-21
(村税4銭1厘領収) 上高井郡都住村長小林住吉(印) 山田庄左衛門代納入涌井逸作	明治27年1月6日	切紙・1通	731-22
(雀威諸雑費山田庄左衛門・理兵衛分領収書) 右村 小林與五左衛門(印)	明治27年1月25日	切紙・2通	731-23
(土木費2円93銭3厘領収書) 片塩惣代堀内千吉(印) 納入山田庄左衛門	明治27年2月14日	切紙・1通	731-24
(県税30銭領収) 下高井郡平野村収入役原弥太郎(印) 山田荘左衛門納	明治27年2月14日	切紙・1通	731-25
領収証(水路費・堤防費・天神堂河原諸費計3円79銭) 大字天神堂組惣代池田富吉(印) 山田荘左衛門殿・山田 利平殿・曾我新蔵殿	明治25年12月30日	豎切紙・1通	731-26
(明治26年度土木費計20円38銭1厘領収証) 惣代小 野沢與吉(印) こより紐一括	明治27年2月14日	切紙・5通	731-27
領収証書(地租山田庄左衛門・理兵衛分) 延徳村収入 役西澤光太郎(印)	明治27年2月20日	切紙・2通	731-28
領収証書(地租2円21銭6厘) 下高井郡中野町収入役土 屋安之助(印) 山田庄左衛門代人納	明治27年2月23日	切紙・1通	731-29
(土木協議費18銭7厘領収証) 平野村大字岩舟惣代 (印) 平野村大字江部納入篠田佐賢	明治27年2月14日	切紙・1通	731-30
(地租・所得税計232円99銭1厘領収書) 平野・木島・穂 高・瑞穂村 こより紐一括	明治27年2月24日～25 日	切紙・19通	731-31
領収証書(小布施村・都住村分地租) 山田庄左衛門 代納入涌井逸作	明治27年2月11日～21 日	切紙・2通	731-32
領収之証(土木協議費2円18銭6厘) 吉田惣代 江部 山田荘左衛門	明治27年3月20日	切紙・1通	731-33

領収証書(地租山田庄左衛門・理兵衛分) 延徳村収入役西澤光太郎(印)	明治27年3月24日	切紙・2通	731-34
(地租計82円16銭2厘領収証) 下高井郡平野村原弥太郎(印) こより紐一括	明治27年3月26日	切紙・4通	731-35
領収証(土地分筆料21銭7厘) 大字吉田惣代(印) 山田庄左衛門殿	明治27年4月8日	切紙・1通	731-36
領収証書(地租2円21銭6厘) 下高井郡中野町収入役土屋安之助(印) 山田庄左衛門納	明治27年3月26日	切紙・1通	731-37
領収証書(地租計76円5銭1厘) 平岡・木島・穂高・瑞穂村 こより紐一括	明治27年2月21日～3月26日	切紙・15通	731-38
領収証書(地租11銭5厘) 上高井郡都住村収入役田中周平(印) 山田庄左衛門代納人涌井逸作	明治27年3月23日	切紙・1通	731-39
領収証(村税山田庄左衛門・理兵衛分) 延徳村収入役西澤光太郎(印)	明治27年4月21日	切紙・2通	731-40
領収証書(夜間瀬川用水8ヶ郷水利組合費4円48銭6厘) 下高井郡中野町収入役土屋安之助(印) 山田庄左衛門	明治27年4月30日	切紙・1通	731-41
(県税9銭5厘領収証) 上高井郡都住村収入役田中周平(印) 平野山田庄左衛門代納人涌井逸作	明治27年5月10日	切紙・1通	731-42
(村税4銭1厘領収証) 上高井郡都住村長小林住吉(印) 平野山田庄左衛門代納人涌井逸作	明治27年4月25日	切紙・1通	731-43
領収証書(小布施村・都住村分地租) 山田庄左衛門代納人涌井逸作	明治27年5月22日	切紙・2通	731-44
領収証(村税・特別税反別割山田庄左衛門・理兵衛分) 延徳村収入役柴本禧之助(印)	明治27年7月20日	切紙・2通	731-45
(村税・県税・車税計57円48銭5厘領収証) 平野村収入役原弥太郎(印) こより紐一括	明治27年7月26日	切紙・12通	731-46
(村税計26円6銭5厘領収証) 木島・瑞穂・穂高・往郷村収入役 こより紐一括	明治27年7月28日	切紙・15通	731-47
(明治26年度吉田分水費・27年度協議費前半期分領収証) 下高井郡新井惣代(印)	明治27年8月10日	切紙・2通	731-48
記(前田分水費44銭5厘受取) 大字新井当水理掛(印)、大字一本木相馬和吉 平野村大字江部山田庄左衛門殿	明治27年8月10日	切紙・1通	731-49
領収証(県税1円30銭) 延徳村収入役柴本禧之助(印) 延徳村山田庄左衛門納	明治27年7月20日	切紙・1通	731-50
領収証(村税5円76銭8厘) 上高井郡小布施村収入役島田重作(印) 山田庄左衛門代納人涌井逸作	明治27年7月18日	切紙・1通	731-51
(小布施村・都住村地租・協議費計20円37銭1厘領収証) 山田庄左衛門代納人涌井逸作 こより紐一括、貼紙	明治27年8月1日～9月22日	切紙・4通	731-52
(村税・租税残金2円4銭3厘領収証) 木島村収入役山本源治郎(印) 上高井郡平野村山田庄左衛門殿、山田理兵衛殿外二名御中	明治27年12月8日	朱罫紙・1枚	731-53
領収証書(県税山田庄左衛門・理兵衛分) 延徳村収入役柴本禧之助(印)	明治27年11月9日	切紙・2通	731-54
(県税・村税計151円79銭5厘領収証) 下高井郡平野村収入役原弥太郎(印)	明治27年11月	切紙・18通	731-55

(県税計71円41銭3厘領収証書) 木島・穂高・瑞穂・平岡 村収入役 こより紐一括	明治27年11月11日～16日	切紙・21通	731-56
領収証書(地租山田庄左衛門・理兵衛分計25円7銭5厘) 延徳村収入役柴本禧之助(印) こより紐一括	明治27年11月24日	切紙・3通	731-57
領収証書(県税計3円24銭2厘) 中野町収入役蘆澤市郎治(印) 山田庄左衛門・理兵衛代納入白井彦兵衛 こより紐一括	明治27年11月13日	切紙・4通	731-58
領収証(村税山田庄左衛門・理兵衛分) 下高井郡延徳村収入役柴本禧之助 こより紐一括	明治27年10月25日	切紙・2通	731-59
領収証書(地租佐藤寛治郎分計56銭6厘、利右衛門立換分済) 下高井郡木島村収入役山本源治郎(印) こより紐一括	(明治27年)	切紙・2通	731-60
(新酒税山田庄左衛門・理兵衛分計109円39銭5厘領収証) 下高井郡平野村収入役原弥太郎(印) こより紐一括	明治27年9月26日	切紙・2通	731-61
領収証書(地租山田庄左衛門・理兵衛分計25円7銭9厘) 延徳村収入役柴本禧之助(印) こより紐一括	明治27年9月20日	切紙・3通	731-62
(村税・地租計26円64銭1厘領収証) こより紐一括	明治27年	切紙・18通	731-63
(地租計88円余領収証) こより紐一括	明治27年9月24日	切紙・12通	731-64
証(土木費2円28銭3厘受取) 下高井郡穂高村内中村組 総代川口英碩(印) 山田庄左衛門様	(明治27年)9月24日	横切紙・1通	731-65
領収証書(地租・村税) 下高井郡穂高村収入役小林英之助(印) 山田庄左衛門納 こより紐一括	明治27年11月	切紙・3通	731-66
(地租計88円4銭7厘領収証) こより紐一括	明治27年11月	切紙・12通	731-67
領収証書(地租計2円94銭余) 下高井郡中野町収入役蘆澤市郎次(印) こより紐一括	明治27年11月25日	切紙・3通	731-68
領収証書(村税・県税・地租計35銭余) 上高井郡都住村収入役田中周平(印) 山田庄左衛門代納入涌井逸作 こより紐一括	明治27年	切紙・3通	731-69
領収証書(県税・地租計31円余) 小布施村収入役嶋田重作(印) 山田庄左衛門代理人涌井逸作納 こより紐一括	明治27年11月13日	切紙・3通	731-70
領収証書(地租11銭4厘) 上高井郡都住村収入役田中周平(印) 山田庄左衛門代納入涌井逸作	明治27年12月21日	切紙・1通	731-71
領収証書(地租3円32銭9厘) 小布施村収入役嶋田重作(印) 山田庄左衛門代納入涌井逸作納	明治27年12月	切紙・1通	731-72
(協議費78銭7厘領収) 平岡村大字新井惣代(印) 納入山田庄左衛門	明治27年12月	切紙・1通	731-73
領収証(土木費・字中道算改修費) 下木島総代(印) こより紐一括	明治27年12月18日	横切紙・3通	731-74
領収証 下高井郡中野町収入役蘆澤市郎次(印) 虫損	明治27年12月29日	切紙・1通	731-75
証(山田庄左衛門・理兵衛土木費領収) 木嶋村大字吉惣代山本宇太郎代栗林栄之助(印) 畳込一括	明治27年12月8日	横切紙・2通	731-76
(新聞紙包み一括、受取類一括)		1包	733
(年賀広告) (印、「下高井郡新聞雑誌送達所畦上商店」) 山田様 封筒と七	(明治)23年1月	切紙・1通	733-1

(徴収督促条例・税算出目安・授業料告示) 下高井郡中野町役場 糊付け一括、733-2～35は畳込一括	明治23年	切紙・3通	733-2
広告(弊社休日なく、中野町など無遞送料のこと) 下高井郡中野町東京諸新聞雑誌大売捌所畔上七太郎	明治23年1月	切紙・1通	733-3
(徴収督促条例・税算出目安) 下高井郡中野町役場 糊付け一括	明治22年	横切紙・2通	733-4
徴収督促二関スル条例抜粋 下高井郡中野町役場	明治22年7月	横切紙・1通	733-5
明治廿三年度中野町々税支出予算追加 下高井郡中野町役場	(明治23年)	横切紙・1通	733-6
(地方税3銭5厘領収証) 中野町収入役小林金吾(印) 曾我ほの納	明治23年10月14日	切紙・1通	733-7
(宅地租7銭2厘領収証) 中野町収入役小林金吾(印) 柳本みと殿	明治23年8月30日	切紙・1通	733-8
(地方税1銭9厘領収証) 中野町収入役小林金吾(印) 柳本みと納	明治23年4月23日	切紙・1通	733-9
(地方税2銭5厘領収証) 中野町収入役小林金吾(印) 曾我ほの納	明治23年4月23日	切紙・1通	733-10
(地方税3銭5厘領収証) 中野町収入役小林金吾(印) 曾我ほの納	明治23年4月23日	切紙・1通	733-11
(町税11銭2厘領収証) 中野町収入役小林金吾(印) 柳本みと納	明治23年7月9日	切紙・1通	733-12
(下高井高等学校建設町税35銭領収証) 中野町収入役小林金吾(印) 曾我ほの納	明治23年8月11日	切紙・1通	733-13
(町税4銭領収証) 中野町収入役小林金吾(印) 曾我ほの納	明治23年3月11日	切紙・1通	733-14
(町税30銭領収証) 中野町収入役小林金吾(印) 曾我ほの納	明治23年7月9日	切紙・1通	733-15
(地方税2銭5厘領収証) 中野町収入役小林金吾(印) 曾我ほの納	明治23年10月14日	切紙・1通	733-16
(町税12銭7厘領収証) 中野町収入役小林金吾(印) 柳本みと納	明治23年1月17日	切紙・1通	733-17
(地方税1銭8厘領収証) 中野町収入役小林金吾(印) 柳本みと納	明治23年4月23日	切紙・1通	733-18
(地方税1厘領収証) 中野町収入役小林金吾(印) 柳本みと納	明治23年4月23日	切紙・1通	733-19
(地方税4厘領収証) 中野町収入役小林金吾(印) 柳本みと納	明治23年10月14日	切紙・1通	733-20
(地方税1銭9厘領収証) 中野町収入役小林金吾(印) 柳本みと納	明治23年10月14日	切紙・1通	733-21
(町税14銭8厘領収証) 中野町収入役小林金吾(印) 柳本みと納	明治23年3月11日	切紙・1通	733-22
(地方税6厘領収証) 中野町役場(印) 納入柳本みと	明治22年10月10日	切紙・1通	733-23
(地方税2銭領収証) 中野町役場(印) 納入曾我ほの	明治22年10月10日	切紙・1通	733-24
(町税24銭領収証) 中野町収入役小林金吾(印) 曾我ほの納	明治22年8月9日	切紙・1通	733-25

(町税18銭領収証) 中野町収入役小林金吾(印) 曾我ほの納	明治22年1月17日	切紙・1通	733-26
(地方税1銭9厘領収証) 中野町収入役小林金吾(印) 徳三郎妻柳本みと納	明治22年12月16日	切紙・1通	733-27
(宅地租7銭2厘領収証) 中野町収入役小林金吾(印) 柳本みと殿	明治22年8月22日	切紙・1通	733-28
(地方税2銭1厘領収証) 中野町役場(印) 納人柳本みと	明治22年10月10日	切紙・1通	733-29
(町税16銭9厘領収証) 中野町収入役小林金吾(印) 柳本みと納	明治22年8月17日	切紙・1通	733-30
(地方税3銭領収証) 中野町収入役小林金吾(印) 曾我ほの納	明治22年12月16日	切紙・1通	733-31
証(地図調製4銭7厘受取) 中野町惣代(印、「中野町人民総代之印」) 納人柳本みと	明治22年7月20日	切紙・1通	733-32
(宅地租7銭1厘領収証) 中野町役場収入役小林金吾(印) 柳本みと殿	明治22年10月15日	切紙・1通	733-33
(町税18銭領収証) 中野町収入役小林金吾(印) 曾我ほの納	明治22年11月5日	切紙・1通	733-34
(町税12銭7厘領収証) 中野町収入役小林金吾(印) 柳本みと納	明治22年11月5日	切紙・1通	733-35
「諸税領収証入」 740-1~128は新聞紙包一括	明治28年1月~12月		740
(釀金7円50銭領収書) 日本赤十字社長野支部幹事寛朴郎(印) 山田莊左衛門殿	明治28年12月25日	切紙・1通	740-1
領収証書(田租計3円44銭3厘) (小布施村・都住村収入役) 山田庄左衛門代納人涌井逸作納 糊付一括	明治28年12月23日	切紙・2通	740-2
領収証書(地租計20円余) (都住村・小布施村収入役) 山田庄左衛門代納人涌井逸作納 糊付一括	明治28年9月	切紙・2通	740-3
領収証書(町税92銭3厘) 下高井郡中野町収入役蘆澤市郎次(印) 山田庄左衛門代人白井彦兵衛納	明治28年12月25日	切紙・1通	740-4
領収証書(町税29銭6厘) 下高井郡中野町収入役蘆澤市郎次(印) 山田理兵衛納	明治28年12月25日	切紙・1通	740-5
(協議費1円19銭4厘領収書) 下高井郡新井惣代(印) 江部納人山田庄右(ママ)衛門	明治28年12月24日	切紙・1通	740-6
(土木費・樽川修繕費領収書、山田莊左衛門・理兵衛・有賀高之助分) 下木島組惣代(印、「大塚」)	(明治28年)12月22日	切紙・1綴(6通)	740-7
(村税・県税・地租計2円13銭6厘領収書、高石泉龍寺分立替、山田庄左衛門・代泉龍寺分) 下高井郡住郷村収入役(小林廣吉・野口善治郎)	明治27年~28年	切紙・1綴(7通)	740-8
領収証(土木費26円89銭6厘) (木嶋村大字吉惣代) 山本一造(印) 江部山田庄左衛門殿 12月1日付請求書と糊付一括	明治28年12月8日	切紙・2通	740-9
(地租・村税計3円5銭1厘領収書、理兵衛へ貸、山田理兵衛・曾我新蔵・有賀高之助・曾我新造代山田莊左衛門分) (木嶋村・瑞穂村収入役)	明治28年11月28日	切紙・1綴(8通)	740-10
(地租・村税領収書) (木嶋村・瑞穂村・平岡村収入役) 山田庄左衛門	明治28年11月	切紙・1綴(10通)	740-11
領収証書(地租計21円30銭1厘) 延徳村収入役柴本禧	明治28年11月22日	切紙・1通	740-12

之助(印) 延徳村山田庄左衛門納			
領収証書(畑租3円77銭6厘) 延徳村収入役柴本禧之助(印) 延徳村山田理兵衛納	明治28年11月22日	切紙・1通	740-13
領収証書(地租計2円74銭6厘) 下高井郡中野町収入役蘆澤市郎次(印) 中野町山田庄左衛門代納人白井彦兵衛納	明治28年	切紙・1通	740-14
領収証書(郡村宅地租19銭9厘) 下高井郡中野町収入役蘆澤市郎次(印) 中野町山田理兵衛代納人白井彦兵衛納	明治28年	切紙・1通	740-15
領収証書(地租計87円67銭3厘、山田庄左衛門・理兵衛・松三郎・山田ひろ進退人山田庄左衛門・篠田佐賢代人山田庄左衛門分) 下高井郡平野村収入役原弥太郎(印)	明治28年11月21日	切紙・1綴(5通)	740-16
(県税後半期・追加分領収書) 小布施村収入役高澤長之助(印) 小布施村山田庄左衛門代納人涌井逸作納糊付一括	明治28年11月7日	切紙・2通	740-17
(県税・村税領収書) 都住村収入役鈴木右治衛門(印) 平野村山田庄左衛門代納人涌井逸作納	明治28年11月6日	切紙・1綴(3通)	740-18
領収証(県税) 延徳村収入役柴本禧之助(印) 山田庄左衛門納	明治28年11月11日	切紙・1通	740-19
領収証(県税) 延徳村収入役柴本禧之助(印) 山田理兵衛納	明治28年11月11日	切紙・1通	740-20
領収証書(県税地租割1円70銭1厘) 下高井郡中野町収入役蘆澤市郎次(印) 山田庄左衛門代納人白井彦兵衛納	明治28年11月11日	切紙・1通	740-21
領収証書(県税地租割44銭5厘) 下高井郡中野町収入役蘆澤市郎次(印) 山田庄左衛門代納人白井彦兵衛納	明治28年11月11日	切紙・1通	740-22
領収証書(県税計27銭7厘) 下高井郡中野町収入役蘆澤市郎次(印) 山田理兵衛代納人白井彦兵衛納	明治28年11月11日	切紙・1通	740-23
領収証書(県税計5銭8厘) 下高井郡中野町収入役蘆澤市郎次(印) 山田理兵衛代人白井彦兵衛納	明治28年11月11日	切紙・1通	740-24
(県税・村税計3円56銭4厘領収書、理兵衛へ貸、山田理兵衛・曾我新造・有賀高之助・曾我新蔵代山田庄左衛門・常田ヨキ代山田庄左衛門・常田ヨキ分) (木嶋村・瑞穂村収入役)	明治28年11月11日	切紙・1綴(14通)	740-25
(県税・村税・地租領収書) (瑞穂村・平岡村・木嶋村・穂高村 山田庄左衛門)	明治28年11月11日	切紙・1綴(16通)	740-26
(県税・村税計131円73銭3厘領収書、山田庄左衛門・理兵衛・松三郎・山田ひろ進退人山田庄左衛門・篠田佐賢代人山田庄左衛門分) 下高井郡平野村収入役原弥太郎(印)	明治28年11月8日	切紙・1綴(12通)	740-27
領収証(村税9円58銭9厘) 延徳村収入役柴本禧之助(印) 山田庄左衛門納	明治28年10月1日	切紙・1通	740-28
領収証(村税1円73銭5厘) 延徳村収入役柴本禧之助(印) 山田理兵衛納	明治28年10月1日	切紙・1通	740-29
領収証書(地租計12円74銭2厘) 下高井郡穂高村収入役本山仙之助(印) 補高村山田庄左衛門納	明治28年9月28日	切紙・1通	740-30
領収証書(地租) 下高井郡木島村収入役坂原林作(印) 山田庄左衛門納	明治28年9月28日	切紙・1綴(4通)	740-31

徴税令書(地租計67銭1厘) 瑞穂村収入役吉原治良右衛門、書記金井森之助(印) 山田庄左衛門納	明治28年9月28日	切紙・1通	740-32
領収証書(畑租1円46銭5厘) 下高井郡平岡村収入役徳永兵三郎(印) 山田庄左衛門納	明治28年9月17日	切紙・1通	740-33
(地租領収書、山田理兵衛・曾我新蔵・曾我新造代山田庄左衛門分) (木島村収入役、瑞穂村収入役・書記)	明治28年9月28日	切紙・1綴(4通)	740-34
領収証書(地租・所得税計194円59銭2厘、山田庄左衛門・理兵衛・松三郎・篠田佐堅(ママ)代人山田庄左衛門・亡山田ひろ進退人山田庄左衛門分) 下高井郡平野村収入役原弥太郎(印)	明治28年9月25日	切紙・1綴(7通)	740-35
領収証書(地租計2円74銭7厘) 下高井郡中野町収入役蘆澤市郎次(印) 山田庄左衛門代人白井彦兵衛納	明治28年9月25日	切紙・1通	740-36
領収証書(郡村宅地租19銭9厘) 下高井郡中野町収入役蘆澤市郎次(印) 山田理兵衛代人白井彦兵衛納	明治28年9月25日	切紙・1通	740-37
領収証書(地租計21円30銭2厘) 下高井郡延徳村収入役柴本禧之助(印) 山田庄左衛門納	明治28年9月24日	切紙・1通	740-38
領収証書(畑租3円77銭7厘) 下高井郡延徳村収入役柴本禧之助(印) 山田理兵衛納	明治28年9月24日	切紙・1通	740-39
領収証書(村税7銭6厘) 都住村収入役鈴木右衛門(印) 山田庄左衛門代人涌井逸作納	明治28年7月22日	切紙・1通	740-40
領収証書(地租20円17銭) 小布施村収入役高澤長之助(印) 山田庄左衛門代人涌井逸作納	明治28年9月21日	切紙・1通	740-41
(土木費領収書、山田庄左衛門・理兵衛・松三郎(ママ)・ひろ分) 惣代宮崎茂兵衛(印)	明治28年8月19日	切紙・1綴(4通)	740-42
(村税計1円45銭5厘領収書、理兵衛へ貸、山田理兵衛・曾我新造・有賀高之助・常田ヨキ・曾我新蔵代山田庄左衛門分) (木島村・瑞穂村収入役)	明治28年8月26日	切紙・1綴(6通)	740-43
(村税・土木費領収書) (平岡村・木島村・穂高村・瑞穂村収入役、本山伊兵衛) 山田庄左衛門	明治28年	切紙・1綴(8通)	740-44
(村税・県税・車税計69円余領収書、山田庄左衛門・理兵衛分) 平野村収入役原弥太郎(印)	明治28年	切紙・1綴(8通)	740-45
領収証書(町税92銭3厘) 下高井郡中野町収入役蘆澤市郎次代(印、「長野県下高井郡中野町助役白井彦兵衛」) 山田庄左衛門代人白井彦兵衛納	明治28年8月20日	切紙・1通	740-46
領収証書(町税・八ヶ郷水利組合費、山田理兵衛・山田理兵衛代人白井彦兵衛分) 下高井郡中野町収入役蘆澤市郎次代(印、「長野県下高井郡中野町助役白井彦兵衛」) 糊付一括	明治28年8月20日	切紙・3通	740-47
(水利費11銭9厘書上) 水理惣代藤沢長吉 山田庄左衛門	(明治28年)8月16日	切紙・1通	740-48
(協議費71銭4厘領収書) 下高井郡新井惣代 平野村山田庄左衛門 請求書と糊付一括	(明治28年8月11日)	切紙・2通	740-49
領収証(夜間瀬川用水8ヶ郷水利組合費2円2銭7厘) 下高井郡中野町収入役蘆澤市郎次(印) 大字東江部山田庄左衛門納	明治28年	切紙・1通	740-50
領収証書(村税5円76銭8厘) 小布施村収入役高澤長之助(印) 山田庄左衛門代人涌井逸作納	明治28年7月10日	切紙・1通	740-51
領収証書(村税9円58銭9厘) 延徳村収入役柴本禧之助(印) 山田庄左衛門納	明治28年7月11日	切紙・1通	740-52

領収証書(村税1円73銭5厘) 延徳村収入役柴本禧之助(印) 山田理兵衛納	明治28年7月11日	切紙・1通	740-53
(天天堂樋修繕費領収書、山田庄左衛門・理兵衛・曾我新蔵分) (天天堂惣代、天天堂下樋惣代) 糊付一括	明治28年6月1日	切紙・2通	740-54
受取証(字向河原樋掛ほか3円11銭) 上樋掛天天堂佐藤藤作(印) イヘイ山田庄左衛門殿 徳右衛門作田土取人足貨惣右衛門渡の切紙を糊付一括	6月2日	切紙・2通	740-55
賦課令状(村税1円99銭6厘) 下高井郡平野村長山田理兵衛(印) 山田松三郎 740 56~59は折畳一括	明治28年4月15日	切紙・1通	740-56
賦課令状(村税45銭3厘) 下高井郡平野村長山田理兵衛(印) 山田浦次郎	明治28年4月15日	切紙・1通	740-57
賦課令状(村税4銭6厘) 下高井郡平野村長山田理兵衛(印) 亡山田ひろ進退人山田莊左衛門	明治28年4月15日	切紙・1通	740-58
賦課令状(村税1円60銭5厘) 下高井郡平野村長山田理兵衛(印) 篠田佐賢代人山田莊左衛門	明治28年4月15日	切紙・1通	740-59
賦課令状(村税、木村徳松代山田庄左衛門・下高井郡倭村常田ヨキ・曾我新造代山田庄左衛門分) 下高井郡瑞穂村長小林賢作(印) 740 60~65は折畳一括	明治28年4月21日	切紙・1綴(4通)	740-60
賦課令状(村税23円53銭2厘) 下高井郡穂高村長小林英之助(印) 山田庄左衛門	明治28年4月10日	切紙・1通	740-61
賦課令状(村税38円35銭5厘) 下高井郡延徳村長青木彦兵衛(印) 山田莊左衛門	明治28年4月	切紙・1通	740-62
賦課令状(村税6円93銭8厘) 下高井郡延徳村長青木彦兵衛(印) 山田理兵衛	明治28年4月	切紙・1通	740-63
賦課令状(町税3円7銭6厘) 下高井郡中野町長近山勝右衛門(印) 山田庄左衛門代納人白井彦兵衛	明治28年4月20日	切紙・1通	740-64
賦課令状(町税98銭7厘) 下高井郡中野町長近山勝右衛門(印) 山田理兵衛代納人白井彦兵衛	明治28年4月20日	切紙・1通	740-65
領収証書(地租計4円2銭9厘理兵衛へ貸し、山田理兵衛・曾我新蔵・有賀高之助・曾我新造代山田莊左衛門・常田ヨキ分) (木島村・瑞穂村収入役)	明治28年5月28日	切紙・1綴(6通)	740-66
領収証書(田租41銭2厘) 下高井郡平岡村収入役徳永兵三郎(印) 平岡村山田庄左衛門納	明治28年5月25日	切紙・1通	740-67
領収証書(田租計47円89銭5厘) 木島村収入役山本源治郎(印) 山田庄左衛門納	明治28年5月28日	切紙・1綴(4通)	740-68
領収証書(田租21円13銭5厘) 下高井郡穂高村収入役本山仙之助(印) 山田莊左衛門納	明治28年5月28日	切紙・1通	740-69
領収証書(田租8円83銭8厘) 下高井郡瑞穂村収入役吉原治良右衛門代書記大平宇太郎(印) 山田莊左衛門納	明治28年5月28日	切紙・1通	740-70
(田租計82円16銭領収書、山田莊左衛門・理兵衛・松三郎・篠田佐賢代人山田莊左衛門分) 下高井郡平野村収入役原弥太郎(印)	明治28年5月28日	切紙・1綴(4通)	740-71
領収証書(田租3円32銭8厘) 小布施村収入役高澤長之助(印) 山田庄左衛門代納人涌井逸作納	明治28年5月22日	切紙・1通	740-72
領収証書(田租・村税) 上高井郡都住村収入役鈴木治右衛門(印) 山田庄左衛門代納人涌井逸作	明治28年5月22日	切紙・1綴(2通)	740-73
領収証書(県税9銭1厘) 都住村収入役鈴木治右衛門	明治28年5月7日	切紙・1通	740-74

(印) 山田庄左衛門代納人涌井逸作			
領収証書(田租2円21銭6厘) 下高井郡中野町収入役蘆澤市郎次(印) 山田庄左衛門代納人白井彦兵衛納	明治28年5月23日	切紙・1通	740-75
領収証(田租4円17銭5厘) 延徳村収入役柴本禧之助(印) 山田理兵衛納	明治28年5月23日	切紙・1通	740-76
領収証(田租22円67銭6厘) 延徳村収入役柴本禧之助(印) 山田荘左衛門納	明治28年5月23日	切紙・1通	740-77
領収証(県税15円余) 延徳村収入役柴本禧之助(印) 山田荘左衛門納	明治28年5月13日	切紙・1通	740-78
領収証(県税2円87銭4厘) 延徳村収入役柴本禧之助(印) 山田理兵衛納	明治28年5月13日	切紙・1通	740-79
(県税・村税計4円17銭2厘領収書、理兵衛へ貸、山田理兵衛・曾我新蔵・有賀高之助・常田ヨキ代山田荘左衛門・木村徳松代山田荘左衛門・曾我新造代山田荘左衛門分)(木嶋村・瑞穂村収入役)	明治28年5月11日	切紙・1綴(14通)	740-80
(県税・村税領収書) 下高井郡平岡村収入役徳永兵三郎(印) 山田庄左衛門 糊付一括	明治28年	切紙・2通	740-81
領収証(村税計13円81銭9厘) 下高井郡木島村収入役山本源治郎(印) 山田庄左衛門	明治28年5月11日	切紙・1綴(4通)	740-82
領収証書(県税計22円95銭2厘) 下高井郡木嶋村収入役山本源治郎(印) 山田庄左衛門納	明治28年5月11日	切紙・1綴(4通)	740-83
領収証書(県税・村税計19円47銭3厘) 下高井郡穂高村収入役本山仙之助(印) 山田荘左衛門納 糊付一括	明治28年	切紙・2通	740-84
(県税・村税領収書) 下高井郡瑞穂村収入役吉原治良右衛門代書記金井森之助(印) 山田荘左衛門 糊付一括	明治28年5月11日	切紙・2通	740-85
(県税計65円60銭3厘領収書、山田荘左衛門・理兵衛・松三郎・浦次郎・亡山田ひろ進退人山田荘左衛門・篠田佐賢代人山田荘左衛門分) 下高井郡平野村収入役原弥太郎(印)	明治28年5月10日	切紙・1綴(6通)	740-86
領収証書(県税1円70銭1厘) 下高井郡中野町収入役蘆澤市郎次(印) 山田庄左衛門代人白井彦兵衛納	明治28年5月10日	切紙・1通	740-87
領収証書(県税27銭7厘) 下高井郡中野町収入役蘆澤市郎次(印) 山田理兵衛代人白井彦兵衛納	明治28年5月10日	切紙・1通	740-88
領収証書(県税6円35銭8厘) 小布施村収入役高澤長之助(印) 山田庄左衛門代納人涌井逸作納	明治28年5月11日	切紙・1通	740-89
領収証(村税9円58銭9厘) 延徳村収入役柴本禧之助(印) 山田荘左衛門納	明治28年4月25日	切紙・1通	740-90
領収証(村税1円73銭5厘) 延徳村収入役柴本禧之助(印) 山田理兵衛納	明治28年4月25日	切紙・1通	740-91
(村税計53円35銭5厘領収書、山田荘左衛門・理兵衛・松三郎・浦次郎・亡山田ひろ進退人山田荘左衛門・篠田佐賢代人山田荘左衛門分) 平野村収入役原弥太郎(印)	明治28年5月8日	切紙・1綴(14通)	740-92
(古樋費1円28銭6厘領収書) 下木嶋組惣代(印、「大塚」) 江部山田庄左衛門	5月3日	切紙・1通	740-93
領収証書(町税1円23銭) 下高井郡中野町収入役蘆澤市郎次(印) 山田庄左衛門代納人白井彦兵衛納	明治28年5月1日	切紙・1通	740-94
領収証書(村税2円88銭4厘) 小布施村収入役高澤長之	明治28年4月29日	切紙・1通	740-95

助(印) 山田庄左衛門代納人涌井逸作納			
領収証書(田租11錢5厘) 都住村収入役田中周平(印) 山田庄左衛門代納人涌井逸作納	明治28年3月20日	切紙・1通	740-96
領収証書(田租3円32錢9厘) 小布施村収入役高沢長之助(印) 山田庄左衛門代納人涌井逸作納	明治28年3月20日	切紙・1通	740-97
土木費(2円55錢領収書) 片塩惣代永峯重兵衛(印) 納人東江部山田庄左衛門	明治28年4月17日	切紙・1通	740-98
(所得税計109円39錢5厘領収書、山田庄左衛門・理兵衛分) 下高井郡平野村収入役原弥太郎(印)	明治28年3月29日	切紙・1綴(2通)	740-99
(田租計82円16錢2厘領収書、山田庄左衛門・理兵衛・松三郎・篠田佐賢代人山田庄左衛門分) 下高井郡平野村収入役原弥太郎(印)	明治28年3月29日	切紙・1綴(4通)	740-100
領収証書(田租2円21錢3厘) 下高井郡中野町収入役蘆澤市郎次(印) 山田庄左衛門代納人白井彦兵衛納	明治28年3月25日	切紙・1通	740-101
領収証書(田租計79円83錢、山田庄左衛門・理兵衛・曾我新蔵・常田ヨキ代山田庄左衛門・曾我新蔵代山田庄左衛門・有賀高之助分) (平岡村・木島村・瑞穂村・穂高村収入役)	明治28年3月	切紙・1綴(13通)	740-102
領収証(田租22円67錢6厘) 延徳村収入役柴本禧之助(印) 山田庄左衛門納	明治28年3月22日	切紙・1通	740-103
領収証(田租4円17錢5厘) 延徳村収入役柴本禧之助(印) 山田理兵衛納	明治28年3月22日	切紙・1通	740-104
領収証書(田租3円32錢9厘) 小布施村収入役高沢長之助(印) 山田庄左衛門代納人涌井逸作納	明治28年2月21日	切紙・1通	740-105
領収証書(田租11錢5厘) 都住村収入役田中周平(印) 山田庄左衛門代納人涌井逸作納	明治28年2月23日	切紙・1通	740-106
(田租82円16錢2厘領収書、山田庄左衛門・理兵衛・松三郎・篠田佐賢代人山田庄左衛門分) 下高井郡平野村収入役原弥太郎(印)	明治28年2月26日	切紙・1綴(4通)	740-107
領収証書(田租計79円83錢、山田庄左衛門・理兵衛・曾我新蔵・有賀高之助・曾我新蔵代山田庄左衛門・常田ヨキ代山田庄左衛門分) (平岡村・木島村・穂高村・瑞穂村収入役)	明治28年2月	切紙・1綴(13通)	740-108
領収証書(田租、山田庄左衛門・理兵衛・山田庄左衛門代納人白井彦兵衛分) (延徳村・中野町収入役)	明治28年2月18日	切紙・1綴(3通)	740-109
(土木費計25円15錢5厘領収書、山田庄左衛門・理兵衛・松三郎・浦次郎・山田ひろ分) 惣代宮崎茂兵衛(印)	明治28年2月13日	切紙・1綴(5通)	740-110
(土木費計1円30錢5厘領収書、山田庄左衛門・篠田佐賢分) 岩船惣代(印)	(明治28年)1月26日	切紙・1綴(3通)	740-111
(耕地修繕費計10円5錢4厘領収書、山田庄左衛門・篠田佐賢代納人山田庄左衛門・理兵衛分) 平野村西江部惣代篠田濱之助(印)	明治28年1月26日	切紙・1綴(3通)	740-112
(土木協議費2円92錢領収書) 下高井郡平野村大字吉田惣代平林定吉 山田庄左衛門殿	明治28年2月7日	切紙・1通	740-113
領収証書(県税雑種税1円30錢) 延徳村収入役柴本禧之助(印) 山田庄左衛門	明治28年1月23日	切紙・1通	740-114
領収証(村税2円88錢2厘) 上高井郡小布施村収入役嶋田重作(印) 小布施村山田庄左衛門涌井逸作納	明治28年1月22日	切紙・1通	740-115

領収証(村税4銭1厘) 上高井郡都住村収入役田中周平(印) 山田庄左衛門代納入浦井逸作	明治28年1月22日	切紙・1通	740-116
領収証書(夜間瀬川用水八ヶ郷水利組合費26銭9厘) 下高井郡中野町収入役土屋安之助(印) 山田庄左衛門	明治28年1月24日	切紙・1通	740-117
記(用水費47銭領収書) 木島村大字木島惣代小池伊三郎(印) 江部山田庄左衛門殿 740 119と折畳一括	明治28年1月	切紙・1通	740-118
記(用水費19円92銭6厘領収書) 下高井郡木島村大字木島総代関今吉(印) 下高井郡江部山田庄左衛門殿	明治28年1月23日	切紙・1通	740-119
領収証(村税計8円53銭5厘、山田庄左衛門・理兵衛分) 下高井郡延徳村収入役柴本禧之助(印)	明治28年1月22日	切紙・1綴(2通)	740-120
(車税・県税計3円35銭領収書、山田庄左衛門・理兵衛分) 下高井郡延徳村収入役原弥太郎(印)	明治28年1月22日	切紙・1綴(6通)	740-121
領収証(町税78銭8厘) 下高井郡中野町収入役蘆澤市郎次代印(印、「長野県下高井郡中野町助役白井彦兵衛」) 山田庄左衛門代人白井彦兵衛	明治28年1月18日	切紙・1通	740-122
領収証(町税30銭9厘) 下高井郡中野町収入役蘆澤市郎次代印(印、「長野県下高井郡中野町助役白井彦兵衛」) 山田理兵衛代納入白井彦兵衛	明治28年1月18日	切紙・1通	740-123
領収証書(田租2円21銭6厘) 下高井郡中野町収入役蘆澤市郎次(印) 山田庄左衛門代納入白井彦兵衛	明治28年1月11日	切紙・1通	740-124
(田租・村税計75円91銭6厘領収書、山田庄左衛門・理兵衛・曾我新造・有賀高之助・曾我新造代山田庄左衛門・常田ヨキ代山田庄左衛門分) (木島村・穂高村・瑞穂村・平岡村収入役・村長)	(明治27年12月18日～28年1月10日)	切紙・1綴(15通)	740-125
(田租計82円16銭2厘領収書、山田庄左衛門・理兵衛・松三郎・篠田佐賢代人山田庄左衛門分) 下高井郡平野村収入役原弥太郎(印)	明治28年1月11日	切紙・1綴(4通)	740-126
領収証(田租4円17銭6厘) 延徳村収入役柴本禧之助(印) 山田理兵衛	明治28年1月10日	切紙・1通	740-127
領収証(田租22円67銭7厘) 延徳村収入役柴本禧之助(印) 山田庄左衛門	明治28年1月10日	切紙・1通	740-128
「明治七甲戌年 租税并村費小手形」	明治7甲戌年	1袋	746
「從明治三十八年五月、至明治三十九年四月、地租諸費納受取」	明治38年5月～明治39年4月	1包	747
「大正四年一月ヨリ同年十二月迄 諸税領収証」	大正4年1月～12月	1包	751
「明治四拾四年一月ヨリ同年十二月迄 納税領収証」	明治44年1月～同年12月	1包	761
「県庁 受取切符入」 山田	(明治中期)	1袋	763

印紙類売捌

(印紙類売捌関係書類一括) 1073-1～56は包紙・こより紐一括			1073
印紙類売渡請求書(未使用)	明治	切紙・3枚	1073-1
収入印紙明治三十三年四五六月分売捌及残高調表 山形屋酒舗 御本宅御中 1073-2～5は折込一括	(明治)33年7月19日	朱罫紙・1枚	1073-2

収入印紙明治三十二年十一十二月分売捌及残高調表 山形屋酒舗 御本宅御中	(明治)33年1月6日	朱罫紙・1枚	1073-3
収入印紙明治三十二年七八九月份売捌及残高調表 山形屋酒舗 御本宅御中	(明治)32年10月1日	朱罫紙・1枚	1073-4
収入印紙売捌決算表 山形屋酒店 御本宅御中	明治33年1月6日	朱罫紙・1枚	1073-5
証券印紙明治三十年十一十二月分売捌及残高調表 山形屋酒店 山田御本宅御中 1073-6~10は折込一括	(明治33)1月3日	朱罫紙・1枚	1073-6
証券印紙明治三十一年一二三月份売捌及残高調表 山形屋酒店 山田本宅御中	(明治)31年4月2日	朱罫紙・1枚	1073-7
証券印紙明治三十一年四五月分売捌及残高調表 山形屋酒店 山田本宅御中	(明治)31年7月1日	朱罫紙・1枚	1073-8
証券印紙明治三十一年七八九月份売捌及残高調表 山形屋酒店 山田御本宅御中	(明治)31年10月31日	朱罫紙・1枚	1073-9
収入印紙明治三十二年一二三月份売捌及残高調表 山形屋酒店 御本宅御中	(明治)32年4月8日	朱罫紙・1枚	1073-10
証券印紙明治三十年七八九月份売捌及び残高取調表 山形屋酒店 山田本宅御中 1073-11~16は折込一括	(明治30年)10月1日	朱罫紙・1枚	1073-11
証券印紙明治三十年四五六ヶ月分売捌及残高取調表 山形屋酒店 山田本宅御中 「明治三十拾年從四月至六月登記印紙売捌高」を貼付	(明治30年)7月5日	朱罫紙・1枚	1073-12
証券印紙明治三十年一二三ヶ月分売捌及残高取調表 山形屋酒店 山田本宅御中 「自明治三十年一月至全年三月登記印紙数売捌高」を貼付	(明治)30年4月2日	朱罫紙・1枚	1073-13
明治廿九年從十月至十二月但三ヶ月分取調書 平野役場 二テ網島林吉 山田御本宅様 1073-14~16は綴り一括	明治30年1月22日	朱罫紙・1枚	1073-14
証券印紙十一十二月分売捌高及残高調表 山形屋酒店 山田本宅御中	明治30年1月3日	朱罫紙・1枚	1073-15
明治廿九年七八九三ヶ月分及販売取調表 山形屋酒蔵支店 山田本店出納掛御中	明治29年10月2日	朱罫紙・1枚	1073-16
印紙類売渡請求書(差引3円71銭9厘) 下高井郡平野村 印紙類売捌人山田荘左衛門 印紙類元売捌中野代理店御中	明治24年1月29日	豎切紙・1枚	1073-17
明治 第 期印紙類売捌高届(未使用) 下高井郡平野村 29番地印紙類売捌人山田荘左衛門 松本税務管理局長 司税官菊池良殿 2枚罫線のみ入り	明治30年	豎紙・3枚	1073-18
自明治廿三年十月一日至同年十二月三十一日印紙類売捌高届 (明治30年まであり) 長野県下高井郡平野村29番地 印紙売捌人山田荘左衛門 長野県知事内海忠勝殿	明治24年1月7日~30年	半・1冊	1073-19
明治廿三年七八九三ヶ月分及販売現在高取調表 山形屋酒店支店 山田本店出納掛御中 1073-20~43は折込一括	明治23年10月2日	朱罫紙・1枚	1073-20
明治廿三年十一十二月三ヶ月分及販売現在高取調表 山形屋支店 山田本店出納掛御中	明治24年第1月2日	朱罫紙・1枚	1073-21
明治廿四年一二三但三ヶ月分及販売現在高取調表 山形屋酒店支店印 山田本店出納掛御中	明治24年4月2日	朱罫紙・1枚	1073-22
明治廿四年四五六三ヶ月分及販売現在高取調表 山形屋酒店支店 山田本店出納掛御中	(明治)24年7月5日	朱罫紙・1枚	1073-23
明治廿四年七八九三ヶ月分及販売現在高取調表 山形	明治24年10月8日	朱罫紙・1枚	1073-24

屋酒店支店 山田本店出納掛御中			
明治廿四年十月十一月十二月三ヶ月分及販売現在高取調表 山形屋酒店支店 山田本店出納掛御中	明治25年1月2日	朱罫紙・1枚	1073-25
明治廿五年辰一月二月三月三ヶ月分及販売現在高取調表 山形屋支店 山田本店出納掛御中	明治25年4月4日	朱罫紙・1枚	1073-26
明治廿五年辰四月五月六月三ヶ月分及販売現在取調取調表 山形屋酒造蔵支店 山田本店出納掛御中	明治25年辰7月7日	朱罫紙・1枚	1073-27
明治廿五年辰七月八月九月三ヶ月分及販売現在取調表 山形屋酒造蔵支店 山田本店出納掛御中	明治25年辰10月3日	朱罫紙・1枚	1073-28
明治廿五年十月十一月十二月三ヶ月分及販売現在取調表 山形屋酒蔵支店 山田本店出納掛御中	明治26年1月2日	朱罫紙・1枚	1073-29
明治廿六年巳一月二月三月三ヶ月分及販売現在高取調表 山形屋酒蔵支店 山田本店出納掛御中	明治26年4月4日	朱罫紙・1枚	1073-30
明治廿六年巳四月五月六月三ヶ月分及販売現在高取調表 山形屋酒蔵支店 山田本店出納掛御中	明治26年7月2日	朱罫紙・1枚	1073-31
明治廿六年巳七月八月九月三ヶ月分及販売現在高取調表 山形屋酒蔵支店 山田本店出納掛御中	明治26年第10月1日	朱罫紙・1枚	1073-32
明治廿六年巳十月十一月十二月三ヶ月分及販売現在高取調表 山形屋酒蔵支店 山田本店出納掛御中	明治27年1月2日	朱罫紙・1枚	1073-33
明治廿七年壱式三ヶ月分及販売現在高取調表 酒蔵支店 山田本店出納掛御中	明治27年4月3日	朱罫紙・1枚	1073-34
明治廿七年四五六三ヶ月分及販売現在高取調表 酒店支店 山田本店出納掛御中	明治27年7月3日	朱罫紙・1枚	1073-35
明治廿七年七八九三ヶ月分及販売現在高取調表 山形屋支店 山田本店出納掛御中	明治27年10月1日	朱罫紙・1枚	1073-36
明治廿七年十十一二三ヶ月分及販売現在取調表 山形屋酒蔵支店 山田本店出納掛御中	明治28年第1月2日	朱罫紙・1枚	1073-37
明治廿八年壱式三但三ヶ月分及販売現在取調表 山形屋支店 山田本店出納掛御中	明治28年4月2日	朱罫紙・1枚	1073-38
明治廿八年四五六但三ヶ月分及販売現在取調表 山形屋酒蔵支店 山田本店出納掛御中	明治28年7月2日	朱罫紙・1枚	1073-39
明治廿八年七月八月九月三ヶ月分及販売現在取調表 山形屋酒蔵支店 山田本店出納掛御中	明治28年10月3日	朱罫紙・1枚	1073-40
明治廿八年十月十一月十二月三ヶ月分及販売現在調表 山形屋酒蔵支店 山田本店出納掛御中	明治29年1月2日	朱罫紙・1枚	1073-41
明治廿九年壱式三但三ヶ月分及販売現在取調表 山形屋酒蔵支店 山田本店出納掛御中	明治29年4月8日	朱罫紙・1枚	1073-42
明治廿九年四五六但三ヶ月分及販売現在取調表 山形屋酒蔵支店 山田本店出納掛御中	明治29年7月2日	朱罫紙・1枚	1073-43
印紙類売捌継続願 長野県下高井郡平野村29番地山田荘左衛門(印) 長野県知事浅田徳則殿 1073-44~46は折込一括、44と45は綴り一括	明治27年6月日	朱罫紙・1枚	1073-44
(2年間許可証) 長野県知事浅田徳則(印)	明治27年7月2日	罫紙・1枚	1073-45
(1年間許可証) 長野県知事浅田徳則(印)	明治26年7月1日	罫紙・1枚	1073-46
印紙類売捌人心得 長野県知事浅田徳則	明治27年5月1日	1綴	1073-47

(証券印紙売捌高表) 江部村印紙売捌人山田荘左衛門 下高井郡長箕輪鼎殿	明治20年7月～22年10月	半・1冊	1073-48
(証券印紙売捌高表)	明治22年10月～23年9月	豎折紙・1通	1073-49
(証券印紙売捌高表) 下高井郡江部村山田荘左衛門	明治17年7月～20年3月	半・1冊	1073-50
(販売現在取調表) 山形屋酒店支店 本店御中御掛り関 谷様 取調の覚書など貼付	明治18年1月～23年6月	半・1冊	1073-51
(印紙類売捌方継続関係関税所達・願書・請書)	明治26年6月	1綴(3枚)	1073-52
自明治廿九年一月一日至同年三月三十一日印紙類売捌 高届 長野県下高井郡平野村29番地印紙売捌人山田荘左 衛門 長野県知事	明治29年4月日	朱罫紙・1枚	1073-53
印紙類売捌継続願 長野県下高井郡平野村29番地山田荘 左衛門 知事宛 1073-55とセット	明治27年6月日	朱罫紙・1枚	1073-54
請書(印紙売捌許可について移転は廃業のこと) 長野 県下高井郡平野村29番地売捌所		朱罫紙・1枚	1073-55
明治廿一年自一月至十二月之印紙売捌高取調表 下高 井郡江部村16番地印紙売捌人山田荘左衛門 長野県第一 区検税金中野派出所御中	明治22年2月1日	朱罫紙・1枚	1073-56

家政

相続

生命保険申込書(長男董平) 保険契約者山田荘左衛門 (印)、被保険者山田董平(印) 千代田生命保険相互会社御 中	明治38年3月10日	豎紙・1通	617
家督相続二付登記申請 下高井郡平野村大字江部101番地 山田丑太郎 飯山区裁判処中野出張所御中	明治32年10月	豎罫紙・1通	1033

婚礼・養子縁組

おせき結納并嫁入仕度諸色覚 丁間に1055-1・2を挟込 (婚姻祝儀に関わる書式例書上)	天保10亥年4月吉日	横半半・1冊	1055
井之上お増仕度(嫁入り道具書上)		折紙・1通	1055-1
		折紙・1通	1055-2
お亀事お栄嫁入仕度諸色并お亀七夜祝儀諸色覚	安政3年辰9月吉日	横美半・1冊	1056
「おふさむかさり[迎去]日記」	享和2戌4月	1袋	1059
祝儀覚(縮緬・耳たらい・昆布など書上)	享和2戌4月	横長半・1冊	1059-1
覚(白苧2ほか代金3分余受取) 藤屋治助(印、「信州善 光寺」) 東井部庄左衛門様 1059-3と畳込一括	4月17日	横切継紙・1通	1059-2
覚(菅笠、求肥伊勢町遠州屋ほか品物書上)		横切継紙・1通	1059-3
覚(1貫200文受取) 草間新八		切紙・1通	1059-4
覚(上々ござ15枚代金受取) しまや喜曾八(印、小布 施) 江部庄左衛門様	戌4月29日	切継紙・1通	1059-5
覚(縮萌黄らせんほか品物代金書上) 北鳶屋千蔵 山田庄左衛門様	4月18日	横切継紙・1通	1059-6

おほ系(鏡ほか品物代金書上) 釘屋和助 善四良様	戌之4月	横切継紙・1通	1059-7
覚(さらしほか品物代金書上) 穀屋次三郎、文右衛門 山田庄左衛門様	2月10日	横切継紙・1通	1059-8
覚(合羽仕立代350文受取) 西町仕立や勘助(印) 東 江部村庄左衛門様	4月22日	切紙・1通	1059-9
覚(縮1反ほか代金3分余受取) 有田屋甚左衛門 山田 庄左衛門様	戌4月21日	横切紙・1通	1059-10
覚(青1反代金700文受取) 中野甚左衛門(印、信州中 野・ヤマ七・横田) 山田庄左衛門様	4月22日	切継紙・1通	1059-11
覚(ひつ代金72文受取) 中野村代右衛門(印) 江部村 庄左衛門様 1059-11に挟込	戌4月22日	切紙・1通	1059-12
覚(緋縮緬ほか代金8両3步2朱余受取) 穀屋治三郎、 文右衛門 山田庄左衛門様	4月20日	横切紙・1通	1059-13
祝儀万覚(品物代金書上)	9月1日	横長半・1冊	1059-14
牟礼祝儀覚(結納品ほか)	天保8年酉正月17日	横半半折・1冊	1060
「牟礼祝儀諸書物」 山田氏 裏「丑御通入 菱屋(印) 山 田様」1061-1～19在中	天保8年酉正月吉日	1袋	1061
勘定書(夜具・たんすほか代金書上、父上へ御願の件 願) 小竹助 兄上様	極月20日	横切継紙・1通	1061-1
(書状、結納済大慶のこと、引越日取決めのこと)		横切継紙・1通	1061-2
覚(嫁入引越人足など書上)		横切継紙・1通	1061-3
覚(白紬1反ほか代金書上) 竹茂 山田様 1061-5～8 を挟込		横長半・1冊	1061-4
親類書(44名書上) 実家新井弥十郎		横切継紙・1通	1061-5
覚(女中乗物見積書) 長沼駕籠師庄左衛門 東伊部村 山田庄左衛門様 1061-7と畳込一括		横切紙・1通	1061-6
覚(金3両2分受取) 長沼六地蔵町かこや庄左衛門	極月24日	横切紙・1通	1061-7
(縮緬ほか舁屋甚蔵へ9月注文の品書上、11月京より 帰着のこと)	卯9月29日	横切継紙・1通	1061-8
役割(出し方、給仕、膳方など人名書上)		横切継紙・1通	1061-9
酉二月廿九日献立	酉2月29日	折紙(三つ折)・1通	1061-10
請取書(約束の鍵遣わしのこと) 牟礼宿小川宣之助 東江部二而山田雨一郎様 包紙とも	2月13日	横切紙・1通	1061-11
覚(長持1、箆笥1受取) 岡村喜兵衛(印) 中沢麻治郎様 包紙とも、1061-12-1在中	天保15辰正月27日	折紙・1通	1061-12
覚(長持1、箆笥2受取) 高野式さえ門(印) 山田庄左衛 門様御取次衆中	2月13日	横切紙・1通	1061-12-1
(小竹介分・董平分品物書上)		折紙・1通	1061-13
請取書(長持・箆笥ほか受取) 小川宣之助(印) 山田 庄左衛門様 包紙とも	2月21日	横切継紙・1通	1061-14
(書状、婚礼五ツ目祝儀として喰籠之内・干烏賊呈上 のこと) 小川宣之助 山田庄左衛門様	3月4日	折紙・1通	1061-15

(親類覚書)		小切紙・1通	1061-16
荷物書(長持・箆笥ほか書上) 包紙とも	2月28日	横切紙・1通	1061-17
覚(結納振袖など仕立物書上)		横切継紙・1通	1061-18
親類書(15名書上) 包紙とも		折紙・1通	1061-19

法事・寺社

(書状、来院お礼、来月面談のこと) 常慶院(花押) 山田庄左衛門殿、人々御中	卯月26日	折紙・1通	466-348
(書状、無心の渋2樽下され礼、金5両借用願、善光寺土産進上) 大徳寺 山田庄左衛門様、玉机下	7月9日	横切継紙・1通	466-505
覚(妙義山初穂立替額書上) はせ川良左衛門 久助様 包紙とも	辰3月15日	切紙・1通	793
(棟札下書、大徳寺客殿施主山田庄左衛門)	明和9壬辰年9月16日	縦継紙・1枚	954
からはふ形(唐破風、茨鱗直に当て形取)	辰11月	包紙一括・1包(2枚)	955
(棟札、当寺本尊釈迦如来三尊、大工・杣木挽ほか人名あり) 山田頭元拝書	明和9年壬辰9月16日	堅切継紙・1通	994
(住居(寺力)差図)		絵図・1舗	995
覚(本5寸釘、大戸ほか書上) 995の関連史料力		折紙・1通	996
(大徳寺客殿修復施主関係書類包) 包紙は、客殿建立施主願書下書を転用		1包	997
願覚(客殿修復につき本柱・大工作料等の施主願) 大徳寺現住鎌石 山田庄左衛門殿	明和4年亥2月	縦紙・1通	997-1
(指図)		285 × 400・1舗	997-2
(指図) 997-4～7を巻込		285 × 400・1舗	997-3
(指図、断簡等畳込一括)			997-4
(書状下書、相談事につき拙宅来駕願)		横切紙・1通	997-5
(寸法書上) 997-6と7は重ねて折畳		横切継紙・1通	997-6
(新聞・方丈間・はり間の寸法書上)		折紙・1通	997-7
(覚書、やね外迄八尺五寸四分、惣高五尺二寸二分)		切紙・1通	997-8
(仏間・大間・八尺間指図)		285 × 345・1舗	997-9
(当寺客殿修繕に際し貴殿寄進物書上および入用負担方につき定め書、下書)		縦紙・1通	997-10
願覚(客殿修復につき施主願、下書) 大徳寺拾貳世現住鎌石 東江部村山田庄左衛門殿	明和8年卯7月	縦継紙・1通	997-11
寄附証文之事(本尊御供免として畑1反2畝7歩) 東江部村寄附人庄左衛門、片塩村名主立会藤右衛門 片塩村延命山大徳寺十二代鎌石大和尚禅師	明和8年卯9月	縦紙・1通	997-12
(大徳寺の御供免畑受取証文、下書) 997-12の中に畳込		切継紙・1通	997-13
(仏間・大間等指図)		282 × 405・1舗	997-14

表門并華表玉垣再建勸化帳 小川町三崎稲荷御社神主社役(印)	天保7申年3月	美・1冊	1017
当麻曼荼羅万人講(戒名ほか10人分書上あり) 中楚法蓮寺	(天保13年以降)	半・1冊	1018
大々御神楽献立控	天保7丙申3月吉日	半・1冊	1019
棟上御祝儀目録(控) 山田庄左衛門 諸職人衆中 綴り紐に1052-1を括り付	明和9年辰9月16日	横長半・1冊	1052
大工衆祝義覚 大徳寺より 職人衆中へ	明和9年辰9月16日	横長半・1冊	1052-1
大徳寺大間内陳天井寄進帳 山田庄左衛門顯孝代	天明8年申7月成就	横長半・1冊	1053
客殿普請細工銘細日記	明和8年卯7月日	横長美・1冊	1054
未六月廿八日法事諸事覚	未6月28日	横長美・1冊	1057
一札之事(金3両、餅初12俵棟上入用として借用証文) 片塩村大徳寺 東江部村山田庄左衛門殿	明和9年辰9月	豎紙・1通	1076
(棟札、愛宕山大権現本尊釈迦如来、副大工・杣木挽など 出身地・人名書上)	明和9年辰9月16日	豎切継紙・1通	1086

家普請

(書状、来賀の礼、家かや準備のこと) 中山兵左衛門 山田利兵衛様、貴報	23日	横切紙・1通	466-361
大熊村大工平兵衛日記(人足・杉戸・障子等の数量書上)		帳崩れ・1枚	466-368
(釘屋・屋根屋ほか職人関係の代金受取、手間賃覚等綴)		1綴	1044

交際

(書状、江戸表からの指示により、上納金300両は減額不可、写) 結城五郎作 東江部村庄左衛門殿	卯3月19日	横切継紙・1通	466-144
(書状、弥惣次へ御馳走の礼、その節金子無心のこと、後欠) 梨本幾右衛門 山田庄左衛門様、人々御中		切継紙・1通	466-390
口演(地券事件・内ノ店卸で多忙、元利金送付、下酒屋帳調大延引につき支援願) 弥右衛門 山田様	酉3月21日	横切継紙・1通	470
(西江部・片塩・新保・押切名主宛歳暮品書上)	卯12月30日	横切紙・1通	475-52
目録下書覚(扇子・茶など贈答品、贈先書上)	明和2年酉正月	横長半・1冊	577
(書状、菊蔵死去につき家立法相談、小川両家とは実談行き届かず) (牟礼村より)高野式左衛門拜 山田庄左衛門様 包紙とも	8月31日	豎紙・1通	645
(書状、山之内行き参事が帰郷の際に尊宅へ立ち寄るとのこと) 綿貫孝造 東江部村山田庄左衛門様	9月5日	横切継紙・1通	686
(書状、御内室様御遠行見舞い、香料金50疋・菓子1折進上) 塩入嘉源太 山田庄左衛門様、貴下	7月7日	横切継紙・1通	690
電報送達紙(トクエ危篤通知) (蛸殻町)ヤマ ヒラノム ラヤマダシヨウザエモン	(明治)42年8月28日	印刷紙・1通	705-25
(書状、利兵衛我俣につき不届との思し召しごもつとも) 江戸より(安藤久左衛門) (山田)庄兵衛様 包紙と	2月朔日	仮綴・1通(2枚)	710

も			
(書状、過日の礼、新町よりの届物を花屋に預け置き、地券調所本堂へ移転) 長野より中山潮堂 山田庄左衛門様、要用無異		横切継紙・1通	719
(書状、御内談の絵図面差上、来訪中の大工棟梁に出雲崎・尼瀬両町役人等の身元・所業善悪など聞取願)(荻野)廣介 董平様 包紙とも、723-1・2を同封	(嘉永・安政頃)7月21日	横切継紙・1通	723
(尼瀬・出雲崎両町役人・郷宿・郡中惣代らの身元・所業など聞取書)	(嘉永・安政頃)	横切継紙・1通	723-1
(御内頼の帳面・絵図引渡書、極内々取扱のこと) 廣介 董平様 封筒とも	(嘉永・安政頃)8月5日	横切紙・1通	723-2
(書状、苗字御免への祝詞) 荻野廣介 山田庄左衛門様 包紙とも、724-1を同封	(嘉永・安政頃)5月29日	横切継紙・1通	724
(書状、結構な仰せを蒙られ目出度き祝詞) 山下道平 山田庄左衛門様	(嘉永・安政頃)5月29日	横切継紙・1通	724-1
(書状、女中不足困入、家族の近況伺ほか、いろいろとりませ申上書) (松代町八田)のぶ子 御母上様 封筒とも、734-1を同封	(明治45力)3月24日	横切継紙・1通	734
(書状、長野の女学校進学に対する挨拶) のぶ子 しづ子とのへ	(明治45力)3月24日	横切継紙・1通	734-1
(書状、養母なを死亡通知) (長野市大門町)藤井平五郎 山田庄左衛門様 封筒とも	(明治42)1月16日	切継紙・1通	735
(書状、当方作事へ畳表50枚恵投の礼) 長 三郎兵衛 山 庄左衛門様 封筒とも	4月24日	横切継紙・1通	736
(書状2通) 一紙に2通連記			737
(書状、帰国の日程、襦袢の白襟かけ、蚕網の渋ぬりにつき) とら おやす殿	11月8日	横切継紙・1通	737-1
(書状、退院後回復し人形町小川様へも散歩、全快後のことは湯本氏と相談) 山田董平 御老母様、外御一同様御許へ	11月8日	横切継紙・1通	737-2
(書状、暑中見舞) 坂本半三郎 山田様 封筒とも	8月29日	横切紙・1通	758
(書状、溜御用ありがたく、今後も御用仰せ付け願) 綿屋孝造 山田庄左衛門様	2月27日	豎罫紙・1通	770
(書状、四十九日御備餅の礼、善敬院新盆につき燈籠等進上) 大内碩次郎 山田庄左衛門様、同理兵衛様 包紙とも	8月11日	横切継紙・1通	771
(書状、当年も相変わらず心やすく) 花次郎(力)内よりおさよ様	2月6日出	横切継紙・1通	783
(書状、相談のため庄助殿とともに御来駕願、下書控) 東江部村山田庄左衛門 (村山村)御名字失念、今右衛門様 包紙とも	7月20日	横切継紙・1通	928
「文化元年十一月上野四郎三郎様御手代堀文助様御逗留諸入用覚」 袋の表書と異なる内容のもの多数同封		1袋	935
(店名、人名等覚書)		横切紙・1通	935-22
(書状、金子来月用立て) 傳助 東江部村山田庄左衛門様 紙背に、とうふ、ろくろ、定規などと書込あり	11月17日	切紙・1通	935-28
諸事覚(味噌・醤油・薪等数量書上) 三右衛門	子11月	横長半・1冊	935-29

覚(大鯛代472文書上) 小布施孫介 東江部庄左衛門様	子11月28日	切紙・1通	935-30
覚(生鯖・生鮭等代金書上) 治助 江部庄左衛門様	11月21日	切紙・1通	935-31
覚(鯉・鮒送状、代金書上) 小布施孫助 東江部村庄左衛門様	11月5日	横切紙・1通	935-32
(胡椒・芋・米等につき覚書)		切紙・1通	935-33
覚(鯉代372文書上) 山本や喜左衛門 庄左衛門様	11月23日	切紙・1通	935-34
(人足・夫へ遣わした酒の書上)		切紙・1通	935-35
(中川良左衛門、ほか5名の名前書上)		切紙・1通	935-36
覚(45冊の内28冊返上、残りは木嶋太右衛門より返上) 孫次右衛門 庄左衛門様	10月21日	切紙・1通	935-37
覚(中之条陣屋・村々引渡御用の際の本銭・米代受取) 東江部村庄左衛門 上野四郎三郎様御手代堀丈助殿	(文化元)子11月24日	豎紙・1通	935-38
(石井源左衛門様御泊り入用、子年郷宿入用書上)		折紙・1通	935-39
堀丈助様御泊り(入用金勘定書) 文六 庄左衛門様		横切紙・1通	935-40
(味噌・醤油・薪等数量書上)		帳崩れ・1枚	935-41
(松代田町堀田伝右衛門、御徒江戸下谷三枚橋安藤久左衛門、新野村中山善助ほか村名・人名書上)		豎半半・1冊	1030

日記・文化

(書状、刀剣類品定めのお問い合わせにつき返答) 屯(力) 庄左衛門様	9月20日	横切紙・1通	466-145
(刀剣類につき覚書)		折紙・1通	466-146
(書状、孟宗筒恵との礼) 家探舟拜(力) 大尚道松齋老先生、案下	3月22日	横切紙・1通	466-147
覚(左氏伝新板・芸苑厄言・三家詩話・観世流謡本ほか代金受取) 須原屋茂兵衛(印、「日本橋南老丁目」) 山田庄左衛門様	寅4月19日	横切紙・1通	466-148
覚(伊勢物語ほか書籍代金1両1分余書上) 須原屋茂兵衛 山田庄左衛門様	辰ノ5月20日	横切紙・1通	466-515
覚(相州貞宗・国俊銘刀情報、値段・作り・折紙等) 家城屋久左衛門 関谷長様 貞宗の本阿弥折紙は明和4年弥生3日	9月7日	横切紙・1通	466-516
(書状、年賀挨拶、御蔵書の古文孝経を松代太守様へ献上の仕方につき) 雲巢拜 松齋老先生 根岸雲巢(大島(小布施)久兵衛、寺子屋師匠)のこたカ	正月吉日	折紙・1通	466-522
(書状、古文孝経贈恵のお礼、茶1箱進上)	9月9日	横切紙・1通	466-523
(書状、「国家政教」についての愚按、御高作拜見) 家探(力) 松齋先生	12月22日	横切紙・1通	466-524
(山田昌山のこと、および俳句) 可 丸拜		切紙・1通	566
(子安観音御札、同脇書写) 包紙共、包紙は長崎唐寺からの給物進上(竹内五郎左衛門 山田文次郎)の包紙を再利		切紙・2通	567

用			
日本大小神祇十方三世諸仏菩薩誓願書 願主山田文次郎拜書 大願成就のための經典書写の記事あり	明和元季申8月27日	豎紙・1通	569
明治四拾年一月日表(各日の運勢占書、2月分とも) 木島楚良 山田御主人様	(明治40)	横切紙・2通	585
(月別当番表) 597-1~11は折込一括、「安永十歳辛丑ノ年庚申当番山田丑之助」と記載あり		切紙・1通	597-1
(着物図柄力)		360×750・1枚	615
(掛軸力、八幡大神奉守護の文と幼児を抱く老人の絵)		1350×307・1鋪	637
(拓本等一括) 638-1~7は包紙一括		1包	638
桃青翁碑 桐所松讓禮宗撰并書 泉澤準則鐫	嘉永7歳次甲寅春3月	1280×600・1鋪	638-1
顯至楽果詩并序 頑仙子題	万治3庚子年6月17日	1700×370・1鋪	638-2
歌器図 自楽録古 孔子		660×730・1鋪	638-3
蔵六庵記 東都柳茂一	(享保4年)享保己亥春2月	1400×590・1鋪	638-4
(大石内蔵助12月13日付書状)		1270×600・1鋪	638-5
(馬上英雄図) 黄輝(賛)		1300×580・1鋪	638-6
(萬 楽)		1860×820・1鋪	638-7
(書籍断簡)		10枚	639
(書籍断簡、王義之関係) 「晋王義之十七帖東江先生 刻解釈、乙未火災燼中ヨリ出」の紙札共		15枚	640
東江先生書千字文(書籍) 日本橋通三町目吉文字屋次郎兵衛	安永8年己亥5月	1冊	641
厭触太平楽記巻の十(書籍写) 後欠カ		仮綴・1冊	642
(新聞切抜、記事「時代の家屋」) 工学士古宇田實氏選包紙とも		新聞紙・19枚	643
(小児ノ夜啼ヲ止ル符、本草綱目による痔疵・酒痔便血の調伏法)		横切紙・1通	704
(土地、学校、東京買物、布達、書状控ほか記録)	明治9年~10年	横切半半折・1冊	945
金剛壽命陀羅尼經 金毛道人書	正徳政元(正徳元力)辛卯仲夏吉祥日	折本・1冊	949
(梁間ほか間数書上、柱・猿など模様絵) 善光寺大門町の印あり		包入・1包(10枚)	952
(諸控帳、正月・盆の献立、小学読本写、味噌桶・醤油樽取調ほか) 山田きよ	明治29年~44年	豎半半・1冊	1035
「十八年度出京之節ノ手覚書類、不用之分、念ノ為今少し仕舞置可申事」 1037に挟込	(明治18)	紙帯一括・1束	1037-1
(松三郎よりの借物書上)		切紙・1通	1037-1-1
(平八渡し諸荷物書上)		切紙・1通	1037-1-2
(コップ、屏風、敷物、足袋、鉾物標本等書上)		切紙・1通	1037-1-3
記(中牛馬会社へ賃先払で出す諸荷物書上)		横切紙・1通	1037-1-4

受取証(江部村山田熊太郎宛荷物) 東京中牛馬会社 上野出張所 山田荘左衛門様	明治18年7月18日	切紙・1通	1037-1-5
国送り荷(諸荷物預かり、送届請書) 三ツ和村小林平 八 山田荘左衛門様	(明治)18年6月29日	横切継紙・1通	1037-1-6
(松三郎、ふし道へ預け品書上)		切紙・1通	1037-1-7
(書類一括) 表包紙「目録 はな紙袋」、内包紙にはうるし かぶれ薬、疱瘡薬の説明あり		1包	1038
覚(代金差引勘定書) 1038-2に巻付		切紙・1通	1038-1
*覚(真綿代金差引勘定書)		折紙・1通	1038-2
(漢字音訓書上) 紙背に宝暦4年奈良屋の奉行宛女子引 取許可願あり(全面抹消)		折紙・1通	1038-3
覚(金40両代銀差上) 藤井次郎左衛門 利合院様、御各 様	卯2月11日	切紙・1通	1038-4
「御守 山田文次郎」 包紙2枚とも		1包	1038-5
当所御料私領御代官御地頭覚(天正5～宝暦8年)		折紙・1通	1038-6
(詩歌) 二十三夜様 斜め切りの縦紙、包紙2枚とも	宝暦8寅2月	1通	1038-7
(欄間模様写取力)		1070×150・1枚	1082

情報

(長州征伐裁許ほか書留)		仮綴・1冊	610
電報送達紙(イリオカイリカヘン) シナノナカノヤマタ ハマ丁3ノ1ヤマタソウサイモン 裏面、越後屋菓子代金 ほか書上	(明治)35年12月30日	縦紙・1通	732
(將軍交替に伴う役替の通知書) 関口長十郎 御徒組頭 中	(天保8)	横切継紙・1通	781
(電報) アキタ ニホンバシクハマテウ三ノ一、ヤマダショ ウザエモン 書込「電信見夕、事務引継ニ八本店支配人立 合ヘキカ、指揮相成タシ」	(明治39年11月21日)	1通	935-15
(電報) コ ヒラノムラヤマダシヨザイモン		1通	935-16
(電報) アキタ ニホンバシクハマチヨウ三ノ一、ヤマタシ ヨウザエモン	(明治40年3月5日)	1通	935-17
(電報) ハマテフ三ノ一、ヤマタシヨウザエモン	(明治40年2月21日)	1通	935-18
(電報) アキタ ハマチョー三ノ一、ヤマダシヨザイモン 松本事件犯人捕縛につき内密に及ばざる旨、裏書あり	(明治40年2月26日)	1通	935-19
(電報) アキタ ハマチヨウ三ノ一、ヤマダシヨサエモン 犯人発見捕縛、当分内密の旨、裏書あり	(明治40年2月26日)	1通	935-20
(異国船来航・海防関係風説留等一括) こより紐で一括		1束	991
嘉永六丑年六月中浦賀表江異国船渡来之節御届書之 写	嘉永6年6月3日～13日	横長半・1冊	991-1
(和紙二認メ差出候アメリカ人ノ手札、英文) 包紙 入		小片・1枚	991-2
アメリカ詞(数字・酒などの読み、大将名ペルリ、日本		切継紙・1通	991-3

通辞ウリヤムス、ほか書上)			
海防書上写(海防掛り目付の進達、江戸市中の防備、大名の配置など書上)	嘉永3戌年3月10日進達之由	半・1冊	991-4
相州久里浜二おみて願書請取之図		280×390・1舗	991-5
(江戸湾絵図、測量その他異国船行動記録)		280×790・1舗	991-6
今般町年寄江御下ケニ相成候御書付之写(棄捐令等否定、武家へ融通差支えなし) 991-7~9は折込一括	9月7日	横切継紙・1通	991-7
よほくれぶし(幕政批判のちよほくれ、神風を期待)		横切継紙・1通	991-8
(風刺、西洋様強精、当方武備懸念感心のこと) 大筒 鑄太郎玉次(花押「物入」) 台場三造様這入人々沖中	惣数打日(カ)	横切継紙・1通	991-9
地震御届書写(駿河・遠江・三河・信濃の大名からの被害届)	嘉永7寅11月4日	半・1冊	991-10
(海防書上) 991-4とほぼ同じ		半・1冊	991-11
(將軍宣下之次第、異国船御警衛被仰付写)	嘉永6丑	横長半・1冊	991-12
異国船一件諸書附写(大船・大砲建造の儀、蝦夷地の儀ほか薩摩藩・松前藩などの申上書)	嘉永6丑年12月	半・1冊	991-13
水戸磯原船頭安南国江漂流之記	明和2年酉~明和3戌5月上旬5日	半・1冊	991-14
(異国船内海乗入れ時の大名海防体制関係触類写留)		半・1冊	991-15

地主

年代 成立年代 元禄6（1693）年～昭和17（1942）年

数量 629点

歴史

山田家が東江部村に土着したのは元和期のことと推定されるが、近世初期の具体的なことはほとんどわからない。延宝2（1674）年検地では山田庄左衛門家24石余、山田縫左衛門家37石余、山田太左衛門家8石余、山田太兵衛家17石余、と一族間で分割して土地を所持していた様子がうかがえ、いわゆる小農自立過程に適応して初期大経営からの解体が進行していたと考えられている。しかし、その後山田家（本家）は享保14（1729）年に村内持高164石、同17年に179石と急速に持高を伸ばし、享保14年の全所持高は自村を含め8か村にわたって423石にも及んでいる。元禄中期に大きな画期があって、それ以前においては低生産力の規定を受けて土地が剰余価値を生み出さないため、貢租負担の過重に耐えきれない百姓が所持地を放出し、低額による永代売・永年季質という形で山田家に集積されていた。それに対して、その後元禄後半期以降の生産力発展をうけて貢租負担が実質的な意味で軽減されると田畑の価値上昇が生じ、土地をめぐる契約においても有年季質・質流証文・抵当田畑の反別表示・年貢諸役の山田家側負担が一般化し、山田家の地主としての性格もいわゆる名田地主から質地地主へ転化した。この時点から山田家の投資としての土地集積活動が展開し、享保10（1725）年代に東江部村内での集積がおおむね頭打ちになると他村においてさらなる集積を遂げていく（以上、古川貞雄「成定期質地地主制の構造」『信濃』24巻10～12号、25巻2号、による）。

その後の所持地拡大については表3に文化13（1816）年と明治4（1871）年の事例を示した。享保14年と文化13年の間で居村内の所持高についてはほとんど変化が見られないが、他村での土地集積がかなり進んでいる。その傾向は明治4年と比較するとさらに顕著で、篠井・新野・綿内・吉・安田などこれまでよりも対象範囲を広げた新たな土地集積が行われたことが明らかである。権堂村（善光寺町の一部）・中野町（中野役所所在地）・湯田中村（温泉場）のように、わずかとはいえ屋敷経営や金貸・酒販売の拠点に所持地を有したことも重要な意味を持つだろう。

そして地租改正によって旧飯山藩領の貢租負担が軽減されると、今度は篠井村・新野村の所持地を手放して木島地方で積極的な土地購入を行うなどの機敏さを見せ、明治11（1878）年段階で100町歩を越す地主に成長を遂げている。しかし、明治10年代以降は土地経営より利回りのよい証券投資など土地以外への資本投下が行われたため、土地集積の勢いは衰えている。大正13（1924）年の記録で所持地面積は田103町歩・畑42町歩・計145町歩である（以上、地租改正以降については、横山憲長「松方デフレ期における地主の投資行動」『土地制度史学』87号、による）。

構造と内容

以上のような山田家の地主としての活動に対応させて、ここでは「所持地改」、「土地移動」、「小作証文」、「地主小作関係帳簿」、「小作料収納」、「相論・訴願」、「小作人合力」、「年貢諸役負担」のシリ

ーズを編成した。以下にその概要を示す。

(1) 所持地改

ここには山田家が諸村にわたって所持している土地の反別・持高などの確認に関わって作成されたと思われる史料や絵図を収めた。この中には、宝暦9(1759)年の新保村出作地の境目をめぐる相論の際の済口証文なども含まれている。

(2) 土地移動

これは土地の売買、質入、流地など土地移動に関する史料で、具体的には、「綿内村質流地受取関係」、「川直地替」、「廃道払下」、「その他」がある。

は、山田家による安政期以降の綿内村(高井郡、須坂藩領)での急激な土地集積に関わる史料である(目録(その1)に文久3(1863)年2月の綿内村小作証文130通を掲載)。は、享和2(1802)年の篠井川普請にともなって生じた土地の交換に関する記録で、「川直覚」と表書きした包紙にくるまれている。

は明治35(1902)年から41年にかけての、県道飯山街道廃道にともなう敷地払下願書等である。

(3) 小作証文

目録(その1)に掲載した小作証文・小作証券は、明治17(1884)年前後のものを中心とする1000通余であったが、ここにあるのは宝永7(1710)年以降、近世中後期のものがほとんどである。また山田荘左衛門宛の証文以外に山田理兵衛、山田文六など分家宛のものが含まれている点は目録(その1)と同様である。

(4) 地主小作関係帳簿

表3 山田荘左衛門家の所持高

単位：石

村名	文化13(1816)年	明治4(1871)年
東江部村	158.528	180.696
西江部村	84.949	64.586
片塩村	60.875	62.478
安源寺村	34.316	2.994
吉田村	77.560	16.741
岩船村	70.222	60.0423
更科村	35.307	
西間村	9.127	18.908
新保村	150.	184.171
北大熊村		0.158
押切村	71.038	64.137
同所出作分		5.443
清水村	0.794	0.794
篠井村		29.167
新野村		35.5316(山高共)
新井村		1.450
権堂村		1.346
綿内村		44.873
中野町		2.1923
吉村		39.805
中村		2.380
安田村		56.4879
間山村		山20,610歩
湯田中村		0.173
小沼村		0.030
沓野村		温泉寺分初0.140
佐野村		0.893
北岡村		8.058
	752.716(11か村)	寄 875.63424(26か村) 取米252.8934 外善光寺木屋平八屋敷・上田 海野町椀甚屋敷

典拠：文化13年分 = 「文化十三子年村々所持高書出帳」(18)
明治4年分 = 「万差引調帳」(386)

ここにあるのはいずれも帳崩れで、状態の悪いものもあって扱いが難しいが、宝暦7(1757)年と年代のわかるものなどもある(全ての帳簿が残される訳ではないから、崩されたものにも意味がある)。

(5) 小作料収納

これは小作料の収納に関するもので、小作米や未進分の単なる俵数書上のようなものから「小作年貢不納証文」まで多様なものがある。なお「小作年貢不納証文」については、古川貞雄氏が、積年の未進小作料の期限を切った徴収という点で一定の効果を上げたと指摘している(古川前掲論文)。

(6) 相論・訴願

ここには「新保村小作相論」、「吉田村小作相論」、「その他」がある。「新保村小作相論」は明和4(1767)年のもの1袋(1通・1冊)と文政期(1818~29)のもの1袋(多数、50点をこえる)がある。「吉田村小作相論」は宝暦12(1762)年のものである。

(7) 小作人合力

点数は多くないが小作人への合力(金子・夫食の貸与)に関するものである。文政9(1826)年水損時のものが多い。

(8) 年貢諸役負担

この項には山田家の年貢諸役負担に関わって作成・授受された史料を収めた。山田家の所持地がある各村(文化13年時点で11か村)の名主から年貢金・諸役金・村入用などの請求書や受取書が山田庄左衛門宛に届けられている。これらの中には「年貢皆済目録」といった表題をもつものもあり(一例として466-125)、いわゆる(村の)年貢皆済目録と誤解しかねないが、山田家はその村の所持地分の年貢を皆納したことを証するもので、他の年貢金受取覚と性格的に変わらないものである。表題にしばしば「三分一」とあるのは、中野幕領では初納から三納までの分割的な年貢金納制が採用されていたことによる。

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
地主			
所持地改			
覚(各年石高書上)		1綴	466-258
吉田村田畑高辻(入作文六分×34石余) 善右衛門	享保7年寅11月26日	横切紙・1通	466-269
(庄左衛門新保村出作地境目につき役代、名主へ対し不届きにつき出入り、済口証文3通写)	宝暦9年卯正月23日	縦継紙・1通(2枚)	466-362
指上申一札之事(庄左衛門役代と新保村出入り、内済につき済口証文) 志村多宮様御役所 新保村神主篠原伊勢、中野町名主善右衛門、郷宿平右衛門の奥書あり、362の関連史料	宝暦9卯正月22日	縦紙・1通	466-365
覚(北岡幸七分、去子春より高入畑高1石5升6合書上)		切紙・1通	466-385
覚(押切・北岡の人別畑高等書上)		帳崩れ・1通	466-389
(東江部中田ノ畑図)		帳崩れ・1枚	475-22
(川欠田・人名書上)		綴り・1綴	483
(所持地入高・引高書上ほか)		綴り・1綴	484
田畑覚(庄左衛門ほか10人分田畑地積・分米書上)	子ノ3月	横長美・1冊	490
他区村々持高調		折紙・1通	568
当未ノ春入高覚 東庄左衛門 西江部村清左衛門様	未3月日	横切継紙・1通	597-2
当未ノ春入高 東江部村庄左衛門 新保村弥左衛門様	宝暦13年未ノ3月11日	横切継紙・1通	597-3
柳沢伝吉より質田地(図面) 759-2と重ねて折畳		210×190・1鋪	759-1
新井氏より作吉田地(図面、「青立大不作半毛位か定年貢ノ趣改置」)		220×190・1鋪	759-2

土地移動

綿内村質流地受取関係

(綿内村質流地受取関係書類)			931
(書状、綿内の件、親類より金100両おねだり) 小田切祿三郎 山田庄左衛門様 封筒とも	2月6日	横切継紙・1通	931-1
(書状、綿内村地方一条につき金50両の出金を求められるも断り、ほか) 山田庄左衛門 小田切祿三郎様 931-1に巻き付け、端裏書「戌二月六日小田切氏江遣候返書控」	2月6日	横切継紙・1通	931-1-1
(書状、仰せの通り印書を差し上げるので、丸山氏より願い出の金子お渡し願) 小田切辰之助 山田庄左衛門 封筒とも	12月28日	横切継紙・1通	931-2
(綿内村十人組栄助より庄左衛門に譲渡高書上)	安政5年年2月朔日	縦切継紙・1通	931-3
覚(田畑惣金高1700両支払いにつき差引勘定) 東江	戌2月11日	横切継紙・1通	931-4

部村山田庄右衛門 綿内村栄助殿			
覚(田畑代金1700両の差引勘定) 931-4に巻き付け		切紙・1通	931-5
(書状、質入地は古来より所持し年貢も直納してきたもの、隠居分を残し質入れ、先日差上証文控紛失につき認め方教示願、など) 小田切辰之助 山田庄左衛門様 封筒とも	8月2日	横切継紙・1通	931-6
預り一札之事(今般取極候質地上八金の残り300両) 東江部村山田庄左衛門 綿内村栄助殿 印、全面に抹消あり	文久2戊年3月11日	縦紙・1通	931-7
覚(綿内村十人組栄助質地代金上金50両受取) 初治 山田庄左衛門様 931-7に挟込	戊10月17日	切紙・1通	931-7-1
覚(田畑惣金高1700両支払いにつき差引勘定) 東江部村山田庄左衛門 綿内村栄助殿 931-7に挟込	戊2月11日	横切継紙・1通	931-7-2
(書状、綿内村堀内への金融通につき礼) 小田切辰之助 山田庄左衛門様 封筒とも	7月2日	横切継紙・1通	931-8
(書状、利息支払方、江戸地震見舞ほか) (豪内) 教助 拜上 山田様 封筒とも、封筒表「光琳一幅添」	12月17日	横切継紙・1通	931-9
(追啓、光琳差上)		切紙・1通	931-9-1
(書状、綿内村質地流につき、代金2000両程) 辰之助 倅小田切祿三郎 山田庄左衛門様 封筒とも	正月27日	横切継紙・1通	931-10
(綿内村田畑諸役書上)		切紙・1通	931-10-1
(庄左衛門に渡す綿内村十人組栄助高の書上)	安政5年2月朔日	切継紙・1通	931-11
(書状、借入金収納日前お渡しにつき私からもお願い) 小田切辰之助 山田庄左衛門様	11月12日	横切継紙・1通	931-12
質地田畑調帳(綿内村分、手控)		1冊	931-13
辰之綿内村御役代帳 佐野七	安政3年12月	横長美・1冊	931-14
(綿内村の年貢・諸役・小作料等につき取調書)		横長美・1冊	931-15
申之配府(符) 綿内村支配人佐之七	万延元年	横長美・1冊	931-16
安政三丙辰勘定書 壕内教助役代綿内村十人組栄助 東江部村山田庄左衛門殿	安政3丙辰	横長美・1冊	931-17
小作入揚金請取通(金60両) 東江部村山田庄左衛門 綿内村栄助殿	安政2卯年12月	折紙・1通	931-18
預り田畑証文之事(綿内村分、下書)		横長美・1冊	931-19
戌年上納諸役取調御書上帳 須坂領綿内村初治 山田庄左衛門様	亥年正月	横長美・1冊	931-20
(巳年分年貢・小作料書上) 壕内教助役代栄助 山田庄左衛門殿	巳12月	横長美・1冊	931-21
綿内村小作引方調 仮綴		横長美・1冊	931-22
覚(字芦町新田ほかの小作初・代金書上)		横切継紙・1通	931-23
(芦町前ほか地字ごと畑高・小作初書上)		横切継紙・1通	931-24
(弁畑・馬場沢田分の寄上徳分書上)		折紙・1通	931-25
(上万年組友三郎小作地の小作条件覚)		切紙・1通	931-26

綿内村卯小作引之事	卯12月	折紙・1通	931-27
依高并高調書		横長美・1冊	931-28
「文久三亥正月入分、田畑銘細書引渡帳巻冊、戊亥兩年入分惣小作入調帳巻冊」包紙は、水戸藩主法掛宛借金引当証文雛形を転用		1包	938
田畑小作入仕訳銘細帳 高井郡綿内村壕内教助役代質地主栄助、親類受人半兵衛、同郡須坂町小田切辰之助役代請人武兵衛 同郡東江部村山田庄左衛門殿	文久3亥年正月	横長美大・1冊	938-1
預申田畑小作入銘細証文帳 壕内教助役代高井郡綿内村栄助 同郡東江部村山田庄左衛門殿	安政4年丁巳11月	半・1冊	950
「綿内壕内教助証文類」包紙・こより紐一括、包紙書込「文久二戌春綿内村栄助より入質代金千七百両也」		1包	977
高預証文之事(越石遠方につき預り、年貢諸役取次納) 高井郡綿内村壕内教助役代預人栄助(印)、同処二宮熊太郎役代受人藤兵衛(印) 同郡東江部村山田庄左衛門殿 綿内村名主宮澤彦三郎の奥印あり	安政5年戊午正月	豎切継紙・1通	977-1
田畑小作預添証文之事(質入地の小作証文書改に際し、質地年季中は栄助宛名で証文を取り、山田家へ預ける旨) 高井郡綿内村地所預主栄助(印)、同村請人藤兵衛(印)、同郡須坂町同武兵衛(印)、小作人惣代町田忠兵衛(印)ほか4名 山田庄左衛門殿 綿内村名主二宮熊太郎の奥印あり	安政6未年2月	豎切継紙・1通	977-2
副書之事(役代栄助地所7年季質入れ700両受取、外金300両受取、本・別証文の通り) 壕内教助(印)、親類二宮熊太郎(印) 山田庄左衛門殿	安政4年丁巳11月	豎紙・1通	977-3
証(質流切田畑請戻し、計2250両で地所・質地証文返却) 高井郡綿内村壕内教助他出二付親類惣代二宮熊太郎(印)、立会立岩鶴松(印)、副戸長石田治左衛門(印)、同断岩野利右衛門(印)、同断藤澤要作(印)、戸長小泉弁吉(印) 東江部村山田庄左衛門殿	明治6年5月20日	豎継紙・1通	977-4
証(質流切田畑請戻し、計2250両で地所・質地証文返却、下書) 高井郡綿内村壕内教助他出二付親類惣代苗誰、戸長、副戸長、同、同 山田庄左衛門殿 山田家作成の雛形力	明治6年5月何日	横切継紙・1通	977-5
(書状、綿内小作証文・添証文とも差上、金200両程融通願) 小田切辰之助 山田庄左衛門様	11月13日	横切継紙・1通	977-6
証(質地差戻し添証文、下書) 山田 綿内村壕内教助殿御親類 殿、同戸長 殿、同副戸長 殿、同同 殿	(明治6)	横切紙・1通	977-7
「田畑小作入銘細書」(包紙) 綿内村栄助 書込「巳十二月廿二日小作人惣代兵五郎印形可致分」		豎切紙・1枚	981

川直地替

「川直覚」 紐で一括		1包	900
篠井川辺附洲切流普請日記	享和2年戌3月	横長美・1冊	900-1
(書状、北大熊分地もついでに直したい旨への返答) 小沼むらより小林小左衛門 江部村にて山田庄左衛門様	7月26日	豎紙(結封)・1通	900-2
(川・敷地等略図)		切紙・1通	900-3
(篠井川普請絵図)	戌7月29日改	280×390・1鋪	900-4

請取申金子之事(地所替地につき地不足金1両2分、写) 小沼村忠兵衛、ほか2名 同村小左衛門殿 同村御料・私領 名主両名の奥書あり	享和2戌年7月	縦紙・1通	900-5
(書状、川直しにつき仰せの旨を村方へ申し置く、など) 小沼むらより小林小左衛門 東江部村にて山田庄左衛門 様	4月朔日	縦紙(結封)・1通	900-6
(書状、いよいよ右にて決まりなので御安意を、今日日 定めなど取り決め) 小沼村より小林小左衛門 東江部 村にて山田庄左衛門様	3月19日	横切紙・1通	900-7
請取申金子証文之事(川直し地不足金1両2分) 高井郡 小沼村請取主小左衛門、立合同村御料所名主彦右衛門、ほ ほか1名 同郡東江部村庄左衛門殿 包紙とも	享和2戌年7月	縦紙・1通	900-8
(川直し略図)	戌7月19日	260×340・1鋪	900-9
(書状、いよいよ今日縄張り、両役元へ行く前に拙宅へ お立寄願) 小沼村より小林小左衛門 東江部村にて山 田庄左衛門様	7月19日	縦紙・1通	900-10
(書状、明朝右場所立合願) 小沼村より小林小左衛門 東江部村にて山田庄左衛門様	7月22日	縦切紙・1通	900-11
(書状、川筋の件地主から不満、川筋を北へ移すか川直 しをやめるかしてほしい) 彦右衛門 山田庄左衛門 様 包紙とも	3月7日	縦紙・1通	900-12
(書状、北大熊村川直し今日いよいよ堀割開始の知ら せ) 小沼邑小左衛門 山田庄左衛門様	7月25日	縦紙・1通	900-13
(書状、先刻来駕の御礼、証書・書替共2本受取) 從小沼 村小林小左衛門 山田庄左衛門様	7月29日	縦紙(結封)・1通	900-14

廃道払下

(県道飯山街道の廃道分払下げにつき意向回答願) 下 水内郡秋津村役場(印) 平野村山田荘左衛門殿	明治35年8月18日	縦罫紙・1通	605-1
(別紙廃道敷払下げ願書に、必要あらば捺印し回送願) 秋津村役場(印) 平野村山田荘左衛門殿	明治36年11月10日	縦罫紙・1通	605-2
廃道敷地払下願(県道飯山街道敷買受の上畑地に変 換のこと願) 下水内郡飯山町貳百参拾貳番地出願人浦 野権左衛門、下高井郡平野村貳拾九番地出願人山田荘左衛 門 長野県知事関清英殿	明治35年9月	縦罫紙・1通	616
明治三十六年四月郡道敷地買上ケ二付地目変還(換)及 譲渡し書類控 山田荘左衛門 下高井郡長芥川忠蔵殿	明治36年4月	1冊	618
(号外通牒、廃道敷払下につき坪15銭に増額して再願を 指示、無理ならば他へ売却) 秋津村役場(印) 山田荘 左衛門殿	明治36年6月2日	縦切罫紙・1通	629
(廃道敷払下の件で希望あれば至急回答願) 下水内郡 秋津村役場(印) 下高井郡平野村山田荘左衛門殿 甲第 七一号	明治36年3月17日	縦罫紙・1通	630
(廃道敷払下の件での照会に対し、願書再提出の旨回答 書) 秋津村役場(印) 下高井郡平野村山田荘左衛門殿 甲第七一号	明治36年2月17日	縦罫紙・1通	631
廃道敷払下願 下水内郡秋津村貳百九拾五番地出願人田中 太郎、下高井郡平野村隣接地主山田荘左衛門 長野県知 事関清英殿	(明治36力)	縦罫紙・1通	632

地主/土地移動/廃道払下

(飯山街道廃道敷払い下げ手続きにつき通知書) 秋津村役場(印) 山田荘左衛門殿 甲第一四六号	明治35年8月30日	縦罫紙・1通	633
(書状、連名での廃道敷地払い下げ願書作成方につき) 浦野権左衛門 山田荘左衛門殿	9月4日	縦罫紙・1通	634
廃道敷払下願 下高井郡平野村願人山田荘左衛門 長野県知事関清英殿	明治36年2月	縦罫紙・1通	635
不用道路敷払下願(静間1270番ノ3字中町、段別3步代金1円45銭) 下水内郡秋津村願人山田荘左衛門 長野県知事 705-28と重ねて折畳	明治41年12月	縦切紙・1通	705-27
不用道路敷払下願(静間385番ノ3字米黒、段別7步代金1円96銭) 下水内郡秋津村願人山田荘左衛門 長野県知事	明治41年12月	縦切紙・1通	705-28

その他

地替証文之事 東江部村地替人庄左衛門印、西江部村立会弥五郎印、同村同断嘉介印 西江部村太郎七殿 (裏書)「表書之通証文渡シ申候控」	明和5年子11月	縦紙・1通	475-14
記(字名・作人・地価書上、地価計790円14銭) 貼紙多数		横長半・1冊	500
委任状(瑞穂村田売り渡しの所有権登記申請につき、下書) 下高井郡平野村山田荘左衛門	明治37年11月28日	縦紙・2通	602
委任状(代理涌井逸作、都住村田地所有権小布施村小林常吉へ登記移転)	(明治38年力)	縦罫紙・1通	620
委任状(代理涌井逸作、同右田地所有権登記)	明治38年2月28日	縦罫紙・1通	621
記(買受約束の瑞穂村田地を吉越富吉へ売渡しにつき同人宛て売渡証作成願) 瑞穂村米持朝吉(印) 山田荘左衛門殿	明治37年4月29日	切紙・1通	624
土地売渡之証(瑞穂村田1反24步地価27円23銭、金100円にて売渡) 下高井郡平野村売渡人山田荘左衛門 瑞穂村小林勝之助殿	明治37年11月28日	縦紙・1通	625
(土地分割・合併届) 下高井郡平野村式拾九番地山田荘左衛門 中野税務署御中	明治37年6月日	1冊	626
(土地分割・地目変換届) 下高井郡平野村廿九番地山田荘左衛門 松本税務管理局長飯塚忠成殿	明治35年6月7日20日	1冊	627
地目変換届 下高井郡平野村山田荘左衛門 松本税務管理局長飯塚忠成殿/中野税務署御中 挟込文書2枚(内1枚白紙)あり	明治37年6月	1冊	628
(土地請戻しにつき申付書、下書)		縦紙・1通	779
売渡証(田1反26步、180円) 山田荘左衛門 瑞穂村藤本明殿 山形屋酒造店の罫紙使用		縦罫紙・1通	885
樽川改良工事潰地承諾書 長野県知事大村清一殿 年月日、所有者の欄無記入		縦紙・1通	886
(地積・人名書上、替地関係か)		1綴	1040
(地積・人名書上、深水入・替地関係)		1綴	1041

小作証文

小作証文之事(初5俵4斗納) 新保村小作人伊作(印)、請人森右衛門(印) 庄左衛門殿 印形墨消	天保3年辰2月	豎紙・1通	714
(小作証文帯封一括、帶上書「西江部小作」)		1束	944
小作請証文之事(初1俵納) 西江部村小作人嘉平次 東江部村丑之助殿 端裏書「西江部村嘉平次」	安永10丑2月	豎紙・1通	944-1
小作証文之事(初11俵納) 西江部村幸四郎(印) 丑之助殿 端裏書「小作手形 西江部村幸四郎」	安永10年丑2月	豎紙・1通	944-2
小作証文之事(畑2俵5升) 西江部村小作人角右衛門(印) 丑之助殿 端裏書「小作手形 西江部村角右衛門」	安永10年丑2月	豎紙・1通	944-3
小作請証文之事(初7俵納) 西江部村小作人九右衛門(印) 東江部村丑之助殿 端裏書「小作証文 西江部村九右衛門」	安永10丑2月	豎紙・1通	944-4
小作証文之事(初3俵納、合計14俵3斗5升) 西江部村作り主幸助(印) 丑之助殿 端裏書「小作証文 戌年 西江部村幸助」	安永7年戌正月18日	豎紙・1通	944-5
小作証文之事(11俵1斗5升) 西江部村小作主善右衛門(印) 丑之助殿 端裏書「小作証文 戌年 西江部村善右衛門」	安永7年戌正月18日	豎紙・1通	944-6
小作証文之事(24俵5升納) 西江部村小作人雲次郎(印)、立会加判人長右衛門(印)、同断清七(印) 東江部村丑之助殿 端裏書「安永三年午二月 小作証文 西江部運次郎」	安永3年2月日	豎紙・1通	944-7
小作証文之事(初6俵2斗納) 西江部村小作人幸助(印) 東江部村丑之助殿 端裏書「小作証文 亥ノ二月廿五日 西江部村幸助」	安永8亥ノ2月	豎紙・1通	944-8
小作証文之事(初2俵3斗) 西江部村小作主忠左衛門(印) 東江部村丑之助殿 端裏書「安永九子年小作手形 畑方 西江部村忠左衛門」	安永9年子正月	豎紙・1通	944-9
小作請証文之事(6俵半納) 西江部村小作人清次郎(印) 東江部村丑之助殿 端裏書「小作証文 亥ノ正月 西江部村清次郎」	安永8亥ノ正月	豎紙・1通	944-10
小作請証文之事(1俵半納) 西江部村忠左衛門(印) 庄左衛門殿 端裏書「小作 忠左衛門」	寛政3亥正月	豎切紙・1通	944-11
小作証文之事(初2俵納) 西江部村小作人文蔵(印) 庄左衛門殿 端裏書「戌小作入 西江部文蔵」	寛政2年戌2月	豎切紙・1通	944-12
小作証文之事(初3俵納) 西江部村小作人安右衛門(印) 庄左衛門殿	寛政2年戌2月	豎紙・1通	944-13
小作証文之事(2俵納) 西江部村勇左衛門(印) 庄左衛門殿 端裏書「小作入 西勇左衛門」	寛政3年亥2月	豎切紙・1通	944-14
小作証文之事(1俵納) 西江部村小作人傳右衛門(印) 東江部村丑之助殿 端裏書「子年西江部傳右衛門小作手形」	安永9年子3月	豎紙・1通	944-15
小作証文之事(2俵1斗5升納) 西江部村半四郎(印) 庄左衛門殿	寛政3年亥2月	豎紙・1通	944-16
小作請証文之事(1俵5升納) 西江部村安右衛門(印)	天明8年申ノ2月	豎紙・1通	944-17

庄左衛門殿 端裏書「申小作、未迄角右衛門作 西惣四郎」			
小作請証文之事(14俵納) 西江部村小作人弥一郎(印)、請人嘉助(印) 庄左衛門殿 端裏書「未春小作証文 西江部弥一郎」	天明7未年2月	豎切継紙・1通	944-18
小作証文之事(初2俵3斗納) 西江部村小作人惣四郎(印) 丑之助殿 端裏書「亥二月廿七日 小作証文 西江部村惣四郎」	安永8亥2月	豎紙・1通	944-19
小作請証文之事(6斗納) 西江部村小作人利助(印) 庄左衛門殿 端裏書「午小作 西利助」	天明6年午2月	豎紙・1通	944-20
御請合申小作手形之事(2俵納) 西江部村主幸四郎(印)、請人平兵衛(印) 庄左衛門殿 944-21~28はこより紐一括、端裏書「小作手形 西江部幸四郎」	宝暦元未12月15日	豎紙・1通	944-21
小作手形(初4俵5升納) 西江部村小作人清兵衛(印)、同村請人平兵衛(印)、同請人専八(印) 文次郎殿 端裏書「小作手形西江部清兵衛」	宝暦13未12月	豎紙・1通	944-22
小作証文之事(4俵納) 西江部村小作人清兵衛(印)、同所同断嘉助(印)、同所請人平兵衛(印) 庄左衛門殿 端裏書「小作手形西江部清兵衛・嘉助」	宝暦13年未2月	豎紙・1通	944-23
小作手形之事(初5俵) 西江部村作主惣左衛門(印)、同所同断請人平兵衛(印) 理兵衛殿	元文5年申ノ2月7日	豎紙・1通	944-24
小作手形之事(3俵納) 西江部作主七兵衛(印)、請人幸四郎(印)、同平兵衛(印) 庄左衛門殿 端裏書「西江部小作手形七兵衛」	宝暦元未年12月	豎紙・1通	944-25
小作手形之事(初3俵納) 西江部村小作人平兵衛(印)、立合留右衛門(印) 庄左衛門殿 端裏書「小作手形西江部平兵衛」	延享4年卯12月	豎切紙・1通	944-26
小作手形之事(初8俵半納) 西江部村作主三左衛門(印)、請人平兵衛(印) 庄左衛門殿 端裏書「西江部小作手形三左衛門」	延享3年寅12月	豎切紙・1通	944-27
小作手形之事(初3俵納) 西江部村小作人五郎右衛門(印)、清兵衛(印)、原兵衛(印) 庄左衛門殿 端裏書「西江部小作手形五郎右衛門」	延享3年寅ノ3月14日	豎切紙・1通	944-28
小作証文之事(初5俵1斗5升納) 草間村小作人佐次右衛門(印)、請人佐七(印) 庄左衛門殿 端裏書「午 草間佐次右衛門」	天保5年午2月	豎紙・1通	951
小作証券(畑小作初2俵3斗5升5合納、3年季) 下高井郡江部邨山田理兵衛[] 差出部分切取、端裏貼紙「岩舟村山浦忠左衛門」	明治18年3月24日	豎切紙・1通	957
小作証文之事(初9俵半納) 西江部村小作人富左衛門(印)、請人幸蔵(印) 庄左衛門殿 端裏貼紙「未小作 西江部富左衛門」	天保5年午8月	豎切継紙・1通	965
小作証文之事(初計6俵1斗5升納) 富作(印)、庄兵衛(印) 庄左衛門殿 端裏貼紙「未小作 富作」	天保6年未2月	豎切紙・1通	967
小作証文之事(初計10俵3斗5升納) 西江部村小作人富左衛門(印)、請人良助(印) 庄左衛門殿 端裏貼紙「巳小作 富左衛門 印済」	天保4年巳2月	豎切紙・1通	968
小作証文之事(初1斗2升5合納) 片塩村小作人民吉(印)、請人忠作(印) 庄左衛門殿 端裏書「申 片塩民吉」	天保7年申2月	豎切紙・1通	970
小作証文之事(初計28俵半納) 片塩村小作人与市(印)、請人巳之助(印)、請人忠作(印) 庄左衛門殿 端裏貼紙	天保5年午2月	豎切継紙・1通	971

「午小作 片 与市」			
小作証文之事(初12俵) 片塩村小作人与市(印)、請人巳之助(印)、請人忠作(印) 庄左衛門殿 端裏貼紙「午小作 片 与市 勘六作」	天保5年午2月	豎切継紙・1通	972
小作証文之事(初5俵2斗納) 草間村小作人金兵衛(印)、請人高三郎(印) 庄左衛門殿 端裏貼紙「未小作 草 金兵衛」	天保6年未2月	豎切紙・1通	973
小作証文之事(初14俵納) 草間村小作人富右衛門(印)、請人助四郎(印) 庄左衛門殿 端裏貼紙「未小作 草間富右衛門」	天保6年未正月	豎切紙・1通	974
小作証文之事(初計7俵5斗納) 片塩村小作人忠作(印)、請人林右衛門(印) 庄左衛門殿 端裏書「申 片塩伴右衛門」	天保7年申2月	豎切継紙・1通	975
小作証文之事(初8俵2斗2升納) 西江部村小作人市三郎(印)、請人利兵衛(印) 庄左衛門殿 端裏貼紙「辰小作 市三郎 利兵衛作」	天保3年辰3月	豎切紙・1通	976
小作証文之事(初22俵5升納) 片塩村小作人孫兵衛(印)、請人治兵衛(印) 庄左衛門殿 端裏貼紙「未小作 片塩孫兵衛」	天保6年未2月	豎切紙・1通	982
小作年貢未進年延願之事(金5兩不納) 西江部村小作年貢不納人仙八(印) 庄左衛門殿 端裏書「年賦書付 西江部仙八」	文化15年寅2月	豎切紙・1通	983
小作証文之事(初7俵4斗納) 片塩村小作人善左衛門(印)、請人七郎次(印) 庄左衛門殿 端裏貼紙「辰小作 片塩善左衛門」	天保3年辰2月	豎切紙・1通	984
小作証文之事(初1俵納) 西間村小作人重兵衛(印) 庄左衛門殿 端裏貼紙「申小作 西間重兵衛」	天保7年申2月	豎切紙・1通	986
小作証文之事(初計18俵1斗5升) 篠井村小作人弥五左衛門(印)、請人文左衛門(印) 庄左衛門殿 端裏貼紙「申小作 弥五左衛門」	天保7年申2月	豎切紙・1通	988
*「吉田村小作証文并古貸金証文」 包紙・こより紐一括、佐野村と境目の絵図(嘉永4年)反古紙を包紙に転用		1包	1077
預り申金子之事(年貢金として2兩2分) 吉田村金預り主又左衛門(印)、同村請人七兵衛(印)、同請人五郎左衛門(印)、同村庄や同四兵衛(印) 東江部村文六殿 端裏書「吉田村又左衛門」、豎切紙(増し金加え手形改につきこの手形は反古)を挟込	元禄11年寅ノ11月20日	豎紙・1通	1077-1
小作手形之事(平之丞質地小作のこと) 吉田村小作主傳右衛門(印) 東江部村文六殿 端裏書「吉田村平之丞」	宝永7年寅ノ12月25日	豎切紙・1通	1077-2
小作手形之事(傳右衛門質地小作のこと) 吉田村小作主平之丞(印) 東江部村文六殿 端裏書「吉田村傳右衛門」	宝永7年寅ノ12月25日	豎切紙・1通	1077-3
小作手形之事(長左衛門質地小作のこと) 吉田村小作人浅右衛門(印)、同長左衛門(印) 端裏書「小作手形 吉田浅右衛門」	元文4年未正月	豎切紙・1通	1077-4
小作手形之事(11俵3斗7升納) 吉田村小作主茂左衛門(印)、同村請人次兵衛(印) 東江部村理兵衛殿 端裏書「吉田小作手形茂左衛門」	享保17年子ノ2月	豎紙・1通	1077-5
小作仕手形之事(与右衛門小作地当年より小作のこと、与右衛門年貢未進につき江戸へ行き上納金埒明の積りのこと) 吉田村小作主与市(印) 端裏書	享保17年子ノ3月	豎紙・1通	1077-6

「吉田村小作人与市」			
小作手形之事(10俵納) 吉田村小作人市郎左衛門(印)、同所請人弥右衛門(印) 端裏書「小作手形 吉田村市郎左衛門」	元文元年巳ノ2月	豎紙・1通	1077-7
書入証文之事(36両預り、東江部村持地10石余代物) 吉田村地主五郎左衛門(印)、同村請人庄や甚左衛門(印)、同村請人十兵衛(印)、同村同断四兵衛(印) 東江部村文六殿 端裏書「吉田村五郎左衛門」、全体に墨引き	正徳2年辰ノ11月11日	豎紙・1通	1077-8
一札之事(酉年武右衛門質入畑、当年代金返済につき請戻、手形紛失につき2両返済のこと) 吉田村五郎左衛門(印) 文六殿 端裏書「吉田村五郎左衛門 是八吉田武右衛門しち代五郎左衛門済申二付、手形五郎左衛門方へ返し申候」	宝永7年寅12月晦日	豎紙・1通	1077-9
一札之事(善右衛門持地文六殿へ差出、高下あるため地つめのこと、相違なければ取替なきこと) 吉田村名主次右衛門(印)、同断五郎左衛門(印) 東江部村名主利右衛門殿 端裏書「吉田村畑一儀」	宝永8年卯ノ3月4日	豎紙・1通	1077-10
覚(戒徳院質地書上) 吉田村立会武左衛門(印)、同藤吉(印)、同清左衛門(印) 利兵衛殿	元文5年申11月	横切紙・1通	1077-11
小作手形之事(16俵納) 吉田村小作人伊兵衛(印)、同村請人三郎兵衛(印) 理兵衛殿 端裏書「吉田村伊兵衛」	元文4年未正月9日	豎紙・1通	1077-12
小作御年貢金不納之覚(年々不納につき来月10日までに勘定のこと) 与右衛門(印) 端裏書「吉田村与右衛門」	享保14年酉ノ2月	豎紙・1通	1077-13
小作手形之事(初5俵納) 吉田村作主浅右衛門(印)、地主請人權之丞(印) 東江部村庄左衛門殿 端裏書「小作手形吉田浅右衛門」	寛保2年戌12月	豎切紙・1通	1077-14
預り申金子之事(2両錢500文) 吉田村金預り主清右衛門(印)、同所請人五郎左衛門(印) 東江部村文六殿 端裏書「吉田村清右衛門」	享保元年申ノ9月4日	豎切紙・1通	1077-15
預り申金子之事(2分2朱) 吉田村預り主庄六(印)、東江部村請人武兵衛(印) 里兵衛殿 端裏書「申二 吉田村庄六」、文右衛門より利兵衛宛の切紙(五郎左衛門証文を庄六に渡し、押付五郎左衛門参るとのこと)を外側に巻く	享保13年申ノ12月17日	豎切紙・1通	1077-16
小作手形之事(21俵納) 吉田村五郎左衛門(印)、請人重兵衛(印)、同喜兵衛(印) 東江部村文六殿 端裏書「吉田五郎左衛門戌小作手形」	享保3年戌4月	豎切紙・1通	1077-17
預り申新金之事(2分2朱余) 吉田村預り主五郎左衛門(印)、請人又兵衛(印)、同断清右衛門(印) 庄左衛門殿 端裏書「吉田村五郎左衛門」、年号は「保」脱字	享保6年丑正月13日	豎切紙・1通	1077-18
預り申金子之事(2分余) 吉田村預り主五郎左衛門(印)、同所請人平右衛門(印) 東江部村庄左衛門殿 端裏書「吉田村五郎左衛門」	享保7年寅ノ7月1日	豎切紙・1通	1077-19
預り申新金之事(11両) 吉田村金預り主五郎左衛門(印)、七瀬村請人長左衛門(印) 東江部村庄左衛門殿、理兵衛殿 端裏書「寅二吉田村五郎左衛門」	享保7年寅極月	豎切紙・1通	1077-20
小作定控手形之事(与兵衛質流地小作のこと) よし田村小作人五郎左衛門(印)、同所請人与兵衛(印)、同所請人佐太右衛門(印) 吉三殿、文六殿 端裏書「与兵衛地小作手形 吉田村五郎左衛門」	享保5年子ノ正月	豎切紙・1通	1077-21
預り申金子之事(3分、貴殿吉田村へ上納時に名主所へ支払のこと) 吉田村預り主戸右衛門(印) 東江部	享保8年卯ノ極月29日	豎切紙・1通	1077-22

村庄左衛門殿 端裏書「吉田村戸右衛門」			
小作手形之事(源左衛門屋敷田畑小作に受取) 吉田村作り主新六(印)、請人同村治良右衛門(印) 江部村山田文六殿 端裏書「小作主吉田村新六」	享保2年酉ノ2月5日	豎切紙・1通	1077-23
覚(年貢金1両受取) 吉田村善右衛門(印) 東江部村文六殿 端裏書「御年貢上納金之請取 吉田善右衛門」	享保2年酉3月9日	豎切紙・1通	1077-24
一札之事(奉公人切米金出替迄相濟べきところ、出来かね当年中埒明たぎこと) 吉田村人主勘左衛門(印)、請人市之助(印)、奉公人七助(印) 端裏書「亥吉田村七助」	亥3月8日	豎切紙・1通	1077-25
質畑小作手形之事(小作初16俵) 吉田村小作人長四郎(印)、請人新右衛門(印)、地主六郎右衛門(印) 東江部村理兵衛殿 端裏書「小作手形」	元文4年未2月	豎切紙・1通	1077-26
小作手形之事(浅右衛門渡し質畑初5俵納小作のこと) 吉田村小作主権之丞(印)、同所請人理左衛門(印)、同所同断三郎兵衛(印) 理兵衛殿 端裏書「小作手形 吉田権之丞」	元文3年午ノ12月	豎切紙・1通	1077-27
小作手形之事(畑4口小作初9俵定控小作のこと) 吉田村作主三郎兵衛(印)、請人浅右衛門(印)、同断弥右衛門(印) 端裏書「吉田村小作手形 三郎兵衛」	享保20年卯極月	豎切紙・1通	1077-28
久兵衛田畑名所付水帳書出(久兵衛と吉之丞名所の内、久兵衛流地分計4石8斗4升2合) 端裏書「吉田村久兵衛田畑名付」		豎切紙・1通	1077-29
小作証文之事(質地田方7俵半定控小作のこと) 吉田村小作人五助(印)、同村請人六郎右衛門(印) 東江部村庄左衛門殿	宝暦6年子12月	豎切紙・1通	1077-30
小作手形之事(六郎右衛門畑小作初4俵4斗納小作のこと) 高井郡吉田村小作人浅右衛門(印)、請人太左衛門(印) 東江部村庄左衛門殿 端裏書「吉田村六郎右衛門地小作手形浅右衛門」	延享5年辰3月	豎切紙・1通	1077-31
小作証文之事(畑2俵1斗、田3俵半) 西江部村幸左衛門(印) 庄左衛門殿 端裏書「子小作 西幸左衛門」	文化13子2月	豎切紙・1通	1080
小作証文之事(初17俵) 小作人広吉(印) 玄硯老	安永8年亥3月	豎切紙・1通	1081
小作証券(畑小作初5俵半納、3年季) 下高井郡片塩村小作人岩月巳之助(印)、同郡同邨請人永峯新之助(印) 下高井郡江部邨山田理兵衛殿 1087-1と2は紙封一括、紙封上書「返却すべき分」、端裏書「畑 片塩岩月巳之助」	明治18年3月26日	豎切紙・1通	1087-1
小作証券(田小作初5俵3斗納、3年季) 下高井郡片塩村小作人岩月巳之助(印)、同郡同邨請人永峯新之助(印) 下高井郡江部邨山田理兵衛殿 端裏書「田 片塩岩月巳之助」	明治18年3月26日	横切紙・1通	1087-2
小作証文之事(畑2筆) 西江部村源左衛門(印) 庄左衛門殿 端裏書「小作 西江部源左衛門」	文化13子2月	豎切紙・1通	1088
「小作岩船」(小作証文一括) 帯封一括		1束	1091
小作証文之事(初2俵3斗1升) 岩船村[] 東江部村庄左衛門殿 下半分欠	寛延2年巳12月	豎紙・1通	1091-1
小作証文之事(畑方8俵) 岩[]、同所請人角[]、同断[]、同断彦[] 東江部村庄左衛門殿 下半分欠	寛延3年午ノ正月	豎紙・1通	1091-2
小作手形之事(田方5俵納) 岩舟村小作人彦兵衛[]、同所請人喜左衛門[]、同所同断角兵衛[] 東江部村庄左衛門殿 下半分欠	寛延2年巳12月	豎紙・1通	1091-3

地主/地主小作関係帳簿

小作請控申手形之事(茂右衛門初5俵納、武右衛門初9俵納) 武右衛門、茂右衛門 武右衛門奥書あり	亥2月3日	豎紙・1通	1091-4
小作証文之事(田畑合41俵納、作兵衛渡し分地方の小作控) 岩船村請人清七 庄左衛門殿	宝暦9年卯2月	豎継紙・1通	1091-5
小作証文之事(初12俵) 岩舟村小作主九郎右衛門、同村請人清七、同断角兵衛 東江部村庄左衛門殿 1091-6~9は帯封一括	享保11年午正月	豎紙・1通	1091-6
小作証文之事(初7俵半) 岩舟村小作主角兵衛、請人伝兵衛、同断清七 東江部村庄左衛門殿	享保11年午ノ3月	豎紙・1通	1091-7
小作証文之事(初15俵半) 岩舟村小作主角兵衛、請人伝兵衛、同断清七 東江部村庄左衛門殿	享保11年午ノ3月	豎紙・1通	1091-8
小作証文之事(初13俵) 岩舟村小作主文六、請人三右衛門、同断清七 東江部村庄左衛門殿	享保11年午ノ3月	豎紙・1通	1091-9
小作手形之事(初ノ13俵) 岩舟村小作主文六、同村請人三右衛門、同断清七 東江部村庄左衛門殿	享保7年寅2月17日	豎紙・1通	1091-10
小作証文之事(当村九右衛門被相渡候田畑初41俵で小作控) 岩舟村小作主角兵衛、同所請人吉右衛門、同断喜左衛門 東江部村庄左衛門殿	寛延2年巳2月	豎切紙・1通	1091-11
小作初証文之事(畑方7俵) 岩船村小作人利右衛門、同所同断金左衛門 東江部村庄左衛門殿	安永2年巳3月	豎紙・1通	1091-12
小作証文之事(田初14俵) 草間村小作人安兵衛(印)、請人弥八(印) 端裏書「申 草間安兵衛」	天保7年申2月	豎切紙・1通	1103
小作証文之事(田初5俵余) 片塩村小作人平五郎(印)、請人忠作(印) 庄左衛門殿 端裏書「申 片塩平五郎」	天保7年申2月	豎切紙・1通	1104
小作証文之事(畑初3俵半) 片塩村小作人久蔵(印)、請人林右衛門(印) 庄左衛門殿 端裏貼紙「申 片塩久蔵」	天保7年申2月	豎切紙・1通	1105
小作証文之事(田初2斗) 草間村小作人佐次右衛門(印) 庄左衛門殿	天保6年未3月	豎切紙・1通	1106
小作証文之事(3筆計初2俵余) 片塩村小作人豊次郎(印)、請人忠作(印) 庄左衛門殿 端裏書「申 片塩豊二郎」	天保7年申2月	豎切紙・1通	1107
小作証文之事(8筆初17俵4斗納) 片塩村小作人富作(印)、請人元兵衛(印) 庄左衛門殿 端裏貼紙「午小作富作」	天保5年午2月	豎切紙・1通	1112
小作証文之事(5筆初11俵半納) 片塩村小作人平四郎(印)、請人喜代作(印) 庄左衛門殿 端裏貼紙「巳小作平四郎印済」、1112に挟込	天保4年巳2月	豎切紙・1通	1112-1

地主小作関係帳簿

(人別・石数書上、帳崩れ) 開披不可		帳崩れ・1点	466-447
(村別小作入帳、帳崩れ) 開披不可		帳崩れ・1点	466-448
(小作入帳、帳崩れ、吉田村・北大熊村分)			466-496
(小作帳の一部、人別小作料・不納額など書上) 綴紐切れ、宝暦7年3月七瀬村百姓小作証文の綴込あり	(宝暦7) 丑	横長半(帳崩れ)・1冊	475-50
(小作帳の一部) 白紙1枚共	(宝暦7) 丑3月	帳崩れ・1枚	475-51

(人別初高など書上)	(明治期力)	帳崩れ・91枚	559
小作料収納			
(人別俵数・引高書上、小作料減免関係か)		帳崩れ・1枚	466-7
(佐野村山札年貢・夫銀等差引勘定とその金子送書) 善助(印) 東江部村文六様 466-7の後部力	巳ノ12月23日	帳崩れ・1枚	466-8
(人別質地・小作料俵数書上)		帳崩れ・2枚	466-9
(10名分小作米俵数等書上)		横切紙・1通	466-152
(数字・小字書上)		切紙・1通	466-153
覚(畑成田4筆の分米等書上)		切紙・1通	466-160
(人別俵数書上、小作料力)		帳崩れ・1枚	466-225
(安源寺分取米書付) 破損		切紙・1通	466-238
(寅年小作米、小作受取帳記載分・無記載分書上)		1綴	466-248
取長(常正院分、長蔵分書上)		1通	466-249
(下り未進分俵数の人別書上)	寅12月日	折紙・1通	466-250
(亥から辰まで手形人名書上)		折紙・1通	466-251
受取長(代金・人名書上)	卯12月日	折紙・1通	466-252
(9名名前書上、うち未進者4名)		帳崩れ・1通	466-253
(寅小作勘定書上)	12月29日	1綴	466-254
(未進者ほか書上)	寅12月29日	折紙・2枚	466-255
(更科・岩舟ほか村小作高書上) 信濃国高井郡東江部邑 山田荘左衛門頭元 前欠、綴紐切れ		横長美・1冊	466-256
(小作地・小作人書上)	午2月	帳崩れ・2枚	466-257
(書状、諸勘定春まで延引願) 中山兵左衛門 山田庄左 衛門様、人々御中 庄左衛門宛政右衛門の草履等代金受取 覚書とも	12月20日	横切継紙・2通	466-341
(水入初ほか初俵数人別書上帳、諸村におよぶ) 綴紐 に書付類綴込		横長半・1冊	466-345
片塩村小作年貢差滞不納(初高人別書上、後欠力) 端 裏書「権右衛門久左衛門より此方へ入証文」		豎切紙・1通	466-369
御請申役証文之事(片塩村所持地御高役人馬勤めにつ き取り決め) 片塩村宇右衛門(印)、同所三左衛門(印) 東江部村庄左衛門殿 端裏書「片塩村役請 宇右衛門・三 左衛門」	享保6年丑3月	豎紙・1通	466-372
乍恐書付ヲ以御届ケ申上候(新井村小作年貢滞人の内、 弘濟7名吟味免除願) 高井郡東江部村文治郎 端裏書 「不用」	宝曆12年午2月16日	豎紙・1通	466-373
(片塩村4名分小作初納入確約書)	辰2月	帳崩れ・1枚	475-1
当小作初不納人(不納者別未納金書上)	卯	横長半・1冊	475-2

未進方卯暮書出	卯	帳崩れ・1枚	475-3
新保村引方(麦地・木綿地・田方別) 幸之助殿、亀次郎殿、平之丞殿 東江部村引方の記載もあり	12月8日	帳崩れ・1枚	475-4
覚(片塩村分木綿引・麦地引・田方引・買継値段の書上) 抹消あり	12月10日	横切紙・1通	475-5
覚(西江部村・安源寺村分麦地引・綿地引・田方引・買継値段の書上)	12月	横切紙・1通	475-6
覚(片塩村分麦地引・綿地引・田方引・買継値段の書上)		折紙・1通	475-7
辰年小作入証文(新保村吉左衛門分、片塩村おせん分、西間村吉右衛門分、片塩村用八分、ほか)		帳崩れ・1枚	475-8
(岩船村分引方書上) 東江部	12月24日	帳崩れ・1枚	475-9
酉ノ御年貢初預[](人別俵数書上)		帳崩れ・1枚	475-10
有体動産差押調書(債権者山田庄左衛門、債務者三ツ井繁之助、合計金94円余) 執達吏風間清之助(印) 謄本	明治27年10月12日	1冊	497
小作米収納依托書(委託者人名・端米書上)	昭和11年	半・1冊	519
小作米収納依托書 委託者長野県信用組合联合会 下高井農業倉庫御中	昭和11年	青罫紙・1通	521
覚(庄左衛門分小作料・董平分小作料などと松山代・無尽金などの差引勘定)		横切継紙・1通	584
目的凡積り(取初予測)		折紙・1通	591
明治廿年十一月十五日戸狩村小作初受取控 (戸狩村人別俵数書上、引分共) 592に挟込 (峰弥炭7俵受取控) (畑面積・俵数・作人等書上) 593に挟込	(明治20年)	折紙・1通 切紙・1通 折紙・1通 横切紙・1通	592 592-1 593 593-1
[]勘定帳(断簡)		横長半・1冊	594
覚(高穂分小作初差引勘定)		横切紙・1通	598-7
(書状、滞納小作料を元金に組み入れ、流質・地券渡しにしたい旨) 高石村萩原善右衛門 江部村山田庄左衛門様 包紙とも	癸酉1月15日	1冊	720
(田畑取初代、大豆代差引勘定書)	子12月	切継紙・1通	935-23
(字名、俵数等書上)		切紙・1通	935-24
(書状、新保村小作方悪作引の問い合わせ) 坂爪九郎兵衛 山田庄左衛門様	12月20日	横切紙・1通	935-25
覚(地区別の小作料減免規定)	子極月	横切継紙・1通	935-26
覚(当子小作方悪作引の規定通知) 東江部村庄左衛門 押切村権右衛門殿	子極月	横切紙・1通	935-27
*「宝曆之頃小作不納并貸金証文 不用 不納かし金吉田村」 包紙・こより紐一括、奉公人請状(宝曆2年)の反古紙を転用		1包	1078
小作不納証文(金1分余) 吉田村不納人角兵衛(印)、請人藤七(印) 庄左衛門殿 端裏書「吉田村角兵衛」	明和5年子12月	豎切紙・1通	1078-1
御取替金証文之事(金1両3分、夫食馬代金にはづみ預)	延享5年辰ノ4月	豎切紙・1通	1078-2

り) 吉田村預り主浅右衛門(印)、同所請人三郎兵衛(印) 東江部村庄左衛門殿 端裏書「よし田浅右衛門」			
御年貢金日延証文之事(金1分余) 吉田村預り主常正院(印) 東江部村庄左衛門殿 端裏書「吉田常正院」	寛延3年午ノ12月日	豎切紙・1通	1078-3
小作年貢不納金証文之事(金1両3分余) 吉田村不納人惣助(印)、同村請人津右衛門(印)、同村立会藤七(印) 東江部村庄左衛門殿、文二郎殿 端裏書「吉田村惣助」	明和5年子12月	豎切紙・1通	1078-4
預り申金子之事(金2両2分余、年貢金にはづみ預り) 吉田村預主茂左衛門(印)、同請人太右衛門(印) 庄左衛門殿 端裏書「吉田茂左衛門」	宝暦元未12月	豎切紙・1通	1078-5
預り申金子之事(金3両2分余、上納金にはづみ預り) 吉田村預り主市右衛門(印)、同所同断藤七(印)、同所請人浅右衛門(印)、同所名主仁兵衛(印) 東江部村庄左衛門殿 端裏書「吉田 市右衛門・藤七」	寛延3年午ノ12月	豎切紙・1通	1078-6
預り申金子之事(金2両余、上納にはづみ預り) 吉田村預り主茂左衛門(印)、同請人太右衛門 江部村庄左衛門殿 端裏書「吉田茂左衛門」	宝暦2年申12月	豎切紙・1通	1078-7
預り申金子之事(金2両1分余、上納金にはづみ預り、種子売次第返済) 吉田村預り主藤右衛門(印)、同傳左衛門(印)、同傳右衛門(印)、請人浅右衛門(印) 庄左衛門殿 端裏書「吉田 種子 浅右衛門」	寛延3年午ノ12月	豎切紙・1通	1078-8
預り申金子之事(金2分余、上納金にはづみ預り) 吉田村預り主惣兵衛(印)、同所請人茂左衛門(印)、同所同断市右衛門(印) 江部庄左衛門殿 端裏書「吉田惣兵衛」	宝暦4年戌12月	豎切紙・1通	1078-9
預り申金子之事(金1分余、上納金にはづみ預り) 吉田村預り主又兵衛(印)、同請人浅右衛門(印) 端裏書「吉田又兵衛」	宝暦元未12月	豎切紙・1通	1078-10
預り申金子初証文之事(子小作年貢物5俵代金3分余、屋普請につき預り) 吉田村預り主平右衛門(印)、請人甚之丞(印) 東江部庄左衛門殿 端裏書「吉田平右衛門」	延享2年丑2月18日	豎切紙・1通	1078-11
小作年貢不納証文(金3分余) 吉田村預り主新兵衛(印)、請人藤七(印) 庄左衛門殿 端裏書「吉田村新兵衛」	明和5年子12月	豎切紙・1通	1078-12
小作年貢不納金預り証文之事(卯辰両年分金3分余) 吉田村金預り主利右衛門(印)、同断繁右衛門(印)、請人要助(印)、請人藤七(印) 東江部村庄左衛門殿 端裏書「已小作不納証文 吉田村理右衛門」	安永2年巳3月	豎切紙・1通	1078-13
小作不納証文(七右衛門金2分余、惣助金1両3分余) 不納人七右衛門(印)、請人惣助(印)、不納人惣助(印)、請人七右衛門(印) 端裏書「吉田村惣助・七右衛門」、1通に2人分の証文を書く	明和6年丑極月	豎切紙・1通	1078-14
小作年貢不納証文(金2分余) 七瀬村不納人忠左衛門(印)、請人岡右衛門(印) 東江部村文次郎殿、吉田村藤七(印)殿 1078-15-2・3を挟込。端裏書「七瀬村忠左衛門金」。宛所の藤七に印あり。	明和6年丑極月	豎切紙・1通	1078-15-1
小作年貢不納証文(丑寅両年分金2分余) 吉田村不納人四兵衛(印)、請人庄八(印) 東江部村庄左衛門殿 端裏書「吉田四兵衛金」	明和7年寅12月	豎切紙・1通	1078-15-2
預り申証文之事(田方年貢物5俵借用) 吉田村預り主弥次右衛門(印)、受人藤七(印) 東江部村庄左衛門殿 端裏書「已小作不納分証文 吉田村弥次右衛門」	安永2年巳12月	豎切紙・1通	1078-15-3

小作不納年延証文之事(2両2分) 間山村不納人房吉(印)、引請人親類伴右衛門(印)、同断組合豊左衛門(印) 東江部村庄左衛門殿 端裏貼紙あり	嘉永7年寅12月	堅切紙・1通	1084
--	----------	--------	------

相論・訴願

新保村小作相論

「新保村小作入六ヶ敷一件」(上組名主利兵衛より取置候一札証文有)	明和4年亥正月	1袋	934
一札之事(貴殿代役人佐野右衛門を地高共に上組へ移す旨) 新保村上組名主利兵衛 庄左衛門殿	明和4年亥2月	堅紙・1通	934-1
新保村小作入之義二付文左衛門六ヶ敷申、名主元へ取上不埒申候一件 山田文次郎		半・1冊	934-2
「文政度新保村小作一件諸書類入」		1袋	943
文化九申より文政六未迄新保村夫銭覚帳	(文化9～文政6)	横美半・1冊	943-1
(文化11年新保村上納夫銭書上) 943-1に挟込		切継紙・1通	943-1-1
(御国役過納返り湯夫銭返金引書付) 943-1に挟込		小切紙・1通	943-1-2
(10年ごと畑地平均免率書上)	(寛政2～文政6)	折紙・1通	943-2
新保村小作御年貢勘定残不納帳 高井郡東江部村願人庄左衛門 矢嶋藤蔵様御役所	文政6年末2月	横長美・1冊	943-3
新保村小作人名前帳 高井郡東江部村地主庄左衛門 矢嶋藤蔵様中野御役所	文政6年末10月	横美半・1冊	943-4
東江部村庄左衛門小作人名前帳(名前の者共小作継続願) 高井郡新保村名主喜右衛門、同彦市、組頭三右衛門、百姓代五郎右衛門 矢嶋藤蔵様中野御役所	文政6年末3月	横長美・1冊	943-5
新保村見分拒一件(袋) 中味なし	寛政12年申9月	1袋	943-6
文政7申正月より書附控(包紙) 中味なし		1枚	943-7
寛政元酉年より文化十五寅年迄新保村田畑小作引方帳	(寛政元～文政2)	横長美・1冊	943-8
(新保村小作人による小作地差戻しの意図と地主側対応方など覚書)(篠田春山)(山田庄左衛門様)包紙とも、包紙は書状を転用		折紙・1通(2枚)	943-9
(小作地の諸経緯につき覚書) 破損		折紙・1通	943-10
地方引替之覚 新保村名主弥左衛門 東江部村庄左衛門殿 破損大、貼紙3か所、943-10に挟込	(天明7)未4月改	折紙・1通	943-11
新保村小作之覚 943-10に挟込		横切継紙・1通	943-12
(書状、役所の指示で出入一件の両村熟談を取り扱うので中野へ出張願) 篠田五左衛門 山田庄左衛門様	2月3日	横切継紙・1通	943-13
(差紙) 中野御役所 高井郡新保村拾八人惣代両三人、右村役人、東江部村庄左衛門、右村役人	申3月23日	横切紙・1通	943-14
乍恐以書付奉願上候(江戸表での内済通り新保村小作人に申年年貢を上納するよう御利解願、下書) たれ印(庄左衛門) 中野御役所	西正月	横切継紙・1通	943-15
乍恐以書付奉申上候(新保村小作相論のため出府に	申4月10日	切紙・1通	943-16

つき着届) 当御代官所信州高井郡東江部村百姓庄左衛門、与頭理右衛門、差添人 矢嶋藤蔵様御役所 端裏書「外二請書有之、申四月十日江戸御役所へ着届ヶ書、控」			
名寄帳反別合写 仕立世話人弥左衛門、名主昌兵衛 庄左衛門殿 包紙とも	文化元歳子極月	豎紙・1通	943-17
(書状、名寄帳の反別寄だけを写し遣わず旨) 黒崎弥左衛門 山田庄左衛門様 943-7に挟込	6月24日	横切継紙・1通	943-17-1
乍恐以書付奉願上候(新保村小作相論の経過、新保村役人の年貢徴収不正、新保村から所持高150石分を高分けし割付・皆済自録を別に下付願) 当御代官所信州高井郡東江部村百姓庄左衛門 矢嶋藤蔵様御役所 組頭奥書あり、包紙とも、表書「願書写 老通」	文政6未年7月	豎継紙・1通	943-18
乍恐以書付奉願上候(新保村小作人に作付を行うよう仰せ付け願、下書) 当御代官所信州高井郡東江部村百姓庄左衛門、組頭文六、組頭理右衛門 矢嶋藤蔵様御役所 943-18に同封	文政6未年7月	豎継紙・1通	943-18-1
一札之事(新保村より寺宛での小作一件とりなし願)	文政7年申正月	豎継紙・1通	943-19
乍恐以書附奉願上候(新保村小作相論一件) 信州高井郡東江部村長百姓庄左衛門代文六 御奉行所様 組頭奥書あり	文政6未年9月	美・1冊	943-20
螺贏乃鳴声(新保村小作相論の庄左衛門願書写)		美・1冊	943-21
(証文4通写、宝暦期小作方取り決め2通、明和期皆済自録差し出し一札、寛政期小作不納金免除と寅年以降皆済約束の一札) 端裏書「宝暦年中取極書式通、明和并寛政年中書付写」	(宝暦5～寛政7)	豎継紙・1通	943-22
(文政六未二月不納金年賦願本紙)		包紙・1包	943-23
小作御年貢年延証文事(金1両・永143文、10年賦) 新保村小作不納人平之丞娘、ろよ、ほか引請人・五人組合惣代・加印名主・中野村郷宿など5名 東江部村庄左衛門殿	文政6未年2月	豎継紙・1通	943-23-1
小作御年貢年延証文事(金16両・永226文5分、30年賦) 新保村不納人長蔵、ほか親類・五人組惣代・加印名主・郷宿など6名 東江部村庄左衛門殿	文政6未年2月	豎継紙・1通	943-23-2
小作年貢不納年延願之事(永18貫809文9分、10年賦) 新保村小作年貢不納人長蔵、同村請人勝弥 庄左衛門殿	文政元年寅11月	豎紙・1通	943-23-3
一札之事(私共貴殿代役人につき小作相論に加わらず、未進金も追々差し上げる) 新保村代役人清八、長蔵、善四郎兼帯松五郎 東江部村庄左衛門殿	文政3年辰6月	豎紙・1通	943-23-4
乍恐以書付奉申上候(新保村小作相論立合人異見と熟談経過の届書写)		豎継紙・1通	943-24
覚(御用状受取書控) 東江部村庄左衛門、同組頭理右衛門 矢嶋藤蔵様中野御役所 943-25は帯封で一括	文政7申年4月	豎紙・1通	943-25-1
乍恐以書付を奉願上候(病のため隠居縫之介出頭勸弁願) 高井郡東江部村庄左衛門、名主文右衛門、組頭理右衛門 矢嶋藤蔵様中野御役所	文政7申年2月27日	豎紙・1通	943-25-2
手段書(庄左衛門持高高分、小作引き願わず、小作証文差し出し、庄左衛門持高反別地境改め、庄左衛門過納粉)	申2月23日	豎継紙・1通	943-25-3
乍恐以書付を奉願上候(新保村小作一件不調につき、代官直吟味のため江戸役所召出願) 高井郡東江部村願人庄左衛門、右村名主文右衛門 矢嶋藤蔵様中野御	文政7申年2月	豎継紙・1通	943-25-4

役所			
乍恐以書付奉申上候(病のため隠居縫之介出頭猶予願、下書) 東江部村百姓代庄左衛門、郷宿金兵衛 矢嶋藤蔵様中野御役所	文政7申年2月	豎継紙・1通	943-25-5
乍恐書付を以奉申上候(小作一件、御吟味中ながら新保村へ手入れ仰付願) 高井郡東江部村地主庄左衛門 矢嶋藤蔵様中野御役所 名主・組頭奥書あり、端裏書「文政七年正月晦日差上候所御下ヶ被遊候書附」	文政7申年正月晦日	豎継紙・1通	943-25-6
乍恐書付を以奉申上候(庄左衛門村預け慎み中につき、かわって新保村田畑手入れ仰付願) 東江部村名主文右衛門、同組頭理右衛門 矢嶋藤蔵様中野御役所 端裏書「文政七申正月八日差上候所御取用無之書付」	文政7申年正月	豎継紙・1通	943-25-7
(書付2通写、新保村高分庄左衛門請証文、庄左衛門所持地への足役不法につき賢慮願) 端裏書「文政六未十月差上候書附写式本」	(文政6)	豎継紙・1通	943-25-8
「文政六未年日延願并届書附等控」		1包	943-25-9
乍恐以書附御届奉申上候(江戸より帰宅するも、病気のため役所出頭猶予願) 東江部村百姓庄左衛門、名主文右衛門 矢嶋藤蔵様中野御役所 端裏書「未八月帰宅之節届書付控」	文政6未8月23日	豎紙・1通	943-25-9-1
乍恐以書付奉申上候(江戸より庄左衛門未着、文六先着、新保村宛て差紙につき伺い) 高井郡東江部村庄左衛門親類文六 矢嶋藤蔵様中野御役所 名主奥書あり、端裏書「七月晦日此書付上申候得共御取上無之御下ヶ被成候」	文政6未7月	豎継紙・1通	943-25-9-2
乍恐以書付奉申上候(差紙についての伺書受取、心得違の仰聞あり) 東江部村名主文右衛門、庄左衛門親類文六 矢嶋藤蔵様中野御役所 端裏書「未七月晦日中野御役所差上候控」	文政6未7月	豎紙・1通	943-25-9-3
乍恐以書付を御届奉申上候(庄左衛門板橋で不調のため江戸宿帰り、かわって文六が御用状を持参し帰国) 東江部村庄左衛門親類惣代文六 矢嶋藤蔵様中野御役所 名主奥書あり、端裏書「未七月廿六日中野御役所差上候書付控」	文政6未7月	豎紙・1通	943-25-9-4
乍恐以書付奉願上候(新保村小作一件で内済を図るので吟味猶予願) 新保村小作人惣代松十郎、与兵衛、ほか新保・東江部両村村役人、郷宿など8名 矢嶋藤蔵様中野御役所 端裏書「新保村日延願二月」	文政6未2月	豎紙・1通	943-25-9-5
乍恐書付を以奉願上候(先日差し上げた小作証文帳2冊を見合せのため下付願) 東江部村庄左衛門 矢嶋藤蔵様中野御役所 端裏書「未六月廿五日」	文政6未年6月	豎紙・1通	943-25-9-6
乍恐書付を以奉願上候(小作年貢未納者の帳簿提出、再度皆済指示願) 高井郡東江部村訴訟人庄左衛門 矢嶋藤蔵様中野御役所 名主奥書あり	文政6未年2月	豎継紙・1通	943-25-9-7
(庄左衛門差紙) 中野御役所 右村名主、組頭	(文政6)未年10月2日	切紙・1通	943-25-9-8
乍恐書付を以奉願上候(小作一件吟味中に手鎖村預けとなった、庄左衛門の月代判許可願) 東江部村百姓庄左衛門、同名主文右衛門 矢嶋藤蔵様中野御役所	文政6未年10月	豎切紙・1通	943-25-9-9
乍恐以書付奉願上候(内済画策のため吟味猶予願) 東江部村訴訟方庄左衛門、ほか1名、新保村相手方名主喜左衛門、ほか4名、外拾七人、安源寺扱人要左衛門、ほか2名	文政6未10月	豎紙・1通	943-25-9-10
覚(宝暦5～文化3年の新保村小作関係書類目録、役所	文政6未2月	豎継紙・1通	943-25-10

に提出) 東江部村庄左衛門 矢嶋藤蔵様中野御役所 端裏書「八番 文政六未二月新保村小作一件諸書付差上 候ノ控」			
乍恐以書付御訴訟奉申上候(新保村小作人に小作年 貢不納仕訳帳の通り支払うよう仰せ付け願) 高 井郡東江部村百姓願人庄左衛門、端裏書「壹番 年貢差滞控」	文政6年未2月	豎継紙・1通	943-25-11
乍恐以書付御訴訟奉申上候(新保村小作人小作年貢 不納、引方をめぐり我意申し立てにつぎ) 東江部 村願人庄左衛門 矢嶋藤蔵様中野御役所 名主奥書あ り、端裏書「文政六未二月小作差戻出入願書」	文政6年未2月	豎継紙・1通	943-25-12
差上申済口証文之事(小作人不納金皆済し落着、下 書) 東江部村訴訟人地主庄左衛門、同村名主文六、新 保村相手小作人七右衛門、ほか43名(内2名抹消)、中野村 郷宿金兵衛、同元之丞代郷宿定兵衛 矢嶋藤蔵様中野御 役所 端裏書「三番 文政六年未二月廿五日小作御年貢 滞出入済口証文写」	文政6年未2月	豎継紙・1通	943-25-13
乍恐書付を以奉申上候(差戻小作地につき高反別を 双方立合の上で取り調べたいので新保村役人へ仰 願) 東江部村庄左衛門 矢嶋藤蔵様中野御役所 名主奥書あり、端裏書「四番 下書」	文政6年未3月	豎継紙・1通	943-25-14
乍恐以書附奉申上候(高反別相違するも新保村役人 間違いを認めず、田畑年々増減高反別免合巨細書 抜の提出を仰付願、下書) 東江部村百姓庄左衛門 矢嶋藤蔵様中野御役所 名主奥書あり	文政6年未4月	豎継紙・1通	943-25-15
差上申済口証文之事(小作手余地を当年は庄左衛門 が手作、来年以降は新保村小作人内で引請、下書) 端裏書「上 六番」	文政5(ママ)年未5月	豎継紙・1通	943-25-16
一札之事(高反別・免合入狂いは先役の者の心得違 い、免合足役については他村同様とすること、下 書) 端裏書「自分之取 六番」		豎紙・1通	943-25-17
差上申御請証文之事(小作手余地の件で高反別等の 取調難航、田畑手入延引につき手入仰付願) 高井 郡東江部村庄左衛門、名主文右衛門(名主名墨消) 矢嶋 藤蔵様中野御役所 名主奥書あり、端裏書「七番」	文政6年未6月	豎紙・1通	943-25-18
「文政三辰一件」		1包	943-26
乍恐以書附奉願上候(一村絵図面仕立て高反別帳・水 帳等と照合願、種代等諸入用は当暮上納後に渡す 旨仰付願、村入用帳の不正点検願) 高井郡東江部 村庄左衛門 古山善吉様中野御役所 名主奥書あり、端 裏書「文政三辰七月 御取用無之分」	文政3年辰7月	豎継紙・1通	943-26-1
乍恐以書附を奉願上候(地主・村役人立合のもと村と して小作引を決めるのが新保村村法であるのに、 庄左衛門らがこれに従わず非分の行い) 新保村 小作人并村中惣代喜左衛門、ほか4名 古山善吉様中野 御役所 名主奥書、役所裏書写あり、端裏書「文政三辰二 月新保村より奉差上候願書写」	文政3辰年2月	豎継紙・1通	943-26-2
差上申済口証文之事(卯年小作引の件は扱人預かり、 新保村困窮小作人へ庄左衛門より35両手当、不作 時の引方決め方) 新保村小作人并村惣代訴訟方喜左 衛門、ほか4名、東江部村地主相手方庄左衛門、ほか1名、 新保村名主弥左衛門、ほか3名、ほか扱人8名、郷宿2名 古山善吉様中野御役所 証文写差進の奥書あり、端裏書 「文政三辰八月済口証文写」	文政3辰年8月	豎継紙・1通	943-26-3
相渡申内済議定之事(上に同じ) 新保村小作人并村惣 代訴訟方喜左衛門、ほか4名、東江部村地主相手方庄左衛	文政3年辰7月	豎継紙・1通	943-26-4

門、ほか1名、新保村名主弥左衛門、ほか3名 中野村山岸魯庵殿			
乍恐以追訴を奉願上候(新保村中一同召し出し私非分か否かをお話し願、疑念があるので村入用帳を見届けたき願) 高井郡東江部村願人庄左衛門 古山善吉様中野御役所 名主奥書あり、端裏書「文政三辰五月追訴御取用工無之分」	文政3辰年5月	豎継紙・1通	943-26-5
「新保村高調延願一札本書、文政七申七月一件済口証文二高反別一筆限可取調議定二付相改候所、取調行届兼候二付延願一札村役人小作人共惣連印」帯封で一括		1包	943-27
一札之事(心得違いや小作料不納をしないので、田畑一筆限り改めの猶予願) 高井郡新保村名主幸左衛門、ほか村役人3名、小作人半兵衛、ほか69名 高井郡東江部村庄左衛門殿	文政8酉10月	豎継紙・1通	943-27-1
小作御年貢年延証文之事(申年小作金16両余3年賦) 高井郡新保村小作人豊作、ほか17名 東江部村庄左衛門殿 新保村役人・長百姓奥書あり、端裏貼紙「文政七酉年新保村小作人拾八人小作田畑一件中荒し置手入時節後二相成候二付小作年貢調兼酉より亥迄三ヶ年二相願候書附写、本紙亥年済候二付返す」	文政8年酉2月	豎継紙・1通	943-27-2
小作御年貢年延証文之事(未・申兩年小作金1両1分余3年賦) 高井郡新保村小作人利右衛門、松十郎 東江部村庄左衛門殿 943-27-2に挟込、新保村役人・長百姓奥書あり	文政8酉年2月	豎継紙・1通	943-27-3
差出申一札之事(約束の高反別取調が済んでいないが、破免検見内見帳に印形願) 新保村名主惣左衛門、同幸左衛門 東江部村庄左衛門殿 端裏貼紙「文政八酉八月御検見奉願、内見帳江印形相頼、高調日延一札、此本書八返入、写也、名主幸左衛門殿直筆之写也」	文政8酉年8月26日	豎紙・1通	943-27-4
「一札 新保村分持地文六分我等方江過高二付皆済勘定勘弁願書附、并新保村分之書附共、我等方より遣し候書附写共」		1包	943-28
一札之事(文六への分地分年貢を間違って庄左衛門に請求、いつでも勘定仕直しに心じる) 新保村名主利右衛門、同弥左衛門 東江部村庄左衛門殿 端裏下貼紙「文六分過高勘弁願 新保村三役人」	文政12年丑10月	豎紙・1通	943-28-1
一札之事(年貢過納の件で文六・新保村役人より頼みにつき勘弁) 東江部村庄左衛門 新保村御名主利右衛門殿、同弥左衛門殿 端裏書「新保村江遣し候写」	文政12年丑10月	豎紙・1通	943-28-2
(文政11年文六・秀蔵より庄左衛門宛ての入狂い過納分勘弁願、および同12年の不行届詫びの一札写) 端裏下貼紙「天保六未十二月廿一日右本書共吳遣申候」		豎継紙・1通	943-28-3
差上申済口証文之事(卯年小作引の件は扱人預かり、新保村困窮小作人へ庄左衛門より35両手当、不作時の引方決め方) 新保村小作人并村惣代訴訟方喜左衛門、ほか4名、東江部村地主相手方庄左衛門、ほか1名、ほか新保村役人4名、扱人8名、郷宿2名 古山善吉様御役所 扱人奥書あり(役所提出済口証文を双方へ差進)	文政3辰年8月	豎継紙・1通	943-29
覚(内済時に手当として金35両受取) 新保村小作人并惣代喜左衛門、ほか4名、同村名主弥左衛門、同長左衛門 東江部村庄左衛門殿 943-29の中に畳込	文政3辰年8月	豎継紙・1通	943-29-1
差出シ申一札之事(小作相論内済の上は地所大切に扱う旨)		豎紙・1通	943-30
手段書(新保村小作方につき取り決め)		豎紙・1通(4枚)	943-31

(文政5年庄左衛門願書、同年7月内議定書・済口証文袋入り一括)		1袋	943-32
差上申済口証文之事(新保村小作相論一件) 当御代官所信州高井郡東江部村訴訟人百姓庄左衛門、差添人組頭理右衛門、同州同郡新保村小作人拾八人惣代相手百姓豊作、ほか2名、差添人百姓代五郎右衛門、神田松永町扱人紀伊国屋利八、小石川春日町同大黒屋長右衛門代正蔵矢嶋藤蔵様御役所	文政7申年7月	豎継紙・1通	943-32-1
乍恐以書付奉願上候(地所取調以前の田畑作付は新保村で行うよう仰せ付け願) 当御代官所信州高井郡東江部村百姓庄左衛門 矢嶋藤蔵様御役所 端裏書「文政七申年五月差上候書附控」、差出印に墨消	文政7申年5月	豎継紙・1通	943-32-2
内議定之事(当年に限り作付は庄左衛門が引き受けるが今後は前々通り行うこと、新保村役人は庄左衛門分免増取立の非を認め改めること) 東江部村百姓庄左衛門、新保村小作人豊作外拾七人惣代豊作、民右衛門、名主喜左衛門	文政7申年7月	豎継紙・1通	943-32-3
「御割附御目録写」 括紐で一括、包紙は小作相論訴状下書を転用		1包	943-33
未御年貢皆済目録(新保村) 矢藤蔵 右村名主・組頭・惣百姓 端裏書「文政六未年御年貢皆済目録写」	文政7申年2月	豎継紙・1通	943-33-1
巳御年貢皆済目録(新保村) 古善吉 右村名主・組頭・惣百姓 端裏書「文政四巳年御年貢皆済目録写」	文政5午年2月	豎継紙・1通	943-33-2
未御年貢可納割附之事(新保村) 矢藤蔵 右村名主・組頭・惣百姓 端裏書「文政六未年御割附写」	文政6未年10月	豎継紙・1通	943-33-3
巳御年貢可納割附之事(新保村) 古山善吉印 右村名主・組頭・惣百姓 端裏書「文政四巳年御割附写」	文政4巳年10月	豎継紙・1通	943-33-4
「新保村代役書附并屋敷地高訳書附」 括紐で一括		1包	943-34
覚(屋敷畑を分地に渡すので跡立を立て、我等持地代役を往古の通り勤むべきこと) 東江部村庄左衛門新保村おとらとの、清八殿、儀左衛門殿	寛政8年辰2月	豎紙・1通	943-34-1
一札之事(太右衛門跡立を立て、往古の通り代役勤めにつき) 新保村太右衛門娘とら、太右衛門本家清八、親類儀左衛門 庄左衛門殿	寛政8年辰2月	豎紙・1通	943-34-2
一札之事(代役料として預かってきた畑地を高分けしてもらい、以後代役出精する旨) 新保村清八、加判長蔵 庄左衛門殿	寛政9年巳2月	豎紙・1通	943-34-3
一札之事(酒造蔵として定小作してきた屋敷地を高分けしてもらい、以後年貢諸役は当方で負担する旨) 新保村善左衛門、親類與兵衛、名主幸左衛門 東江部村庄左衛門 端裏下貼紙「屋敷所分地請書 新保善左衛門」	文政9年戌8月	豎紙・1通	943-34-4
覚(代役の屋敷所として畑地を渡すので、出精すべし) 東江部村庄左衛門 新保村清八殿 端裏書「清八江渡候控」	寛政9年巳2月	豎紙・1通	943-34-5
一札之事(酒造蔵として定小作の屋敷地を高分けするので、以後年貢諸役は貴殿が支払うべき旨) 東江部村庄左衛門 新保村善左衛門殿 端裏書「新保村善左衛門江分地致遣候書附控」	文政9年戌8月	豎紙・1通	943-34-6
一札之事(太右衛門死後扶持料として小作入三俵分下され礼、当年からは二俵分小作初納める、一俵分は後家在命中に限り扶持として給与) 新保村太右	明和4年亥2月	豎紙・1通	943-34-7

衛門後家、請人佐野右衛門 庄左衛門殿、文次郎殿 端裏下「小作手形 新保村太右衛門後家」			
差出申一札之事(新保村内庄左衛門所持地の足役を相違なく勤めてきた旨、足役給は年に朶30俵余) 高井郡新保村代役勤人清八、同長蔵、同善四郎代善左衛門 東江部村庄左衛門殿	文政6末2月	豎紙・1通	943-34-8
御請申代役相定証文之事(太郎右衛門倅奉公中は市之丞が代役を勤務、小作取立から地境改まで間違はなく行つ、給分は高1石につき朶1斗) 新保村代役人市之丞、同幸之助、同佐野右衛門 東江部村庄左衛門殿、文二郎殿 端裏下「新保村代役請証文 三人」	宝暦8年寅ノ2月	豎紙・1通	943-34-9
小作証文之事(取り上げられた畑の再小作につき) 新保村小作人忠右衛門、請人庄五郎 東江部村庄左衛門殿 端裏下「新保忠右衛門小作手形」	明和2年酉2月	豎紙・1通	943-34-10
覚(太郎右衛門へ屋敷所高渡しにつき御高分け願) 東江部村庄左衛門 新保村御名主弥左衛門様	辰2月15日	横切紙・1通	943-34-11
一札(貴殿当村持地の役男、当年は名主請込、来年は指越願) 新保村六兵衛、藤兵衛、久兵衛 東江部村文六殿 端裏下「新保役義手形」	宝永3年戌ノ3月	切紙・1通	943-34-12
一札之事(善四郎死後、跡式が定まるまでは松五郎が代役) 高井郡新保村願人善四郎後家、当年勤人松五郎、ほか親類世話人・立会人3名 庄左衛門殿 端裏書「新保村代役仮役請書」	文政3年辰3月	豎継紙・1通	943-34-13
代役御請証文之事 新保村代役人善四郎、同村請合人と兵衛 庄左衛門殿 端裏書「新保村代役請書」	享和2戌年4月	豎紙・1通	943-34-14
「新保村代役書付弥左衛門殿分」 包紙は別用のものを転用		1包	943-34-15
代役定書付之事(貴殿当村持高の三分一につき代役勤務) 新保村代役引請人弥左衛門 東江部村庄左衛門殿	寛政8年辰3月	豎切紙・1通	943-34-15-1
覚(代役屋敷所高渡しにつき御高分け願) 東江部村庄左衛門印 新保村御名主弥左衛門様	寛政9巳6月	切継紙・1通	943-34-15-2
「新保村清八代役屋敷渡一件」(中味なし) 帯封とも	寛政9巳2月	1包	943-34-16
乍恐以返答書奉申上候(新保村地所小作年貢引方をめぐり小作人・村中惣代訴訟につき返答) 高井郡東江部村百姓庄左衛門 古山善吉様中野御役所 名主・組頭奥書あり	文政3年辰3月	豎継紙・1通	943-35
田畑小作仕候二付一札之事 新保村小作人喜右衛門、ほか45名 庄左衛門殿、文二郎殿 人名に付札11枚	宝暦12年午ノ2月	豎継紙・1通	943-36
「本書三通 東江部村庄左衛門」(小作料、小作地年貢諸役関係) 包紙の折込部分「宝暦明和年中新保村小作連印書附并代役外御免合相違書附本書」		1包	943-37
差上申一札之事(庄左衛門が東江部村小作地全体の悪作引・買次値段を決めることに理右衛門らが反対するが、今迄通りと仰せ付けられ、請書) 東江部村百姓惣代市左衛門、ほか4名、相手利右衛門、百姓代文右衛門、文兵衛 河尻甚五郎様御役所 庄左衛門、名主、組頭の奥書あり、端裏書「箇附正月十五日入、廿日御召出御吟味、二月七日被仰付相済」	寛政5丑2月7日	豎継紙・1通	943-37-1
一札之事(小前難渋につき小作不納金用捨の礼、今後は皆済) 新保村小作人惣代和助、彦市、善左衛門、代役人惣代清八 庄左衛門殿	寛政7年卯正月	豎紙・1通	943-37-2

一札之事(貴殿持地上納勘定につき、当年より皆済目録を渡す) 新保村名主弥左衛門、立合理八、組頭三右衛門 江部村庄左衛門殿、文二郎殿	明和4年亥12月	縦紙・1通	943-37-3
覚(貴殿持地役人のことで以後は新法を申しかけず) 名主弥左衛門、組頭太郎兵衛、ほか13名 庄左衛門殿 端裏下「新保村役人并小作方二付連印」	宝暦5年亥極月	縦継紙・1通	943-37-4

吉田村小作相論

「済口届ケ書控、良右衛門返答書写、右再返答書写控入」	宝暦12年	1包	942
乍恐書付ヲ以奉願上候(良右衛門借金返済につき文次郎願の通りお慈悲お吟味願) 下部欠損	宝暦12年午ノ3月24日	横切紙・1通	942-1
乍恐書付ヲ以奉願上候(吉田村滞人六右衛門相済、文二郎受取) 文二郎、里右衛門、喜左衛門 継目剥離	2月17日暮6ツ時	堅切継紙・1通	942-2
乍恐書付ヲ以御届ケ奉申上候(新井村小作人9名年貢滞人相済、文次郎受取、吟味下願) 高井郡東江部村文治郎(印)、同村名主理右衛門、新井村名主重右衛門 大野佐左衛門様中野御役所 継目剥離、端裏書「新井村済口届ケ書連印ヲ以指上申候」	宝暦12年午2月16日	堅切継紙・1通	942-3
乍恐書付ヲ以奉願上候(吉田村小作年貢滞人忠右衛門 倅良右衛門滞金相済、文治郎受取、下書)		縦紙・1通	942-4
乍恐書付ヲ以御届ケ奉申上候(吉田村小作年貢滞人良右衛門の地方にて済まし願を拒否、金子支払仰付願) 高井郡東江部村願人文治郎(印)、同郡同村名主理右衛門(印) 大野佐左衛門様中野御役所 端裏書「文言入」	宝暦12年午ノ3月18日	縦紙・1通	942-5
乍恐書付ヲ以御届ケ奉申上候(吉田村小作年貢滞人良右衛門の地方にて済まし願を拒否、金子支払仰付願、控) 端裏書「請書控」		縦紙・1通	942-6
乍恐書付ヲ以御届ケ奉申上候(吉田村小作年貢滞人良右衛門の地方にて済まし願を拒否、金子支払仰付願) 高井郡東江部村願人文治郎、名主理右衛門 大野佐左衛門様中野御役所	宝暦12年午3月18日	縦紙・1通	942-7
乍恐書付ヲ以御届ケ奉申上候(吉田村小作年貢滞人の内15人済、文二郎受取につき吟味下願) 高井郡東江部村文治郎 大野佐左衛門様中野御役所 名主理右衛門 奥印あり、端裏書「二月十七日九ツ時差上申候、吉田村済候者」、942-8と9は畳込一括、継目剥離	宝暦12年午2月16日	縦継紙・1通	942-8
乍恐書付ヲ以奉願上候(吉田村小作年貢滞人の内15人済、文治郎受取につき吟味下願) 高井郡東江部村文治郎、同村名主理右衛門、同郡吉田村名主善左衛門、同村名主喜左衛門 大野佐左衛門様中野御役所 継目剥離	宝暦12年午2月17日	縦継紙・1通	942-9
乍恐書付を以奉願上候(吉田村小作年貢滞人良右衛門相済、願人文治郎受取につき吟味下願) 高井郡東江部村文治郎(印)、同村名主利右衛門(印)、同郡吉田村名主喜左衛門(印) 大野佐左衛門様中野御役所	宝暦12年午之3月23日	縦紙・1通	942-10
乍恐書付ヲ以御訴訟奉申上候(小作年貢滞人吉田村良右衛門金子済まず手鎖郷宿預けのところ、相済につき赦免願) 高井郡東江部村願人文二郎、名主理右衛門 中野御役所	宝暦12年午3月24日	縦紙・1通	942-11
(包紙) 中味なし、(包紙)「吉田村年貢滞連判証文入 忠右衛門滞 残人数相済申候」		包紙・1枚	942-12
乍恐書付ヲ以奉願上候(吉田村内耕地新井村へ小作のところ年貢不納につき吟味願、中野御役所の付紙	宝暦12年午正月26日	縦継紙・1通	942-13

あり) 高井郡東江部村願人庄左衛門倅文治郎 大野佐左衛門様中野御役所 端裏書「小作滞出入 訴状写控 新井村分」、東江部村名主理右衛門奥印あり、継目剥離			
乍恐返答書ヲ以御訴訟申上候(小作料滞納につき田地をもつて勘定願) 高井郡吉田村訴訟人良右衛門印 大野佐左衛門様中野御役所 吉田村名主喜左衛門奥印あり、端裏書に役所差出などの情報あり	宝暦12年午2月	縦継紙・1通	942-14
乍恐書付を以奉申上候(良右衛門の田地にて済まし願は押付勘定の企み、金子支払仰付願) 高井郡東江部村願人文治郎、同村名主理右衛門 大野佐左衛門様中野御役所 端裏書に差上などの情報あり	宝暦12年午2月	縦紙・1通	942-15
乍恐書付ヲ以奉願上候(吉田村小作年貢滞り大勢徒党いたし我俵につき小作証文帳写添え吟味願、中野御役所の付紙あり) 高井郡東江部村願人庄左衛門倅文治郎 大野佐左衛門様中野御役所 名主理右衛門奥書あり、端裏書「小作出入訴状写控 吉田村分」	宝暦12年午正月26日	縦継紙・1通	942-16
乍恐書付ヲ以奉願上候(吉田村小作年貢滞人忠右衛門済まず吟味願) 高井郡東江部村願人文治郎、同郡同村名主理右衛門 大野佐左衛門様中野御役所 端裏書に情報あり	宝暦12年午2月17日	縦継紙・1通	942-17

その他

御詫書(貴殿所有地植付の桑木伐取、収穫損害金1円20銭を償い勘弁願) 下高井郡延徳郷大字新保本人黒崎藤太(印) 同郡平野郷山田庄左衛門殿	明治35年4月10日	縦罫紙・1通	619-1
証(金1円20銭桑木伐取損害金として領収) 新保区改メ小作人被害者郷道長太郎(印) 山田本宅代人山田寿作殿	明治35年4月12日	縦切罫紙・1通	619-2
乍恐以書付奉願上候(廻米御免、石代金納継続願) 郡中村々惣代高井郡中野村名主広右衛門、安源寺村同要左衛門、夜間瀬村之内横倉組同佐右衛門、井之上村同幸右衛門、上木嶋村之内西町同庄助、山根村同作左衛門、水内郡赤沼村同仁左衛門、西条村次太夫、上野新田村彦右衛門 井上十左衛門様中野御役所	天保4巳年7月	縦切継紙・1通	1079

小作人合力

(書状、七右衛門夫食難儀につき初子2俵借用願) 新保村黒崎弥左衛門 東江部村山田庄左衛門様、用事	7月4日	横切継紙・1通	466-506
(書状、当村百姓の夫食2俵借用願、小作料不納は許さないの) 新保村黒崎弥左衛門 東江部村山田庄左衛門様	4月朔日	横切継紙・1通	582
初借之証(3俵2斗小作初借用) 下高井郡平野村借主竹内清作(印) 山田理右衛門殿	明治31年11月15日	切紙・1通	705-34
(小作人合力関係書類一括)		こより紐一括・1束	956
当村方小作人手当帳	天保10年亥7月7日	横半半折・1冊	956-1
小作人并外合力金割賦帳 新保村名主幸左衛門(印) 956-3~7を挟込	文政9年戌7月	横長半・1冊	956-2
一札之事(陣屋より金3両拝借いたし御救忝く仕合のこと) 東江部村名主文右衛門(印)、小前惣代惣吉(印) 庄左衛門殿	文政9年戌7月	縦切紙・1通	956-3

一札之事(拝借金5両忝く、銘々へ割渡しのこと) 新保村名主幸左衛門(印)ほか5名 東江部村庄左衛門殿	文政9年丙戌7月	豎切紙・1通	956-4
覚(水損につき合力3両拝借受取) 押切村小作人惣代利惣次(印)、同新之丞(印)、同老蔵(印) 東江部村庄左衛門殿	文政9戌年7月	豎切紙・1通	956-5
覚(悪作につき金2両受取、銘々へ割渡しのこと) 西江部村名主五左衛門(印) 東江部村庄左衛門殿	文政9戌年7月	豎切紙・1通	956-6
覚(金3両配布人数24名書上)	(文政9)戌7月11日	横切紙・1通	956-7

年貢諸役負担

亥御年貢皆済目録(高59石余分、永13貫213文) 片塩村名主藤右衛門(印) 東江部村庄左衛門殿	明和5年子12月	横切紙・1通	466-125
覚(金6両2分余、亥年貢請取小切手、印形持参の指示) 清左衛門 庄左衛門殿	子極月	切紙・1通	466-126
(子12月御年貢金2両余請求書) 安源寺村名主 東江部村庄左衛門殿	12月5日	切紙・1通	466-127
(押切下畑2斗7升7合ほか書上)		小切紙・1通	466-128
(書状、新保村上納金受取方につき) 自中野、平右衛門江部村文治郎様 貼付紙2枚(庄左衛門金額書付)あり、封印「信州中野芝屋」	11月15日	切紙・1通	466-129
(書状、新保村上納金受取方につき) 芝や平右衛門 文治郎様	11月15日	横切紙・1通	466-130
覚(御金11両1分余書上) 新保村名主弥左衛門 東江部村庄左衛門殿	子10月	切紙・1通	466-131
子御年貢金請取通(10・11月2口分) 西間村名主久右衛門 東江部村庄左衛門殿		横切紙・1通	466-132
子御年貢金請取通(金4両3分清七納) 岩船村定右衛門(印) 東江部村庄左衛門殿	子11月	切紙・1通	466-133
覚(金2両3分余受取) 安源寺村六左衛門(印) 東江部村庄左衛門殿	子11月14日	切紙・1通	466-134
覚(二納金永3貫余受取) 吉田村名主(印) 東江部村庄左衛門殿	子11月14日	切紙・1通	466-135
寅ノ御年貢金2月割(新永430文余請求) 新保村名主助右衛門 江部村庄左衛門殿	卯ノ2月10日	切紙・1通	466-195
寅御年貢金御割付覚(銭819文) 小兵衛、夫三郎兵衛 庄左衛門殿	2月15日	切紙・1通	466-196
来儿十六日上納金覚(金1分余請求) 吉田村善右衛門 東江部村文六殿	卯3月2日	切紙・1通	466-197
[]之御年貢金之内二月上納割 七郎右衛門 庄左衛門様 奥に証文書替につき小手形見出願書あり	卯ノ2月15日	横切紙・1通	466-198
覚(新金2分受取) 岩舟村角兵衛(印) 東江部村庄左衛門殿	卯3月14日	切紙・1通	466-199
覚(金納年貢勘定書) 文右衛門(印) 利兵衛殿	卯3月	折紙(帳崩れ力)・1枚	466-200
(寅年貢金請求書) 名主七郎[] 庄左衛門殿	卯3月15日	切紙・1通	466-201

地主/年貢諸役負担

寅之御年貢二方之内御割付 西江部村小兵衛 庄左衛門殿	(卯)3月15日	切紙・1通	466-202
請取申御年貢金之事(金1分永132文) 吉田村名主善右衛門(印) 入作東江部村庄左衛門殿	享保8年卯3月16日	切紙・1通	466-203
覚(新金5両受取) 庄兵衛 庄左衛門様	3月朔日	切紙・1通	466-204
(五年貢金三分二書上、庄左衛門吉田村入作分)		豎切紙・1通	466-205
覚(寅三分二年貢金2分受取) 岩舟村角兵衛(印) 東江部村庄左衛門殿	卯4月15日	切紙・1通	466-206
(新野夫錢・中嶋夫錢・節句礼錢の請求書) 西七郎右衛門 東庄左衛門殿	卯ノ4月19日	切紙・1通	466-207
来ル十六日上納(年貢・夫錢の請求書) 吉田村善右衛門 東江部村庄左衛門殿 (端裏)「東江部村文六殿」	卯5月14日	切紙・1通	466-208
覚(庄左衛門ほか4口分年貢金受取) 文右衛門(印) 利兵衛殿	卯5月14日	帳崩れ・1枚	466-209
寅ノ御年貢金之内五月割(計3分余請求書) 西七郎右衛門 東庄左衛門様	卯ノ5月14日	切紙・1通	466-210
寅御年貢金御割付之内(金1分) 西江部村小兵衛、夫三郎兵衛 東庄左衛門殿	15日	切紙・1通	466-211
寅之御年貢金五月割(残永1貫75文余請求書) 新保村名主助右衛門 江部庄左衛門殿	卯ノ5月12日	切紙・1通	466-212
(寅年貢金請求書) 甚五右衛門 文六殿 剥離不可	5月15日	切紙・3通	466-213
(夫錢・国役金などと小作料の差引勘定書) 安源寺村藤右衛門 庄左衛門様、里兵衛様 断簡、全面抹消	未12月22日	切紙・1通	466-227
(去年年貢金の一部請求書) 吉田村善右衛門 東江部村庄左衛門殿 前欠	(享保12力)閏正月22日	切紙・1通	466-228
(午年貢金残額請求書、利兵衛分)		小切紙・1通	466-229
(金子請求書) 新保村名主儀右衛門 前欠	午ノ12月14日	切紙・1通	466-230
(書状、夫錢割付錢持参願) 文七 []利兵衛様	7月13日	切紙・1通	466-233
覚(当月夫錢871文請求) 押切村名主清兵衛 江部村庄左衛門殿	巳7月	切紙・1通	466-234
覚(夫錢1貫18文受取) 岩舟村角兵衛 東江部村庄左衛門殿	巳7月10日	切紙・1通	466-235
覚(夫錢473文利兵衛へ渡願) 与右衛門	巳ノ7月4日	切紙・1通	466-236
覚(預り金約束の通り上納の節、貴殿分相済) 新保村名主与右衛門(印) 利兵衛殿	巳5月	切紙・1通	466-237
(年貢永・人別書上)		帳崩れ・1枚	466-239
口上(上納金2分請求、代錢納では迷惑だが是非もなし) 丸山藤右衛門 山田庄左衛門様	4月23日	切紙・1通	466-240
(人別・納永額書上)		帳崩れ・1通	466-241
(金子勘定書、午ノ立金・巳ノ過等)		小切紙・2通	466-242
(午年貢金・人別書上)		帳崩れ・2通	466-243
(公儀金・夫錢受取証文) 新保村名主六兵衛(印) 東江部	午12月15日	切紙・1通	466-244

村庄左衛門殿			
(利兵衛[]役代書付、書損の詫び) 利兵衛様 前欠	12月22日	切紙・1通	466-245
覚(午小作初代、年貢・諸役差引勘定書) 大俣村勘右衛門(印) 江部利兵衛殿	午ノ12月24日	帳崩れ・1通	466-246
覚(新金3分受取) 岩舟村角兵衛(印) 東江部村庄左衛門殿	寅10月26日	切紙・1通	466-259
(寅年新金三口4両余書上)		切紙・1通	466-260
覚(立金過納分と夫錢差引勘定、残金773文受取願) 新保村儀右衛門(印) 江部村庄左衛門殿	寅ノ11月	切紙・1通	466-261
覚(船頭山手あるき錢ほか280文書上) 吉田村善右衛門 江部文六殿	霜月20日	切紙・1通	466-262
覚(寅三分一新金3分受取) 岩舟村角兵衛(印) 東江部村庄左衛門殿	寅11月23日	切紙・1通	466-263
覚(年貢金納願、金子無心願) 吉田村善右衛門 東江部村文六様	11月23日	帳崩れ・1通	466-264
寅ノ御年貢三分一割付(新金1分余請求) 新保村名主助右衛門 江部村文六殿	寅ノ11月	切紙・1通	466-265
寅御年貢割付覚(金2分余) 小兵衛 庄左衛門殿 寅11月25日付利兵衛宛文右衛門の寅年貢金4口覚とも。	11月25日	切紙・2通	466-266
請取申当御年貢金之事(金3分) 吉田村名主善右衛門(印) 東江部村文六殿	享保7年寅11月26日	切紙・1通	466-267
(書状、寅年貢金の内11月26日上納割1両2朱お渡し願) 小林七郎右衛門 山田庄左衛門様	[]月25日	横切紙・1通	466-268
(寅年貢金の内2分請求書) 名主七郎右衛門 庄左衛門殿	寅12月9日	切紙・1通	466-270
辰三分一(利兵衛分3両3分余請求書) (与右衛門力)		切紙・1通	466-272
当三分巻割覚(2分余請求書) 江部村名主治郎左衛門 東江部庄左衛門様	辰10月4日	切紙・1通	466-273
夫金覚(惣郡割・小夫錢・松崎普請人足代割差引、不足金441文請求) 吉田村より 東江部村庄左衛門殿	辰ノ8月	切紙・1通	466-274
覚(夫錢・年貢未進分ノ567文請求) 江部名主治郎左衛門 東江部村庄左衛門殿	辰ノ8月3日	切紙・1通	466-275
卯御年貢金請取通(ノ2両1分余皆済) 茂右衛門(印) 文六殿	辰7月12日	帳崩れ・1枚	466-276
(金1分余請求書) おし切五郎右衛門 江部村文六殿	閏4月17日	小切紙・1通	466-277
(夫錢1貫878文請求書) 押切 東江部文六殿		切紙・1通	466-278
覚(免状夫錢・風祭・虫送費用等ノ262文書上) 吉田村名主善右衛門 江部村文六殿	辰7月日	切紙・1通	466-279
覚(夫錢1貫302文請求書) 岩舟村角兵衛 東江部村庄左衛門殿	辰ノ7月10日	切紙・1通	466-280
請取申御年貢金之事(金2分余) 吉田村名主善右衛門(印) 東江部村庄左衛門殿	享保9年辰之4月19日	切紙・1通	466-281
(永664文、与右衛門請取)	閏4月19日	小切紙・1通	466-282
卯ノ御年貢割付之覚(錢807文) 庄左衛門様	閏4月17日	切紙・1通	466-283

覚(卯三分二金三分受取) 岩舟村角兵衛(印) 東江部村庄 左衛門殿	閏4月15日	切紙・1通	466-285
(正月からの夫銭利兵衛分769文書上) 与左衛門	辰ノ閏4月日	切紙・1通	466-286
覚(卯年貢金の内400文請求) 吉田村より 東江部村庄 左衛門殿	辰ノ4月20日	切紙・1通	466-287
卯ノ御年貢金二分納(永170文受取) おし切五郎右衛門 (印) 東江部文六殿	4月20日	切紙・1通	466-288
卯ノ四月廿一日納之覚(481文4分与左衛門受取)		小切紙・1通	466-289
覚(卯三分一金1両受取) 岩舟村角兵衛(印) 東江部村庄 左衛門殿	辰4月14日	切紙・1通	466-290
覚(銭722文請求) 西江部村名主治郎左衛門 東庄左衛門 殿	4月13日	切紙・1通	466-291
亥子丑寅四年分過未御皆済分ケ覚(差引83文請求) 小 兵衛 東庄左衛門殿		横切紙・1通	466-292
覚(米代・釘代・絹切代等差引勘定書) 利右衛門	子ノ12月29日	折紙・1通	466-293
[亥]之御年貢皆済(ノ832文受取) 甚右衛門(印) 小太 郎殿	享保17年子ノ3月26日	切紙・1通	466-294
[亥]之御年貢皆済事 肝煎与五右衛門(印) 利兵衛殿	享保17年子12月	横切紙・1通	466-295
覚(小役・山手・矢代御用大豆ノ235文受取) 与五右衛門 (印) 新右衛門殿	丑正月28日	切紙・1通	466-296
覚(諸白・新酒・米代と夫銭・年貢差引勘定書、勘定目録 に相違なし) 与五右衛門(印) 新右衛門殿	子12月	横切紙・1通	466-297
覚(借金・夫銭差引勘定、払過金受取願) 西江部村清左 衛門 文六殿	午12月25日	横切紙・1通	466-334
請取申金子事(午年貢金1両) 片塩村清右衛門(印) 東 江部村文六殿	正徳4年午ノ11月13日	切紙・1通	466-335
(岩舟文七殿御割夫銭220文書付)		小切紙・1通	466-336
覚(初高・夫銭ほか書上) 後欠		横切紙・1通	466-339
覚(舟賃・山手・触賃・小札銭ほか代金書上)		切紙・1通	466-340
(夫銭請求書ほか一括) 綴紐なし、開披不能		1綴	466-343
(書状、上納金納付の礼、甚五右衛門居屋敷内けやき7本 御入用ならば売りたいきこと) 中山兵左衛門 山田庄 左衛門様、貴下	10月15日	横切紙・1通	466-355
(江部村庄左衛門分夫銭役初代書上)		小切紙・1通	466-375
戌御年貢皆済目録 清水村名主九郎兵衛(印) 江部庄左 衛門殿	明和4年亥11月	横切紙・1通	466-376
覚(目録勘定違い精算、永2文9分5厘不納) 新保名主弥 左衛門 東江部村庄左衛門殿	亥極月	切紙・1通	466-377
覚(亥の山年貢諸色銭73文受取) 大熊村名主 江部村庄 左衛門殿	子正月18日	切紙・1通	466-378
(江部庄左衛門分金額書上)		小切紙・2通	466-379
戌御年貢皆済(不足受取勘定相済) 押切村名主(印、「高 井郡高津押切村) 東江部村庄左衛門殿	い12月25日	横切紙・1通	466-380

(足役初・伊勢国役夫銭ほか金額書上)		切紙・1通	466-381
(書状、上納金一部猶予願、新保村次郎右衛門屋敷の請戻し方につき内意) 中山兵左衛門 山田文次郎様	3月14日	折紙・1通	466-382
覚(割夫銭2貫481文受取) 岩舟村名主(印) 東江部村庄左衛門殿	子8月17日	切紙・1通	466-383
覚(夫銭ほか代金受取) 安源寺村名主六左衛門(印) 東江部村庄左衛門殿	子3月14日	切紙・1通	466-386
覚(水門普請入用割合銭953文請求) 安源寺村名主 東江部村庄左衛門殿	子4月	切紙・1通	466-387
戌御年貢皆済 安源寺村名主六左衛門(印) 東江部村庄左衛門殿	亥12月	横切紙・1通	466-388
亥御年貢金納通 西間村名主久右衛門(印) 東江部村庄左衛門殿		横切紙・1通	466-391
覚(年貢金受取、去割金残金永2貫余) 吉田村名主与治右衛門(印) 東江部村庄左衛門殿	明和5年子3月	切紙・1通	466-392
覚(去亥年貢金三月納分受取、寿永分とも) 理右衛門(印) 庄左衛門殿	子3月13日	切紙・1通	466-393
覚(亥年貢皆済金永2貫余受取) 岩舟村名主定右衛門(印) 東江部村庄左衛門殿	子3月14日	切紙・1通	466-394
覚(夫銭ほか金5両3分余書上) 新保村名主弥左衛門 東江部村庄左衛門殿	子3月	切紙・1通	466-395
覚(年貢金5両3分余請求) 西江部村清左衛門 東江部村庄左衛門殿	子3月	切紙・1通	466-396
三月納御年貢(金2両余請求) 安源寺村名主 庄左衛門殿		切紙・1通	466-397
(夫銭ほか4両1分余書上)		切紙・1通	466-398
辰御年貢三分壹極月納後割(利兵衛ほか3人分永2貫107文受取) 文右衛門(印) 利兵衛殿	辰12月6日	横切紙・1通	466-399
辰御年貢受取覚(金4両) 片塩村清右衛門(印) 東江部村庄左衛門殿	享保9辰12月10日	切紙・1通	466-400
庄左衛門殿分之覚(国役・夫銭ほか1貫145文余請求) 新保村与右衛門 庄左衛門殿 貼付文書1通あり	極月8日	横切紙・1通	466-401
覚(利兵衛分残金2分余請求) 与右衛門	12月7日	切紙・1通	466-402
覚(神酒・虫送代ほか4236文書上) 名主善右衛門 西江部村文六殿		切紙・1通	466-403
辰御年貢三分1之内(利兵衛ほか3人分4両1分余受取) 文右衛門(印) 利兵衛殿 貼付文書(年貢金3分書上)1通あり	辰11月22日	横切紙・1通	466-404
覚(上方御普請入用銭219文請求) 次郎左衛門 庄左衛門様	辰11月22日	切紙・1通	466-405
辰ノ取替覚帳 大又村奥右衛門 江部村利右衛門殿 貼付文書1通あり	辰ノ霜月22日	折紙・1通	466-406
覚(風祭・雨乞ほか入用書上) 善三郎 文六様	午ノ7月25日	切紙・1通	466-407
覚(年貢・夫銭ほか金額書上) 吉田村重兵衛 江部文六殿	午ノ6月7日	切紙・1通	466-408

(書状、御払金1両1分余請求) 更科村より中山善助 山田文六様	6月7日	横切紙・1通	466-409
覚(年貢金・夫錢ノ4両2分余請求) 新保村六兵衛 江部村文六殿	午ノ6月6日	切紙・1通	466-410
覚(口米・夫錢ほかノ1両1分余、辰勘定過差引残金請求) 吉田村甚左衛門 江部文六殿	6月4日	切紙・1通	466-411
覚(御林年貢請求) 宇木村名主九郎兵衛 江部村文六殿	6月4日	切紙・1通	466-443
今度懸り金(江部分・御手前分ノ2分余請求) 与右衛門善助様		切紙・1通	466-444
去巳ノ納ふそく御口米代金(2分余請求) 新保村六兵衛 東江部村文六殿	2月13日	切紙・1通	466-445
覚(夫錢、引物、新酒ほか書上)		帳崩れ・1通	466-446
覚(夫錢・国役・役代ほか金額書上)		横切紙・1通	466-480
覚(夫錢諸役415文不足につき請求) 吉田村善右衛門 東江部村庄左衛門殿	12月27日	横切紙・1通	466-481
覚(夫錢受取、初受取) 文右衛門(印) 庄左衛門殿	極月27日	切紙・1通	466-482
覚(夫錢・諸役代金過納につき目録遣しのこと) 吉田村名主 東江部村庄左衛門殿	12月23日	切紙・1通	466-483
[]割之覚(夫錢・役代請求) 江部村治郎左衛門 東江部村庄左衛門殿	辰之極月12日	切紙・1通	466-484
[]錢役代共二(代金請求) 喜右衛門 利兵衛殿	極月15日	切紙・1通	466-485
(上納金請求書) 吉田村名主、夫權六 東江部村庄左衛門殿	12月11日	切紙・1通	466-486
(書状、御公儀様諸色・三分一金の請求) 大また村より阿藤忠太夫 江部村山田庄左衛門様	10月11日	切紙・1通	466-487
辰ノ御年貢三分一納方(金1両請求) 押切村五郎右衛門 東江部村文六殿	10月12日	小切紙・1通	466-488
覚(三分一金・夫錢請求) 吉田村善右衛門 東江部村庄左衛門殿	10月13日	切紙・1通	466-489
与右衛門殿上納金通帳(表紙のみ)		1枚	466-490
(書状、三分一金・夫錢請求) 更科村中山与左衛門 山田庄左衛門様	10月14日	横切紙・1通	466-491
辰御年貢金請取通 文右衛門(印) 利兵衛殿	辰10月14日	折紙・1通	466-492
(書状、皆済目録出来次第指越のこと、三分一金・夫錢請求) 新保村黒崎六兵衛 江部村庄左衛門殿	享保9年辰10月13日	折紙・1通	466-493
覚(三分一金請求) 市右衛門 庄左衛門殿	10月15日	切紙・1通	466-494
覚(御金・夫錢受取) 市右衛門(印) 江部庄左衛門殿	享保9年辰ノ10月14日	切紙・1通	466-495
覚(夫錢ほか代金書上) 新保村名主弥左衛門 東江部村庄左衛門殿	子極月	切紙・1通	466-508
亥皆済目録		横切紙・1通	466-509
覚(11・12月納年貢永受取、寿永分とも) 理右衛門(印) 庄左衛門殿 511欠番	子12月12日	横切紙・1通	466-510

覚(宇木村本前・去亥皆済下りノ1貫84文書上)		切紙・1通	466-512
去亥ノ御年貢皆済状之事(林小物成代永受取) 宇木村 名主平右衛門(印) 江部村庄左衛門殿	明和5年子ノ10月	切紙・1通	466-513
明和四年亥ノ御年貢金請取申通 う木村名主平右衛門 (印)		折紙・1通	466-514
覚(年貢永223文請求) 西間村久右衛門 東江部村庄左衛 門殿	11月13日	切紙・1通	466-518
子十一月御年貢わり(金2両3分余請求) 安源寺村名主 東江部村庄左衛門殿	11月2日	切紙・1通	466-520
覚(年貢金7両3分余請求) 清左衛門 庄左衛門殿	11月	切紙・1通	466-521
覚(去春質地返し、当春引高の書上) 東江部村庄左衛門 新保村御名主弥左衛門様	子3月7日	切紙・1通	475-21
享保拾六亥年より同拾九年寅之年迄村々御年貢皆済目 録其外諸切手請取書付有(皆済目録等綴)	(享保16~同19年)	綴り・1綴	479
安政五午年小手形皆済目録	安政5年~安政6年	綴り・1綴	480
文政元寅より天保五迄請取覚(岩舟村年貢金、日光国 役)	文政元年~天保5年	綴り・1綴	481
(岩舟村分皆済目録一括)	文化14年~天保8年	綴り・1綴	482
(年貢金小手形・皆済目録一括)	嘉永3年~嘉永4年	綴り・1綴り	486
(年貢金小手形・皆済目録一括)	文政2年~文政3年	綴り・1綴り	487
(他村分年貢請求・受取書等綴) 綴紐切れ	(宝暦期前後)	綴り・1綴	488
(他村分年貢請求・受取書等綴、崩れ) 綴紐なし、488 からはずれたものか	(宝暦期前後)	帳崩れが貼り付い た状態・	488-1
覚(去卯年貢金2分2朱266文の請求) 西間村久右衛門 東江部村丑之助殿 488からはずれたものか	辰6月29日	切紙・1通	488-2
(渡済状、前欠) 須坂町長右衛門 江部村文六殿 488 からはずれたものか	辰4月4日	切紙・1通	488-3
(他村分年貢請求・受取書等綴、おそらく部分) 綴紐な し	(明和期前後)	綴り(崩れ)・1綴	489
(他村分年貢請求・受取書等綴) 破損大、綴紐切れ	(宝暦期前後か)	綴り・1綴	491
(他村分年貢請求・受取書等綴) 破損大、綴紐切れ	(享保期前後)	綴り・1綴	492
(他村分年貢請求・受取書等綴) 破損大	(明和期前後)	綴り・1綴	493
明和二酉年皆済目録(酉より午迄拾ヶ年定免初年、庄左 衛門・寿永分) 東江部名主理右衛門	明和3年酉極月7日	折紙・1通	494
覚(金1両3分110文の請求) 安源寺村名主 東江部村 庄左衛門殿 494に貼り付いていた	戌12月5日	切紙・1通	494-1
覚(金5両1分18貫670文の請求) 西江部村清左衛門 庄左衛門殿 494に貼り付いていた	戌極月	切紙・1通	494-2
戌御年貢金請取通 定右衛門(印) 庄左衛門殿 494に 貼り付いていた		横切紙・1通	494-3
覚(11月納金・国役金等受取、庄左衛門・寿永分) 理 右衛門(印) 庄左衛門殿 494に貼り付いていた	戌11月15日	切紙・1通	494-4
(庄左衛門分金額書付) 494に貼り付いていた		小切紙・2通	494-5

(他村分年貢請求・受取書等綴) 破損大、麻紐共	(享保期前後)	綴り・1綴	495
辰御年貢金請取通(初納・二納・三納・国役永領収) 岩船村名主弥右衛門(印) 東江部村庄左衛門殿		折紙・1通	499
(天保10年分夜間瀬山手米・永の書上)	(天保10)	豎紙・1通	563
巳御年貢皆済之事(高21石8斗3升6合) 安源寺村名主六左衛門(印) 東江部村庄左衛門様	宝暦12年午12月	横切継紙・1通	596
巳御年貢皆済之事(高11石4斗1升4合) 後欠力、紙片付属「貳寸、九ト」		横切紙・1通	597-11
(受取書等綴崩れ一括)	(宝暦元力)		730
覚(金子受取) 新保村名主助治郎 東江部村庄左衛門殿	11月13日	切紙・1通	730-1
覚(巳ノ年可納分金2分余受取) 新保村名主助治郎 東江部村庄左衛門殿	未10月	切紙・1通	730-2
覚(未御年貢金受取) 名主 庄左衛門殿	未11月14日	切紙・1通	730-3
十一月御金ふれ(年貢金請求書) 安源寺村名主 東江部村庄左衛門殿	12月6日	切紙・1通	730-4
覚(年貢二納金請求書) 西江部村名主 東江部村庄左衛門殿	未霜月	切紙・1通	730-5
(書状、子供疱瘡湯流の知らせ) 中山兵左衛門 山田庄左衛門様	11月13日	横切紙・1通	730-6
覚(未年貢十月納分受取書) 名主理右衛門 庄左衛門殿	未10月14日	切紙・1通	730-7
十月納御金わり(年貢金請求書) 安源寺村名主 東江部村庄左衛門殿	10月3日	切紙・1通	730-8
覚(未年貢金夫錢請求書) 西江部村名主 東江部村庄左衛門殿	10月10日	切紙・1通	730-9
覚(年貢初納金夫錢請求書) 吉田村名主徳左衛門 東江部村庄左衛門殿	未10月朔日	切紙・1通	730-10
覚(未年貢金受取) 西江部村名主 庄左衛門殿	未10月14日	切紙・1通	730-11
(庄左衛門分金額書付)		小切紙・1通	730-12
(寛延四年未御年貢受取、庄左衛門納) 名主三右衛門	(寛延4)	切継紙・1通	730-13
覚(未年貢金受取) 岩船村角兵衛 東江部村庄左衛門殿	未10月14日	切継紙・1通	730-14
覚(金三兩と利錢書上) 新保村名主助治郎 東江部村庄左衛門殿	10月14日	切紙・1通	730-15
(金子差引勘定書付)		小切紙・1通	730-16
午之勘定書(年貢・村入用諸掛り皆済、小作納入) 綿内村栄助(印) 東江部村山田庄左衛門殿	安政6年己未正月	美・1冊	929

諸 経 営

年代 成立年代 天和3（1683）年～明治41（1908）年

数量 1182点

歴史

現在のところ店卸勘定帳のような経営全体を直接的に総括するような帳簿は見出されていないので、近世における山田家の経営全体の中で穀物販売や地主手作の繰綿販売などによる利益がどれだけの比重を占めていたか、酒造業の場合どうだったか、というような経営構造に関する究明は十分なされていない。しかし、近世の豪農一般に見られるように山田家は多角的な経営を展開していた。

この地域では領主米の領外移出が地理的に困難なことから、その多くが地払換金され酒造米に振り向けられたため、幕府・諸領主とも酒造業に一定の保護を与えていたと考えられ、山田家では分家ともども酒造業に取り組み、遠く離れた稲荷山宿・町川田に酒株を求めたり、渋田中に屋敷を求めて湯治客や草津越の商人へ酒を販売したりしている。また、金融についても正確な規模は不明だが、地域内での貸付にとどまらず、善光寺町や松代城下町の町人への商売仕入金貸から松本藩・上田藩などへの大名貸、江戸での金貸（山田顕善が青年期に江戸で仏光寺門跡貸付所に出稼ぎしている、表1を参照）まで幅広く行っていた。この他にも水車、質屋、中野村（町）や善光寺町での貸家なども行っていた。

明治2（1869）年12月には、独占的な横浜交易による利益で贖二分金の回収を図るべく伊那県が県下の豪農商に設立させた伊那県商社の支社で中野局下に設置された北信商社に山田家も参加し、明治3年12月には、騒動勢が要求項目に社外差加金の差戻しをあげたことでも知られる中野騒動により屋敷を打ち壊された。商社は贖二分金の回収には成功したが、横浜交易の実現はできなかった。

その後明治10（1877）年代以降デフレ期に入ると、山田家はこれまでのような資金貸付と土地取得に対する投資を抑えて、より収益のあがる証券投資を積極的に行っていく。具体的には、明治12年の金禄公債証書などを手始めに、デフレ期の同17年から第六十三国立銀行（松代）株、横浜正金銀行株、彰真社株などを積極的に買い入れ（明治12年から20年までの投資総額は42,000円に及ぶ）、自らも明治23（1890）年に第六十三国立銀行、同38（1905）年に信濃銀行の頭取となっている（以上、明治期については、横山憲長「土地集積利回りと地租改正」『三田学会雑誌』73巻3号による）。このように地主資本の証券投資が著しいが、他にも石油販売や鉱山業などにも進出しようとしたようである。

構造と内容

以上のように山田家は多角的な経営を展開していたが、ここではそれを「金融」、「酒造」、「水車」、「貸家」、「穀物等売買」、「綿作・販売」、「北信商社」、「証券投資・銀行業」、「江部製糸場」、「鉱山」に分けて編成した。それぞれについて簡単に説明しておきたい。

（1）金融

ここには 「借用願・返済延期願」、「借金証文」、「返済訴訟」、「無尽」、「大名貸」、

「本多氏借財整理」、「貸金帳簿」、「その他」がある。

そのうち、**は**、山田家が金を貸した場合が大半であるが、一部に山田家が借用したのがある（「山田家が借用」として区分してある）。「無抛12両」などというように借用理由と金額を判明する限り記した。**は**、山田家が未返済の借主を訴えた関係の一件袋2袋が中心である。いずれも明治初年のもので、被告は近隣にとどまらず県内各地にわたっている。**は**、無尽・頼母志講に関するもので、天保・嘉永期の保次無尽（東江部村文六の関係か）、安政期前後の須坂無尽、文久期から明治初年の新野村七郎右衛門無尽（山田健蔵、中山五郎右衛門らが世話人）がある。**は**、明治5（1872）年「旧藩々江調達金取調書類」と幕末の須坂藩への献金関係書類が中心である。前者は、幕末期の証文や書状等を含むが、明治期にかつての大名貸を整理する際に用いられたものである。新旧公債証書は東京瀬戸物町石関利兵衛に売り渡している。後者は袋の表書に「須坂堀様江先年御用達金元利三千両余不残献上致候二付、已来年々初式百俵ツ、被下候筈、御書附類其外右一件二付総入用等諸控書入」（804）とある。**は**、明治36（1903）年から同38年にかけてのもので、新聞紙にくるんで一括されている。莊左衛門は本多氏の借財整理に関与し、連帯保証人にもなっている。本多^{さねふさ}実方は飯山藩主の末裔で、文久2（1862）年生まれ、明治6（1873）年相続、大正13（1924）年死去。貴族院議員も勤めた（『平成新修旧華族家系大成』による）。

（2）酒造

ここには、酒株、酒造改、酒販売、湯田中店の関係のものがある。特に「湯田中店」に関するものはほとんどが仕切覚である（湯田中は田中とも呼ばれた）。売り上げの酒代・湯銭から村諸負担や諸経費等を差し引いて勘定するという内容が多い。伝兵衛が店を預かって経営していたようである。宛所はどれも利兵衛で、これは5代当主顕賢（宝永3～明和6）と思われるので、史料は18世紀半ば前後のものかと考えられる。

（3）水車

明治4（1871）年の「仮車屋木積り帳」1冊があるのみ。同年に水車を建設した際の、職人手間や部材代金等の書上である。

（4）貸家

明治38（1905）年の（宅地貸料調査書控）を除くと、全て田町忠助屋敷に関するものである。これについては目録（その1）に「田町忠助屋敷入上差揚帳」（明治7～）を掲載し、その説明で田町は松代城下町内かと記したが誤りである。田町は、近世には善光寺町の一町、明治期には権堂村の一部を構成していた町である（現在、長野市鶴賀）。

（5）穀物等売買

これは大豆・小豆・米・粳等といった穀物類の販売に際しての受取書、仕切状等である。一例として口絵写真7に掲載した「須坂新町五郎兵衛の大豆仕切覚」（466-168）では、山田家は大豆2石9斗を3回に分けて五郎兵衛に渡し、五郎兵衛はその売り上げ代金から庭銭100文を差し引いた1両560文を山田家に2回にわたって支払っている。また、越後府中の三崎屋市兵衛の利兵衛宛覚（466-57）では、塩代金他を「惣かし」とし、胡麻3駄を預かると記している。他にも高田の浅野屋が蔵米・鱒・浜塩

などの相場書を知らせている例などもあり、越後方面へは穀物を売ると同時に、塩などの仕入れもしていたようで関係史料が多数ある。

(6) 綿作・販売

ここに収めたものは、大きく綿販売に関するものと、綿作に関するものに分かれ、前者は(5)にも同様のものが見られる出荷した実綿の受取や代金勘定などに関わる覚書、書状等である。後者は木綿手作の際の作業別摘採量を記録したと思われる人別の貫目数書き上げである。これについては書き上げられた貫目が木綿の摘採量であると断定できる確実な根拠はないが、古川貞雄「成立期質地地主制の構造」第16表の記載と対照してそのように判断した。

(7) 北信商社

袋入り、包入りのものが比較的多く、その中味もやや雑然としているものもあるが、概ねのところ、「二分金・金札等引換」、「差加金」、「商社金貸付」、「商社事件」、「諸入用」、「その他」に編成した。は、蔓延した賸二分金を商社が正金と等価交換した際のもの。は、商社元立金として社外の人々から預かった金の受け取りや差し戻しに関するもの。北信商社では明治3年7月までに820名より3万両調達したと言われている(横地穰治『信濃における世直し一揆の研究』)。は、明治3年にはオランダ商社からの洋銀借り入れ、政府に無断での租税借用などが問題になり、知事・県官が処分され、社員は民部省から厳しい取調をうけることになった一件の処理に関するものである。

(8) 証券投資・銀行業

これに関する史料はごくわずかで、横浜生糸合名会社(山田松三郎が勤務)、第六十三国立銀行(明治23年から山田荘左衛門が頭取を勤めている)、信濃銀行(明治38年から山田荘左衛門が頭取を勤めている)、信濃貯金銀行、信濃電気株式会社、のものが数点ずつある。

(9) 江部製糸場

真綿代金受取書が1通あるのみである。江部製糸場は、1897年の『長野県統計書』によると、工場持主は山田荘左衛門、経営者は山田亀吉(分家)で、1894年7月に創業し(横浜生糸合名会社創設1893年10月の直後にあたる)、大正8(1919)年に廃業した。1897年の釜数は51で、当時およそ10日ごとに数個ずつ横浜生糸合名会社に出荷していた。大正初年には釜数100、女工数86人、生糸年間生産量8125斤に増えている(以上、横山憲長氏のご教示をもとにまとめた)。

(10) 鉱山

これについては明治40(1907)年の全国金銀算出高書上が1通存在するだけだが、目録(その1)に同時期の関係史料が18点掲載されている。本格的に取り組んだわけではないが、関心を持っていたということであろう。

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

諸経営

金融

借用願・返済延期願

(書状、今般浅右衛門のことで九左衛門ら無心の仲介) 小川隠居 山田庄左衛門様、貴下	3月27日	横切継紙・1通	466-149
(書状、証文と引替に金子お渡し願) 中山兵左衛門 山 田文次良様、人々御中	12月12日	横切継紙・1通	466-222
(書状、金子支払い日延べ願) 蓮村与右衛門(印) 江部 村文六様	午12月25日	横切紙・1通	466-337
(書状、松代藩への先納金無心の断り、郡内縞ほか払物 寛、控) 庄 平次左衛門様	5月10日	横切継紙・1通	466-426
(書状、金3両1分取替願) 佐野村より鱸(力)平次左衛門 江部村江部屋庄左衛門様、人々御中	5月9日	横切紙・1通	466-427
(書状、必至の差支えにつき拠無く御無心のこと) 町 田儀平(印) 東江部山田荘左衛門様、机下	5月初日	横切継紙・1通	646
(書状、昨日対談の金高不調達につき、長野御出張先へ 明日か明後日伺う旨) (綿内村)石田治左衛門、岩野利 右衛門 山田荘左衛門様 包紙とも	5月18日午後5時	横切紙・1通	650
(書状、今日125円差し出し、残金日延願) (小布施出先 より)中村善右衛門 山田荘左衛門様 包紙とも	1月26日	横切継紙・1通	711
(書状、3年返済の証書を5年賦・年利1割に変更願) (古 海村)小林七郎右衛門 山田庄左衛門様、貴床下 包紙と も	酉3月5日	横切継紙・1通	717
(書状、御尊父様へ50円借用につき取次願) 中野町綿貴 孝造 東江部村山田理兵衛様	7月10日	横切継紙・1通	722
(書状、惣兵衛方永続に関わる代金275両の元利返済日 延願) (上田)宮下兵左衛門 山田庄左衛門様、尊下 包 紙とも	3月5日	横切継紙・1通	757
(書状、今日上田様御入金につき三〇丈融通願、算盤進 上) 新之助 山田様	5月19日	横切継紙・1通	772
口上(金子200疋借用願) 象潭拝 御旦那様、貴下		切紙・1通	776
(書状、居宅普請金拝借願) 小沼村小左衛門 山田庄左 衛門	霜月晦日	横切紙・1通	935-21

借金証文

(書状、何よりの品々送付のお礼、借用願書界紙25枚を 返上) 中野町綿貴孝造 東江部村山田庄左衛門様、尊机 下 474-13と関連	7月20日	横切継紙・1通	689
借入金証書(5円、利息年2割) 借主山田喜七(印)、証人小 林市左衛門(印) 山田理右衛門殿 奥裏貼紙「喜七」	明治32年1月31日	豎切紙・1通	705-32
連借入金証書(5円、利息年2割) 借主小林鶴吉(印)、借主 高木安蔵(印) 山田理右衛門殿	明治31年3月14日	豎切紙・1通	705-35

(柏原宿新規助成金ほか計50両書上)	(戌)	竪継紙・1通	796
借用申金子之事(商売仕入金差詰、26両) 吉田村力蔵(印)、請人宇右衛門(印)、証人勇吉(印) 坪山村増右衛門殿、牟礼宿浅右衛門殿	文政9戌5月	竪紙・1通	797
請取一札之事(26両、濟方金1両2分) 牟礼宿浅右衛門倅六郎右衛門、代徳兵衛(印) 吉田村力蔵殿	天保5午年11月21日	竪紙・1通	798
借入金証券(無抛13円) 下高井郡吉田村借主竹内多長治(印)、同郡同村受人竹内儀兵衛(印) 山田荘左衛門殿	明治16年4月1日	竪継紙・1通	817
借入金証文之事(商売仕入金差詰り金25両、引当家屋敷) 中野村借主儀助、受人由兵衛、東江部村受人文六、同村受人理右衛門 東江部村庄左衛門殿 名主権之丞奥書あり、827-1と2は畳込一括	天保15年辰正月	竪紙・1通	827-1
屋敷地并建家絵図面之事(字中町屋敷1畝20歩、高2斗、建家表間口4間半、長家5軒) 中野村借主儀助、受人由兵衛、東江部村受人理右衛門、同文六 東江部村庄左衛門殿 名主権之丞奥書あり	天保15年辰正月	竪紙・1通	827-2
借用申金子証文之事(雛形、要入金差詰りにつき、持地引当のこと)		竪紙・1通	832
借入金証文之事(無抛5両、引当田地高計2石1斗2升2合、小作初8俵半) 中野村借主鈴泉寺(印)、旦那惣代請人源次(印)、同請人与吉(印)、新保村請人惣左衛門(印) 東江部村庄左衛門殿	嘉永2年酉7月	竪継紙・1通	833
借用申金子証文之事(上納金15両) 借主浅右衛門印、受人傳右衛門印 藤九郎殿 名主大蔵の奥書あり、836-1~5は畳込一括	文政2年卯10月	竪紙・1通	836-1
覚(村方引受分24両2分、内金10両受取) 名主大蔵印、組頭傳右衛門印、百姓代栄吉印 浅右衛門殿、おいわとの	文政2年卯4月日	竪切紙・1通	836-2
覚(利金差詰り5両借用) 小古(衍)古間村借主浅右衛門印 善光寺桜小路かまや藤九郎殿	文化14年丑4月	竪紙・1通	836-3
質置申証文之事(年貢金差詰り下田10俵取質入、代金5両受取、作徳米金600文宛納めのこと) 質主六左衛門印、受人文蔵印 浅右衛門殿 組頭源左衛門の奥書あり	文化14年丁丑秋10月27日	竪紙・1通	836-4
借用申金子之事(無抛要金につき金5両) 小古間村借主浅右衛門印 善光寺桜小路かまや藤九郎殿	文化12年亥8月	竪紙・1通	836-5
「用立不申損失証文」 845-1~40は括り紐一括、一部小作証文・小作不納証文を含む			845
御願申日延一札之事(去寅商売仕入金借用の返済再日延願、御宅棟梁喜兵衛を通して) 水内郡静岡村借主濱吉(印) 高井郡東江部村山田庄左衛門殿 845-1と2は畳込一括	安政2卯年12月	竪紙・1通	845-1-1
借入金証文之事(無抛20両、引当田方計43俵半取) 水内郡静岡村中組借主濱吉(印)、親類請人金三郎(印)、同断源治郎(印) 高井郡東江部村山田庄左衛門殿 組頭桑之助の奥書あり	安政3辰年5月	竪継紙・1通	845-1-2
借入金証文之事(勤向要金につき金10両、引当として給分と扶持米代金) 本多豊後守内借主賄役石井善三郎(印)、請人蔵奉行佐久間伴右衛門(印)、請人徒土町井俊蔵(印)、立合勘定奉行中嶋茂兵衛(印) 高井郡東江部村庄左衛門殿 端裏貼紙に返済状況の書込あり、845-2-2を畳込	嘉永4亥年12月	竪紙・1通	845-2-1
(書状、金子拝借お礼、証文持参の使者に金子お渡し	(嘉永5年)正月29日	折紙・1通	845-2-2

願) 石井善三郎 山田庄左衛門殿、机下 (書状、石井を通じて頼んだ件ご承知の礼、25両拝借願) 春日井茂右衛門 江部村庄左衛門様 封筒とも、845-3全体の包紙(上下糊付を剥した)とも	(安政4年)7月21日	横切継紙・1通	845-3-1
借用申金子之事(無抛15両、滞納時は扶持米差出) 本多豊後守内借主春日井茂右衛門(印)、請人荒木八郎兵衛(印)、加印浅山孫四郎(印) 江部村庄左衛門殿	安政4巳年12月	竪紙・1通	845-3-2
借用金証文之事(無抛15両、引当田方高計3石1斗2升5合) 水内郡静岡村借主利八(印)、親類請人仲右衛門(印)、同断柳左衛門(印)、高井郡東江部村立会源八(印) 高井郡東江部村庄左衛門殿 庄屋八兵衛の奥書あり、包紙とも	嘉永4亥年12月	竪継紙・1通	845-4
借用金証文之事(無抛2両) 水内郡今井村借主多左衛門(印)、請人平左衛門(印) 高井郡東江部村庄左衛門殿 端裏貼紙に返済状況の書込および「今井 太助」とあり	安政2年卯2月	竪継紙・1通	845-5
借用金証文之事(年貢金3両) 水内郡倉井村借主重次郎(印)、請人(空白ママ) 庄左衛門殿 845-7を挟込、端裏貼紙に返済状況書込あり	天保3年辰正月	竪紙・1通	845-6
借用金証文之事(年貢金3両) 水内郡倉井村借主飛騨次郎(印)、請人富吉(印) 庄左衛門殿	文政10年亥2月	竪紙・1通	845-7
借用金証文之事(上納未進金6両、老年につき異変出来滞りは倅引受) 水内郡赤塩村之内毛野組借主善治郎(印)、倅官治郎(印) 高井郡東江部村庄左衛門殿 奥書に返済年限・方法あり、端裏貼紙に返済方法の書込あり	天保13寅年4月	竪紙・1通	845-8
借用金証文之事(年貢金15両、引当田方1石2升) 水内郡六田村借主辰蔵(印)、借主市郎左衛門(印)、借主太郎兵衛(印)、請人茂右衛門(印)、請人清吉(印)、請人弥七(印) 庄左衛門殿 村役人連印奥書あり、年月日は貼紙	天保13寅年9月	竪継紙・1通	845-9
借用金証文之事(商売仕入金20両、引当として上田・水車) 水内郡赤塩村之内中組借主八郎二(印)、同村之内上組請人新八郎(印)、高井郡安源寺村請人忠右衛門(印) 高井郡東江部村庄左衛門殿	弘化3年午10月	竪紙・1通	845-10
借用申年賦証文之事(先年借用金50両、出訴され無利・元金8年賦返済に) 水内郡北永江村借主長右衛門(印)、同人代親類組頭七郎次(印)、同村請人玄英(印)、同村同断与三右衛門(印) 高井郡東江部村庄左衛門殿 村役人奥書あり、845-11-2に疊込	天保13寅年12月	竪継紙・1通	845-11-1
借用金書入地銘細覚(田畑計9筆、高9石3斗7升4合) 水内郡北永江村借主長右衛門(印)、同人親類組頭七郎治(印)、同村請人与三右衛門(印)、同村請人玄英(印) 高井郡東江部村庄左衛門殿 水帳引合の旨百姓代・庄屋の奥書あり	天保13年寅12月	竪継紙・1通	845-11-2
時借金証文之事(無抛2分) 片塩村借用人惣八(印) 庄左衛門殿 端裏貼紙に返済状況書込あり	天保12年丑7月	竪紙・1通	845-12
借用金証文之事(年貢金9両、13年賦) 片塩村勝五郎娘借主さた(印)、請人四郎三郎(印) 庄左衛門殿 端裏貼紙に返済状況書込あり	天保12年丑正月	竪紙・1通	845-13
借用金証文之事(無抛2両3分、5年賦) 片塩村借主常蔵(印)、請人忠作(印) 東江部村庄左衛門殿	天保15年辰正月	竪紙・1通	845-14
借用金証文之事(年貢金并無抛12両、10年賦) 片塩村借主吉右衛門(印)、請人仙蔵(印)、名主卯之八(印) 庄左衛門殿 845-15-2に疊込	天保11年子12月	竪紙・1通	845-15-1

借入金証文之事(無扨12両、10年賦) 片塩村借主吉右衛門(印)、請人市郎右衛門(印)、名主卯之八(印) 東江部村庄左衛門殿	天保15年辰正月	豎紙・1通	845-15-2
借用申金子証文之事(商売仕入金10両、6月晦日まで) 安源寺村金子借主九左衛門(印) 東江部村庄左衛門殿 845-16-2~6を挟込	弘化2年5月朔日	豎紙・1通	845-16-1
借用申証文之事(商売元手金10両) 安源寺村借主九左衛門、片塩村立会幸之助 東江部村庄左衛門殿	弘化2年巳8月29日	豎紙・1通	845-16-2
借用申金子証文之事(商売仕入金5両) 安源寺村借用人九左衛門 東江部邑庄左衛門殿	弘化2年巳9月	豎紙・1通	845-16-3
借入金証文之事(商売仕入金10両、6月晦日まで) 安源寺村借主九左衛門(印) 東江部村庄左衛門殿	弘化2年巳5月	豎紙・1通	845-16-4
借入金証文之事(商売仕入金5両、3月晦日まで) 安源寺村金子借主九左衛門(印) 庄左衛門殿	弘化2年巳正月	豎紙・1通	845-16-5
借用申金子証文之事(要入金15両) 安源寺村借主九左衛門(爪印、拇印) 西江部村市左衛門殿	弘化2年巳7月	豎紙・1通	845-16-6
借用申金子之事(無扨2分) 片塩村借主賢順(印)、請人与吉(印)、加人東吉(印) 東江部村庄左衛門殿	嘉永6丑年	豎紙・1通	845-17
借入金証文之事(無扨1両、引当切桑植込畑) 片塩村借主紋弥(印)、請人喜左衛門(印)、請人幸之助(印)、立会与吉 東江部村庄左衛門殿 845-18-2を挟込	嘉永4亥年12月	豎継紙・1通	845-18-1
借入金証文之事(無扨1両、引当屋敷添畑へ植込切桑) 片塩村借主喜左衛門(印)、同断幸之助(印) 東江部村庄左衛門殿 端裏貼紙「若間違候へ者と吉引取ノ筈」	嘉永3年戌12月	豎紙・1通	845-18-2
借入金証文之事(年貢金3両、引当山畑・立木) 片塩村借主惣八(印)、請人金作(印) 庄左衛門殿 名主奥書、惣八らの返済方法奥書あり	天保12年丑12月	豎継紙・1通	845-19
証文之事(金5両借用、9月晦日まで) 片塩村久平 山田理兵衛様	申8月日	切紙・1通	845-20
借入金証文之事(無扨6両) 西江部村借主幸蔵(印)、請人茂左衛門(印) 東江部村庄左衛門殿	嘉永3年戌12月	豎紙・1通	845-21
質地証文之事(畑2筆高3斗4升3合、金3両) 片塩村質地置主与吉(印)、同請人喜右衛門(印)、同同藤右衛門 市左衛門殿 名主奥書(署名部分切取)、畑図あり、845-22-2~4を挟込	弘化2巳年12月	豎継紙・1通	845-22-1
小作証文之事(畑2筆、質流地になるとも永代小作) 片塩村小作人与吉(印)、同所請人喜右衛門(印)、同藤右衛門(印) 江部村市左衛門殿	弘化2年12月	豎紙・1通	845-22-2
小作証文之事(畑2筆、成年まで預り小作) 片塩村地預与吉(印)、請人清右衛門(印)、請人喜右衛門(印) 東江部村庄左衛門殿 畑2筆の等級・面積・高書上げの切紙を挟込	弘化5年申2月	豎紙・1通	845-22-3
質地証文之事(畑2筆、成年まで、5両) 片塩村質地置与吉(印)、親類清右衛門(印)、組合喜右衛門(印) 東江部村庄左衛門殿 水帳引合の旨名主市太郎奥書あり	弘化5年申2月	豎紙・1通	845-22-4
借用申金子之事(金4両) 片塩村民吉(印) 東江部村久蔵殿		豎紙・1通	845-23
小作不納証文之事(卯年小作年貢金1両不納につき辰7月10日まで日延願) 片塩村不納人忠作(印) 東江部村庄左衛門殿 845-24-1と2は帯一括	天保15年辰3月	豎紙・1通	845-24-1

小作不納証文之事(卯年小作年貢金3兩不納につき3年賦) 片塩村不納人忠作(印)、請人(空白ママ) 庄左衛門殿	天保15年辰3月	豎紙・1通	845-24-2
小作御年貢年延願之事(夫食喰込につき金10兩不納、8年賦願) 西江部村不納人七郎右衛門(印)、同所親類 請人富八(印)、同所名主只右衛門(印) 庄左衛門殿	文政13年寅12月	豎紙・1通	845-25
借入金証文之事(無抛10兩、引当屋敷高2斗4升4合) 当所借用人文左衛門(印)、同受人治三郎(印) 山田庄左衛門殿 端裏貼紙「ツ」	明治元辰年12月	豎継紙・1通	845-26
借入金証文之事(無抛1兩) 借用人順碩(印)、請人栄重郎(印) 庄左衛門殿	天保11子正月	豎紙・1通	845-27
借入金証文之事(商売仕入金2兩) 借主権兵衛(印) 庄左衛門殿	天保7年申12月	豎切紙・1通	845-28
借入金証文之事(無抛6兩) 借主庄五郎(印) 庄左衛門殿 端裏貼紙「未十一月直吉無尽二而、...預利八分二勘弁」	弘化3年午11月	豎紙・1通	845-29-1
借入金証文之事(年貢金15兩、10年賦、引当中畑高5斗) 東江部村借主庄五郎(印)、安源寺村引請人半左衛門(印) 東江部村庄左衛門殿 845-29-1を挟込一括	嘉永4亥年12月	豎紙・1通	845-29-2
借入金証文之事(無抛2兩) 安源寺村借主半左衛門(印) 東江部村庄左衛門殿 端裏貼紙「庄五郎分」	嘉永4亥年12月	豎紙・1通	845-30
借入金証文之事(無抛2兩) 借主茂右衛門(印)、請人團兵衛(印) 庄左衛門殿 端裏貼紙に返済状況書入あり	弘化2年巳3月	豎紙・1通	845-31
借入金証文之事(無抛200兩) 借主理右衛門(印) 山田庄左衛門殿 端裏貼紙「丑十一月六日須坂布新より借入分、...利三十疋、当方より布新江式百兩ノ証文遣置、帳合八不致置分」	慶応元丑年11月	豎紙・1通	845-32
(借金証文・金子受取書等一括) 845-33は帯封一括		1束	845-33
覚(金100兩預り証文) 東江部村借主清作(印)、新野村 請人五郎右衛門兄是非之助(印) 山田庄左衛門殿 帯紙「おまん分ノ内、江戸廻金」	安政5年年正月	豎紙・1通	845-33-1
借入金証文之事(相続手立金100兩) 東江部村借主清作(印)、証人理右衛門(印) 山田庄左衛門殿 845-33-2に挟込一括	安政4巳年2月	豎紙・1通	845-33-2-1
借入金証文之事(相続手立金100兩) 東江部村借主清作(印)、証人理右衛門(印) 山田庄左衛門殿 端裏貼紙「式百兩 内訳百兩別記分、五十兩本帳分、五十兩理右衛門質也」	安政4巳年閏5月	豎紙・1通	845-33-2-2
借入金証文之事(無抛50兩) 借主理右衛門(印) 山田庄左衛門殿 端裏貼紙「六拾五兩、質屋江 理右衛門、内借江戸廻し分」	安政4巳年2月	豎紙・1通	845-33-3-1
借入金証文之事(多分内借でき、成崩手当金15兩) 借主理右衛門(印) 山田庄左衛門殿 845-33-3-1に挟込	安政4巳年閏5月	豎紙・1通	845-33-3-2
借入金証文之事(無抛22兩) 借主理右衛門 董平殿 845-33-4-2~8を挟込一括	安政4巳年2月	豎継紙・1通	845-33-4-1
(嘉永3年7月御用立御金3分請取、亥12月20日利570文請取相済)		切紙・1通	845-33-4-2
覚(元利金2兩3分余受取) 牛治郎 村子之助	(嘉永4)亥12月20日	切紙・1通	845-33-4-3
(金2兩2朱余受取書) 八左衛門 子之助様	12月24日	切紙・1通	845-33-4-4

(金子勘定書、金2両1分内1分当2月、此所2両2分渡入、 銭66文受取済)		切紙・1通	845-33-4-5
(金3両余受取書) 倉之助 東江部子之助殿		切紙・1通	845-33-4-6
(金3両3分受取書) 政之丞 子之助様	12月20日	切紙・1通	845-33-4-7
借用金証文之事(金2両) 借主子之輔 松太郎殿	嘉永3戌年12月21日	豎紙・1通	845-33-4-8
借用金証文之事(要用30両) 借主理右衛門(印) 久蔵 殿 端裏貼紙「久印」	文久2戌年12月	豎紙・1通	845-34
借用金証文之事(無抛50両) 借主理右衛門(印)、受人 伊兵衛(印) 久蔵殿 端裏貼紙「久印」	文久3亥年12月	豎紙・1通	845-35
借用金証文之事(無抛200両) 借主理右衛門、請人文六 庄左衛門殿 端裏貼紙「ツ印」	明治2巳年12月	豎紙・1通	845-36
借用金証文之事(無抛25両) 借主庄平、請人きい 理 右衛門殿 包紙とも、包紙上書「東より請取方被頼候分、 当所庄平式拾五両之証文、但方帳面二無之」	慶応元丑年閏5月	豎紙・1通	845-37
借用金証文之事(無抛15両、引当として新保村田4筆、 竿請主吉十郎分) 篠井村借用人改治郎(印)、同所受 人半左衛門 東江部村久蔵殿 端裏貼紙「三十巻」「久 印」	万延元年申10月	豎紙・1通	845-38
借用金証文之事(無抛1両) 片塩村借主吉右衛門(印)、 請人仙蔵(印)、名主卯之八(印) 庄左衛門殿	天保11年子12月	豎紙・1通	845-39
借用金証文之事(無抛1両) 片塩村借主吉右衛門(印)、 請人市郎右衛門(印)、名主卯之八(印) 庄左衛門殿	天保15辰正月	豎紙・1通	845-40
副証之事(本証券500円借用、返金差支の節弁償のこと 取決) 下水内郡照里村借主上原仁左衛門(印)、同郡同村 受人足立藤左衛門(印)、下高井郡豊郷村受人鈴木清輔(印) 下高井郡江部村山田庄左衛門殿	明治16年8月30日	豎罫紙・1通	857
「相済候証文類可返分」 包紙紙背書込「質地対談書」、858- 1~34は包紙括り紐一括		1包	858
借用金証文之事(商売仕入金200両) 中野奈良屋借用人 寅吉(印)、請人弥五左衛門(印) 東江部村山田庄左衛 門様 包紙とも	文久3亥極月14日	豎紙・1通	858-1
借用金証文之事(要用200両) 中野村借用人奈良や寅 吉(印)、受人惣兵衛(印) 東江部村山田庄左衛門様 858-2-2を挟込、端裏下貼紙あり	元治元子12月12日	豎紙・1通	858-2-1
(書状、御無心100両申入れたく、残金合せて200両で 証文作成、小手形無心のこと) ならや寅吉 山田様 858-2-3を挟込	子11月13日	横切紙・1通	858-2-2
覚(利足25両に1分の割合承知のこと) 奈良屋寅吉 (印、「信州高井郡中野」) 東江部村山田様	元治元子12月	小切紙・1通	858-2-3
覚(陣中定入大工栄松極困窮につき村々助成金取集 まで金9両銭751文借用) 中野村郡中代市右衛門 (印) 東江部村山田庄左衛門殿 858-3-2を挟込、端裏貼 紙「拾弍両」ほか	文久3亥年6月	豎切継紙・1通	858-3-1
請取一札之事(陣中定入大工栄松助成金9両立替受 取) 中野村郡中代市右衛門(印) 東江部村山田庄左 衛門殿	文久3亥年6月4日	豎切紙・1通	858-3-2
借用申金子証文之事(仕入金50両、近日本証文差上) 借用人権堂村源八(印) 山田庄左衛門殿 端裏貼紙「仮 証文可返分」ほか	丑7月21日	豎紙・1通	858-4

借用金証文之事(無扨36両) 中野村借用人仁助(印)、同村請人村吉(印) 東江部村山田庄左衛門殿	元治元子年11月	豎切継紙・1通	858-5
借用金証文之事(無扨50両、引当牟礼宿東側屋敷2ヶ所) 水内郡牟礼宿西組借用人六左衛門(印)、同宿同組同三郎左衛門(印)、同宿同組請人と惣右衛門(印)、同宿東組同又市(印)、同宿同組同庄左衛門(印)、同宿同組同三左衛門(印)、同宿同組同儀右衛門(印) 山田庄左衛門殿 858-6-2を挟込	安政6未年12月	豎継紙・1通	858-6-1
覚(庄左衛門より取替金元利の内60両預り、写) 五郎太夫 六左衛門殿、三郎左衛門殿	戊7月9日	小切紙・1通	858-6-2
覚(質地代金残り24両受取、右24両預り書付はこの書付と引替) 西江部村直蔵(印) 東江部村久蔵殿	亥12月28日	切紙・1通	858-7
* 覚(大豆55石5斗受取預り) 須坂上町糶屋武源治(印) 東江部村庄左衛門殿 858-8-2を挟込	天保15辰年12月	豎切紙・1通	858-8-1
* (書状、押切より大豆63石5斗預かり、別紙預書差上) す坂上町糶屋武源治 東江部村御苗庄左衛門様	12月27日	豎切紙・1通	858-8-2
借用申金子証文之事(金10両) 間山村借主与兵衛(印) 東江部村山田庄左衛門殿 端裏貼紙「間山 潮堂」ほか	文久3年亥11月	豎紙・1通	858-9
借用申金子証文之事(無扨50両、書入地所・村役人印形間に合わず11月7日までに本証文差出) 高井郡安田村借主與左衛門(印)、受人與惣治 同郡東江部村山田庄左衛門殿 端裏貼紙「安田与惣次」「カ印」ほか	慶応2寅年10月日	豎紙・1通	858-10
借用申金子証文之事(無扨20両、引当として私召抱年季奉公人) 借用人権堂村そと(印)、同村親類受人源八(印) 東江部村山田庄左衛門殿 端裏貼紙「ツ印」ほか	元治元年子9月	豎紙・1通	858-11
借用申金子之事(商方仕入金として金40両、書入として名所古屋敷) 牟礼宿借主式左衛門(印)、同受人宜之助(印) 東江部村庄左衛門殿 858-12-2・3を挟込	嘉永7寅年11月	豎切継紙・1通	858-12-1
(書状、急々20両恩借願、葛呈上) 牟礼宿より高野式左衛門 東江部村二而山田庄左衛門様	11月8日	横切継紙・1通	858-12-2
(書状、なお又20両無心) 高野式左衛門 山田庄左衛門様、貴下	12月11日	横切継紙・1通	858-12-3
借用申金子証文之事(無扨15両) 借用人中野古久屋佐左衛門(印)、受人喜美作(印、「信州中野・古久佐」) 東江部村久蔵殿 端裏貼紙「返金相済不用証文」	安政7年申正月19日	豎切紙・1通	858-13
借用申金子証文之事(無扨3両) 西江部村借主天寧寺(印) 東江部村庄左衛門様 端裏貼紙「相済可返分」ほか	元治元子年7月12日	豎紙・1通	858-14
借用金証文之事(無扨25両、引当として中畑8筆、奥書に返済方法) 高井郡岩船村借用人新兵衛(印)、同村請人幸兵衛(印) 東江部村山田庄左衛門殿 端裏貼紙「相済」ほか	安政5午年9月	豎切継紙・1通	858-15
借用金証文之事(金25両) 坂口屋治兵衛、同久兵衛 山田庄左衛門様 858-16-2を挟込	亥極月6日	切継紙・1通	858-16-1
覚(金79両1分受取、18日までに返済) 借用人九之丞 山田庄左衛門殿	文久3亥年12月	切紙・1通	858-16-2
覚(五郎右衛門分金15両時借) 新野村佐右衛門 山田庄左衛門様	亥11月12日	切紙・1通	858-17
覚(金130両拝借) 井上村幸右衛門(印) 山田庄左衛門様 包紙とも、858-18-2在中	亥11月26日	切紙・1通	858-18-1

(書状、浄運寺よりの預かり金を糸師に融通したところ横濱より帰村せず、当座の金子借用願、ほか) 井上村牛之輔 山田庄左衛門様、机下 封筒とも	霜月26日	横切継紙・1通	858-18-2
借入金証文之事(無扨30両、引当として畑4筆) 高井郡新野村借用人佐右衛門(印)、同村請人五郎右衛門(印) 東江部村山田庄左衛門殿 端裏貼紙「相済候分」「力印」ほか、858-19-2を挟込	文久元年酉6月	竪切継紙・1通	858-19-1
覚(御用向につき金10両借用) 高井郡新野村借主佐右衛門(印) 東江部村山田庄左衛門殿	文久3年亥4月	切継紙・1通	858-19-2
時借金証文之事(無扨2両) 吉右衛門(印) 江部山田様御手代半左衛門殿 端裏貼紙「相済候分」ほか	文久4年子正月	竪紙・1通	858-20
質地年延一札之事(大満水にて諸作水腐につき先年借用金年延) 土屋坊(力)村名主紋兵衛(印)、組頭傳右衛門(印)、百姓代忠治(印) 東江部村山田庄左衛門殿 包紙とも、包紙上書「相済候分」ほか	慶応元丑12月	竪切紙・1通	858-21
借入金証文之事(無扨35両) 借主文六(印)、借主理右衛門(印) 山田庄左衛門殿 端裏貼紙「相済候分」ほか	文久3亥年8月	竪切紙・1通	858-22
借入金証文之事(無扨4両、奥書に返済方法) 西条村借主伊兵衛(印)、請人清七(印)、立会啓助(印) 東江部村山田庄左衛門殿	安政2卯年12月	竪継紙・1通	858-23
借入金証文之事(無扨30両) 東江部村借主嘉作(印)、同所受人増蔵(印) 山田庄左衛門殿 端裏貼紙「相済候分」ほか	文久2戌年11月	竪切継紙・1通	858-24
覚(金10両借用証文) 堀尾彦四郎(印) 山田庄左衛門殿 端裏貼紙「小屏風預り」ほか返済方法書込	亥12月	竪紙・1通	858-25
借入金証文之事(無扨2両) 当所借主菊蔵(印)、請人源右衛門(印) 山田庄左衛門殿 端裏貼紙「利」ほか返済方法	文久元酉年12月	竪紙・1通	858-26
借入金証文之事(商売仕入金5両、引当田畑2筆) 片塩村借主忠作(印)、請人幸内(印) 庄左衛門殿 名主奥書	天保12年丑7月	竪紙・1通	858-27
借入金証文之事(無扨30両、引当として年季奉公人請状2通差出) 水内郡権堂村借主次平(印)、請人長五郎(印) 東江部村山田庄左衛門殿 包紙とも、返済状況書込あり	文久3亥年11月	竪紙・1通	858-28
年季奉公人請状之事(やす8ヶ年季にて給金18両、添証文に住替のことあり) 越後三嶋郡井ノ本新田実親伊三郎(印)、親類受人四郎兵衛(印)、奉公人やす、当所受人基五郎(印) 善光寺権堂村藤田屋次兵衛殿 包紙とも(858-29-2も在中)、858-28に対応	安政6未年9月	竪切継紙・1通	858-29-1
住替奉公人請状之事(はる5ヶ年季にて給金28両) 元抱主祐三郎(印)、所請人総吉、同清蔵(印) 治兵衛殿	文久3年亥10月	竪切継紙・1通	858-29-2
* 覚(信濃守入用向につき金300両借用、年利1割、藩士5人の奥印あり) 高野覚之進(印)、佐藤長左衛門(印)、宮沢善治(印) 江部村山田庄左衛門殿 包紙とも、包紙貼紙「十月十五日 三百両 相済 松代 請取書与可引替分」	安政2卯年6月	竪切紙・1通	858-30
* 覚(差掛旦那要用につき金50両借用証文) 高野覚之進(印) 山田庄左衛門殿、山田董平殿 包紙上書「九月晦日 五拾両 時貸利壹割 相済分 松代高野」あり、858-31-2在中	安政6未年6月	竪紙・1通	858-31-1
* (書状、差向少々不都合につき如何程にても金子借	6月7日	横切継紙・1通	858-31-2

用したきこと) 覚之進 荘左衛門様、董平様 佐藤より申上のこと、小切紙挟込			
* 御品物預一札之事(貞宗刀・脇差預り、金120両用達を頼まれるが、鑑定済ます50両貸し) 高井郡東江部村山田庄左衛門印 松代小山田老岐様御内義家栄作殿 端裏貼紙に返済状況あり、858-32-2を挟込	安政3辰年10月8日	縦紙・1通	858-32-1
* 借入金証文之事(主人無抛費用につき金50両、引当貞宗刀・脇差) 松代小山田老岐内義家栄作(印) 東江部村山田庄左衛門殿	安政3辰年10月	縦紙・1通	858-32-2
* 覚(信濃守費用につき金200両借用、年利1割、高田幾太郎印あり) 高野覚之進(印)、佐藤長左衛門(印)、他出無印宮澤善治 東江部村山田庄左衛門殿 858-33-2を挟込、包紙上書「相済候分」「松代」ほか	安政4巳年12月	縦紙・1通	858-33-1
* (書状、200両貸金御礼、其許以外申遣方無くお頼みのこと、利分のこと) 松代高野覚之進 東江部二て山田庄左衛門様 封筒と	12月20日	横切継紙・1通	858-33-2
* 借入金証文之事(旦那費用につき金500両) 松平伊賀守内勘定奉行服部半左衛門(印)、原才兵衛(印)、相馬兵右衛門(印)、稲垣林右衛門(印)、中村清太夫(印) 江部村山田庄左衛門殿 包紙貼紙「子三月晦日[]皆済追而可返分 上田」あり	亥12月	縦切継守・1通	858-34
(借金証文類一括) こより紐で一括		1束	966
借入金証券(無抛100円) 下高井郡中野町借用人奈良定助(印)、上水内郡普光寺村受人中島小左衛門(印) 下高井郡江部郷山田庄左衛門殿	明治18年6月20日	縦罫紙・1通	966-1
借入金証書(60銭) 下高井郡高丘郷牧山借主石田新六(印) 山田庄左衛門殿	明治24年2月13日	縦紙・1通	966-2
証(小作代金上納に差支え延期認められ有難きこと、返済取決め) 下高井郡平野郷小川佐吉(印) ほか9名山田庄左衛門殿	明治24年1月29日	縦切継紙・1通	966-3
証(明治16年貸金利息とも29円受取) 下高井郡平野郷片塩堀内儀兵衛(印) 同郡同郷江部山田庄左衛門殿	明治24年3月28日	縦切紙・1通	966-4
金円請取書(100円) 北澤豊作(印) 山田庄左衛門殿	明治24年3月7日	横切継紙・1通	966-5
証(利分として17円領収) 平野郷高山環之(印) 江部山田庄左衛門様	明治25年11月30日	縦罫紙・1通	966-6
金子借用証(費用につき500円) 下高井郡堺村金子借用人嶋田三左衛門(印)、同郡中野町保証人曾我新造(印) 下高井郡平野村山田庄左衛門殿 966-7-1と2は帯封一括	明治24年3月3日	縦罫紙・1通	966-7-1
約定証(連借人全員負担時あるいは嶋田ひとりの時の手数料取決め) 連借人代理金員受取人嶋田三左衛門(印) 金員貸主山田庄左衛門殿、紹介人曾我新造殿 返済状況の貼紙あり	明治24年3月3日	縦罫紙・1通	966-7-2
受取証(500円ほか貸金返金受取) 小島五右衛門(印)、小島訴訟用印) 山田庄左衛門殿、山田理兵衛殿	明治24年10月1日	横切紙・1通	966-8
敷金預一札(篠井村地内水車貸渡金預り) 下高井郡江部村山田庄左衛門(印) 全郡篠井村中清吉殿	明治19年2月21日	縦切紙・1通	966-9
* 「吉田村小作証文并古貸金証文」 細目は「地主/小作証文」の項を見よ		1包	1077
* 「宝曆之頃小作不納并貸金証文 不用 不納かし金吉田村」 細目は「地主/小作料収納」の項を見よ。		1包	1078

山田家が借用

「証書」	文化元年～文化14年	1包	847
覚(当亥証文金利13両1分2朱受取、皆済) 西江部村市左衛門(印) 東江部村莊左衛門殿	文化12年亥12月	竪紙・1通	847-1
覚(巳年飯山本町五右衛門分利金12両2分受取) 飯山愛宕町庄右衛門(印) 東江部村庄左衛門殿	文化6年巳12月	竪紙・1通	847-2
覚(預ケ金利分10両受取) 中野村井賀屋房吉(印) 東江部村庄左衛門殿	文化14年丑12月	竪切紙・1通	847-3
覚(去正月世話の金子利分20両受取) 井賀彦彦兵衛(印) 東江部村庄左衛門殿	文化14年丑正月12日	切紙・1通	847-4
借用申金子之事(100両、書入田高50石江部村分地) 高井郡東江部村借主庄左衛門(印)、同所請人親類文蔵(印)、同郡中野村立会清左衛門(印)、東江部村名主文六(印) 水内郡飯山町[] 後欠力、印消	文化4年卯2月	竪切紙・1通	847-5
質物二相渡シ申田地之事(片塩村田地3口高6石余10年季にて、上納金に指詰り31両受取) 東江部村質地主庄左衛門(印)、同所請人文六(印)、片塩村立会伊三郎(印) 片塩村九兵衛殿 印消	文化7年11月	竪継紙・1通	847-6
一札之事(10両預り、当暮中に返済予定) 東庄左衛門(印) 市左衛門殿 印消	文化5辰極月	切継紙・1通	847-7
覚(20両預り) 庄左衛門(印) 市左衛門殿 印消	文化13子4月	竪切紙・1通	847-8
覚(40両預り) 東江部村庄左衛門(印)、請人市左衛門(印) 松川元右衛門殿 印消	文化11戌11月	竪紙・1通	847-9
覚(50両預り) 東江部村庄左衛門(印) 西江部村市左衛門殿 印消	文化7午11月	竪紙・1通	847-10
覚(60両預り、来正月中返済予定) 東江部村庄左衛門(印) 句(口)入人西江部村市左衛門殿 印消	文化8未11月	竪紙・1通	847-11
覚(50両預り) 東江部村庄左衛門(印) 西江部村市左衛門殿 印消	文化7午10月	竪紙・1通	847-12
覚(40両預り) 庄左衛門(印) 市左衛門殿 印消	文化8未2月	竪紙・1通	847-13
覚(50両預り、12月中返済予定) 東江部村庄左衛門(印) 西江部村市左衛門殿 印消	文化6巳10月	竪紙・1通	847-14
覚(50両預り、極月中返済予定) 東江部村庄左衛門(花押) 西江部村市左衛門殿 奥書「当日役所へ印形遣置候故、如斯二御座候」、差出消	文化6巳11月	竪紙・1通	847-15
借用申金子ノ事(50両、2月中返済予定) 東江部村庄左衛門(印) 工(口)入人市左衛門殿 印消	文化10年11月	竪紙・1通	847-16
預り申金子之事(40両預り、来夏中返済予定) 東江部村庄左衛門(印) 松川村東屋元右衛門殿 印に切込	文化12亥極月	竪紙・1通	847-17
覚(4口ノ180両預り、来春中返済予定) 東江部村庄左衛門(印) 句(口)入人西江部村市左衛門殿 印に切込	文化9申極月	竪紙・1通	847-18
覚(50両借用、来月中返済予定) 東江部村庄左衛門(印) 西江部村市左衛門殿 印消	文化3年寅11月	竪紙・1通	847-19
覚(30両預り、当月下旬返済予定) 東江部村庄左衛門(印) 中野傳助殿 印消	文化元子12月	竪紙・1通	847-20
覚(40両借用、来戌2月返済予定) 東江部村庄左衛門	文化10年酉10月	竪紙・1通	847-21

(印)、西江部村請人市左衛門(印) 松川村元右衛門殿 印消、端裏書「返り証文」			
覚(60両借用、来春返済予定) 東江部村庄左衛門(印) 西江部村口入人市左衛門殿 端裏書「六川之分」、印消	文化12亥11月	豎切紙・1通	847-22
借用申金子之事(200両) 東江部村庄左衛門(印) 中 野村彦兵衛殿 印消	文化11年戌12月	豎紙・1通	847-23
覚(20両預り、来10月別紙証文差入時にはこの証文返 却されたし) 東江部村庄左衛門(印)、西江部村請人 市左衛門 松川村庄右衛門殿 印消	文化13子9月	豎紙・1通	847-24
「父上様八兵衛より御借用分証文也、文政十亥年返金 済」		1包	854
預り金之事(10両) 江部松齋(印) 中野白井彦兵衛様 包紙の途中に挟まる	文政6未5月28日	豎紙・1通	854-1
覚(15両預り) 東江部村縫殿介(印) 岩船村八兵衛殿 印消	文政9年戌9月	豎紙・1通	854-2
預り申金子之事(10両) 縫殿介(印) 八兵衛殿 印消	文政7年申極月	豎紙・1通	854-3
覚(10両預り) 東江部村縫之助(印) 岩船村八兵衛殿 印消	文政9年戌12月	豎紙・1通	854-4
覚(15両預り) 東江部村縫殿介(印) 岩船村八兵衛殿 印消	文政8年酉3月	豎紙・1通	854-5
覚(15両預り) 東江部村縫殿介(印) 岩船村八兵衛殿 印消	文政9年戌6月	豎紙・1通	854-6
覚(10両預り) 東江部村縫之介(印) 岩船村八兵衛殿 印消	文政8年酉6月	豎紙・1通	854-7
記(10両拝借、来春返上) 松齋 彦蔵様	(文政7)申11月	豎切紙・1通	854-8
覚(15両預り) 東江部縫之助(印) 岩船村八兵衛殿 印 消	文政8酉11月	豎切紙・1通	854-9
(八兵衛分酉年50両・戌年40両計90両、井賀屋分申年 10両書上) 854-10-2を挟込		折紙・1通	854-10-1
覚(2口90両の利分7両1分2朱余受取) 岩舟村八兵衛 東江部村縫之助殿 奥に隠居宛の勘定間違あればし なを差上のことあり	(文政9)戌12月	横切紙・1通	854-10-2
(書状力、虫損張付のため開披不可) 開披不可		切紙・1通	855
「文化文政之頃帰書附」 953-1~20在中、こより紐一括		包紙・1包	953
借用申金子之事(上納金40両) 東江部村借用主庄左衛 門(印) 大徳寺様 印消し、953-1~4は、5以降とは包紙 内で別になっていた	文政2年卯極月	豎紙・1通	953-1
借用申金子之事(無抛20両) 東江部村借用人庄左衛門 (印)、同村受人文六(印) 片塩村清左衛門殿 庄左衛門 印消し	文政2年卯極月晦日	豎切紙・1通	953-2
借用申金子之事(無抛40両) 東江部村借用人庄左衛門 (印) 大徳寺様 印消し	文政3年辰12月晦日	豎紙・1通	953-3
預申金子之事(10両) 東江部村預人庄左衛門(印)、同所 立会理右衛門(印) 西江部村作左衛門殿 印消し、端裏 書「西江部より帰書付」	文政7年申3月28日	豎紙・1通	953-4
借用申金子証文之事(年貢金50両、引当片塩村持地遠 方につき取決め) 高井郡東江部村金子借用人庄左衛	文政元年寅極月23日	豎切紙・1通	953-5

門(印)、同郡同村請人文六(印)、同郡片塩村立会人藤右衛門(印) 相之嶋村武右衛門殿 印消し、片塩村名主伊右衛門奥印あり、端裏書「相之嶋より返り書付」			
預り申金子之事(100両) 東江部村預り主庄左衛門(印)、新野村請人五郎右衛門 中野村房吉殿 印消し	文化13年子正月	豎紙・1通	953-6
借用申金子之事(無抛50両) 東江部村借用主庄左衛門(印)、同村受人文六(印) 片塩村清左衛門殿 印消し	文政2年卯3月	豎切継紙・1通	953-7
預り申金子之事(100両) 東江部村庄左衛門(印) 西江部村口入人市左衛門殿 料紙奥切断力	文化11年亥正月	豎紙・1通	953-8
一札之事(無抛50両借用) 東江部村庄左衛門(印) 西江部村市左衛門殿	文化13子11月	豎切紙・1通	953-9
預申金子之事(30両) 高井郡東江部村庄左衛門(印) 善光寺後町甚十郎殿	文化14丑極月	豎切紙・1通	953-10
預り申金子之事(100両) 東江部村預人庄左衛門(印)、西江部村請人市左衛門(印) 松川村元右衛門殿 請人である西江部村名主市左衛門の奥書あり、端裏書「江部庄左衛門」、印切込み	文化13子10月	豎切継紙・1通	953-11
覚(無抛70両借用) 東江部村庄左衛門(印) 新野村五郎右衛門殿 印切込み	文化13子極月	豎紙・1通	953-12
借用申金子之事(無抛20両) 東江部村庄左衛門(印) 片塩村大徳寺様 953-13と14は折込一括、印消し	文政元年寅極月	豎切紙・1通	953-13
借用申金子之事(上納金20両) 東江部村借人庄左衛門(印)、片塩村請人大徳寺 片塩村与四郎殿 印消し	文政2卯10月	豎切紙・1通	953-14
金子借用証文之事(上納金50両) 東江部村借り主庄左衛門(印)、同所請人栄左衛門(印)、中野村請人金兵衛(印) 中野村儀兵衛殿 印消し、東江部村名主文六奥書あり	文化14年丑10月	豎切継紙・1通	953-15
預り申金子之事(50両) 東江部村庄左衛門(印)、同村受人文六(印) 松川村元右衛門殿 印切込み	文政元年寅11月	豎切紙・1通	953-16
預り申金子之事(100両) 東江部村預り主庄左衛門(印)、新野村請人五郎右衛門 中野村彦兵衛殿 印切込み、端裏書「江庄」	文化13年子正月	豎切紙・1通	953-17
借用申金子証文之事(無抛100両) 東江部村借り主庄左衛門(印)、浅野村請人唯右衛門(印) 松代御城下増田徳左衛門殿 印消し	文化15年寅正月	豎切紙・1通	953-18
預り申金子之事(20両) 高井郡東江部村庄左衛門(印) 高井郡松川村東屋元右衛門殿 印切込み	文化6年巳極月	豎切紙・1通	953-19
借用申金子之事(50両) 高井郡東江部村借主庄左衛門(印)、請人栄左衛門(印)、名主文六(印) 同郡中野村清左衛門殿 庄左衛門以外印消し	文化4卯4月	豎紙・1通	953-20

返済訴訟

(書状、権之助借り金半金にて堪忍願) 中山善助 山田文六様	12月10日	折紙・1通	466-219
「訴訟用罫紙入、并明治九年十一月二日出訴滞金口々勘定下調訴状之控等」 636-1~14を封入	(明治)	1袋	636
貸金催促之訴状(北安曇郡池田町村市川氏への貸金) 長野県信濃国下高井郡江部村平民、原告代理人山田理右衛門	明治14年12月	1冊	636-1

診断書(山田理兵衛の疝の病状) 長野県平民下高井郡吉田村医師小林東景	明治14年12月4日	罫罫紙・1通	636-2
診断書(山田荘左衛門の疝の病状) 長野県下々高井郡吉田村医小林東景	明治14年6月8日	罫紙・1通	636-3
(市川氏へ貸金の返済状況書付)	(明治9力)	罫罫紙・1通	636-4
(市川氏への貸金催促訴状写)		1冊	636-5
記(地代金5円受取) 江部邨山田理兵衛 高野邨大碓弥右衛門殿 帯封、奥に裁判経緯の書込あり	明治11年5月14日	切紙・1通	636-6
貸金催促之訴状(北安曇郡池田町村市川氏への貸金) 長野県信濃国下高井郡江部村平民、原告代理人山田理右衛門	明治14年12月	1冊	636-7
(訴訟用罫紙、未使用) うち1枚は「理兵衛捺印呈上用紙」(付箋による)		罫罫紙・12枚	636-8
御願書之事(貸金訴訟の訴状取り下げ願) 北第拾九大区四小区高井郡江部村平民、原告人山田理右衛門 松本裁判所長宛綿内村被告小泉金作の同日付奥書あり	明治10年1月20日	罫紙仮綴・1冊	636-9
委任状(貸金催促の代理人指名、雛形) 殿	年月日	切紙・1通	636-10
記(綿内村小泉宛売渡畑の地券を書換のため代人理右衛門へ差出願) 北第十九大区四小区高井郡江部村山田荘左衛門 北第十七大区三小区戸長副御中	明治10年1月23日	切罫紙・1通	636-11
(返済滞金書上綴、雁田・中條・柳沢・下木島・綿内・田上の各村諸氏分) 明治9年委任状下書を挟込	(明治)	1綴	636-12
貸金催促之訴状(田上村9名への貸金) 長野県北第拾九大区四小区信濃国高井郡江部村平民、原告代理人山田理右衛門	明治9年11月	2冊	636-13
(貸金催促の訴状、綿内・小嶋・雁田・中松・柳沢・下木嶋・田上の各村諸氏分)	(明治9)	1冊	636-14
「貸金滞口々出訴、諸控書類一式入、附山田理兵衛ヨリ須坂富澤新作江相掛り候内実理右衛門一件トモ」 代言人山田理右衛門、長野郷宿中村善右衛門	明治7年2月ヨリ5月迄	1袋	846
記(貸金催促訴状・長野区裁判所書付を受取) 長野県下北第廿大区四小区高野村之内関沢組武田信之助代親類武田幸次郎(印) 山田荘左衛門殿代理山田理右衛門殿	明治10年11月26日	罫罫紙・1通	846-1
約定之証書(高井郡穂高村小見組山崎徳左衛門貸金請求示談につき謝金償却約定)		罫罫紙・1通	846-2
記(当区内綿内村小泉金作貸金催促訴状・松本裁判所書付を受取) 長野県北第何大区何小区戸長何之誰 山田荘左衛門殿代理山田理右衛門殿	明治9年12月30日	罫紙・1通	846-3
記(善光寺大本願内清水順平へ抱り貸金催促訴の御印証1冊受取) 長野町扱所(印、「長野町用取扱所之印) 高井郡東江部村山田利右衛門殿	明治7年2月14日	罫切罫紙・1通	846-4
記(受取金、不足受人弁金等の差引勘定書) 関谷脩平(印) 山田理右衛門様 1口分計算書上の切紙を挟込	明治9年6月30日	罫罫紙・1通	846-5
(委任状雛形、被告人永池氏代理人届綴)		朱罫紙・1綴(2枚)	846-6
譲渡証券(吉田村古谷多惣次ほか3人へ貸付金125円の証文を譲渡、写) 高井郡江部村山田荘左衛門 同	明治8年10月8日	罫紙・1通	846-7

村分家山田理右衛門殿			
記(手当金10円受取) 埴科郡松代中町野池芳三郎(印) 高井郡江部村山田理右衛門殿 吉田ヨリ受取金50円内訳書、買物払方・小遣書の切紙2枚を挟込	明治8年12月30日	罫罫紙・1通	846-8
乍恐書付ヲ以奉願上候(権堂村宮内善八貸金催促訴の件につき示談日限猶予願) 高井郡東江部村原告人山田利右衛門、水内郡被告人徳永玄填 846-9-2~4を挟込	明治7年2月19日	罫紙・1通	846-9-1
記(借金催促の訴御尊判1通受取) 吉田村用掛竹内伊左衛門(印) 江部村山田荘左衛門殿	10月18日	切罫紙・1通	846-9-2
記(宮内善八貸金訴印書受取) 第五拾四区水内郡権堂村戸長北澤源八(印) 東江部村山田理右衛門殿	明治7年2月14日	罫切紙・1通	846-9-3
記(相馬徳兵衛貸金催促の訴状受取) 高井郡新井村戸長相馬伊左衛門(印) 東江部村山田理右衛門様	2月14日	罫切紙・1通	846-9-4
以書付奉願候(上田海野町新井甚左衛門所持水車屋敷につき元帳引合願、質物として地券預かるはずのところ違約ゆえ出訴したきため) 第十九大区四小区高井郡江部村山田庄左衛門代理人山田理右衛門 長野県地券掛御役所 846-10-2~3を挟込	明治8年5月27日	罫罫紙・1通	846-10-1
委任状(中条村関菊之助ほか貸付金催促訴訟、海野町新井甚左衛門質地違約訴訟、区用につき代理人依頼) 山田荘左衛門 山田理右衛門殿	明治8年5月	罫罫紙・1通	846-10-2
委任状(貸付金催促訴訟4件につき代理人依頼) 山田荘左衛門 山田理右衛門殿	明治7年2月	罫罫紙・1通	846-10-3
「出訴口々性名書」		1包	846-11
(書状、上条村一件にて県庁へ罷出、惣代2名着次第差上) 新井村戸長相馬伊左衛門 東江部村区長山田庄左衛門様 包紙とモ	10月4日	罫切紙・1通	846-11-1
(新井村引堰元連中13人・村吏3名名前書)	(明治6) 癸酉8月7日 聞書	横切紙・1通	846-11-2
(宮内善八の身分照会拒否書、庄左衛門殿かねて承知のことゆえ) 水内郡権堂村戸長北澤源八 東江部村戸長山田文六殿	11月7日	罫紙・1通	846-11-3
委任状(雛形)		切罫紙・1通	846-11-4
(善光寺上人内信夫清水順平ほか2名、役寺宗光寺書上)		切紙・1通	846-11-5
記(貸金訴の附紙受取、雛形) 第何大区何小区取扱所ノ(ママ) 山田理右衛門殿	明治8年6月幾日	罫罫紙・1通	846-12
(原・被告・所役人同道で解訟状持参指示書、非理不実あらば答書持参すべし、雛形) 長野県参事榑崎寛直何郡何町村何之誰	明治8年何月何日	罫罫紙・1通	846-13
以書附奉申上候(須坂町富澤新作への貸金2口残333両と利息詳細書、分家理兵衛貸金は別廉) 高井郡東江部村山田庄左衛門	明治7年3月4日	横切罫紙・1通	846-14
委任状(中条村関菊之助ほか貸付金催促の訴、区用につき代理人頼み) 山田荘左衛門 山田理右衛門殿 846-15-2~5を挟込	明治8年5月	罫罫紙・1通	846-15-1
記(梅松忠次郎貸金訴の附紙印書受取) 第十九大区五小区取扱所(印) 高井郡江部村山田理右衛門殿	明治8年6月19日	切罫紙・1通	846-15-2

記(須坂村富沢新作へ貸金催促の訴状落手) 第十七大区八小区扱所(印) 東江部村山田理右衛門殿	(明治)8年6月19日	堅切罫紙・1通	846-15-3
記(市之割村阿部久左衛門ほか貸金訴の附紙印書受取) 第二十号大区七小区取扱所(印) 高井郡江部村山田理右衛門殿	明治8年6月19日	罫罫紙・1通	846-15-4
記(中条村関菊之助貸金訴の附紙印書受取) 第十八大区七小区扱所(印) 山田理右衛門殿	明治8年6月19日	罫罫紙・1通	846-15-5
委任状(須坂町富沢新作へ貸付金催促の訴、病気につき代言人頼み) 山田理兵衛 山田理右衛門殿	明治7年2月	罫罫紙・1通	846-16
貸金催促之訴状(明治4年200両新井村相馬徳兵衛・春原傳兵衛へ貸渡分、写) 長野県管下信濃国高井郡東江部村農山田理右衛門	明治7年2月13日	半・1冊	846-17
貸金催促之訴(慶応4年上京入用200両善光寺上人内清水順平ほか3人へ貸渡分、写) 山田理右衛門 長野県参事榑崎寛直殿	明治7年2月	1綴	846-18
貸金催促之訴(慶応4年200両権堂村商人宮内善八へ貸渡の残金、写) 山田理右衛門、長野県管下信濃国水内郡飯山住代書人士族岡村政朝 長野県参事榑崎寛直殿	明治7年2月	1綴	846-19
貸金催促之訴(明治2年360両上田町商人小林和右衛門へ貸渡分、写) 山田理右衛門 長野県参事榑崎寛直殿	明治7年2月	1綴	846-20
貸金催促之訴状(明治6年7月300円当時長野大門町寄留篠田宇三郎へ貸渡、9月までに半金返済、残金催促、写) 長野県管下信濃国高井郡吉田村農小林忠兵衛、松井市郎右衛門 長野県参事榑崎寛直殿	明治6年11月17日	美・1冊	846-21
委任状(貸付金催促訴訟4件につき代言人依頼) 原告人山田庄左衛門(印) 代言人山田理右衛門殿 墨消	明治7年2月12日	罫罫紙・1通	846-22
(質取建家・水車の地券引渡催促につき訴状、上田海野町新井甚左衛門へ、写) 長野県第十九大区信濃国高井郡江部村平民山田理右衛門 長野県参事榑崎寛直殿	明治8年5月27日	美・1冊	846-23
貸金催促之訴状(明治2年360両上田町商人小林和右衛門貸渡分) 長野県管下信濃国高井郡東江部村農原告人山田庄左衛門病氣二付代言人山田理右衛門	明治7年2月12日	美・1冊	846-24
(貸金返済滞金書上、倉井村寄留中村幸吉82円余・丸山善蔵56円・高野村武田信之助49円余・品澤八右衛門49円余)	明治7年～明治10年	半・1冊	846-25

無尽

「保次無尽御掛金請取通」 東江部村文六		1包	803
保次頼母志御掛金請取帳 東江部村文六 片塩村大徳寺様	天保14年卯5月吉日(～嘉永2年11月)	横美半・1冊	803-1
借用申金子之事(金8両、年利8分) 東江部村借用人文六(印) 片塩村大徳寺様	嘉永元年申11月	堅切紙・1通	803-2
覚(御懸金・保次無尽金半分を差上) 東江部村文六 片塩村大徳寺様	申11月4日	切継紙・1通	803-3
「須坂無尽諸書附入」 近藤より庄左衛門159両余預り証文(慶応2)を転用		1袋	849

頼母子講一般帳 世話人	安政6己未年11月	半・1冊	849-1
頼母子掛金請取通 世話人小布施土佐五郎、牧新蔵、神林小一郎 山田庄左衛門殿	安政6己未年11月	横半半・1冊	849-2
(須坂無尽七分五り、七分、六分五り積勘定、損徳勘定とも) 重ねて折疊		折紙・3通	849-3
(申年九月二日山田家掛金書上)	(安政7)	切紙・1通	849-4
(九月二日須坂無尽鬮引結果書付)		切紙・1通	849-5
乍恐口上書を以奉願上候(須坂融通講中途休会迷惑) 高井郡東江部村山田庄左衛門須二付代倅山田健蔵 上端裏書「須坂五百両無尽之儀二付御家老駒沢様江内願書御書之控」	卯9月28日	横切紙・1通	849-6
頼母志講御名前帳 世話人山田健蔵、同五郎右衛門、同定蔵、新野村発起人七郎右衛門	文久2年戌5月	美・1冊	850
「明治七年五月調、七郎右衛門無尽仕上ケ、山田中山割合勘定書入」 種島龍湾呈上の包紙を転用	(明治7)	1包	851
壬申七月朔日新の七郎右衛門無尽満会懸ケ金不参之分 貼紙3枚		折紙・1通	851-1
覚(戌から子まで新野武兵衛勘定、粉、塩、太縄等)		横切継紙・1通	851-2
明治七年甲戌五月調新の七郎右衛門差引		横切継紙・1通	851-3
七郎右衛門無尽(金子出入勘定書)		切紙・1通	851-4
「新野七郎右衛門無尽子年分証文預り」		1包	852
(鬮金、預金元利の差引勘定書) 包紙に巻付		折紙・1通	852-1
覚(七郎右衛門頼みにより名寄帳へ1筆限り10年間下札する旨通知) 新野村名主佐右衛門 東江部村健蔵殿	文久3年亥7月6日	横切継紙・1通	852-2
(書状、七郎右衛門頼母子当所定蔵鬮当につき地所引当の証文作成と、当人へ金子お渡し願) 新野村中山五郎右衛門 東江部村山田健蔵様	7月4日	横切継紙・1通	852-3
「午鬮当り 東江部文六、七瀬儀左衛門、新保儀左衛門」		紙帯一括・1束	852-4
覚(新野村茂兵衛無尽鬮当金等金49両余受取) 文六 御世話人庄左衛門様	明治3年年7月13日	切紙・1通	852-4-1
(武兵衛無尽金、給金から借用分差し引き18両2分受取書) 儀右衛門 山田様	(明治3) 午7月17日	切紙・1通	852-4-2
借入金証文之事(金20両) 中野借用人寅吉、受人惣兵衛 東江部村山田健蔵殿 中野村名主奥書あり	元治元子年7月3日	豎紙・1通	852-5
借入金証文之事(金15両) 東江部村借主伊兵衛、同請人新三郎 庄左衛門殿	明治2巳年7月3日	豎紙・1通	852-6
(書状、七郎右衛門無尽一件帰宅して相談するも決着せず、兩人分金10両送付) 新野中山実之助 東江部山田理兵衛様	7月12日夜	横切継紙・1通	852-7
記(七郎右衛門無尽金49両受取、勘定済) 赤岩村藤沢丑之助 山田庄左衛門殿、中山実之助殿	(明治5) 壬申7月13日	切紙・1通	852-8
(書状、大々講割戻金此者にお渡し願、新野武兵衛より預り金の新保村五郎左衛門預けの日延願) 坂口や治兵衛 上、山田庄左衛門様	5月2日	横切継紙・1通	852-9

記(卯よりの元利金1両1分2朱200文書上) 坂口や治兵衛 新野武兵衛様	戌5月	切紙・1通	852-10
(書状、七郎右衛門無尽一件の処置) 中山拜(実之助) 山田様(理兵衛) 封筒とも	8月11日	豎罫紙・1通	852-11
(書状、新野武兵衛頼母子鬮当するも他人に譲渡する旨) (まちた拝) (東江部村山田様) 封筒とも	7月10日	横切紙・1通	852-12
覚(新野村七郎右衛門頼母子金50両受取) 中野中町 升屋重右衛門、同町受人坂口屋治兵衛 東江部村山田庄左衛門様 包紙とも	未7月12日	切紙・1通	852-13
(書状、七郎右衛門無尽満会に欠席願) 中山実之助 山田様	7月3日	横切継紙・1通	852-14
記(七郎右衛門無尽満会取金、預り金元利差し引き受取) 町田儀平(信州中野町葉種所) 世話人山田庄左衛門殿、中山実之助殿	(明治5) 壬申8月2日	切紙・1通	852-15
頼母志御名前帳 世話人五郎右衛門、同定蔵、同健蔵、発起人七郎右衛門	文久2年戌3月	横長半・1冊	853

大名貸

「旧藩々江調達金取調書類」 山田顕善 須坂町小布施土佐五郎より庄左衛門1000両借用証文(明治3)を袋に転用	明治5壬申年	1袋	799
「旧藩三ヶ所別添書三通 不用之分」 包紙への書込 「三千両 松本御勝手方、子十一月十二日貸丑より巳迄五ヶ年賦 利三拾兩一分月割、年々九月二十八日限元金六百両ツ、利足添」、本所松井町店借人の仏光寺門跡貸付所役人宛書付を転用		1包	799-1
覚(本証文に相違しない旨添書、松代藩へ貸付金) 草間一路、斎藤友衛、上京無印長谷川三郎兵衛 東江部村山田庄左衛門殿 包紙とも、包紙貼紙「子五月入 別引合書附 松代」	元治元子年5月	豎紙・1通	799-1-1
覚(本証文に相違しない旨添書、松本藩へ貸付金) 松平丹波守勝手掛代官上條汲太夫、勘定奉行加藤修理、同出府無印平谷三郎右衛門、同同渡辺十郎兵衛 山田庄左衛門殿 包紙とも	元治元甲子年11月	豎継紙・1通	799-1-2
一札之事(才覚金1000両借用、利足の規定) 松平伊賀守内代官河内含三、勘定奉行相馬与右衛門、同大平多喜治、同成瀬孫太夫 高井郡東江部村山田庄左衛門殿 包紙とも、包紙貼紙「上田様利足定添一札」	安政2卯年7月	豎継紙・1通	799-1-3
覚(元金返済残額等書上、金278両余) 上田勘定所 山田庄左衛門殿 799-1-3に同封	(万延元力) 申極月	豎継紙・1通	799-1-3-1
(書状、諸願聞届の礼、約束の(上田藩)産物掛印鑑書差上) (上田)嶋田繁緑 山田庄左衛門様 包紙とも、包紙内に799-2-1~3を同封	7月5日	横切継紙・1通	799-2
(書状、金子借用願聞届の礼) 小川忠左衛門 山田庄左衛門様、山田董平様	7月4日	横切継紙・1通	799-2-1
(産物取締海野町白木屋土屋仁輔ほか7名名前書上)		切紙・1通	799-2-2
(印鑑書、産物掛り松本左右衛門ほか1名、土屋仁輔ほか7名) 包紙とも		横切紙・1通	799-2-3
(郡奉行ほか宛献上品書上、家老中老大目付郡奉行名前書上) 799-3-2~4を巻込	(慶応元)	折紙・1通	799-3-1

(用達金用弁の褒美に藏米高100石支給の書付) 山田庄左衛門 包紙2枚とも、上包紙表書「慶応元五年閏五月九日松代様より被下候高百石藏前二而頂戴御書附、但御小書縁御中ノ間二而御家老御中老大目付方側席二而被申渡候」	(慶応元)閏5月9日	横切継紙・1通	799-3-2
(丑閏五月九日廻勤ノ節礼の銀枚数書上、10名分)	(慶応元)	横切紙・1通	799-3-3
(御祝儀御肴料献上の褒美に常信画屏風一雙差贈の書付) 山田庄左衛門	4月	横切紙・1通	799-3-4
覚(無尽掛金高等書上) 上田藩会計局 山田庄左衛門殿	明治3年年4月	縦紙・1通	799-4
覚(発起無尽金四番目掛金184両2分1朱銀3匁1分7厘受取) 上田会計局 塩崎御引請	(明治3)午4月19日	縦紙・1通	799-5
覚(無尽懸金のうち差引187両2分受取) 上田勘定所 山田庄左衛門殿	(明治元)辰4月20日	縦紙・1通	799-6
覚(三番会無尽懸金192両余受取) 上田勘定所 山田庄左衛門殿	明治2年巳4月	縦紙・1通	799-7
(明治4年8月旧松本藩より申立の写、借入金23年賦返済規定書送付につき)		切紙・1通	799-8
(未正月14日騒擾一件二付取替金元利333両3分書上) 山田庄左衛門殿		折紙・1通	799-9
記(可遺物200俵、同100俵の断につき県より大蔵省へ申し立てず、献金についても同じ)		横切紙・1通	799-10
(書状、昨日遠路入来の礼、屏風一雙に宰領を付けて差送) 中沢孫右衛門、川内久左衛門、丸山極人、田中民部 山田庄左衛門様 包紙とも	4月14日	横切継紙・1通	799-11
(書状、金子融通の条件である家老の証文奥書はできない旨) 水野清右衛門、酒井市治 山田庄左衛門様	12月27日	横切継紙・1通	799-12
「明治七年四月新旧公債証書 東京瀬戸物町石関利兵衛殿工売渡書類控」 799-13-1～26を封入		包紙入	799-13
定約書(新旧通貨5670円余の公債証書をを東京瀬戸物町石関へ通貨引換にて売渡) 証書所持人山田庄左衛門 石関利兵衛殿御代村松秀茂殿 欄外「内千五百円四月六日受取証書同日村松江預ケ遣ス」	明治7年3月18日	縦罫紙・1通	799-13-1
証(公債証書代金のうち1300円受取) 高井郡東江部村山田庄左衛門 石関利兵衛殿御代村松秀茂殿 799-13-2で3～6を折込、印紙貼付	明治7年5月3日	縦罫紙・1通	799-13-2
証(公債証書代金のうち500円受取) 高井郡東江部村山田庄左衛門 石関利兵衛殿御代村松秀茂殿 印紙貼付、抹消あり	明治7年4月11日	縦紙・1通	799-13-3
証(公債証書代金のうち1500円受取) 高井郡東江部村山田庄左衛門 東京石関利兵衛殿御代村松秀茂殿 印紙貼付、抹消あり	明治7年4月6日	横切罫紙・1通	799-13-4
証(新旧公債証書代金のうち1200円受取) 高井郡東江部村山田庄左衛門 東京石関利兵衛殿御代村松秀茂殿 奥に金子受取人山田文六の署名捺印、印紙貼付、抹消あり	明治7年戌5月29日	横切罫紙・1通	799-13-5
証(公債証書代金1000円受取) 高井郡東江部村山田庄左衛門 東京石関利兵衛殿御代村松秀茂殿 印紙貼付、抹消あり	明治7甲戌年5月22日	横切罫紙・1通	799-13-6

(書状、公債証書のことは石関が聞取、郵便にて差立の物の不届、値段不都合なし) 邨松秀茂 (山田庄左衛門様) 封筒とも	第3月22日	豎切罫紙・1通	799-13-7
(書状、公債の件東京問合の回答、過日談判の値段で引受) むら松(従長野) 山田君 封筒とも	第3月16日	切罫紙・1通	799-13-8
(書状、公債記号番数一枚ごと認め受取、書換は当方で) (邨松、従長野) (山田庄左衛門様) 封筒とも	(明治)7年4月22日	横切紙・1通	799-13-9
(書状、金1000円差上日延願) 邨松秀茂 山田庄左衛門様 封筒とも、封筒裏書「紀元二千五百三十四年」	(明治7)5月15日朝	切罫紙・1通	799-13-10
明治六年第八十一号、八十二号、百五号(旧藩貸付金返済処分案書類書上力) 799-13-11に12~17を折込		横切継紙・1通	799-13-11
(松本、椎谷、松代、上田、各藩への調達金元利書上)		横切継紙・1通	799-13-12
(公債証書買取額提示の書付)		横切紙・1通	799-13-13
(新旧通貨総額書上、5670円54銭8厘)		切継紙・1通	799-13-14
公債証書(新旧証書の総額、枚数書上)		切継紙・1通	799-13-15
(人名東京相場等書付)		切紙・1通	799-13-16
(小布施止宿人名前書、後藤成理、岩瀬郡雄) 後藤は名古屋より出張、岩瀬は大蔵卿大隈の甥		豎切紙・1通	799-13-17
定約(新旧公債通貨5670円余を石関が正金引換で買取) 石関利平代書人邨松秀茂 山田庄左衛門殿	明治7年戌ノ3月18日	豎紙・1通	799-13-18
証(新旧公債証書12000円余預り置) 邨松秀茂 山田庄左衛門殿 799-13-18に挟込、長野県管下無印紙証書用紙を使用	明治7年4月7日	豎罫紙・1通	799-13-19
書付ヲ以奉願上候(公債証書石関へ売渡の件山田へ委任、同人へ下渡願) 高井郡岩船村町田八兵衛、同郡綿内村立岩源次郎	明治7年	豎罫紙・1通	799-13-20
書附ヲ以奉願上候(新公債証書425円を石関へ売渡につき書替願) 高井郡綿内村立岩源次郎 下書	明治7年4月12日	豎紙・1通	799-13-21
(松代県、上田県、松本県、椎谷県への貸付金返済方書上、残金を証書で渡し)		1冊	799-13-22
御請証文(公債証書受取) 第四拾三区高井郡東江部村山田庄左衛門、副戸長綱島市右衛門 長野県公債局御中証文2通貼合	明治7年3月8日	仮1冊	799-13-23
以書付奉願上候(新公債証書425円売渡につき書替願) 第三拾八区高井郡綿内村立岩源次郎	明治7年4月12日	縦罫紙・1通	799-13-24
(高井郡福島村丸山半左衛門の松代県宛貸金の返済方書上)		縦罫紙・1通	799-13-25
以書付奉願上候(旧公債証書400円売渡につき書替願) 高井郡岩船村町田八兵衛 控	明治7年4月12日	豎罫紙・1通	799-13-26
覚(借金元利、返済方、借入高等差引勘定書) 松代藩力	12月27日	横切継紙・1通	799-13-27
書附ヲ以奉申上候(上田藩宛用達金千両証文を大蔵省負債掛検査につき相違なき旨) 第四十三区高井郡東江部村山田庄左衛門 元利金返済額勘定覚の書込とも	明治7年3月8日	豎罫紙・1通	799-14
(負債掛へ提出の調達元利金、返済額書上、松本・椎谷・松代・上田藩) 第四十三区高井郡東江部村山田庄	明治5年11月17日	豎罫紙・2通	799-15

左衛門 799-14に挟込			
(大蔵省負債掛宛4藩返済状況報告書控)	明治5壬申年11月	半・1冊	799-16
「御扶持被下所々勘定書入」 山田庄左衛門 下戸倉宿坂井氏より庄左衛門の1720両預り書(慶応3)を袋に転用	慶応3卯年ヨリ	1袋	799-17
覚(扶持米10俵の代金送付) 上田勘定所 山田庄左衛門殿	(慶応3)卯極月	横切紙・1通	799-17-1
(松代藩扶持初144俵1斗の代金送付) 山田庄左衛門殿 端書「明治元巳(ママ)年松代様より被下」	(明治元)辰12月	横切紙・1通	799-17-2
覚(扶持米10俵の代金送付) 上田勘定所 山田庄左衛門殿	(明治元)辰極月	横切紙・1通	799-17-3
覚(椎谷藩扶持米5石3斗2升5合の代金送付) 寺嶋善助 山田庄左衛門様 端書「明治元辰年椎谷様」	(明治元)辰12月29日	横切紙・1通	799-17-4
(金50両献上書、松代藩宛) 東江部村山田庄左衛門 佐川又左衛門の受取添書あり	明治元辰年11月2日	折紙・1通	799-17-5
(出兵勝利、代替入部、外色々兼ねて廻勤につき差上金額書上、殿様、役席から勝手掛等まで) 799-17-6~9は5に挟込	慶応4辰年11月朔日	折紙・1通	799-17-6
廻勤ヶ所(老中以下諸役人宛差出金額書上)		横切継紙・1通	799-17-7
(家老、中老、郡奉行勝手掛、社寺方、元々、勝手掛の名前書上)		切紙・1通	799-17-8
(奉書紙、水引等代金書上)		切紙・1通	799-17-9
覚(扶持米代金34両2分2朱、銭281文書上) 上田藩会計庁 山田庄左衛門殿	(明治2)巳極月	縦紙・1通	799-17-10
覚(扶持米10俵の代金送付) 上田藩会計庁 山田庄左衛門殿	(明治2)巳12月	横切継紙・1通	799-17-11
記(半年分扶持米5俵の代金送付) 上田会計掛 山田庄左衛門殿	(明治4)	横切継紙・1通	799-17-12
(初144俵1斗の代金書上、松代藩分力) 御出入江部村山田庄左衛門殿		横切紙・1通	799-17-13
(松代藩分初144俵1斗の代金書上) 東江部村御出入山田庄左衛門殿 端書「松代様卯年分」		切紙・1通	799-17-14
(椎谷藩扶持方三人分金22両余書上) 山田庄左衛門 端書「六川様」	卯12月	横切紙・1通	799-17-15
(松本藩扶持金銀書上) 松本勘定所 山田庄左衛門	(慶応2)寅4月	縦紙・1通	799-17-16
(松本藩扶持金銀書上) 松本勘定所 山田庄左衛門	(慶応3)卯12月	縦紙・1通	799-17-17
(松本藩扶持金銀書上) 松本勘定所 山田庄左衛門	(慶応3)卯10月	縦紙・1通	799-17-18
(藩制改革のため5年間扶持米半高借揚書) 椎谷藩庁 山田庄左衛門	(明治4)辛未正月	横切継紙・1通	799-18
(須坂藩へ庄左衛門出金賞美の直書、添書)	(万延元)	1冊	799-19
(旧諸藩へ金穀調達者の明細書を大蔵省へ提出の指示書) 太政官 「邨松」の罫紙使用	(明治4)辛未11月	切罫紙・1通	799-20
御触之写(旧諸藩へ金穀調達者の明細書を大蔵省へ提出の指示書)		1冊	799-21
(中野町郷蔵備初御払御用金拝借分につき元利勘定		1冊	799-22

書等綴)			
(須坂藩宛用達金元利勘定書および改革で差出切にいたる経緯書、下書、控)		綴り・2綴	799-23
須坂巨細勘定		折紙・1通	799-24
須坂堀長門守様江御用達金(元利合3400両余を差出切に、年々200俵の扶持物が滞り迷惑) 切紙を貼付		折紙・1通	799-25
(元松平欽次郎、元椎谷藩宛調達金元利勘定書上、下書)		折紙・1通	799-26
(元松代藩、元松本藩、元上田藩宛調達金元利勘定書上、返済滞りの状況、下書)		折紙・1通	799-27
旧藩々江調達金証書写、旧藩々江調達金取調書(一部略) 当御管下高井郡東江部村山田庄左衛門、ほか同村役人3名 長野県御役所	明治4辛未年12月	折紙・1通	799-28
「覚 松代様御切手」		包紙入・1包	799-29
覚(金1000両御印書不持参、後日返上) 近藤権右衛門 山田庄左衛門殿	丑10月13日	切紙・1通	799-29-1
覚(金1025両返済に際し御印書見えず) 水野清右衛門 山田庄左衛門殿	(卯)12月23日	横切紙・1通	799-29-2
旧藩々江調達金取調書(控) 当御管下高井郡東江部村山田庄左衛門	明治4辛未年12月	半・2冊	799-30
旧藩々江調達金証書写(控) 当御管下高井郡東江部村山田庄左衛門	明治4辛未年12月	半・2冊	799-31
(松代、松本、上田、椎谷、藩債書上之控、各藩取調書・証書写とも) 当御管下高井郡東江部村山田庄左衛門	明治4辛未年12月	半・1冊	799-32
「覚」		1包	800
覚(此度借入金500両および利息と返済分の差引勘定書)	12月	切継紙・1通	800-1
覚(元金700両の8か月分利息金46両2分10匁受取) 酒井市治(印)、宮沢善治(印) 山田庄左衛門殿	12月	切継紙・1通	800-2
覚(元金250両の1年分利息金20両受取) 酒井市治(印)、宮沢善治(印) 山田庄左衛門殿	12月	切継紙・1通	800-3
口上覚(機方都合金1000両借用の礼、年利1割5分10年賦返済で承諾願) 服部半左衛門、相馬兵右衛門、中村清次夫 山田庄左衛門様	(文久2)戌閏8月	横切継紙・1通	801
「口上覚」(包紙) おそらく801の包紙			802
「須坂堀様江先年御用達金元利三千両余不残献上致候二付、已来年々初式百俵ツ、被下候書、御書附類其外右一件二付総入用等諸控書入」 鯉節袋を転用、小松屋和太郎の捺印あり		1袋	804
証文(借用金証文献上につき年々永久初200俵を差送) 勘定吟味役兼青木軍右衛門(印)、広沢軍記(印)、ほか5名 山田庄左衛門様	万延元年4月1日	豎紙・1通	804-1
「証文 書通」(包紙) 804-1の包紙か			804-2
「嘉永四亥年正月 須坂より献金二付被下候御書附」	嘉永4亥年正月	1包	804-3
(勝手向改革のため金200両献上につき御垢付御熨斗目・御広間席御取扱の仰付書) 山田庄左衛門	亥正月	横切紙・1通	804-3-1

(借財金証文類不残献上につき御取次席御取扱・永々初年々々200俵の仰付書) 山田庄左衛門	申4月朔日		切継紙・1通	804-3-2
(諏訪明神等へ石灯籠1器献備につき御紋付御肩衣御盃等の被下書) 山田庄左衛門	申4月朔日		切継紙・1通	804-3-3
(書状、御出張御待、ほか) 河野拜 山田様	閏3月27日		横切継紙・1通	804-4
極密内事御申聞候事 包紙・封筒とも、「内用御直披」、804-4に同封			横切継紙・1通	804-4-1
(改革のため借入金証文差出につき取次席・永々初200俵の申付書) 山田庄左衛門 包紙とも、表書「御墨附」	申4月朔日		横切紙・1通	804-5
「須坂堀様より御加持御書附并書状入」	安政5年年 御申渡	11月15日	1包	804-6
(元利金返済済予願書、戊年改革の不首尾、13人扶持加増計20人扶持を提示) 山田庄左衛門 包紙とも	11月15日		横切継紙・1通	804-6-1
(書状、麻裱用意の上お越願) 河野主税、土屋修蔵、広沢善兵衛 山田庄左衛門様 包紙とも	11月11日		横切継紙・1通	804-6-2
覚(七人扶持代15両3分余入掌願) 青木軍右衛門 山田庄左衛門殿	丑12月27日		横切紙・1通	804-6-3
(書状、借入金のこと) (河野)達 庄左衛門様、内用封筒とも	霜月11日		横切継紙・1通	804-6-4
(書状、別段御配慮下された件、ほか) 河野より 山田様、内用御直覧 封筒とも	1月2日		横切継紙・1通	804-7
(書状、小生は領内村々進金取調の掛、御用達金のごとは拝顔の上伺いたし) 広沢善兵衛 山田庄左衛門様、御報 包紙とも	閏3月13日		横切継紙・1通	804-8
(書状、別紙に書き入れお戻し願) (河野達) (山田庄左衛門様) 包紙2枚とも、内包紙上書「極内用御直覧、御戻被下候」	閏3月10日		横切継紙・1通	804-9
(書状抜書写、改革につき献金志願の伺書) 広沢善兵衛様 804-9の内包紙に巻付	閏3月13日		横切継紙・1通	804-9-1
(書状、内密の通知、明日のごと諸々指示) 河野拜 山田様 封筒、包紙とも	閏3月晦日		横切継紙・1通	804-10
(書状、当年はとりあえず初150俵差送) 土屋修蔵、永井茂輔、河野達 山田庄左衛門様 包紙とも	12月9日		横切継紙・1通	804-11
(書状、御用達金当年利分内入として初150俵受取、下書) 山田庄左衛門 土屋修蔵様、永井茂輔様、河野達様 804-11に同封	12月13日		横切紙・1通	804-11-1
(書状、重役より達しあるにつき出張願) 広沢善兵衛、土屋修蔵 山田庄左衛門様	8月27日		横切紙・1通	804-12
(安政地震被災江戸屋敷普請見舞金30両献上につき御紋付袷御肩衣・料理の仰付書) 山田庄左衛門	(安政3)辰9月		横切紙・1通	804-13
(初100俵送書、天保・安政・文久期の献上内容も確認) 山田庄左衛門 包紙とも、包紙上書「元治元子十一月朔日須坂様より被差送初御書附」	(元治元)子11月朔日		横切継紙・1通	804-14
* 覚(信濃守入用向につき金300両借用、年利1割、藩士5人の奥印あり) 高野覚之進(印)、佐藤長左衛門(印)、宮沢善治(印) 江部村山田庄左衛門殿 包紙とも、包紙貼紙	安政2卯年6月		豎切紙・1通	858-30

「十月十五日 三百両 相濟 松代 請取書与可引替分」			
* 覚(差掛旦那要用につき金50両借用証文) 高野覚之進(印) 山田莊左衛門殿、山田董平殿 包紙上書「九月晦日 五拾両 時貸利壱割 相濟分 松代高野」あり、858-31-2在中	安政6未年6月	豎紙・1通	858-31-1
* (書状、差向少々不都合につき如何程にても金子借用したきこと) 覚之進 莊左衛門様、董平様 佐藤より申上のこと、小切紙挟込	6月7日	横切継紙・1通	858-31-2
* 御品物預一札之事(貞宗刀・脇差預り、金120両用達を頼まれるが、鑑定済まず50両貸し) 高井郡東江部村山田庄左衛門印 松代小山田壱岐様御内義家栄作殿 端裏貼紙に返済状況あり、858-32-2を挟込	安政3辰年10月8日	豎紙・1通	858-32-1
* 借用金証文之事(主人無抛要用につき金50両、引当貞宗刀・脇差) 松代小山田壱岐内義家栄作(印) 東江部村山田莊左衛門殿	安政3年辰10月	豎紙・1通	858-32-2
* 覚(信濃守要用につき金200両借用、年利1割、高田幾太奥印あり) 高野覚之進(印)、佐藤長左衛門(印)、他出無印宮澤善治 東江部村山田莊左衛門殿 858-33-2を挟込、包紙上書「相濟候分」「松代」ほか	安政4巳年12月	豎紙・1通	858-33-1
* (書状、200両貸金御礼、其許以外申遣方無くお頼みのこと、利分のこと) 松代高野覚之進 東江部にて山田莊左衛門様 封筒とも	12月20日	横切継紙・1通	858-33-2
* 借用金証文之事(旦那要用につき金500両) 松平伊賀守内勘定奉行服部半左衛門(印)、原才兵衛(印)、相馬兵右衛門(印)、稲垣林右衛門(印)、中村清太夫(印) 江部村山田庄左衛門殿 包紙貼紙「子三月晦日[]皆済追而可返分 上田」あり	亥12月	豎切継守・1通	858-34

本多氏借財整理

(飯山藩主末裔本多実方の借財整理関係書類) 長野新聞(明治38年6月17日)で包み		1包	861
借用証(金500円) 赤坂区青山高樹町九番地本多実方、下水内郡飯山町千七拾八番地吉松集躬、下水内郡飯山町五百八十番地水島巖、同郡同町六百四十八番地横田茂守、同郡同町七百参拾番地飯島貴 山田庄左衛門殿 861-1~6は重ねて折置	明治37年8月	豎紙・1通	861-1
借用証(金700円) 借用人・東京市赤坂区青山高樹町九番地本多実方、同・長野県下水内郡飯山町千七十八番地吉松集躬、同・同県同郡同町七百参拾番地飯島貴、同・同県同郡同町五百八拾番地水島巖、同・同県同郡同町六百四十八番地横田茂守 山田庄左衛門殿	明治37年6月13日	豎紙・1通	861-2
受取証(金3000円、整理金11200円の内) 本多実方 山田庄左衛門殿	明治37年3月19日	豎紙・1通	861-3
領収証(金8200円) 本多実方 山田庄左衛門殿	明治37年3月30日	豎切紙・1通	861-4
金円借用書(金11200円、本多家家政整理のため) 借用人・東京市赤坂区青山高樹町九番地本多実方、保証人・下水内郡飯山町千七拾八番地吉松集躬、保証人・同郡同町七百参拾番地飯島貴、同・同県同郡同町六百四十八番地横田茂守、保証人・同郡同町五百八拾番地水島巖、保証人・東京市赤坂区青山高樹町九番地嶺頭 下高井郡平野村山田庄左衛門殿	明治37年3月	美・1冊	861-5
副証(担保飯山町田畑山林原野5町余) 東京市赤坂区青山高樹町九番地本多実方、下水内郡飯山町千七拾八番地吉	明治37年3月日	美・1冊	861-6

松集躬、同郡同町七百参拾番地飯島貴、同郡同町六百四十八番地横田茂守、同郡同町五百八拾番地水島巖、東京市赤坂区青山高樹町九番地嶺頭 下高井郡平野村山田荘左衛門殿			
(地所・公債売却金とその支払先の内訳書)		美・1冊	861-7
(八十四銀行への本多氏利子返済関係一括) 八十四銀行の山田荘左衛門宛封筒(明治37年7月13日)		封筒入・	861-8
(書状、本多様用達金利子落手、受領証送付) 株式会社八十四銀行(貸附係印) 山田荘左衛門様	明治37年7月13日	縦切罫紙・1通	861-8-1
利子計算書 株式会社八十四銀行(貸附係印) 本多実方殿	明治37年12月17日	縦切紙・1通	861-8-2
証(用達金5000円の半年分利足318円50銭受取) 株式会社八十四銀行 本多実方殿代山田荘左衛門殿	明治37年7月13日	切紙・1通	861-8-3
証(用達金5000円の半年分利足318円50銭受取) 株式会社八十四銀行 本多実方殿	明治37年12月27日	切紙・1通	861-8-4
(書状、昨日お話の書類差上、ほか) 本多実方(飯山町) 山田荘左衛門殿 封筒とも	5月11日	横切継紙・1通	861-9
(電報、ゴコウシヨノモヨヲニテシツタツデンニテシラセコフホンダ) シモタンカイグンイベ、ヤマダシヨウザイモン	(明治38年5月11日)	1通	861-10
(電報、ホンダテガミニテハナシコワレカカル イタスマテホンタツレスグオイデタノム) ヤマタ シモタンカイグンヒラノムラ、ヤマダシヨウザイモン	(明治38年5月10日)	1通	861-11
(電報、デンミタダメドオスルコマルスクヘンアトフミ) オ ヒラノムラ、ヤマダシヨウザイモン	(明治38年5月11日)	1通	861-12
(電報、ホンタヨリフミキテハナシコワレマトマラヌドオスルスクヘ) オタ シモタンカイグンヒセノムラ、ヤマダシヨウザイモン	(明治38年5月10日)	1通	861-13
証(用達金5000円の半年分利足のうち310円受取) 株式会社八十四銀行 本多実方殿 861-14~19は重ねて折置	明治38年6月28日	切紙・1通	861-14
(書状、本多様用達金利子受取、受領証送付) 株式会社八十四銀行 山田荘左衛門様	明治38年6月28日	縦切罫紙・1通	861-15
借入金延期証書(5000円返済につき) 借主本多実方、連帯保証人山田荘左衛門 株式会社八十四銀行御中	明治37年12月20日	縦切紙・1通	861-16
借入金延期証書(5000円返済につき) 借主本多実方、連帯保証人山田荘左衛門 株式会社八十四銀行御中	明治36年12月20日	縦切紙・1通	861-17
借入金延期証書(5000円返済につき) 借主本多実方、連帯保証人山田荘左衛門、同嶺頭 株式会社八十四銀行御中	明治36年6月30日	縦切紙・1通	861-18
第肆仟伍百玖拾壹號金円貸借証書正本(本多実方の八十四銀行より5000円借用につき) 東京地方裁判所管内公証人役場の罫紙を使用、末尾に「本文之金額元利山田荘左衛門殿ヨリ受領仕候也、明治三拾八年六月廿八日、株式会社八十四銀行」とあり	明治36年3月5日	美・1冊	861-19
売渡証(写、赤坂区高樹町屋敷付属物件一式を7000円で) 売渡人山田荘左衛門 金子元三郎殿 861-20~25は重ねて折置		縦紙・1通	861-20
売渡証(写、同屋敷内6棟建物を5000円で) 売渡人山田荘左衛門 金子元三郎殿	明治38年9月	縦紙・1通	861-21
売渡証(写、高樹町および麻布区算町の市街宅地・畑を1万円) 売渡人本多実方代理山田荘左衛門 金子元三	明治38年9月4日	縦紙・1通	861-22

郎殿			
委任状(所有物件を山田荘左衛門に売却し、所有権移転手続きに必要な全権を田鶴浜又三郎へ) 長野県下水内郡飯山町式千六百五十七番地本多実方	明治38年9月8日	縦紙・1通	861-23
記(証書等の金額計算、鉛筆書き)		切紙・1通	861-24
計算書(小切手22000円から用立金6000円等差引勘定)		切紙・1通	861-25
約束手形(6000円) 山田荘左衛門 株式会社六十三銀行 東京支店御中 861-25に巻込、印抹消、表記金額受取の裏書あり	明治38年4月4日	切紙・1通	861-25-1
(封筒、配達証明書留) 東京市株式会社八十四銀行 長野県下高井郡平野村山田荘左衛門殿	明治38年6月28日	封筒・1袋	861-26
(金額勘定の書付)		切紙・1通	861-27
借入金証書(5000円) 借主東京市赤坂区青山高樹町九番地本多実方、保証人長野県下高井郡平野村式拾九番地山田荘左衛門 株式会社飯山銀行頭取春日寿平殿 2通とも同文正文(19号、20号)、債務金額収の荘左衛門宛裏書あり(明治38年8月18日)	明治36年2月17日	縦紙・2通	861-28

貸金帳簿

利右衛門取次借シ方覚(貸金覚のほか、種・大豆買覚、あつかい初売渡覚とも) ふけ	宝永4年亥ノ正月吉日	横長美・1冊	805
(善光寺町諸商人店賃・貸金元利等書上) 貼紙多数		横長美・1冊	1037
明和六丑年本長書出(人別金額・俵数等書上)	(明和6)	横長美・1冊	1042
(貸金覚帳) 表・裏表紙に京都升屋の呉服通帳を転用	(慶応2~明治5)	横半半折・1冊	1045
(借入金返済方内訳書、損分書上ほか)	寅年	横長半・1冊	1051

その他

(人別・永・初書上の断簡)		帳崩れ・2枚	466-360
(改印届) 山田隼人 仏光寺門跡関係か	安政2卯年6月25日	切紙・1通	721
(豊郷村湯本氏書入田地をめぐる負債金額一筆ごと書上指示書、公完金交付のため) 長野県収税部中野出張所、収入官吏高橋正直(印)、同寺井清太郎(印) 下高井郡平野村山田庄左衛門 封筒とも	明治23年10月9日	縦罫紙・1通	765
目録 下高井郡之部(村名・大字・字・地番・地目・段別・内畦畔・賃貸価格、穂高村・木島村) 878~886は折り重ね		半(罫紙)・1冊	878
目録 下高井郡之部(穂高村・木島村)		半(罫紙)・1冊	880
目録 下高井郡之部(穂高村・木島村・小布施村)		半(罫紙)・1冊	881
目録 下高井郡之部(穂高村・木島村・小布施村)		半(罫紙)・1冊	882
抵当権劣部解除請求書 下高井郡平野村大字江部四拾六番地、債務者山田荘左衛門 株式会社八十二銀行御中 うち1通は、同文で株式会社日本勧業銀行総裁宛	昭和11年4月5日	縦罫紙・2通	883
抵当権劣部解除追加請求書 下高井郡平野村大字江部四拾六番地、債務者山田荘左衛門 株式会社日本勧業銀行長	昭和11年4月22日	縦罫紙・1通	884

野支店御中

酒造

酒株

(酒造屋丑之助の酒株高24石につき説明書)	安永7戌9月27日	縦紙・1通	466-367
預り申金子之事(酒林・酒蔵・諸道具代金として56両1分の内28両1分相済、残28両) 東江部村預り主山田理右衛門、同人須見与次兵衛、同人小林七兵衛 上田原町瀧沢助右衛門殿	宝永4年亥10月9日	縦紙・1通	842

酒造改

覚(明和9年酒株・道具等書上、酒造稼ぎの状況説明) 井上やサマ(カ)、ヨ やサマ(カ) 紙背に貼紙あり		横切継紙・1通	657
(書状、酒改の祝儀樽代請求、水内郡酒屋一同で差し上げるもの) 彦右衛門、勘左衛門、彦四郎 東江部村酒や文六殿、押切村酒や庄兵衛殿	正月4日	横切紙・1通	687

酒販売

覚(新酒1斗2合ほか代金残り2貫915文を遣わし) 新右衛門、夫二兵衛 理兵衛様	丑ノ正月29日	横切継紙・1通	466-71
覚(新酒2斗3升5合ほか代1貫712文書上) 新右衛門、夫勘五郎 利兵衛様	丑ノ3月16日	切紙・1通	466-72
(新酒2斗4升5合ほか代3貫175文書上) 新右衛門 理兵衛様	丑ノ3月12日	切紙・1通	466-73
(諸白・新酒ほか代金8貫123文書上) 新右衛門 利兵衛様	[]月19日	横切継紙・1通	466-74
覚(新酒・米ほか代金書上) 新右衛門	4月1日	切紙・1通	466-75
(文右衛門酒通、諸白数量・人名書上ほか一括) 抹消のあるものが多い		帳崩れカ・	466-344

湯田中店

仕切覚(新酒・諸白代金ノ1貫886文書上) 田中伝兵衛 江部利兵衛様	正月26日	切紙・1通	466-137
(初子納入の廻状、米・酒代書上ほか) 綴紐なし、破損甚大		1綴	466-331
仕切覚(諸白・新酒代1貫余書上) 田中より傳兵衛 江部村利兵衛様	正月22日	切紙・1通	466-449
仕切覚(新酒代900文渡し、脛巾脱・嫁祝への遣わし分を差し引く) 田中より傳兵衛 江部村利兵衛様	正月19日	切紙・1通	466-451
仕切覚(新酒代金510文渡し) 田中より傳兵衛 江部村利兵衛様	正月13日	切紙・1通	466-452
仕切覚(新酒代1貫余渡し、売子歳暮・庄屋役・寺礼・禰宜・公儀礼へ遣わし分を差し引く) 田中傳兵衛 江	正月10日	横切紙・1通	466-453

部利兵衛様			
仕切覚(酒代776文渡し、参宮見廻・障子紙・松代へ遣わし分を差し引く) 田中より傳兵衛 江部村利兵衛様	極月29日	横切紙・1通	466-454
仕切覚(酒代・湯銭 \times 2貫906文書上、庄屋所へ遣わし分を差し引く) 田中傳兵衛 江部村利兵衛様	12月18日	切紙・1通	466-455
仕切覚(代635文渡し、沓野村夫銭を差し引く) 田中より傳兵衛 江部村利兵衛様	12月14日	切紙・1通	466-456
仕切覚(酒4斗9升5合代978文渡し) 傳兵衛 利兵衛様	12月11日	横切紙・1通	466-457
仕切覚(酒代・湯銭勘定、庄屋所遣わし分を差し引く) 傳兵衛 利兵衛様	極月5日	横切紙・1通	466-458
仕切覚(新酒代ほか残104文渡し) 田中より傳兵衛 江部村利兵衛様	11月29日	横切紙・1通	466-459
仕切覚(上白・湯銭勘定) 田中傳兵衛 江部村利兵衛様	11月26日	切紙・1通	466-460
仕切覚(酒代1貫924文渡し、参宮見廻遣わし分を差し引く) 田中傳兵衛 江部村利兵衛様	11月25日	切紙・1通	466-461
仕切覚(酒代・湯銭書上、真木買金を差し引く) 田中より傳兵衛 江部村利兵衛様	11月18日	横切紙・1通	466-462
口上(米受取のこと、代物渡しのこと、馬方衆へ米辻知らせのこと) 田中より傳兵衛 江部村利兵衛様	11月18日	横切紙・1通	466-463
仕切覚(新酒代838文渡し、公儀出し・沓野庄屋へ見舞ほかを差し引く) 田中より傳兵衛 江部村利兵衛様 貼付文書1通(仕切覚)あり	11月13日	切紙・1通	466-464
仕切覚(新酒代・湯銭より公儀川欠金・薪代差引) 田中傳兵衛 江部村利兵衛様	11月2日	切紙・1通	466-465
仕切覚(下白米代金(渡し)、酒・上白米・大根葉送付願) 田中より傳兵衛 江部村利兵衛様	10月26日	切紙・1通	466-466
仕切覚(新酒代金、上白米代金 \times 2貫985文書上) 田中より傳兵衛 江部村利兵衛様	10月25日	切紙・1通	466-467
仕切覚(酒代222文渡し、鐘撞堂大工作料等を差し引く、まいの湯ぬるかんのこと) 田中より傳兵衛 江部村利兵衛様 貼付文書1通(初渡しの口上)あり	10月18日	横切紙・1通	466-468
仕切覚(新酒・上下白米・宿払の代金渡し) 田中より傳兵衛 江部村利兵衛様 貼付文書1通(諸白代金渡し覚)あり	10月16日	横切紙・1通	466-469
仕切覚(新酒代より初先納金・城米代・江戸夫丸切米を差引、ほか宿払代書上) 田中より傳兵衛 江部村利兵衛様	10月9日	横切紙・1通	466-470
仕切覚(新酒代より薪代等差引き渡し、ほか宿払代金書上) 田中より傳兵衛 江部村利兵衛様	10月朔日	横切紙・1通	466-471
仕切覚(諸白・新酒代より薪代等差引き渡し) 田中傳兵衛 江部村利兵衛様	9月27日	横切紙・1通	466-472
仕切覚(新酒代より一寸板50枚代差引き渡し) 田中より傳兵衛 江部村利兵衛様	閏9月15日	横切紙・1通	466-473
仕切覚(酒・上白米代より武右衛門屋敷家代・初先納金等を差引き) 田中より傳兵衛 江部村利兵衛様 貼付文書1通(褥板22枚渡し覚)あり	閏9月11日	横切紙・1通	466-474
覚(宿払より薪代差引き) 傳兵衛 利兵衛様	閏9月6日	切紙・1通	466-475

仕切覚(新酒代書上、此方・佐野村での小売相場通知) 田中傳兵衛 江部村里兵衛様	閏9月6日	切紙・1通	466-476
仕切覚(公儀出し・沓野出しを除く新酒代金を一寸板代 払にあてる) 田中より傳兵衛 江部村利兵衛様	閏9月朔日	横切紙・1通	466-477
仕切覚(下白米など売上から夫錢代などの差引勘定) 田中より傳兵衛 江部利兵衛様	5月26日	切紙・1通	475-25
仕切覚(諸白・上白売上から春木買代の差引勘定) 田 中傳兵衛 江部利兵衛様	6月3日	切紙・1通	475-26
仕切覚(諸白売上・湯錢から材木代・公儀出しの差引勘 定) 田中より傳兵衛 江部利兵衛様	6月7日	切紙・1通	475-27
仕切覚(諸白・上白売上から薪代の差引勘定) 田中傳 兵衛 江部利兵衛様	6月10日	切紙・1通	475-28
仕切覚(酒売上から公儀出し・薪代などの差引勘定) 田中傳兵衛 江部利兵衛様	6月17日	切紙・1通	475-29
仕切覚(酒売上から市夫金・薪代などの差引勘定) 田 中傳兵衛 江部利兵衛様	6月19日	切紙・1通	475-30
仕切覚(諸白売上から買物・材木・薪代などの差引勘定) 田中傳兵衛 江部利兵衛様	6月22日	切紙・1通	475-31
仕切覚(酒売上から公儀出し・同先納金・薪代などの差 引勘定) 田中傳兵衛 江部利兵衛様	6月28日	切紙・1通	475-32
仕切覚(酒売上から公儀出し・麦手引などの差引勘定) 田中傳兵衛 江部村利兵衛様	6月	切紙・1通	475-33
仕切覚(酒売上から公儀出し・薪代などの差引勘定) 田中傳兵衛 江部利兵衛様	7月5日	切紙・1通	475-34
仕切覚(酒売上から公儀出し・材木・薪代などの差引勘 定) 田中より傳兵衛 江部利兵衛様	7月11日	横切紙・1通	475-35
(仕切覚、前欠カ、宿払・醤油代など) 傳兵衛 理兵衛様	7月11日	切紙・1通	475-36
仕切覚(2件分) 田中傳兵衛 利兵衛様	酉7月14日	横切紙・1通	475-37
仕切覚(酒売上から薪代の差引勘定) 田中より傳兵衛 江部利兵衛様	7月18日	切紙・1通	475-38
口上(沓野よりの利足として割木を送る旨) 傳兵衛 大旦那様	7月22日	切紙・1通	475-39
仕切覚(酒・上白売上から庄屋見舞酒・村酒手・薪代の差 引勘定) 田中より傳兵衛 江部利兵衛様		切紙・1通	475-40
仕切覚(上白米・酒売上から薪代など差引勘定) 田中 傳兵衛 里兵衛様	7月27日	切紙・1通	475-41
仕切覚(酒売上から田中公儀出し・沓野公儀出し・薪代 などの差引勘定) 田中より傳兵衛 江部利兵衛様	8月4日	切紙・1通	475-42
仕切覚(下白売上・湯錢から薪代などの差引勘定、味噌 については売切次第仕切連上) 田中傳兵衛 江部利 兵衛様	8月8日	切紙・1通	475-43
仕切覚(上白・草間酒・木など売上から公儀綿代大豆代 などの差引勘定) 田中より傳兵衛 江部利兵衛様 奥 に「木綿売 二貫百五十文内諸白売子かけ覚」についての 記載あり	8月14日	横切紙・1通	475-44
仕切覚(上白・木綿・佐野酒売上残金から薪代の差引勘 定)	8月16日	横切紙・1通	475-45

定) 田中より傳兵衛 江部利兵衛様			
仕切覚(上白・下白売上から公儀酒出・薪代などの差引勘定) 田中より傳兵衛 江部利兵衛様	9月朔日	横切紙・1通	475-46
覚(宿払金の送状) 傳兵衛 利兵衛様	9月朔日	切紙・1通	475-47
仕切覚(安田酒売上から薪代などの差引勘定) 田中村より傳兵衛 江部村利兵衛様	9月6日	切紙・1通	475-48
仕切覚(下白売上・宿払金から家・薪・桶輪替代などの差引勘定) 田中より傳兵衛 江部村利兵衛様	9月9日	1通	475-49

水車

仮車屋木積り帳	明治4年末6月吉日	横長美・1冊	933
---------	-----------	--------	-----

貸家

(宅地貸料調査書控)	(明治38年8月7日)	罫紙・1通	622
「田町忠助[]書類入」 地主山田庄左衛門	明治6癸酉年ヨリ	1包	1039
田町店賃書抜帳 1039-2~10を挟込	明治元辰正月より	横長半・1冊	1039-1
覚(家修復費用ほか諸入用書上、居住者名書上) 徳武富蔵(印、「善光寺表田町・カネト・梅田屋」) 山田様	(明治8年力)亥3月3日	横長半・1冊	1039-2
記(家賃、諸入用書上) 徳武富蔵 山田様	(明治9年)子2月25日	横長半・1冊	1039-3
記(権堂村田町指物屋直吉酉年分地代・畑小作受取) 牟礼駅小川弥右衛門(印) 東江部山田様	(明治7年)戌4月4日	横切紙・1通	1039-4
建家譲渡証文之事(花岡検校借入金に差支え建家譲渡) 権堂村田町建家譲主吉太郎印、荒木村親類受人喜善八印、組合半之助印 当組忠助殿 1039-6を挟込	明治2巳年6月	罫紙・1通	1039-5
魚屋吉太郎地代家賃滞覚(卯年より申年まで地代・前栽畑代書上)	(明治5年力)	横切紙・1通	1039-6
(居住者・家賃・受人など書上)	明治7年3月15日改	折紙・1通	1039-7
田町忠助分長家名前	明治5年	折紙・1通	1039-8
第五十四区権堂村百四番之内(借地人・家賃など書上)	(明治6年力)	折紙・1通	1039-9
覚(酉年分家賃・諸入用差引書上)	(明治7年)甲戌2月5日	横長半・1冊	1039-10

穀物等売買

(諸品代金の受取・勘定等に関する書付・書状等綴り) 綴紐切れ		1綴	466-5
(塩・種・穀物等の仕切・代金受取書等綴り)		1綴	466-11
(塩屋(野平)長右衛門より山田宛金子預り書、商況書状)	(卯8月)	帳崩れ・2枚	466-12
覚(初8俵代金1両1分300文にて売渡) 須坂九兵衛(印)	8月	横切紙・1通	466-13

江部村勘右衛門殿			
覚(初1俵代金725文) 喜兵衛 庄左衛門殿	8月16日	横切紙・1通	466-14
覚(初代金3兩渡し、残粉も売り払い次第仕切) 塩屋長右衛門(印) 江へ村山田庄左衛門殿、御使勘右衛門[]	7月24日	横切継紙・1通	466-15
仕切(浜塩・大豆代等勘定書) 三崎や市郎兵衛(印、「越後苻中」) 江部利兵衛殿	卯7月19日	横切継紙・1通	466-16
覚(初3俵代2分38文渡し) 喜兵衛(印、「須坂中町」) 庄左衛門殿	7月11日	切紙・1通	466-17
覚(初2俵代1分476文) 九兵衛(印) 勘右衛門殿	7月11日	切継紙・1通	466-18
覚(初28俵預り) す坂町塩屋長右衛門(印) 山田庄左衛門殿御内勘右衛門殿	卯7月4日	切継紙・1通	466-19
覚(10匁かけ30丁代ほかノ546文相渡) 竹内 三崎やとの	6月29日	横切継紙・1通	466-20
仕切(浜(塩)3石2斗代金2歩500文取) 三崎や市郎兵衛(印) 江部村利兵衛殿	卯6月29日	横切紙・1通	466-21
仕切(浜塩15石9斗ほかノ3兩2分52文書上、内金1兩取、残額貸し) 三崎屋市郎兵衛(印) 江部村山田利兵衛殿	卯6月29日	横切継紙・1通	466-22
初受取覚(10俵) 須坂九兵衛(印) 江部村庄左衛門殿	卯6月26日	横切紙・1通	466-23
覚(初4俵受取) 喜兵衛(印) 庄左衛門殿	6月26日	横切継紙・1通	466-24
覚(初14俵受取) す坂町長右衛門(印) 江部村山田庄左衛門殿	卯6月26日	横切紙・1通	466-25
覚(たね8俵受取) 町武右衛門(印) 江部庄兵衛殿	卯ノ3月13日	横切紙・1通	466-26
覚(塩3石2斗代金3分余書上) 三崎や市郎兵衛(印) 江部村勘右衛門殿	寅9月29日	横切継紙・1通	466-27
覚(しの3本代600文書上) 久兵衛 佐野右衛門殿	丑2月20日	横切紙・1通	466-28
覚(胡麻2俵ほか代金3分余書上) 肴町油や弥右衛門(印) 東江部村利兵衛殿	11月2日	横切継紙・1通	466-29
仕切覚(大豆16俵代金2兩2分余にて売渡) 須坂九兵衛 江部村勘右衛門殿	10月1日	横切継紙・1通	466-30
覚(大豆16俵代金2兩2分余相渡) 塩屋長右衛門(印) 江部村勘右衛門殿	丑10月朔日	横切継紙・1通	466-31
覚(大豆1石8斗代金2分余相渡) 塩屋長右衛門 庄左衛門殿御内勘右衛門殿	丑8月21日	切継紙・1通	466-32
(片塩村伝五右衛門、計金2貫171文書上)		小切紙・1通	466-33
覚(大豆1石8斗代金3分渡し) す坂村長右衛門 庄左衛門殿御内勘右衛門殿 (裏面)「惣分大豆四表預り」	丑8月6日	切紙・1通	466-34
覚(60目2駄4斗5升入代3分書上) 須坂九兵衛 江部村庄左衛門殿、使勘右衛門殿	8月6日	切継紙・1通	466-35
覚(大豆7駄書上) 須坂九兵衛(印) 江部庄左衛門殿	8月10日	小切紙・1通	466-36
覚(大豆16俵受取、預かり) 塩屋長右衛門(印) 江部庄左衛門様	丑ノ8月10日	切紙・1通	466-37
大豆受取覚(4駄) 須坂町九兵衛(印) 江部村庄左衛門殿	8月5日	小切紙・1通	466-38
覚(60目大豆6俵受取、預かり) す坂町塩屋長右衛門(印)	丑ノ8月5日	切継紙・1通	466-39

江部村庄左衛門殿御内馬方八助殿			
仕切覚(大豆16俵代金2両2分余にて売渡) 須坂九兵衛 (印) 江部村庄左衛門殿	8月4日	横切継紙・1通	466-40
覚(大豆16俵余代金2両3分余相済) 塩屋長右衛門(印) 江部村庄左衛門殿	丑8月4日	横切継紙・1通	466-41
覚(ツツジ・梅・姫小松代金書上)	8月10日秋社日	帳崩れ・1通	466-42
覚(塩・大豆代金差引勘定書) 三崎や市郎兵衛(印) 江 部村利兵衛殿	丑4月10日	横切継紙・1通	466-43
覚(貸金・胡麻2石2斗9升代ほか差引勘定書、仕切金子相 渡相済) 三崎屋市郎兵衛(印) 江部村利兵衛殿	子12月	横切継紙・1通	466-44
米覚(米7石2斗代金4両受取、残り1貫余かし) 中野村 八右衛門(印) 江部村佐野右衛門殿	子ノ極月3日	横切紙・1通	466-45
覚(米4石余代金2両受取) 与五右衛門(印) 江部村佐野 右衛門殿	子10月25日	切紙・1通	466-46
覚(上初15俵ほか代金3両2分受取) 南村四郎右衛門(印) 北大熊村平兵衛殿	子ノ10月21日	横切紙・1通	466-47
覚(米1石8斗相渡) 中野与五右衛門(印) 江部村佐野右 衛門殿	子10月22日	切紙・1通	466-48
覚(赤覆粉16俵代金2両受取) 与惣右衛門(印) 江部村 佐野右衛門殿	子ノ10月20日	横切紙・1通	466-49
覚(置米6俵代金2両受取) 中野与五右衛門(印) 江部村 佐野右衛門	子10月19日	切紙・1通	466-50
覚(あさ水30俵代金7両受取) 大熊村源助(印) 江部村 新六殿	10月19日	切紙・1通	466-51
覚(2石4升代金1分2貫8文相渡) 六川市右衛門 江部庄 左衛門殿	子ノ5月14日	切紙・1通	466-52
覚(大麦16俵代金2両2分余払遣、下値ではあるが) 須 坂町九兵衛 江部村庄左衛門殿	5月14日	横切紙・1通	466-53
覚(大麦12俵受取、下値につき値段引き下げ売り払う 旨) 須坂町九兵衛(印) 江部村庄左衛門様	5月8日	横切紙・1通	466-54
仕切覚(大麦17駄代金7両2分余にて売渡) 須坂町九兵 衛 江部村庄左衛門殿	5月6日	横切紙・1通	466-55
覚(大麦18俵代金4両余にて売渡) 九兵衛(印) 江部村 庄左衛門殿	5月4日	横切紙・1通	466-56
覚(塩1石余代金1分余ほか惣かし、胡麻3駄預り) 三崎 屋市郎兵衛(印) 江部村利兵衛殿	子4月29日	横切継紙・1通	466-57
当分相返事(蔵米・大豆ほか12品目相場書上)	4月29日	横切継紙・1通	466-58
請取覚(粉代金5両受取) 西条村善右衛門(印) 江部村吉 右衛門殿 同日付の粉代金受取・残り粉手配の旨、書添あ り。	子ノ4月5日	横切紙・1通	466-59
覚(塩1石余代金1分余受取) 三崎屋市郎兵衛(印) 片塩 村宇右衛門殿	子2月29日	横切継紙・1通	466-60
覚(西国・屋六粉140俵代金一部受取、切手遣わされ次第 粉渡し) 新野村加助(印) 庄左衛門殿御内にて江部吉 右衛門殿	亥9月7日	横切紙・1通	466-61
覚(諸粉206俵代金23両余受取) 新野村長助(印) 吉右	亥11月8日	横切紙・1通	466-62

衛門殿			
覚(9月から10月15日までの初代金目録の通り受取相済) 新野清蔵 江部村里兵衛殿	亥11月8日	切紙・1通	466-63
覚(初代金2両受取) 新野清蔵(印) 江部村庄左衛門様	亥10月15日	切紙・1通	466-64
覚(4月21日仕切代金1分余書上) 浅の屋徳兵衛(印) 江部山田庄左衛門殿	亥12月30日	切紙・1通	466-65
(書状、仕切残金御渡し願、蔵米・躰・浜塩等相場書) 浅の屋徳兵衛(印、「浅野屋たかた」) 山田庄左衛門様、人々御中	12月3日	横切紙・1通	466-66
覚(西国初70俵、屋六初2俵渡す) 新の加助(印) 江部村吉右衛門殿	亥10月11日	切紙・1通	466-67
覚(西国初78俵、弥六初60俵書上) 新野源助 江部吉右衛門殿		切紙・1通	466-68
覚(敷板120本ほか書上) 湯田中利右衛門	子ノ後5月11日	切紙・1通	466-69
(材木(力)の内使・売・在庫分書上) 田中竹右衛門	子ノ12月27日	帳崩れ・1通	466-70
(清蔵、長助分西国・屋六初書上)		帳崩れ・1通	466-76
覚(西国初78俵・弥六初72俵書上) ふせ(力)長助	9月3日	切紙・1通	466-83
覚(大豆2駄受取) す坂五郎兵衛(印、「須坂新町井出」) 江部村庄左衛門殿	午7月20日	切紙・1通	466-84
覚(黍米40駄15日出し、代金はその内に下されたく) 田麦村五右衛門(印) 江部村文六殿	申ノ11月6日	切紙・1通	466-85
覚(初4俵・大豆1石余差引勘定) 須坂町五郎兵衛(印) 江部村庄左衛門殿	申10月21日	横切紙・1通	466-86
覚(塩1石4斗代金1分余受取) 三崎屋市郎兵衛(印) [] 後欠	亥4月21日	横切紙・1通	466-87
仕切覚(置荷代、未・申年仕切不足貸金額書上) 後欠		横切紙・1通	466-88
(山田庄左衛門宛浅野屋徳兵衛仕切書、2件連書) (1) 大豆7俵、未12月9日、(2) 小麦5斗8升、申12月25日		横切紙・1通	466-89
仕切覚(塩8斗代金書上等、小麦2俵あり) 浅野屋徳兵衛(印) 江部村庄左衛門殿、同[](文権右衛門力)殿	申6月17日	横切紙・1通	466-90
仕切覚(置荷3石1斗代金等書上、大豆6俵あり) 浅の屋徳兵衛(印) 江部山田庄左衛門殿、使平六殿	未3月12日	横切紙・1通	466-91
(10名分の石数・銭額書上)		帳崩れ・1通	466-92
(返書、塩高値のこと、諸品相場書) 武右衛門 山田庄左衛門様	10月22日	横切紙・1通	466-93
(書状、高田でも塩が高値のこと) 桜井武右衛門 山田庄左衛門様	8月18日	横切紙・1通	466-94
覚(大豆12俵代金1両余相済) 喜兵衛(印) 庄左衛門殿	6月11日	切紙・1通	466-95
覚(大豆6駄代金1両余にて売渡) 須坂町九兵衛(印) 江部村庄左衛門殿	4月26日	切紙・1通	466-96
(利兵衛宛田中伝兵衛仕切覚綴) 綴紐切れ、破損大		1綴	466-97
仕切覚(初23俵代ほか) [] 江部村庄左衛門[] 左下欠損	丑ノ極月28日	横切紙・1通	466-98

(7束・5束代金 \times 3分余書上)		切紙・1通	466-99
(書状、下り金2両余相渡しのこと、諸品相場書) 六 []、市[] 山田庄左衛門様	11月28日	横切紙・1通	466-101
(材木本数書上) (裏面)(書状、敗毒散調合いたし病体に合 わせて使用のこと)		帳崩れ・1通	466-102
(書状、穀物類相場の通知) 小布施町武[] 江部村庄左 衛門様 左下欠損	丑3月13日	横切紙・1通	466-103
仕切覚(9斗2升ほか代金2両2分余勘定) 六川市[] 江 部村庄左衛門殿	10月23日	横切紙・1通	466-105
(\times 29貫800目分代金2両1分余書上)		切紙・1通	466-106
覚(茶 \times 30貫400目余代金2両1分余書上) 六川武右衛門 江部村文六殿	10月15日	切紙・1通	466-107
種子預り置候覚(60俵押切村八郎左衛門、37俵同村与五 兵衛へ預り置) 江部村庄左衛門殿	享保6年丑ノ閏7月2日	横切紙・1通	466-108
覚(品物48貫分とむしろ代4つ of 代金7両2分余受取) 善光寺大門町御廓(力)屋与兵衛 江部村理左衛門殿	丑ノ8月26日	横切紙・1通	466-109
覚(小形金70両等より種代懸物65両余を引き、残額を返 金) おし切村与五兵衛 江部庄左衛門殿	丑ノ8月20日	横切紙・1通	466-110
種之覚(11名分石数・代金額書上、押切普請遣し人数の 書き込みあり)		帳崩れ・1通	466-111
覚(大豆3駄受取) 須坂町喜兵衛(印) 庄左衛門殿	丑8月13日	切紙・1通	466-112
覚(米10俵受取) 須坂町喜兵衛(印) 江部村庄左衛門殿	丑ノ閏7月14日	切紙・1通	466-113
覚(米11俵受取) 須坂町喜兵衛(印) 江部村庄左衛門殿	丑ノ閏7月14日	切紙・1通	466-114
覚(米18俵受取) 喜兵衛(印) 庄左衛門殿	丑ノ閏7月8日	切紙・1通	466-115
(細美・萱布代金2分余受取書) 新右衛門 正(庄)左衛門 様	7月9日	切紙・1通	466-116
覚(10名分石数 \times 38石余、代金51両余書上)		帳崩れ・1通	466-117
(金子勘定書、金2両2分余受取、金1分目録違につき支払 願) 庄左衛門 武右衛門		切紙・1通	466-118
菘渡覚(7名分 \times 4石5斗3升書上) 小[] 庄左衛門様 左下欠損	丑ノ7月8日	帳崩れ・1通	466-119
仕切覚(色々金物代・口銭、預かり金差引勘定書) 浅野 屋徳兵衛(印) 山田文六殿	丑6月26日	横切紙・1通	466-120
覚(品代3両3分余より仕切貸・売手を差し引き2両2分余 相渡) 六川武右衛門 江部村庄左衛門殿	丑6月28日	横切紙・1通	466-121
覚(品代勘定、大豆12俵預かり) 六川武右衛門 江部村 文六殿	丑ノ6月23日	横切紙・1通	466-122
覚(北川分ほか貫目書上)		帳崩れ・1通	466-123
(貫目書上) 前欠	丑ノ6月15日	帳崩れ・1通	466-124
覚(宿払1貫余受取願、夫塩送付願) や 利兵衛様	正月26日	切紙・1通	466-136
仕切覚(新2斗4升代江戸夫丸金引き402文書上、夫食米 下田売無きにつき送付頼み) 伝兵衛 利兵衛様	正月晦日	横切紙・1通	466-138
覚(宿払900文ほか書上) 伝兵衛 里兵衛様	正月晦日	切紙・1通	466-139

覚(味噌・諸白・新酒・米等代金差引勘定書) 夫久八 東 江部村利兵衛様	戌之2月15日	横切紙・1通	466-140
覚(草鞋・醤油・味噌・諸白等代金勘定書)		帳崩れ・1通	466-141
伐木請取[]記帳 破損大、紙背は書状下書 (材木書上) 466-142の内か	享保9年辰11月	帳崩れ・1枚	466-142
		帳崩れ・1枚	466-143
*大福[帳](諸白・酒・大豆など) 破損甚大、開披不可、後 るに「宝曆二年申八月木綿改帳」を綴じ込み		横長美・1冊	466-150
(日別費目書上) 前欠		切紙・1枚	466-154
覚(たね60俵ほか勘定書) 小布施町武右衛門(印) 江部 村庄左衛門殿 破損、開披不可	とら12月21日	横長美・1綴	466-155
米請取覚(9名分石数・代金書上)		帳崩れ・1通	466-156
(書状、与五郎の種5俵借用願の取り次ぎ) 押切村赤井 八郎左衛門 江部山田庄左衛門様	12月17日	横切紙・1通	466-157
(種子代勘定書)		切継紙・1通	466-158
覚(大豆45俵5升受取) 与兵衛 庄左衛門殿		切紙・1通	466-159
覚(塩4俵代金ほか10両1分相渡し) 武右衛門 庄左衛門 殿 奥に先日の書付取り扱ひに関する書状あり	12月10日	横切継紙・1通	466-161
預り種之覚(60俵・八郎左衛門預り分ほか計97俵) 八 郎左衛門 江部村庄左衛門殿 (裏面)書状・種小布施渡し のこと、12月10日、押切村八郎左衛門 江部村山田庄左衛 門様	寅ノ12月10日	帳崩れ・1通	466-162
(仕切・代金受取書等綴り) 破損甚大、開披不可		1綴	466-163
請取覚(大豆4駄ほか) 九兵衛 一部欠損	6月20日	横切紙・1通	466-164
請取覚(大豆6駄受取) 須坂町九兵衛(印) 江部村庄左衛 門殿	午6月19日	切紙・1通	466-165
覚(小豆1石余代金3分余にて売渡) 九兵衛 江部平六殿	6月14日	切紙・1通	466-166
覚(小豆6石余代金3両2分余の一部渡し) 利左衛門 庄 左衛門様	6月8日	切継紙・1通	466-167
仕切覚(大豆2石9斗代金1両余差引勘定済) す坂新町五 郎兵衛(印) 江部村庄左衛門殿、平六殿	午6月6日	切紙・1通	466-168
覚(小豆16俵受取) 小布施町利左衛門(印) 江部庄左衛 門殿	午ノ5月15日	切紙・1通	466-169
覚(粃14俵受取) 利左衛門(印) 庄左衛門様	5月15日	切継紙・1通	466-170
仕切覚(塩代金、前度不足貸金等勘定書) 浅野屋徳兵衛 (印) 山田庄左衛門殿、御夫伝七殿	午3月28日	横切継紙・1通	466-171
覚(小豆8俵代金1両2分相済) す坂中町喜兵衛(印) 江 部庄左衛門殿	午ノ2月26日	切紙・1通	466-172
覚(大豆6俵代金1両余相済) す坂喜兵衛(印) 江部庄左 衛門殿	午ノ4月26日	横切紙・1通	466-173
覚(小豆4駄代金1両2分余にて売渡) す坂町九[] 江 部村庄左衛門殿	午2月	横切継紙・1通	466-174
覚(大豆3駄2石余代金1両1分余にて売渡) 九兵衛 庄 左衛門殿	午2月11日	切紙・1通	466-175

覚(大豆8俵余代金1両余にて売渡) 須坂町九兵衛 江部 村庄左衛門殿	12月4日	切紙・1通	466-177
覚(大豆3駄代金3分余にて売渡) 九兵衛(印) 江部村庄 左衛門殿	巳12月1日	切紙・1通	466-178
大豆請取覚(3駄) す坂町九兵衛(印) 江部村庄左衛門殿	巳11月29日	切紙・1通	466-179
覚(大豆3駄受取) 五郎兵衛(印) 庄左衛門殿	巳11月29日	切紙・1通	466-180
小豆請取覚(4駄) す坂町九兵衛(印) 江部村庄左衛門殿	巳11月23日	切紙・1通	466-181
覚(小豆8俵受取) す坂中町喜兵衛(印) 江部庄左衛門殿	巳ノ11月23日	切紙・1通	466-182
覚(西国初12俵代金1両2分余勘定済) す坂新町五郎兵 衛(印) 江部村庄左衛門殿	巳10月28日	横切紙・1通	466-183
仕切覚(西国初12俵代金1両2分、内1両渡し) す坂新町 五郎兵衛(印) 江部村庄左衛門殿	巳9月21日	横切紙・1通	466-184
覚(初14俵代金1両2分余相渡) す坂中町喜兵衛(印) 江 部庄左衛門殿	巳ノ9月21日	横切紙・1通	466-185
覚(初18俵代金2両1分にて売渡) 九兵衛 江部村庄左衛 門殿	9月21日	切紙・1通	466-186
覚(初12俵代金1両2分余書上) 須坂町九兵衛(印) 江部 村庄左衛門殿	8月16日	切紙・1通	466-187
初請取覚(6駄受取、70俵売付、11日市売分勘定のこと) 九兵衛(印) 平六様	8月6日	横切紙・1通	466-188
初請取覚(3駄) 九兵衛(印) 江部村庄左衛門殿	8月16日	切紙・1通	466-189
覚(初6俵受取) す坂中町喜兵衛(印) 江部庄左衛門殿	巳8月16日	切紙・1通	466-190
覚(大豆・塩代金勘定書) 小布七武右衛門 江部村庄左衛 門殿	8月13日	横切紙・1通	466-191
覚(初16俵代金2両余書上) 須坂町九兵衛 平六殿	8月4日	切紙・1通	466-192
覚(大豆12俵代金1両余勘定書) す坂新町五郎兵衛(印) 江部村庄左衛門殿	巳8月4日	切紙・1通	466-193
大豆仕切(ノ12俵書上)		横切紙・1通	466-194
(穀類勘定関係書類等綴)		1綴	466-215
子年挽[米] 破損	享保10乙[]8月[]	横長美・1冊	466-216
覚(種子6石余代金10両2分余書上)		帳崩れ・1枚	466-217
(穀物売渡帳) 綴紐切断、落丁もあるか		横長美・1冊	466-218
(諸勘定関係書類綴、渋湯・湯田中家普請関係帳面とも) 享保期のものを含む		1綴	466-226
(穀類売渡帳)		帳崩れ・4枚	466-231
(初26俵代金残3両余請求書) 小兵衛、夫七右衛門 利兵 衛様	15日	横切紙・1通	466-271
(初代・大豆代等の人別書上)		折紙(帳崩れ力)・1 通	466-298
覚(塩3駄駄賃2人分235文ツ、支払願) のしり池田藤七 (印) 江部庄左衛門殿	(天明元)丑7月9日	切紙・1通	466-321

(新古初ほか人別書上) 挟込史料、張付史料あり		帳崩れ・1枚	466-349
(新古初ほか人別書上) 挟込史料3点あり		帳崩れ・1枚	466-350
(大豆ほか人別書上) 大豆6俵代金書付を挟込		帳崩れ・1枚	466-351
覚(大豆代金1分受取、大豆はこの書付と引換) 庄左衛門 津右衛門殿 白紙1枚とも	卯12月21日	切紙・1通	466-352
(伊助・横手村津右衛門分の作初・大豆代等書上)		帳崩れ・1枚	466-353
(7名分の新古初・大豆書上) 2名分初代書付を挟込		帳崩れ・1枚	466-354
覚(665文書上、駄賃請求か) 与左衛門 庄左衛門様		小切紙・1通	466-356
(人別穀物代金書上ほか)		帳崩れ	466-364
(品物代金等書付)		切継紙・2枚	466-370
(初・大豆ほか品物代金人別書上)		帳崩れ・1枚	466-371
覚(大豆14俵受取) す坂新町五郎兵衛(印) 江部村庄左衛門殿	辰7月13日	切紙・1通	466-412
覚(馬方傳助大豆7駄受取) す坂五郎兵衛(印) 江部村庄左衛門殿	辰7月3日	切紙・1通	466-413
覚(代金ノ1分余書上) 六川甚右衛門 江部村庄左衛門殿	たつ7月3日	切紙・1通	466-414
覚(大豆代精算書) 小布施町利左衛門 江部村庄左衛門様	7月	横切継紙・1通	466-415
大豆仕切(ノ16俵分、残金2分余渡し) す坂町喜兵衛(印) 江部村庄左衛門殿	辰ノ6月21日	横切継紙・1通	466-416
仕切覚(ノ6石余代金2両3分余にて売渡し、相場書あり) 九兵衛 平右衛門殿 418は欠番	6月16日	横切継紙・1通	466-417
覚(大豆14俵受取) す坂喜兵衛(印、「中町」) 庄左衛門殿	辰ノ6月21日	切紙・1通	466-419
(大豆代金書上)		切紙・1通	466-420
覚(大豆14俵受取) 利左衛門(印) 理兵衛様	6月18日	切紙・1通	466-421
覚(大豆28俵受取) おふせ町利左衛門(印) 江部村庄左衛門殿	6月5日	竪切紙・1通	466-422
大豆之事(ノ12石余相渡、ほか1俵預かり置き) 安源寺村藤右衛門 庄左衛門殿	辰6月5日	切紙・1通	466-423
覚(石数・俵数書上)		帳崩れ・1通	466-424
覚(ノ42俵書上) 喜兵衛 庄左衛門殿	5月14日	横切紙・1通	466-425
大豆仕切(42俵分ノ4両余勘定相済) 須坂穀屋喜兵衛 江部村庄左衛門殿	辰ノ5月7日	横切紙・1通	466-428
仕切覚(大豆66俵代金差引勘定) 九兵衛 江部村庄左衛門殿	閏4月	横切紙・1通	66-429
請取覚(ノ16俵) 須坂町九兵衛(印) 江部村庄左衛門殿	5月7日	切紙・1通	466-430
覚(大豆16俵受取) 須坂町喜兵衛(印、「須坂中町上野」) 江部村庄左衛門殿	辰ノ5月7日	切紙・1通	466-431
覚(大豆10俵受取、代金のうち2両渡し) す坂町喜兵衛(印) 江部村庄左衛門殿	(享保9)辰ノ閏卯月7日	切継紙・1通	466-432
覚(大豆5駄受取) す坂町九兵衛(印) 江部村庄左衛門殿	4月7日	切紙・1通	466-433

覚(大豆6駄受取) 九兵衛(印) 江部村庄左衛門殿	閏4月6日 閏4月6日	切紙・1通	466-434
覚(大豆6駄書上) す坂町九兵衛(印) 江部村庄左衛門殿	閏4月6日	小切紙・1通	466-435
覚(大豆5駄、代金2両遣し) 九兵衛(印) 江部村庄左衛門様	閏4月4日	切紙・1通	466-436
覚(大豆10俵受取) 須坂町喜兵衛(印) 江部庄左衛門殿	(享保9)辰ノ閏4月4日	切紙・1通	466-437
預り覚(ぞく24束) 小布セ町武右衛門(印) 江部村庄左衛門殿	たつ4月2日	切紙・1通	466-438
覚(大豆10俵受取) 須坂町喜兵衛(印) 江部村庄左衛門殿	(享保9)辰ノ閏4月朔日	切紙・1通	466-439
覚(大豆5駄受取) す坂町九兵衛(印) 江部村庄左衛門様	たつノ4月1日	切紙・1通	466-440
覚(大豆12駄受取) 喜兵衛(印) 庄左衛門殿	辰4月29日	切紙・1通	466-441
大豆請取覚(12俵、相場書あり) 九兵衛 江部村庄左衛門様	4月晦日	切紙・1通	466-442
覚(杉木25本代金2分余受取) 寒沢村善九郎(印) 江部村惣右衛門殿	8月21日	切紙・1通	466-450
(万覚帳、帳崩れ)		帳崩れ・2固まり	466-478
辰年中村酒手(村中祝儀ほか1分余から、夫銭役代ほか差引237文渡し) 文右衛門(印) 利兵衛殿	巳正月2日	帳崩れ・1枚	466-479
覚(大豆3駄売渡し、売手を引き残金渡し) 須坂町九兵衛(印) 江部村庄左衛門殿	4月4日	切紙・1通	466-497
(大豆代・初代等書上綴)		1綴	466-498
覚(絹小立表ほか代金3分2朱余書上、近江屋作右衛門払)		切紙・1通	466-501
覚(塩代金2分受取) 古間柏屋源蔵 山田庄左衛門様	丁巳2月26日	切紙・1通	466-502
覚(塩代金4両2分受取) 三崎屋市郎兵衛(印)、夫傳兵衛 山田庄左衛門様	辰5月26日	切紙・1通	466-503
仕切(塩代金ほか) 三崎屋市郎兵衛(印、「越後府中」) 井部村山田庄左衛門殿	巳7月6日	横切紙・1通	466-504
仕切(塩代金ほか、金2分余不足) 三崎屋市郎兵衛(印) 井部村山田庄左衛門殿	辰7月	横切紙・1通	466-507
覚(大豆代金書上) 吉田村藤七	子3月日	切紙・1通	475-11
口述(金1分分の銭借用願) 文右衛門 文次郎様	11月14日	切紙・1通	475-13
覚(上系代金受取) 須坂五左衛門 四郎右衛門殿	子10月20日	横切紙・1通	475-15
(大豆・稗代金受取書) 庄左衛門 惣七殿	子10月12日	横切紙・1通	475-17
一札之事(古鉄砲1挺代金受取) 片塩村売り主惣右衛門、同所口入傳次郎 東江部村文次郎殿	明和5年子9月	縦紙・1通	475-18
実わた売覚(子3月当村忠助分)		帳崩れ・1枚	475-20
覚(大豆・稗などの穀物売渡帳の一部)	明和5子2月	帳崩れ・7枚	475-23
(新酒・諸白などの代金勘定帳の一部)		帳崩れ・7枚	475-24
天明五より寛政十年七月迄元帳二とち付候書付(仕切状等綴) 天明8年申より寛政元年亥迄「寿仙病死以後一	(天明5~寛政10)	綴り・1綴	477

件) (山田庄左衛門顕孝記)も綴込、477~495麻紐一括、荷札「信州東江部村山田家」			
覚(種10俵余受取) おふせ町利左衛門 庄左衛門殿	3月19日	切紙・1通	597-5
覚(大豆4俵受取) 須坂町喜兵衛(印) 江部村庄左衛門殿	丑ノ2月晦日	切紙・1通	597-6
覚(大豆18俵受取) 須坂町喜兵衛(印) 江部村文六殿	丑ノ2月25日	切紙・1通	597-7
(品物計5駄受取) 須坂九兵衛(印) 江部文六殿 前欠	4月11日	切紙・1通	597-8
(品物計12駄受取) 須坂町[] 破損		切紙・1通	597-9
(書状) []兵衛 山田庄左衛門様 開披不可		横切紙力・1通	597-10
覚(大豆代50両余小形金受取、4名に渡し) 夫伝兵衛 東江部村文六殿 598-1~9は綴り崩れ一括	子11月22日	横切紙・1通	598-1
仕切覚 六川市右衛門 江部文六殿	12月28日	横切紙・1通	598-4
覚(大豆12俵分仕切) 須坂喜兵衛 江部文六殿	子10月21日	横切紙・1通	598-6
覚(大豆代仕切) 小布せ町武右衛門 江部村文六殿	子ノ11月3日	横切紙・1通	598-8
覚(大豆預り、代金受取) 預り主今井村武兵衛(印) 文六殿	子11月23日	切紙・1通	598-9
* 覚(大豆55石5斗受取預り) 須坂上町糺屋武源治(印) 東江部村庄左衛門殿 858-8-2を挟込	天保15辰年12月	縦切紙・1通	858-8-1
* (書状、押切より大豆63石5斗預かり、別紙預書差上) す坂上町糺屋武源治 東江部村御苗庄左衛門様	12月27日	縦切紙・1通	858-8-2
初預り置記帳 下水内郡秋津村静間坪根七三郎 上高井郡 都住村矢嶋関谷勇之丞殿	明治22年12月吉日	横長半・1冊	1050

綿作・販売

覚(実綿24貫匁受取) 勝右衛門(印) 江部利兵衛殿	9月9日	切紙・1通	466-77
覚(実綿24貫匁受取) 勝右衛門(印) 江部利兵衛殿	9月9日	切紙・1通	466-78
覚(実綿24貫匁受取) 勝右衛門(印) 江部利兵衛殿	9月9日	切紙・1通	466-79
覚(木綿64貫目受取、代金5両勘定相済) 小布施町儀右 衛門 江部村伊兵衛殿	戌9月9日	横切紙・1通	466-80
覚(実綿256貫匁受取、代金20両相渡) 清八(印)、勝右衛 門(印) 江部利兵衛殿	9月10日	横切紙・1通	466-81
(実綿受取書、2件連書) (1)3駄、8月26日、清八 利兵衛、 (2)2駄、勝右衛門 利兵衛		横切紙・1通	466-82
(書状、実綿大つ2俵預り) 市右衛門 庄左衛門様	10月28日	横切紙・1通	466-104
* 大福[帳](諸白・酒・大豆など) 破損甚大、開披不可、後 ろに「宝暦二年申八月木綿改帳」を綴じ込み		横長美・1冊	466-150
(湯殿桶入の袋貫目ほか書上)	酉9月28日	横切紙・1通	466-151
(書状、綿代残金3両1分遣わし、穀類相場書) 浦野喜兵 衛 山田庄左衛門様	2月11日	横切紙・1通	466-176
(木綿引覚ほか勘定関係書類綴) 状態悪い		1綴	466-214
(寅ノ木綿売取覚など) 破損著しい断簡		帳崩れ・2枚	466-221

(27日・28日・朔日分人別費目書上、手作木綿の作業者別実綿摘採量力)		帳崩れ・1枚	466-299
(繰綿代金勘定書、子11月22日当村忠助分)		帳崩れ・1枚	475-12
(綿代金勘定書、半兵衛上方より帰るまで代金借用) 忠助 繰・布袋代など書上1枚挟込	子10月10日	帳崩れ・1枚	475-16
(木綿・縄代金勘定書、子6月2日当村忠助分)		帳崩れ・1枚	475-19
(書状断簡、約束の実綿値段につき) [] 山田荘左衛門様 破損		切紙・1通	597-4
(人別刃数書上、手作木綿の作業者別実綿摘採量力)	(寛延元)	横長半・1冊	1032
* 覚(真綿代金差引勘定書)		折紙・1通	1038-2

北信商社

二分金・金札等引換

「御用向書類」 北信商社、東京出張惣代市左衛門、竹蔵、小右衛門	明治3年午4月	袋・1袋	469
「南信より贖金引譲書 二通入」 北信商社		包紙・1通	469-1
覚(贖二分判の差送書) 南信商社惣代前沢伊兵衛、同断大原弥右衛門 北信御惣代中	明治3年4月27日	横切継紙・1通	469-1-1
覚(贖二分判500両を正札と引き替え譲渡) 南信(信州飯田林村・大原弥) 北信御衆中	(明治3) 午正月8日	横切継紙・1通	469-1-2
仮証書(去已租税金のうち贖二分判1000両受取) 伊那県東京出張所 中野局下納人西江部村市左衛門 包紙共	(明治3) 庚午6月17日	横切継紙・1通	469-2
「御用向書類」 会社	(明治3) 午7月27日より	袋・1袋	471
記(元利金1200両余の返上書) 南信商社(伊那県商社・南信会所) 北信商社御頭取衆中	(明治3) 午5月25日	横切紙・1通	471-1
(東京出張所受取の北信商社楮幣・西江部市左衛門租税金の書上、水内郡野尻村役人の中野役所宛書類の差出・宛所部分のみ、下書力)		縦紙・1枚	471-2
覚(商法金のうち繰替貸渡金350両の受取) 中野局出納方 商社懸り中 包紙共	(明治3) 午4月20日	縦切紙・1通	471-3
証(当春県が貸した贖金代幣の金札562両1朱返納につき受取) 伊那県中野庁 北信会社中 包紙共	(明治3) 庚午7月24日	縦切紙・1通	471-4
(北信会社納の利金95両余につき受取) 中野局出納方	(明治3) 午7月29日	縦切紙・1通	471-5
(銭幣350貫300文預書、役所より御下げ次第渡す旨) 引換所庄左衛門 産物会社御惣代啓造殿	(明治3) 午7月29日	横切紙・1通	471-6
(信州各局・県・藩の大中小別貫文書上)		折紙・1通	471-7
記(已貢金のうち楮幣7000両受取) 伊那県東京出張所 北信商社中 包紙共、471-8-1~5は一綴り	(明治3) 午4月	縦切紙・1通	471-8-1
証(去已租税金のうち6900両受取) 伊那県東京出張所 中野局下西江部村名主市左衛門	(明治3) 庚午6月2日	縦紙・1通	471-8-2

証(去已租税金のうち1300両受取) 伊那県東京出張所 中野局下西江部村納人市左衛門	(明治3)庚午6月10日	豎紙・1通	471-8-3
記(銀台二分判5500両受取) 伊那県東京出張所 北信商社中	(明治3)午4月	豎切紙・1通	471-8-4
証(去已租税金のうち7850両受取) 伊那県東京出張所 中野局下納人西江部村市左衛門	(明治3)庚午6月18日	豎紙・1通	471-8-5
(差加金劔札、已御年貢四納之内劔札并包不足、ほか書上)		綴り・1点(4枚)	676

差加金

(町村ごと損金割合引受書綴) 差加金関係か		1綴(5枚)	661
(夜間瀬村差加金140両ほか差引勘定書、永8貫余不足) 欠損		豎切紙・1通	669
「金子請取書入」 北信会社		1袋	784
記(重蔵分・重吉分出金よりの利益計算書) 784-1-1 ~ 3在中の包紙として使用		豎切紙・1通	784-1
覚(金100両商社発行基立差加金として預り証) 北信会社為替方(印) 中野村栗和田惣助殿 784-1-1 ~ 3は畳込み一括	明治3午年7月	豎切紙・1通	784-1-1
覚(金75両商社発行基立差加金として預り証) 北信会社為替方(印) 重吉殿	明治3午年7月	豎切紙・1通	784-1-2
覚(金100両商社発行基立差加金として預り証) 北信会社為替方(印) 中野町重蔵殿	明治3午年7月	豎切紙・1通	784-1-3
(綴り一括) 784-2-1 ~ 5は同綴		綴り・1点(5枚)	784-2
(江部より間山までほか飛脚賃計1分1朱余受取)	(明治5)壬申8月朔日	横切紙・1通	784-2-1
(雪籠5升3合、巻鶴6升8合代金計7両1分1朱余内金7両受取) 綿屋溜店 富田屋治兵衛様	(明治4)未2月	横切紙・1通	784-2-2
記(高井野村までほか飛脚賃計1分2朱余払済)	(明治5)申7月14日	横切紙・1通	784-2-3
記(金100両山田庄左衛門よりの預り金請取) 小林九之丞 高橋小右衛門殿	(明治4)辛未11月4日	横切紙・1通	784-2-4
記(金100両北信会社金請取) 北信会社山岸精一郎(印) 高橋清蔵殿	(明治4)辛未11月12日	豎紙・1通	784-2-5
(綴り一括) 784-3-1 ~ 7は同綴		綴り・1点(7枚)	784-3
口上(会社引払につき引合残金早々持参されたきこと) 北信会社 岩船村茂兵衛様、新井村御役人中様	(明治5)壬申7月28日	横切紙・1通	784-3-1
覚(今日村方にて抛無き差掛仕第出来につき、明日まで日延べ願) 中村儀十郎 北信会社様	7月29日	横切紙・1通	784-3-2
覚(廻章受取) 上新井名主新十郎(印)、他行二付百姓代印 北信会社御掛り衆中様	10月15日	豎切紙・1通	784-3-3
覚(御状受取) 中村儀十郎 北信会社御掛中	未10月15日	横切紙・1通	784-3-4
覚(御手紙受取) 間長瀬新田村伊左衛門	10月15日	豎切紙・1通	784-3-5
(御状受取) 岩井村役元(印) 北信会社御役人衆中		横切紙・1通	784-3-6
(御廻章受取) 小鶴原村名主助三良 北信会社様		豎切紙・1通	784-3-7

(綴り一括) 784-4-1 ~ 9は同綴		綴り・1点(9枚)	784-4
記(金100両坪山増右衛門差加金として請取) 綿貴 孝造 北信会社	(明治5) 申2月	縦紙・1通	784-4-1
記(金30両会社雑用として請取) 山岸精一郎(印) 北信会社御詰合中様	(明治5) 壬申7月14日	縦切紙・1通	784-4-2
記(前坂組八右衛門25両、宇木組平右衛門30両会社差加金として請取) 代人源兵衛(印) 北信会社御掛中	(明治5) 壬申2月5日	縦切紙・1通	784-4-3
記(西条村七郎右衛門35両、多吉30両差加金として請取) 七郎右衛門代兼多吉(印) 北信会社御掛中	(明治5) 壬申2月5日	縦切紙・1通	784-4-4
記(高井野村才右衛門50両、又右衛門30両差加金として請取) 才右衛門代兼又右衛門(印) 北信会社御掛中	(明治5) 壬申2月5日	縦切紙・1通	784-4-5
記(金60両差加金として受取) 上笠原村半兵衛 北信会社御懸中様	(明治5) 申2月5日	縦切紙・1通	784-4-6
記(金30両差加金として請取) 柏尾村伊兵衛(印) 北信会社御掛中	(明治5) 壬申2月5日	縦切紙・1通	784-4-7
記(水深村茂右衛門25両、桑名川村伊之右衛門30両、森村与右衛門60両商社差加金として請取) 右茂右衛門(印)、伊之右衛門代兼与右衛門(印) 北信会社御掛中	(明治5) 壬申2月5日	縦切紙・1通	784-4-8
記(金30両差加金として請取) 赤岩村善助(印) 北信会社御掛り中様	明治5年申2月5日	縦切紙・1通	784-4-9
預ヶ金差引勘定書控	明治6年酉9月7日	横長美・1冊	932
「村々金子預り切手紛失書入」 北信会社	明治4年辛未9月	1袋	946
差出申一札之事(下ヶ金請取切手暴動時焼失につき差出) 高井郡関沢村名主佐藤新十良(印)、組頭武田信之助(印)、百姓代宮崎文右衛門(印) 元北信会社御掛衆中 946-1 ~ 18は綴り一括、1は外れている	明治5年壬申2月19日	縦切紙・1通	946-1
差出申一札之事(商社差加金下ヶ戻受取、暴動時手形焼失につき差出) 高井郡天神堂村名主岡右衛門(印)、太郎右衛門(印) 北信会社御掛中様	明治4未年12月	縦切紙・1通	946-2
差出申一札之事(商社差加金15両割戻皆済、切手紛失につき差出) 山岸村源兵衛(印)、名主弥四郎(印) 北信会社御掛中	(明治4) 辛未10月25日	縦切紙・1通	946-3
差出申一札之事(商社差加金15両割戻皆済、切手失難につき差出) 高井郡夜間瀬村前坂組仁右衛門(印) 北信会社御掛中	明治4年辛未10月	縦切紙・1通	946-4
差出申一札之事(商社差加金15両割戻皆済、切手失難につき差出) 高井郡夜間瀬村前坂組七左衛門(印) 北信会社御掛中	明治4年辛未10月	縦切紙・1通	946-5
差出申一札之事(商社差加金50両割戻皆済、切手火災焼失につき差出) 高井郡夜間瀬村之内横倉組年兵衛(印) 北信会社御掛中	明治4辛未年10月26日	縦切紙・1通	946-6
差出申一札之事(商社差加金15両割戻皆済、切手災害焼失につき差出) 高井郡犬飼村東組文左衛門(印) 北信会社御掛中	明治4未年10月26日	縦切紙・1通	946-7
差出し申一札之事(商社差加金25両下ヶ戻受取、証書紛失につき差出) 松川村安右衛門(印) 北信会社御掛り中	(明治4) 辛未10月	縦切紙・1通	946-8

差出し申一札之事(商社差加金25両下ケ戻受取、証書紛失につき差出) 松川村平右衛門(印) 北信会社御掛中	(明治4) 辛未10月	縦切紙・1通	946-9
差出申一札之事(商社差加金50両割戻皆済、切手災害焼失につき差出) 高井郡柏尾村長八郎(印) 北信会社御掛中	明治4年辛未10月22日	縦切紙・1通	946-10
差出申一札之事(小沼村平右衛門・長助差出金皆済、証文焼失につき差出) 右両人組合惣代戸隠新田五郎次(印) 北信会社御掛り中	(明治4) 辛未9月26日	縦切紙・1通	946-11
記(商社差出金75両受取書紛失につき差出) 吉田村三左衛門(印) 会社御掛中様	明治4年末9月	縦切紙・1通	946-12
記(中山実之助出金25両切手見失いにつき差出) 新野村名主堀佐右衛門(印) 商社御掛り中様	明治4辛未年9月	縦切紙・1通	946-13
差出申一札之事(前坂村惣三郎商社差出金15両受取証文紛失につき差出) 右村役人弥惣治(印) 北信会社御掛り衆中	(明治4) 辛未9月23日	縦切紙・1通	946-14
差出申一札之事(差出金下ケ渡、切手紛失につき差出) 岩船村富右衛門(印)、九郎右衛門(印) 会社御掛衆中	明治5申年2月17日	縦切紙・1通	946-15
乍恐以書附奉願上候(会社差出金請取書面焼失につき差出) 南鴨原村久左衛門(印)、弥治右衛門(印) 中野北信会社御掛中	明治5壬申2月日	縦切紙・1通	946-16
差出申一札之事(五兵衛・惣七差出金下ケ渡受取、切手暴動時焼失につき差出) 高井郡岩井村名主金井市右衛門(印)、組頭小林庄兵衛(爪印)、百姓代山田清八(爪印) 元北信会社御掛衆中 差出人貼紙訂正	明治5年壬申2月19日	縦切紙・1通	946-17
差上申一札之事(彦右衛門会社差出金50両証書焼失につき差出) 水内郡上野新田村名主九郎右衛門(印)、組頭幸左衛門(印)、右彦右衛門 印 北信会社御掛り中	明治4辛未年9月20日	縦切紙・1通	946-18

商社金貸付

(商社金の県提出期限につき早々入金願) 元北信会社 茂兵衛様、与三郎様、源次様、残金皆済分伊介様、治兵衛様、与太郎様、残金皆済七左衛門様、辰三様、平吉様、金次様 472-1～13は括紐で一括	7月19日	横切紙・1通	472-1
(勘定関係証文の断簡) 元北信会社 近山勝右衛門殿	明治5壬申7月17日	切紙・1通	472-2
(下書・断簡類)		切紙・4枚	472-3
御賑恤金追印(宇木組政右衛門ほか22名書上)		横切紙・1通	472-4
寛(商社貸渡金16両返済の受取) 北信会社 更科村吉左衛門殿 抹消・切取あり	未8月22日	横切紙・1通	472-5
寛(商社貸渡金184両返済の受取) 北信会社 更科村吉左衛門殿 抹消あり	未8月21日	横切紙・1通	472-6
(書状下書、かねて対談の商社金今日返済願)		切紙・1通	472-7
(書状、責組下の竹下氏へ会社貸付金の返金取計願) 北信会社 北鴨ヶ原村御役人中様、至急 抹消あり	(明治5) 壬申6月23日	横切紙・1通	472-8
(書状下書力、県の催促により至急入金願) 元北信商社 詰合	(明治5) 壬申7月13日	横切紙・1通	472-9

内願書(中野町金蔵らへの贖金償還金を同人と為替取組している私へお渡し願) 中村啓造 北信会社御詰合中	(明治4) 辛未10月22日	豎切紙・1通	472-10
口上(差加金の者へ割戻につき会社貸付金早々返済、およびその件で会社へ出向願) 北信会社	6月24日	横切継紙・1通	472-11
(書状、御村方茂兵衛の勘定残金・証文を持参の上出張願) 中野町北信会社 岩船村御役人御中、至急 紙背に、御下金受取切手を暴動時に焼失した旨の一札下書あり	2月19日	豎紙・1通	472-12
(旧神官の世襲制を廃止し毎区公選制にして学校検査の上補任する旨申付書) 中野始八ヶ村右御名主中		豎紙・1通	472-13
酉八月改貸附金取調帳 北信會社	明治6年8月	横長半・1冊	503
覚(会社貸渡金100両と利息20両の受取) 北信会社惣代(印) 上条村大久保又五郎様 全体に墨引き	(明治4) 未8月20日	横切紙・1通	659
覚(会社貸付金25両返済請求書) 北信会社 小玉村重左衛門殿	(明治4) 未6月	豎切紙・1通	662
(書状、下木島村幾右衛門会社より拝借金100両の返済延期願、木島辺別して不融通ほか) 和泉屋新蔵、篠田高市(力) 山田庄左衛門様、尊下	9月19日	横切継紙・1通	668
借用申金子証文之事(100両、会社取扱金) 高井郡天神堂村借用人慶左衛門、請人力之助、同組頭重兵衛 北信会社御掛中	明治4年辛未12月	豎紙・1通	670
預時貸一寸手覚 北信会社出納方(印)	午7月	横半半折・1冊	675
覚(納金中の悪札返金迷惑、この札は北信会所江部村利兵衛より借用したもの) 平林村林之助、伴右衛門 中野北信会社御役人衆中様 675の丁間に挟込	(明治3) 午7月17日	横切紙・1通	675-1

商社事件

(書状、中野騒動後の帰国願却下の顛末、騒動に対する感慨、いずれ惣代の代人派遣願) 篠田市左衛門 山田庄左衛門様、山田理兵衛様、小林九之丞様 封筒とも	(明治4) 正月16日	横切継紙・1通	651
(書状、会社事件につき参上すべきだが、持病悪しく、名代傳右衛門遣わしのこと) (井上村より) 坂本幸右衛門 会社御一統衆中様、貴下 包紙とも、660と関連	9月20日	横切継紙・1通	665
御預金証文之事(104両3分余、会社仕埋方のところへ、御仕法立元金として) 北信会社惣代松川村平作(印)、中野村儀平(印)、東江部村庄左衛門(印) 中野県御役所端裏書「午閏十月二日御役所より御下ケ金証文之下書」	明治3庚午年閏10月	豎紙・1通	677
「東京贖金一件」 北信商社惣代市左衛門、竹蔵、清蔵 678-1~8在中	明治3年午2月~至4月	1袋	678
覚(東京行入用ほか計266両2分2朱余預り) 竹蔵 会社御役人中様 678-1~8は紙縫り紐一括	午11月	折紙・1通	678-1
覚(印形箱・仲間寄合代金ほか計24両1分2朱余書上) 竹蔵 会社様		横切継紙・1通	678-2
人足帳(板橋から中野まで) 伊那縣分庁中野局商社	明治3年午4月	横半半折・1冊	678-3
正贖金出納取調帳 北信商社	明治3年午2月ヨリ至4月	横長半・1冊	678-4
御陣内御買物書出帳 出役清蔵	明治3年午4月	横長半・1冊	678-5

東京在中各社雑用割合帳 北信控 (價金2万881両余内訳書上)	明治3年午4月	横長半・1冊	678-6
東京横濱商社入用書出帳 北信	明治3年午2月ヨリ	綴り・1点(3枚)	678-7
(北信商社関係書類入袋) 東京浅草八幡町信濃屋市左衛門 門店止宿、篠田市左衛門 信州中野局下山田庄左衛門様、 外御一同様	(明治3)	横長半・1冊	678-8
(書状、御拝借金返納方法について) 市左衛門 北信 御連中様	6月4日夕刻	1袋	679
(書状、金2105両差送り、商社事件先行き不安の心中、 など) 市左衛門(東京浅草より) 北信御社中様(山田 庄左衛門様、外御一同様) 包紙共、覚1通共	6月23日	横切継紙・1通	679-1
(書状、西信商社惣代啓二郎ら逮捕の知らせ、残り1万 両の才覚願、など) 市左衛門 北信御連中様	5月30日夜戌刻認	横切継紙・1通	679-2
才覚金覚 下札および「楮幣数訳」の貼紙あり		横切継紙・1通	679-3
覚(東京為替金元利ノ7728両2分の受取) 竹蔵 北信 会社御掛中 679-4に挟込	6月4日夕刻	横長半・1冊	679-4
証(去4月上納金不足分金札40両の受取) 伊那県出張 所 中野局付西江部村名主市左衛門殿 679-4に挟込	(明治3) 午7月2日	縦継紙・1通	679-5
(書状、商社の件、中野で山岸らと相談し、旧社中・貸付 金未返済者に督促したい旨) 間山小林九之丞 東江 部山田庄左衛門様、御酬 封筒とも	(明治3) 庚午6月2日	横切紙・1通	679-6
(書状、大心配の一条相談のため明朝出張願) (間山 村)小林九之丞 山田庄左衛門様、貴下	8月9日	横切紙・1通	685
「明治四年辛未五月 式萬兩被下金書類」 北信会社 紙片「明治四年北信会社関係書類」付着	8月9日	横切継紙・1通	718
(元)伊那縣元御管轄所五ヶ所商社江金式萬兩被下候 一件 信州東信商社人下縣村木内源太ほか16名、中 信商社人下戸倉村坂井賤雄ほか20名、北信商社人東江部村 山田庄左衛門(印)ほか13名 中野縣御役所 785-1-1~7 は同綴	明治4年辛未5月	1袋	785
覚(御下ヶ金2万兩・御拝借金1万兩の北信・中信・東信 各社へ割賦相済)	明治4辛未年5月24日	美・1冊	785-1-1
御下ヶ金割賦書(金2万兩の北信・中信・東信・南信・西 信各社へ割賦のこと) 飯島町宮下権四郎(印)ほか8 名	明治4年辛未5月25日	半・1冊	785-1-2
記(金1万兩の北信・西信・東信・中信・南信各社へ割合 書、拝借証文差出のこと)	明治4辛未年5月25日	半・1冊	785-1-3
差上申一札之事(上神林村藤巻啓二郎ほか御布告に 背き不都合一件、再糾問の結果、構い無しのこと承 知の請証文) 信州伊那縣支配所村々商社人名字名前 連名惣代 印、右同断 民部省聴訟御役所 785-1-5と6 は785-1-4と7の間に挟込	明治4未年5月	縦紙・1通	785-1-4
「御書附類」	明治4未年3月19日	縦紙・1通	785-1-5
(明24日4ツ時出頭命令書) 中野縣庁(印) 元北信商 社人中 包紙とも	辛未5月23日	包紙・1通	785-1-6
(一昨日差紙遣しにつき、商社人重立の者いまだ参ら ず早々昇庁するよう取計らうべきこと) 出納方 御掛屋町田儀平	5月22日	横切継紙・1通	785-1-6-1
		横切紙・1通	785-1-6-2

(東信商社人崎田村内藤太平ほか3名書上)		横切紙・1通	785-1-6-3
(22日出頭命令書) 中野縣庁(印) 元北信商社人重立之者両三員 包紙とも	辛未5月20日	横切紙・1通	785-1-6-4
(去巳年伊那県の命にて買いの商社懸、贖造二分金償い出金の者共24日出頭命令) 中野縣庁(印) 北信元商社人共 包紙とも	辛未5月19日	横切紙・1通	785-1-6-5
乍恐以書付奉申上候(金2万両御下ケにつき内訳等報告) 中野縣支配所信州佐久郡崎田村内藤太平、前山村加藤郷衛、五郎兵衛新田柳澤所平 伊那縣御役所	明治4辛未5月	豎紙(綴り)・1通(2枚)	785-1-7
(厚貝・下笠原・間長瀬・同新田分の金額書上)		横切紙・1通	785-2
乍恐以書付奉願上候(二分判一件経緯、贖金補償手段につき万般御指揮願) 北信商社人惣代東江部村山田庄左衛門(印)ほか1名、東信商社人惣代崎田村内藤太平(印)ほか1名、中信商社人惣代今里村更級久衛(印)ほか1名 中野縣御役所 785-3-1~5は同綴(6は挟込)、貼紙多	明治4年辛未5月	半・1冊	785-3-1
拝借証文之事(贖銭判引換につき金借用、下書)	明治4辛未年5月	豎紙・1通	785-3-2
乍恐以書付奉願上候(二分判一件経緯、贖金補償手段につき万般御指揮願、下書)	明治4辛未年5月	1綴(4枚)	785-3-3
乍恐以書付奉申上候(金2万両各社割報告) 伊那郡飯島町宮下権四郎ほか7名 伊那縣御役所	明治4未年5月	折紙・1通	785-3-4
記(金1万両各社へ割合額書上)		豎紙・1通	785-3-5
(2万両下され、前々1万両失金償い分は10年賦無利息、残り1万利用は即時返金のこと申付書) 中野縣庁 包紙とも	(明治4)辛未5月	横切紙・1通	785-3-6
(北信商社関係書状類入包み) 包紙には大古間駅高橋小右衛門から北信会社宛の物を使用、788-25の包紙を転用か		1包	788
(書状、商社の会議欠席願) 綿貫政平 山岸精一良様	7月13日	切紙・1通	788-1
(廻章、商社一件東京表落着、御役所よりも御沙汰につき御談判のため参会願) 北信商社会議所 宇木平右衛門様、前坂八右衛門様、中村儀十郎様、天神堂慶左衛門様、柏尾伊兵衛様、赤岩村善助様、上笠原村半兵衛様 包紙とも	6月14日	横切紙・1通	788-2
覚(御廻章ほか2通受取) 越村名主紋右衛門 中の北信会社	(明治4力)未10月15日	切紙・1通	788-3
(廻章、中野伊那両商社出金者に2万両賑恤につき割合のため村惣代出張願) 北信会所 一本木村、新井村、若宮村、金井村、間長瀬村、同新田村、上笠原村、下笠原村、壁田村、厚貝村、田麦村、七瀬村、ノ、右村々御役人衆中 包紙とも	(明治4力)未6月19日	横切紙・1通	788-4
(廻章、中野伊那両商社出金者に2万両賑恤につき割合のため村惣代出張願) 北信商社会所 中野町、松川村、竹原村、深沢村、夜間瀬村、上条村、戸狩村、寒沢村、菅組共、更科村、高遠村、間山村、新野村、篠井村、新保村、小田中村、ノ、右村々御役人衆中 包紙とも	(明治4力)未6月19日	横切紙・1通	788-5
(書状、商社人御用呼出あるが忌中ゆえ欠席、御役所へ執成願) 間山九之丞 会社御掛衆中様、御請	5月22日	横切紙・1通	788-6
(愚父死去に対し挨拶の礼、災害嘆息につき書付) 小林九之丞拜 中村啓造様 788-6に挟込		切紙・1通	788-7

(廻章、商社一件東京表落着、御役所よりも御沙汰につき御談判のため参会願) 北信商社議所 高井野村才右衛門様、同村又右衛門様 包紙とも	6月14日	横切継紙・1通	788-8
(書状下書、暑邪見舞の礼など) 後欠		横切紙・1通	788-9
(金子差引勘定書、商社貸付金力) 切取あり		縦紙・1通	788-10
覚(御状1通受取) 上新田役元 北信会社	6月22日	切紙・1通	788-11
(廻章、商社事件皆済厳命につき談判のため会社へ出会願) 元北信会社 岩舟村八兵衛様、宇木村源兵衛様、平右衛門様、前坂村八右衛門様	7月13日	横切継紙・1通	788-12
(書状、今夕須坂へ罷越すため万事御勘弁願) 青田竹蔵 篠田市右衛門様、高橋小右衛門様	6月4日	横切紙・1通	788-13
おほへ(宿泊・賄代、酒肴代等受取) 富田屋治兵衛上	(明治4)末12月22日	横切継紙・1通	788-14
(書状、余儀なき御用で長野出張につき帰宅の期日未定のご承知願) 長野出張宮下二而、高橋清蔵 北信会社御掛御中 包紙とも	2月17日	縦紙・1通	788-15
(不勤の詫書、金20両借用願) 細野拜 山田君、小林君、御出張御中、御直披	27日	横切継紙・1通	788-16
御請(持病のため商社事件での出張はできない旨)(井上)坂本幸右衛門 北信会社御一統様 封筒とも	申7月13日	横切継紙・1通	788-17
(書状、ご依頼の初調達、快晴次第通船で出荷、よろしく取計願) 柏尾村長八郎 中野町田儀兵衛様、山田庄左衛門様 包紙とも	12月16日	横切継紙・1通	788-18
(書状、すぐにも初出荷の積もりがいまだ等閑につき来月まで延期願) 柏尾村長八郎 中野中町町田儀兵衛様、尊下	12月29日	横切継紙・1通	788-19
(内山村借用人ら呼出書、会社貸付金のことで県より御沙汰につき) 北信会社 (内山村御役人衆中)	申2月9日	横切継紙・1通	788-20
(廻章、商社事件皆済厳命につき談判のため会社へ出会願) 元北信会社 西条村七郎右衛門様、多吉様、高井野村才右衛門様、又右衛門様 包紙とも	7月13日	横切継紙・1通	788-21
(包紙のみ) 間山村御県下出張先より、小林九之丞 北信御掛中 書状在中とあるが、中身なし			788-22
乍恐以書付奉申上候(滞納分1万5千両につき貸付先と交渉中のため返済猶予願) 元北信商社人三拾四人惣代小林九之丞、中村啓蔵、細野平作、高橋小右衛門 長野県御役所	(明治5)壬申7月10日	仮綴・1冊	788-23
(書状、県庁御白洲で北信・中信商社惣代に貸付金早急返済厳命につき相談取斗願) 小林九之丞 元会社御掛御一同様	7月4日	縦罫紙・1通(2枚)	788-24
(書状、御書面の趣に驚入、御一同衆議検討願) 大古間宿高橋小右衛門 中野町会社御出勤御中	(明治5)壬申7月6日	縦罫紙・1通	788-25
(賑恤金2万両割合書、中野縣・伊那縣・中信・東信・塩尻分書上) 790はこよりで一括		縦紙・1通	790-1
(廻状写、御雇英国人教師通行につき無礼なきよう取締のごと) 中野縣御役所	未6月28日	縦紙・1通	790-2
(割高償金額覚)		縦紙・1通	790-3
御賑恤金配当御請書之事(下書、中野伊那兩縣・北信商		縦紙・1通	790-4

社分など割合方書上)			
(東江部村庄左衛門・理兵衛ほか4名、商社役員申付書写) 伊那縣・中野廳	5月10日	豎罫紙・1通	790-5
午閏十月廿八日改日延書請取置候分(身元差加金など村・人別書上)	(明治3年)	半・1冊	790-6
(社外差出金2万両余と利息より贖金償金差引残永1万貫余書上)		豎切紙・1通	790-7
(市左衛門東京行につき銀台・別金など仕訳届書雛形) こより紐付(綴り崩れ)		豎紙・1通	790-8
(会社貸付金元利返済督促状、下書)		折紙・1通	790-9
(北岡・立ヶ花・小沼ほか村名書上)		折紙・1通	790-10
(追印願、岩船村九郎右衛門ほか10名)		折紙・1通	790-11
(村名書上、高井郡栃倉村、亀倉村、米子村、塩野村)		切紙・1通	790-12
(御憐恤金割方勘定書)		切紙・1通	790-13
(見舞羊羹包紙、2146両の内訳書など書込あり) 商社会所の捺印		豎紙・1通	790-14
(日別食事書上、みやげ、酒代等書上とも)		切紙・1通	790-15
覚(計見新田村3名分ノ金90両書上)		切紙・1通	790-16
(塩屋七郎右衛門出京につき申上書、商社をめぐる大参事、諸豪農の動向など) 北信会社詰合中 東京御出張先(東京馬喰町式丁目鍵屋伊左衛門殿御止宿)山田理兵衛様、小林九之丞様 封筒とも、ただし封筒には入れず帯封で一括	9月14日	半・1冊	790-17
覚(贖金取扱の伊勢屋の名前は県庁に問い合わせるべき旨書面へ書き加え願) 790-17に挟込		豎紙・1通	790-17-1
(中野局下村32ヶ村・組・町書上)		豎紙・1通	790-18
(商社発行為替手形につき村々へ触渡願、下書)		折紙・1通	790-19
(出金人・利銀等書上) 全面墨消		帳崩れ・1通	790-20
(貸金元帳ノ金2万1036両書上)		折紙・1通	790-21
(新社中15人出金高2925両、古社中出金高5850両、中野町貸付高2774両の差引勘定書)		折紙・1通	790-22
覚(高井郡高石村嘉右衛門分金15両、治左衛門分金15両書上) 上		豎切紙・1通	790-23
覚(高井郡計見村出金人11名書上、ノ金307両2分)		豎紙・1通	790-24
覚(伊那縣御達書1枚請取) かへ屋甚八代宗吉(印) かさ様御使中	午8月11日	切継紙・1通	790-25
(小古間村3名の出金額、八兵衛借金返納すべき旨、など書上)		切紙・1通	790-26
乍恐以書付御届奉申上候(御雇教師キング旅行先触到来につき届、下書) 当御支配所北国街道野尻宿、柏原宿、大古間宿、牟礼宿、右四ヶ宿代兼野尻宿[]市右衛門中野県御役所 中村啓造の池田十郎兵衛、宮川茂作宛書状の包紙を転用	(明治4) 辛未6月29日	豎紙・1通	790-27
(反古紙等一括、字の練習、ろくろ首、蝸牛ほか) 重ね			790-28

て折畳			
(小書付、「喜多留、新保、矢嶋、夜間瀬、押切村」) 790-29-1~3を挟込		切紙・1通	790-29
(書面1通受取書) 米持村権蔵 北信会社御掛衆中様	(明治4)末9月18日	切紙・1通	790-29-1
(復古紙を貼り合わせたもの、横切紙の上に小切紙2枚)			790-29-2
(元利金返済額等書上の小紙片、含無記載)		小切紙・5枚	790-29-3
(東信商社人17名書上)		横切紙・1通	790-30
(金額書上、字句練習)		折紙・1通	790-31
(諸入用・賃金償など仕埋・見込のこと尋書、見積書)		切紙・2枚	790-32
(元北信会社回章ほか一括)		袋入・1袋	791
(廻章、商社事件の布告につき中野町富田屋へ出張願) 北信会社 小林九之丞殿、山田庄左衛門殿、篠田修助殿、関五左衛門殿、坂本幸右衛門殿、青木源兵衛殿、片塩増右衛門殿 包紙とモ	8月1日	横切紙・1通	791-1
(北信元商社より貸付金残名面書上、5名) 元北信会社		横切紙・1通	791-2
(書状、元北信会社より別紙名面の衆中への貸付金を中野町へ出張して返金すべし) 北信元会社 北見村、南鴨ヶ原村、関沢村、上新田村、右戸長副御中	第8月2日	横切紙・1通	791-3
記(御書面1通拝見) 中村高盛儀十郎 中野会社衆中様	8月2日	切紙・1通	791-4
記(御書面1通受取) 新井村戸長 中野商社衆中	8月2日	切紙・1通	791-5
(北信商社関係書類一括) 792-1~3在中袋と紐、中川足袋の袋使用		1包	792
(北信商社関係書状・廻状等一括) こより紐一括		1束	792-1
村々廻状順控帳 北信商社会所 792-1-2~10を包込	明治3年6月改	横長半・1冊	792-1-1
(北信商社関係書状等一括) こより紐一括		1束	792-1-2
おほへ(羽毛1反ほか代金1両受取) 又 富田や様	(明治3年)閏10月	横切紙・1通	792-1-2-1
覚(家紋入り羽織ほか代金1分2朱余書上) 松葉屋理八 富田屋松之助様	7月14日	横切紙・1通	792-1-2-2
(書状、別紙書付の趣承引されたきこと、明日御出張願) 町田儀平 山田庄左衛門様、篠田市左衛門様	5月21日	切紙・1通	792-1-2-3
(書状、朔日より伏せりにつき参上できず) 宇木源兵衛 商社会所御掛中様	5月23日	縦切紙・1通	792-1-2-4
(書状、家内無人につき綿屋孝造を名代に頼む) (坪山村) 増右衛門 御会所御一同様(北信御会所山田理兵衛様) 包紙とモ	5月22日	横切紙・1通	792-1-2-5
(書状、商社事件の会合不参加ご容赦願) (井上村) 坂本幸右衛門 北信商社御一統様、尊報	5月23日	横切紙・1通	792-1-2-6
覚(廻状4通受取) 柏尾村役元 端裏書に賃金情報あり	(明治4)末10月15日	切紙・1通	792-1-2-7
(廻状、会社貸付金未返済につき明日出会願) 北信会社 金次様、與吉郎様ほか6名 越村ほか7村書上の切紙を挟込	9月23日	横切紙・1通	792-1-2-8
記(回章受取) 赤岩村役元(印) 商社御詰人中	(明治4)末10月15日	切紙・1通	792-1-2-9

(書状、叔母・りん尊宅へ罷出につきご厄介願、送籍状受取) 飯山町牧野長蔵 間山村小林九之丞様	2月1日	横切紙・1通	792-1-2-10
(廻文、商社出金者へ2万両賑恤につき割合のため出張願) 北信商社会所(印) 吉田村ほか11か村、右村々御役人衆中 包紙とも	(明治4)未6月19日	切継紙・1通	792-1-3
(廻文、商社出金者へ2万両賑恤につき割合のため出張願) 北信商社会所(印) 立ヶ花村ほか16か村、右村々御役人衆中 包紙とも	(明治4)未6月19日	切継紙・1通	792-1-4
(廻文、商社出金者へ2万両賑恤につき割合のため出張願) 北信商社会所(印) 越村ほか22か村、右村々御役人衆中 包紙とも	(明治4)未6月19日	切継紙・1通	792-1-5
覚(会社貸付金50両返済請求) 北信会社 内山村浅右衛門殿		豎切紙・1通	792-1-6
(賑恤金2万両南信・西信・北信・中信・東信割合書上)		豎切紙・1通	792-1-7
(書状、会社諸勘定規定取り決めに罷出るべきだが、持病その他につきご容赦願) (井上村)坂本幸右衛門 会社御一統衆中様、御報	9月2日	横切継紙・1通	792-1-8
(廻章、商社事件相談につき中野袋屋へ出張願) 会社(印) 西条村七郎右衛門様、同多吉様、岩船村八兵衛様(印)、上 笠原村半兵衛様(印)、宇木組平右衛門様、同八右衛門様 包紙とも	正月27日	横切継紙・1通	792-1-9
(廻章、商社一件東京表着落、御役所よりも沙汰あり、相談のため出会願) 北信商社会議所 水沢村茂右衛門様(印)、桑名川村伊野右衛門様、森村与右衛門様(印)、柏尾村伊兵衛様(印) 包紙とも	6月14日	横切継紙・1通	792-1-10
「東京表惣代篠田氏より来書在中」 こより紐一括、包紙に大古間宿高橋清蔵より柏原宿中村啓造様宛の包紙を使用		1包	792-2
(書状、暴動事件慨嘆、帰村願叶わず、審理は民部省から刑部省へ、出京入用差立願) (篠田)市左衛門(山田)理兵衛様、責机下 封筒とも	3月3日	横切継紙・1通	792-2-1
(書状、帰国嘆願書・手続書・滞京人名日数取調帳を提出、交替者の準備方願、暗患者の暴動嘆かし) (從東京)篠田市左衛門 北信会社御連中様 封筒とも	2月17日	横切継紙・1通	792-2-2
(書状、山崎様御省へ掛け合うも帰村願認められず、今後は郡中関係のことは宥免されたし) (從東京)篠田市左衛門 山田理兵衛様 封筒とも	2月1日	横切継紙・1通	792-2-3
(書状、至急出張願、弊社出張惣代帰村、御金御下の見通し) 西信会社 北信会社御中 包紙2枚入り、表包紙上書「東江部村山田理兵衛様 松川村細野平作」	2月23日	横切継紙・1通	792-2-4
(書状、西信会社の書状に対し出張でき難し、然るべき返書取り計らい願) 細野平作 山田理兵衛様 792-2-4の表包紙は本来こちらのものか	2月26日	豎紙・1通	792-2-5
(明治4未正月八日民部省へ帰国願書、同10日伊那中野県御出張へ差出書面、綴り) 792-2-7に挟込	(明治4年正月)	仮綴・1冊	792-2-6
(明治4未年2月8日落合大参事様へ差上書面、救窮会社手続取調書、5か所惣代の落合大参事宛帰国許可嘆願書、綴り)	(明治4年2月)	仮綴・1冊	792-2-7
記(紙代、人足代ほか計2分余書上) 792-3-1~4は3-1に挟込一括		横長半・1冊	792-3-1

記(朝飯・酒代、柳長弘、満会振舞料ほか計15両2朱余書上)		横長半・1冊	792-3-2
覚(飯・酒代ほか計8両3分1朱余受取) 柳長 上	9月8日	横切継紙・1通	792-3-3
覚(朝飯・酒代ほか計1両3分2朱余書上) 柳長 上	10月8日	横切継紙・1通	792-3-4

諸入用

(北信会社関係帳面・書状類こより紐一括)			787
諸品御通(炭、真木代) 井賀屋酒店 北信会社様、御取次衆中	明治3年庚午7月吉日	横半々・1冊	787-1
覚(諸払書上)		横長半・1冊	787-2
(金額書上、富田屋、鈴泉寺、家賃ほか)		縦紙・1通	787-3
覚(草鞋、酒、弁当代等書上、山田召仕長助中之条行入用)	(明治4)	切紙・1通	787-4
覚(東京御蔵前八幡町信濃屋市左衛門宛の封金、金札計200両の預かり) 小沼平八 北信会社御中	(明治4) 辛未3月27日	縦紙・1通	787-5
「辛未七月 書出」	(明治4)	袋入・1袋	787-6
覚(御膳10人前、上酒等代金受取) 柳長 会所様	6月29日	横切紙・1通	787-6-1
覚(大平物、井物等代金1両1分書上) 湖月徳五郎 上衆中様		切紙・1通	787-6-2
覚(すの木、松板等代金書上) 小升や源五右衛門 上	12月17日	切継紙・1通	787-6-3
覚(桐ほか代金書上) 坂本屋定五郎 上	6月29日	切紙・1通	787-6-4
覚(みそこしほか代金2朱175文書上) 万や勳兵衛会社様	(明治4) 未6月晦日	横切継紙・1通	787-6-5
覚(味噌、雲龍、酢代金1両2朱200文書上) 綿屋酒店 商社会衆中様	(明治4) 未7月	切紙・1通	787-6-6
覚(麻糸代金3朱余書上) 桑吉 北信会社様	(明治4) 未7月朔日	切紙・1通	787-6-7
覚(油、苧、酒代金書上) 奈良や寅吉 会所御取次衆中様	(明治3) 午12月17日	折紙・1通	787-6-8
覚(上々土佐紙代金2分3朱45文受取) 指物屋弥兵衛会社様、御取次衆中様	(明治4) 未6月29日	切継紙・1通	787-6-9
覚(摺鉢、井等代金1両1分116文書上) 芝屋伊介 北信会社御掛中	6月29日	横切紙・1通	787-6-10
覚(氷豆等代金2分1朱余書上) かミ屋太七(力) 上	(明治3) 午極月18日	横切紙・1通	787-6-11
覚(鋌釘、五徳、十能等代金38匁2分260文書上) なへや友七 北信会社様	(明治4) 未6月29日	横切紙・1通	787-6-12
覚(蠟燭、半紙等代金3両3分2朱309文書上) 加賀屋佐助 北信商社御役人衆中様	(明治4) 未6月29日	横切継紙・1通	787-6-13
覚(酒肴、宿泊等代金9両2分508文書上) 富田屋治兵衛 上	7月	横切継紙・1通	787-6-14
覚(爛徳利、土瓶等代金973文書上) 大光や栄作 上	(明治4) 未7月	横切継紙・1通	787-6-15
覚(草紙紙代金8匁受取) 綿屋惣兵衛(信州中野東町) 上	(明治4) 未7月朔日	切紙・1通	787-6-16

覚(茶、茶道具代金1両2分724文書上) 江辺屋茶店 北信会社様	6月晦日	横切継紙・1通	787-6-17
覚(江戸半紙代金2両2朱456文受取) 塩屋七郎右衛門 上	3月晦日	切継紙・1通	787-6-18
覚(内ろりのりちん2朱書上、塗賃か) 左官清蔵 上	(明治3)	切紙・1通	787-6-19
覚(茄子、白瓜等代金2朱602文書上) 和泉屋元兵衛 上	6月29日	切紙・1通	787-6-20
覚(手紙、土佐紙、蚊帳等代金3両2朱448文書上) 富 田屋松太郎 北信会社様	7月朔日	横切紙・1通	787-6-21
覚(手紙等代金5分2朱500文書上) 青木屋儀兵衛 会 社様	極月	切継紙・1通	787-6-22
覚(漬物桶代金1貫150文代金書上) 桶工金蔵 上		切紙・1通	787-6-23
覚(手丸仕立、酒等代金1両1分2朱180文書上) 古久 ち精介 商社御会所		切紙・1通	787-6-24
覚(草鞋10足代金書上) 芝仁 上	(明治4)未6月29日	切紙・1通	787-6-25
おほへ(卵35個代金1分2朱300文書上) 八百金 商社 御役人衆中様	12月日	切継紙・1通	787-6-26
覚(焼酎、塩等代金45匁19貫880文書上) 袋屋店 北 信御会所様	(明治3)午12月	横切継紙・1通	787-6-27
覚(豆腐、関沢神戸内山夫代金1分2朱余書上) と うふ佐市 商会社御勝手衆中		切継紙・1通	787-6-28
覚(油煙墨、硯等代金1分1朱6匁3分書上) 菱屋店 会 社御衆中様	11月19日	横切紙・1通	787-6-29
覚(櫓、炉縁代金書上) なこや庄助(中壘中町奈古屋) 御役所	12月19日	切紙・1通	787-6-30
覚(金1分1貫650文の受取) やぶ金 江へ名主様		切紙・1通	787-6-31
覚(白寄糸ほか代金2朱656文書上) 山嶋や店 会社 御掛衆中様	(明治3)午極月18日	横切継紙・1通	787-6-32
覚(午年ノ高等書上) 塩屋七郎右衛門 上	6月29日	切紙・1通	787-6-33
諸品買入帳 北信会社	(明治4)辛未6月	横長半・1冊	787-7
会社入費払方書立 諸勘定帳	(明治4)辛未7月朔日	横長半・1冊	787-8
(書状、お願いしていた 印此者にお渡し願) 井上 坂本幸右衛門 江部二而山田庄左衛門様、机下	8月3日	切紙・1通	787-9
覚(金200両受取) 坂本幸右衛門、夫留次郎 山田庄左 衛門様 787-9に挟込	8月3日	切紙・1通	787-10
覚(商社差出金の内200両受取) 西江部村篠田市左衛 門 山田理兵衛様	明治4未年7月20日	切継紙・1通	787-11
(書状、病気により出勤できないため戸籍一件様子お 聞かせ願、金100両借用願、会社差出金について)	8月	豎紙・1通	787-12
(商社差出金元利勘定覚書力、ほかに漢詩「北信会社 別荘」) 一部切取		折紙・1通	787-13
「請取手形入」 北信会社		1袋	789
御通帳(墨ほか計金12両2分余書上) 菱屋儀平(印)	明治3年庚午正月吉日	横半半折・1冊	789-1

北信御會社御取次中 (受取書類畳込一括) 789-2-1~27は畳込一括			789-2
覚(会所家質、小使給分、人足賃ほか計46両3分3朱受取) 中野村精一郎(印) 北信御會社 一番外側	(明治3) 午7月13日	横切継紙・1通	789-2-1
覚(煙筆、草履ほか計3朱余書上) 高社屋民左衛門 商社御會所御出張衆中様	(明治3) 午7月	切継紙・1通	789-2-2
覚(かが金あふらさし、丸ほん計2分3朱余書上) 小みや源五右衛門(印) 上	(明治3) 午7月	切紙・1通	789-2-3
覚(油計10合代金2分2朱書上) ならや寅吉 北信商社會所御掛り様	(明治3) 午7月	切紙・1通	789-2-4
覚(味噌こしほか代金計1分余書上) 萬や勘兵衛 會所様	(明治3) 午7月12日	切継紙・1通	789-2-5
覚(細字書筆4本代金3匁書上) 升屋重左衛門 商社御掛衆中様 789-2-6~12は畳込一括、789-2-6と7はこより紐綴り一括	(明治3) 午7月	切紙・1通	789-2-6
覚(真画1対ほか代金計800文) 長嶺や平助 商社御役人衆中様	(明治3) 午7月	切継紙・1通	789-2-7
覚(焼判代金5匁書上) 松本屋徳兵衛 いかやニテ會所様	(明治3) 午7月14日	切継紙・1通	789-2-8
覚(洪紙代金1兩余受取) 小泉忠太郎 商社御會所	(明治3) 午7月	切紙・1通	789-2-9
覚(かみたちほか代金計1分余書上) 経師屋多作 商社會所様	7月14日	切紙・1通	789-2-10
覚(清水堂水筆代金2朱余受取) 中邨 山田様	7月14日	切紙・1通	789-2-11
覚(上々西之内代金7兩2分2朱余受取) 柳田屋忠兵衛(印、「善光寺大門町」) 上	(明治3) 午5月24日	切紙・1通	789-2-12
覚(紙代計43兩2分3朱余受取) 内山村名主磯右衛門(印) 上	(明治3) 午7月14日	切継紙・1通	789-2-13
覚(たらいほか代金2分1朱書上) 宇田屋藤五郎 上 789-2-14と15はこより紐綴り		切紙・1通	789-2-14
覚(水桶・手桶・丸桶代金1兩1分3朱書上) 宇田屋藤五郎 上		切紙・1通	789-2-15
覚(東京表にて買物代、硯箱ほか代金計3兩3朱余受取) 大古間宿扇屋清蔵(印) 中野會社御衆中	(明治3) 午5月9日	切紙・1通	789-2-16
覚(紙代金2兩2分3朱余受取) 関沢村組頭甚右衛門(印) 北信御會社 789-2-17と18はこより紐綴り	(明治3) 午7月13日	切継紙・1通	789-2-17
覚(紙代金2兩2分3朱余、10兩受取、差引7兩1分300文過金) 関沢村組頭甚右衛門(印) 北信御會社	(明治3) 午7月13日	切継紙・1通	789-2-18
覚(品物代金1兩2分受取) 駿河屋弥吉(印、「善光寺大門町」) 上様 289-2-19~25はこより紐綴り	6月22日	切紙・1通	789-2-19
覚(極上土州半紙・唐扇ほか代金2兩2分3朱余受取) 筆屋久右衛門 上	6月22日	切継紙・1通	789-2-20
覚(木地呂箸箱ほか代金2兩1分1朱受取) 能登屋與吉 上	6月22日	横切紙・1通	789-2-21
覚(包丁・五徳ほか代金3兩1分3朱受取) 鍋屋久左衛門 上	6月22日	横切継紙・1通	789-2-22

覚(水入ほか代金4両1朱余受取) 善光寺町藤屋嘉助 上	午6月22日	横切継紙・1通	789-2-23
覚(股引・脚絆代金計1両2朱余受取) 米屋寅兵衛 上 「理兵衛自分品」と注記あり	6月22日	切紙・1通	789-2-24
送り(釜・罎・五徳ほか差し送り) 鍋屋久左衛門(印、 「善光寺上後町鍋久」) 商社御會所	午6月25日	切継紙・1通	789-2-25
覚(炭8俵代金1両1朱余受取) 井賀屋孝兵衛(印、「信州 中野」) 會社御掛中 789-2-26と27は289-2-19の綴りに 挟込	午7月14日	切紙・1通	789-2-26
覚(黒漆塗・錠鍵付の品物代金2両受取) 籠屋権四郎 (印、「江戸御傳馬式」) 高橋様	午4月18日	切継紙・1通	789-2-27
「商社諸受取書物入」 こより・包紙とも、包紙は書状反 故を使用		1包	789-3
覚(印形・朱肉等代金受取) 畑川(印、「神田通新石町印 判師畑河」) 上	4月15日	横切紙・1通	789-3-1
覚(板木彫代金5両受取) 畑川(印、「神田通新石町印判 師畑河」) マルキ様	4月12日	切紙・1通	789-3-2
覚(美濃紙・板木彫代金28両2朱受取) 畑川真治郎 (印、「神田通新石町印判師畑河」) 丸喜様	4月12日	横切紙・1通	789-3-3
覚(各種印鑑代金差引勘定) 印判師(印、「紀州御用江 戸橋四日市御印判師豊島久吾」) 伊那県御役所様	(明治3)午4月9日	豎紙・1通	789-3-4
覚(増田改二分判1650両、へ印3700両ほか預り書) 小松や義兵衛 丸喜竹蔵様	3月2日	切紙・1通	789-3-5
覚(客1人ほか宿泊等代金3分受取) ふしみや庄左衛門 門(印、「江戸馬喰町老丁目」) 上	4月26日	切継紙・1通	789-3-6
覚(代金11両1分3朱受取) ふしみや庄左衛門(印、「江 戸馬喰町老丁目」) 高橋様	(明治3)午4月25日	切継紙・1通	789-3-7
覚(宿泊代(力)受取) 屋久左衛門(印、「神田」) 鍋孝 様 789-3-8と9は重ねて折畳	(明治3)午4月	切紙・1通	789-3-8
覚(9泊代金1両2分3朱受取) ふしみや庄左衛門(印、 「江戸馬喰町老丁目」) 丸木様	4月25日	切紙・1通	789-3-9
覚(鉄錠前付品物代金2両受取) 高嶋屋佐兵衛(印、「江 戸室町」) 上	3月14日	切紙・1通	789-3-10
覚(極上白細代15両2朱受取) 柏屋太郎兵衛 上	3月15日	切紙・1通	789-3-11
(差引書書損分綴、東京出店小松屋・小橋屋) 北信商 社		1綴	789-3-12
覚(見世土蔵など3ヶ年貸につき家賃金100両受取証 文) 中野村彦兵衛(印)、同立会請人儀平(印) 北信會 社御掛中	明治3年午7月13日	豎紙・1通	789-4
覚(家修復、畳表替など代金115両受取) 中野村井賀 屋孝兵衛(印) 北信會社御懸衆中	(明治3)午7月	豎切紙・1通	789-5
覚(清水極上250枚ほか代金差引3両書上) 三崎屋孝 助(印) 上 789-6-1~15は巻込一括	5月24日	横切継紙・1通	789-6-1
覚(大奉書300枚代金5両受取) 筆屋久右衛門(印、「和 漢諸流・善光寺上後町・御筆墨書」) 上	5月25日	横切紙・1通	789-6-2
覚(名古屋扇子ほか代金1両1分余受取) 筆屋久右衛 門(印、「和漢諸流・善光寺上後町・御筆墨書」) 上	5月24日	横切継紙・1通	789-6-3

覚(舶来蟻(カ)代金2両1朱余受取) 柳田屋忠兵衛 (印、「善光寺大門町」) 上	5月24日	横切継紙・1通	789-6-4
覚(仲三なし地粉代金60匁受取) 越前屋権七(印、「善 光寺上西町」) 上 789-6-6とこより紐綴り	午5月25日	横切紙・1通	789-6-5
覚(二寸肉入十代金3分、内164文濟) ふじや治助(印、 「善光寺大門町」) 上	5月25日	横切継紙・1通	789-6-6
覚(清風代金3分受取) 喜多屋平左衛門(印、「善光寺大 門町」) 上	5月24日	横切紙・1通	789-6-7
覚(二分金300両の正金猪幣引換料3両受取、松代伊勢 町菊屋伝兵衛へ渡す) 井上村幸右衛門(印)	午3月21日	豎切紙・1通	789-6-8
午正月十四日発出本縣行本馬式疋駄賃払控(計3両3 分3朱余受取) 七郎右衛門(印)	(明治3)午2月5日	横長半・1冊	789-6-9
覚(小筆筒代金8両受取) 中野村太吉(印) 北信會社 御掛中	(明治3)午5月20日	横切紙・1通	789-6-10
覚(拝借金返納東京行人馬賃計14貫967文受取) へ き田村彦兵衛	(明治3)午6月	折紙・1通	789-6-11
中之條行并善光寺買物附立帳 出役理兵衛、同九之丞	午6月20日~23日	横長半・1冊	789-6-12
覚(朱肉代金1両受取) 坪山村敬助(印) 江部村理兵衛 様	6月29日	横切紙・1通	789-6-13
覚(御金箱4ツ代金1両受取) 大工久太郎 會所中様	午7月13日	横切紙・1通	789-6-14
本縣ヨリ東京迄御金太賃并才領賃割合帳(北信控)	明治3年年4月	横長半・1冊	789-6-15
覚(手形紙1貫920目代金7両2分3朱余受取) 神戸村 組頭茂左衛門(印) 御會所	(明治3)午7月11日	豎紙・1通	789-7

その他

口上(持病悪しく書面にてお詫びのこと) 井[上村]坂本 幸右衛門 中野山田庄左衛門様、外御一統中様、貴答	9月16日	横切継紙・1通	660
(書状、小見村傳兵衛・勘兵衛いまだ横浜より帰宅せず、 代人指上につき取り計らい願) (從善光寺)出張先町 田儀兵衛 中野町会社御中 紙背に中野・立ヶ花ほか金子 書上あり	8月21日	横切継紙・1通	663
(文字試し書)		切紙・2通	666
(手紙受取書、仁儀御用につき) 菅役元(印) 中野町商 社様	未7月22日	切紙・1通	667
(書状断簡) 後欠	辛未秋十五夜	切紙・1通	671
(反古紙等一括、人別永高書上ほか) 帯封共、672-1~5は 紅白水引で一括			672-1
(廻状、商社一件東京表落着、相談のため出會願) 北信 商社会議所 商社御中、中野武七様、同治兵衛様、同佐左衛 門様、松川村万次郎様、同平六様、岩船村八兵衛様、西条村 七郎右衛門様、同多吉様 包紙貼付	6月14日	横切継紙・1通	672-2
(断簡、下書、反古紙等一括) 疊込			672-3
(書状下書、中野町が災害から立ち直り平穩化する様子 など) 「紅梅」と印刷した紙で一括		横切継紙・1通	672-4

(薬ウルユス用法書、裏に菊等絵入の袋、木屑か煙草のようなもの一括)			672-5
諸事録(東京往復経費計20両余) 信州中野局下喜兵衛	明治3年午7月	横半半折・1冊	673
(書状、年賀挨拶) 西信会所 北信会所御衆中様 包紙とも	正月日	折紙・1通	674

証券投資・銀行業

横浜生糸合名会社

(封筒一括、横浜生糸合名会社営業報告) 横濱市本町四丁目五拾八番地横浜生糸合名会社 東京市日本橋区濱町三丁目一番地山田荘左衛門殿		封筒・1点	496
(書簡、第12回通常総会議決のこと通知、営業報告送付のこと) 横浜生糸合名会社業務執行社員伊藤富治郎 山田荘左衛門殿	明治38年7月26日	状・1通	496-1
横浜生糸合名会社第拾貳回営業報告 横浜生糸合名会社業務執行社員伊藤富治郎 山田荘左衛門殿	明治38年7月	冊子・1冊	496-2
(米国綿花試験的輸入について報告) 横浜生糸合名会社業務執行社員伊藤富治郎 山田荘左衛門殿 496-2に挟込	明治38年7月25日	ピン留一括・1点	496-3

第六十三国立銀行

(当銀行頭取更迭報告書) 松代第六十三国立銀行頭取山田荘左衛門(印、「松代第六拾三国立銀行之印」) 大蔵大臣伯爵松方正義殿	明治23年5月	罫罫紙・1通	580
(頭取選挙用紙、日野中治右衛門代り長野県平民山田荘左衛門) 580に挟込	明治23年5月	罫切紙・2通	580-1

信濃銀行

各店見積欠損調(本店・東京・松本・大町・上諏訪・伊那・千歳・平野・屋代) 洋紙ペン書き	明治38年12月末日現在	ノート断簡・1枚	1074
---	--------------	----------	------

信濃貯金銀行

明治十五年下半季第三回半季實際考課状 信濃貯金銀行	明治15年	綴り・1点(23頁)	681
---------------------------	-------	------------	-----

信濃電気株式会社

(書状、第13回株主総会開催の通知、貸借対照表・損益勘定表・利益分配案とも) 上高井郡須坂町信濃電気株式会社取締役社長小野木源次郎 下高井郡平野村山田庄左衛門殿 封筒とも	明治42年4月14日	罫紙・2通	705-24
第拾五期事業報告書 信濃電気株式会社	明治42年10月～43年3月	冊子・1冊	987

江部製糸場

記(真綿340匁代金6円18銭受取) 廣田商店(印、「上高井郡須坂町」) 江部製糸場御中 郵便物受領証(平野村山田亀吉 千葉県木更津本町山田丑太郎)を貼付	3月6日	竪切罫紙・1通	647
---	------	---------	-----

鉾山

明治四拾年産額(全国金銀算出高書上)	(明治40年)	竪罫紙・1通	579
--------------------	---------	--------	-----

堤防組合惣代

年代 内容年代 宝暦9（1759）年～明治8（1875）年

成立年代 安政5（1858）年～明治8（1875）年

数量 312点

歴史

山田家の所持地が展開する延徳耕地は洪水常襲地帯であった。その地形的理由としては、第一に南北に流れる千曲川が立ヶ花と蟹沢を結ぶラインより北側で急に狭くなっていること、第二にこのあたりで千曲川に流れ込む支流が多く（主なもので浅川、鳥居川、松川、篠井川がある）増水がはげしいこと、の2点があげられる。また、延徳耕地の場合、その中央を流れる篠井川が千曲川の増水時に逆流して周辺一帯を冠水させることも常であった。

このような条件に対して、村々は当初1村ごとに小規模な治水工事を施すにとどまっており、延徳耕地全体の治水対策を検討するような大規模な連合は見られなかった。しかし、弘化4（1847）年の善光寺地震とそれに続いて発生した大洪水により、堤防が決壊し川床も上昇したため以後一層激しい洪水の被害にさらされることとなったため、「延徳耕地組合」を結成して地域全体で治水に取り組む体制が整備された（結成の正式な年月は不明）。同組合村の名主・年寄は会議を行って、安源寺村名主慎平、桜沢村名主太兵衛、西江部村名主兼郡中取締役篠田市左衛門、東江部村年寄兼郡中取締役山田庄左衛門を惣代として選出した（史料には、明治期まで土堤組合惣代、堤惣代などの表現が見られるが、ここでは「堤防組合惣代」に統一した）。この惣代たちは、幕領・私領にまたがる21か村の組合村をまとめて工事の出願準備を進めると同時に、千曲川の対岸村々の説得、訴訟にも尽力した。惣代4人のうち篠田と山田は延徳耕地に主な所持地を有する大地主であり、自らの地主経営安定という関心からこの活動を積極的に担ったものと考えられる。

治水工事の方法としては、2案が立案され、第1案が押切村から立ヶ花村まで大堤防を構築して延徳耕地への水流入を防ぐというもの、第2案が下流の上今井地籍で千曲川が大きく曲流している部分をまっすぐにして水行をよくするというもの、である。慶応期には第1案にもとづいて活動が進められたが、これに対しては対岸の水内郡村々（赤沼、津野などの長沼組合村々）の反対が強く、諸領地にまたがる広域的な問題でもあったため江戸での訴訟に及んでいる。結果的にはこの時築かれた堤防も間もなく洪水により決壊してしまったため第1案は行き詰まり、慶応4（1868）年以降は第2案の瀬直し工事の実現をめざした活動が安源寺村年寄（丸山）要左衛門らを中心に進められた。この工事計画は明治3（1870）年民部省土木司によって「御普請工事」として認可されるところとなったが（国庫負担6割）、工事現場に当たる上今井村が耕地の漬地化・用水系の分断などを理由に反対したため係争に及んだ。しかし、同村に対する補償交渉が成立し明治3年10月に着工、その後第2期「増堀り」工事を経て、同4年6月には全工事を完了している。この工事を支えた主体は、延徳耕地組合に加えて、かつて慶応期にはこれと敵対していた対岸の長沼組合も参加し、67か村の連合であった。

構造と内容

このサブフォンドは山田庄左衛門が堤防組合惣代を勤めた際に作成・授受した文書によって構成されるが、山田家文書の中には堤防組合惣代に就任する以前の堤防関係文書も見られるため、それらも堤防組合惣代を勤めた際に用いられたものと見なして「慶応以前」というシリーズに編成した。そして慶応期の千曲川右岸における堤防工事関係の史料を「慶応期堤防工事」、その後方針を転換して千曲川直流通工を行った明治期の史料を「千曲川瀬直し」というシリーズに編成した。

(1) 慶応以前

万延元(1860)年から文久元(1861)年にかけての「水防一件諸書付」1袋が中心である。

(2) 慶応期堤防工事

ここではサブ・シリーズとして「組合村々水難高取調」、「村々評議」、「江戸訴訟」、「人足・諸入用」、「絵図」を設定した。

は普請費用・一件諸入用(訴訟費など)の負担基準とするため延徳耕地土堤組合村々の村別水難高を調査した関係の史料が中心である。は堤防敷地を提供する立ヶ花・羽場村などと組合村との間に結ばれた補償に関する約定に関する史料などが中心である。は、堤防工事開始後に対岸の水内郡村々から訴えられ、慶応2年10月まで争われた江戸での訴訟に関する史料である。特に江戸と地元でやりとりした多数の書状が一括包みなどの形で残されており(709・729など)、訴訟を有利に進めるためにどのような書類・絵図が必要とされ、またどのような人間関係に働きかけようとしたのかなど裏面についても知りうる情報源となっている。は現地見分に訪れた役人の賄料(宿泊・酒肴代から賄賂まで)や、堤防普請入用に関する史料である。

(3) 千曲川瀬直し

ここではサブ・シリーズとして「出願・相論」、「会計所御用」、「人足・諸入用」を設定した。は民部省土木司への請願・認可にいたるまでの関係書類や、新川敷となり耕地を失うことになった今井村との間で行われた訴訟の関係書類などである。前者については松代藩の関与もうかがえる。

は栗林村(もしくは安源寺村)に設置された会計所関係の史料である。この会計所に水内郡・高井郡の双方から惣代が詰めて工事事務にあたったようである。は実際の工事に要した人足・諸入用関係の書類である。なお、明治6(1873)年以降、山田家・篠田家が立て替えていた普請入用の返済をめぐる無利息年賦返済を要求する六川村と組合村々の間で生じた相論の関係史料(1036-10など)と、漬地の補償をめぐる今井村と相論になり漬地買請のために県に借金を求めた際の関係史料(明治13(1880)年頃まで争っている、1036-14など)なども含まれている。

関連史料

目録(その1)を参照。

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

堤防組合惣代

慶応以前

「万延元申年より水防一件諸書[付力]」 江戸本八町堀五丁目小池小兵衛の琥珀湯の袋を使用		1袋	901
(書状、今日寄合欠席容赦願) 清水村名主	10月6日	横切紙・1通	901-1
(高井郡組合惣代の山王島村・小布施村宛一札写、今井村新川筋掘割の件で入用など一切負担をかけず)	万延元庚申年11月	横切継紙・1通	901-2
(書状、水防一件で小布施へ村々参会につき取り計らい願) 山田庄左衛門、平左衛門 寺嶋善兵衛様	9月7日	切紙・1通	901-3
(廻章、規定連印につき郷宿芝屋仁兵衛へ出張願) 山田庄左衛門、市左衛門 新保村、ほか9か村、右御村々名主衆中 包紙とも	申10月10日	横切継紙・1通	901-4
(廻章、水難防方規定評決のため郷宿芝屋へ出張願) 東江部村山田庄左衛門、西江部村市左衛門 新保村、ほか7か村、右村々御名主衆中 包紙とも	申10月3日	横切継紙・1通	901-5
(廻章、水防一件延引のところ水内郡赤沼村組合と談判行き届きにつき、会談のため小布施村柏屋へ出張願) 山田庄左衛門、市左衛門 片塩村、ほか8か村、右御村々御名主衆中 包紙とも	文久元酉9月7日	横切継紙・1通	901-6
(書状、二納金勘定差し支え延引の詫び、ほか) 寺島善兵衛 山田庄左衛門様、篠田市左衛門様 包紙とも	11月19日	横切継紙・1通	901-7
(書状、山王島より承知の知らせ、村々会合の通知方などにつき) (六川)寺島善兵衛 山田庄左衛門様、篠田市左衛門様 封筒とも	11月23日	横切継紙・1通	901-8
(書状、旧臘赤沼へ打ち合わせの件申し入れたがいまだ返事なし、両郡打ち合わせにつき明日にも再申し入れ) (六川)寺島善兵衛 山田庄左衛門様、篠田市左衛門様 包紙とも	正月29日	横切紙・1通	901-9
(書状、今井堀川一条関係書類を中之条へ引き渡しにつき) 名右衛門 江部村山田庄左衛門様、篠崎(マ、)市左衛門様	11月26日	横切継紙・1通	901-10
(廻章写、水難防方規定評決のため郷宿芝屋へ出張願) 東江部村山田庄左衛門印、西江部村市左衛門印 前之村を此所江書、右村々御名主衆中	申10月3日	横切継紙・1通	901-11
頼一札之事(堤防目論見ほか諸入用立替願、堤防できなくても迷惑かけず) 901-11に挟込		横切継紙・1通	901-11-1
砂川堤奉願上候絵図面之写	宝暦9卯年	750×1500・1鋪	941

慶応期堤防工事

組合村々水難高取調

(廻章、水防の件で中野郷宿へ参会願、下書) 篠田市左衛門、山田庄左衛門 片塩村、ほか16村	丑10月21日	横切紙・1通	588
---	---------	--------	-----

(廻章、村高・当夏水入地高を確認の上中野郷宿へ参会願、下書)	11月12日	切紙・1通	589
(石高差引勘定書付)		切紙・1枚	590
(廻章、押切村土堤一条相談につき中野菱屋へ参会願) 安左衛門、理兵衛、篠田市左衛門、山田庄左衛門 西江部村、東江部村、新保村、篠井村、小沼村南組、北大熊村、南大熊村、桜沢村、矢嶋村、清水村、六川村、羽場村、押切村、北岡村、山王嶋村、草間村、立ヶ花村、安源寺村、片塩村、右村々御名主衆中 包紙とも	8月3日	横切継紙・1通	738
覚(六川村惣高1046石余の内、本田・新田・畑方計801石余水入高) 六川村三役人 908-4-1~7は畳込一括	慶応元丑年11月	縦紙・1通	908-4-1
(新堤築立につき堤敷強いて無心承知御礼、大堤・砂川堤など目論見なきのこと、川欠などは普請人足差出のことなど17ヶ村規定書)		縦紙・1通	908-4-2
(高341石余、小沼村前高140石皆無)		縦切紙・1通	908-4-3
(高488石余、内418石入水)		切紙・1通	908-4-4
覚(片塩村高533石余、内60石余満水・23石余稗作分)	慶応元丑年	切紙・1通	908-4-5
(本田方97石余、新田方116石余、外82石余内30石入水)		折紙・1通	908-4-6
(惣高496石、50石余水入無し)		切紙・1通	908-4-7
(初70俵・駄賃代金計67両2分余、内御下ヶ金引13両2分2朱余書上) 東江部村山田庄左衛門		切紙・1通	908-5

村々評議

「願書、議定書、其外四本入」 西江部村五左衛門(印)		1包(3通)	865
差出申一札之事(堤敷提供への水難村々による補償、代地か地代渡し、江戸出訴雑費・普請人足等不賦課、など) 片塩村、ほか19か村、右村々惣代東江部村年寄山田庄左衛門、西江部村名主篠田市左衛門、安源寺村同新田村年寄要左衛門 立ヶ花村御役人中		縦継紙・1通	865-1
差出申一札之事(堤敷提供への水難村々による補償について) 片塩村名主平右衛門、ほか15か村15名、東江部村年寄山田庄左衛門、西江部村名主篠田市左衛門 羽場村御役人衆中	慶応元乙丑年11月	縦継紙・1通	865-2
覚(当午御物成御払初500俵拝借) 高井郡東江部村拝借人山田庄左衛門、飯山町請人出野伊右衛門 中条次左衛門様 拝借人・請人の印抹消	安政5午年10月	縦紙・1通	865-3
議定書之事(本紙、押切・立ヶ花間の土堤普請につき水難村々議定、組合村々水冠高覚) 片塩村名主平右衛門、ほか18か村57名 組で一括、紐付き札表書「[]之書」、端裏書「慶応元丑年十一月土堤組合村々議定書本紙」	慶応元乙丑年11月	縦継紙・1通	876-1
議定書之事(控、押切・立ヶ花間の土堤普請につき水難村々議定、組合村々水冠高覚)		縦継紙・1通	876-2
覚(立ヶ花村地内堤敷地・土取場惣坪2080坪の片塩村ほか18か村割当書) 902~904は畳込一括		折紙・1通	902
覚(押切村地内堤敷地・土取場の片塩村ほか18か村割当書上)		折紙・1通	903
(片塩村ほか24か村高計1万1425石余書上)		折紙・1通	904

差出申一札之事(堤継足しにつき土堤敷ほか永久貸渡し礼、耕地川欠損地などの節は組合村々一同人足差出普請のことなど) 押切名当 908-1~5は畳込一括		縦継紙・1通	908-1
(一札写、堤敷永久貸渡し礼、地代ほか小作同様に勘定渡すべきこと) 羽場 908-3~5を包む		切継紙・1通	908-2
差出申一札之事(堤敷無心の礼、代地あるいは地代取計いのこと、川欠などの節水難村々にて普請、下書)		縦継紙・1通	908-3
御預所桜沢村・山王嶋村・小沼村差出候答書(土堤修復吟味につき桜沢・小沼村、山王嶋村の答書) 松代御預所御役所	慶応元丑年11月	美・1冊	930
(廻章、規定連印のため村方三役印形を持参し中野郷宿芝屋へ出張願) 山田庄左衛門、市左衛門 片塩村、ほか7か村、右村々御名主衆中 包紙とも	申10月10日	横切紙・1通	935-8
(廻章、水防一件相談のため組合惣代に中野芝屋へ集会願) 山田庄左衛門、市左衛門 新保村、北大熊村、桜沢村、右村々御名主衆中 包紙とも	9月12日	横切継紙・1通	935-9
(廻章、村高と水入高を調べて中野芝屋へ村役人集会願) 篠田市左衛門、山田庄左衛門 片塩村、16か村、右村々御役人衆中 包紙とも、篠井村名下に下紙あり	11月12日	横切継紙・1通	935-10
(廻章、江戸惣代頼書作成のため拙宅へ村役人印形持参願) 山田庄左衛門 西江部村、ほか17か村、右村々御役人衆中 包紙とも	2月25日	横切継紙・1通	935-11

江戸訴訟

(土堤一件出訴につき江戸よりの書状一括) 江戸橋本町山田理兵衛、丸山要左衛門、篠田市左衛門 信州東江部村山田庄左衛門様 709-1~4包入		包紙・1包	709-1
(書状、水内郡との堤防相論につき奉行所で砂川堤の整備に切り替えるよう指示されるが押切・山王嶋・小布施の反対にあい難航の旨) 理兵衛、要左衛門、市左衛門 山田庄左衛門様 端裏書「内書御直見」	3月22日	横切継紙・1通	709-1-1
(書状、押切村の2名が小前をそそのかして平之丞引戻を画策につき対策願) 三人 山田様 小書付1通とも(大事の前の小事穩便取計願)	3月22日	横切紙・1通	709-1-2
(書状、砂川堤へ切替の奉行所指示の件、先代官高木が満水対策を約し入金50両を受け取った旨、諸方への土産物が必要な旨) 要左衛門、理兵衛、市左衛門 山田庄左衛門様、同健造様、外村	3月22日	横切継紙・1通	709-1-3
口上(江戸表一件訴状模様替下案・手紙2通の送書、寄品惣代頼之書付借用願) 押切村平之丞 東江部村山田庄左衛門様、用書	3月28日	横切継紙・1通	709-1-4
(書状、土堤訴訟の状況、吉原地面売渡一件、兵賦一条、献納金上納期限、健蔵依頼の刀探索、など) (江戸北番場町)理兵衛 御兄上様、健蔵様、賈下 包紙とも	3月22日	横切継紙・1通	709-2
(書状、土堤一件証拠書類なく詫び、新開場見分のため普請役ら来村時に内密で貴家訪問の旨内達) (小布施村、)幸左衛門 (御年番役)山田庄左衛門様、(御取締役)篠田市左衛門様 包紙とも	5月10日	横切継紙・1通	709-3
(書状、新開場糺中の普請役に土堤一件で心違いのことを言わぬ旨) 押切村平之丞 東江部村山田庄左衛門様、西江部村篠田市左衛門様 709-3包紙に挟込	5月9日	横切紙・1通	709-3-1

(内郷堤修復をめぐり水内郡と相論につき中野役所宛添翰願、下書)		横切紙・1通	709-4
(忠左衛門・次三郎帰国につきその村々分も惣代引受願) 松代預り桜沢村・小沼村・山王嶋村、同領分南大熊村・小沼村、右五ヶ村惣代山王嶋村組頭忠左衛門、六川領分六川村・羽場村・清水村・北大熊村・草間村、右五ヶ村惣代草間村組頭次三郎 篠田市左衛門殿、理兵衛殿、要左衛門殿、平之丞殿 709-4に挟込、小書付1通疊込(井上信濃守様ほか1名名前書)	慶応2寅年3月	横切紙・1通	709-4-1
(書状、評定所で場所熟談と仰せ渡され御影役所綿貫ほかと場所見分立合の打ち合わせ、相手方の工作に注意すべき旨、ほか) 山田庄左衛門(包紙表書では丸山要左衛門也) (江府深川二而) 篠田市左衛門様、山田理兵衛様、各机下 包紙とも	4月10日	横切継紙・1通	709-5
(書状、江戸貸付金をめぐり御貸付所で一統証文点検、関氏災難、下酒屋より頼まれものの件、土手一件の現況、ほか) (北本所番場町山田) 理兵衛 御兄上様、健蔵様、貴下 包紙とも	3月末日	横切継紙・1通	709-6
(書状、土堤一件、国元より余程面白き書類届き大慶、牛込神楽坂で内話、当節 印賄賂必要、金仕送り願、ほか) (江戸橋本町津久井屋より) 理兵衛、要左衛門、市左衛門 山田庄左衛門様、組合村々御名主中様 包紙とも、709-6に同封	3月29日	横切継紙・1通	709-6-1
(書状、土堤一件で急ぎ出府し勘定奉行所へ願書提出、兵賦金納は困難の由、ほか) (橋本町四丁目津久井屋二而) 要左衛門、理兵衛 山田庄左衛門様、篠田市左衛門様、清水藤兵衛様、松葉屋常松様、丸山慎平様、外組合村々御役人中様 包紙とも	2月21日	横切継紙・1通	709-7
(書状、松印一件落着、此度一件手代方余程骨折の由) 理兵衛 御兄上様、五郎太夫様、健蔵様	2月20日夜	横切紙・1通(2枚)	709-8
(書状、無事江戸着、理兵衛ら江戸詰惣代と合流、小子は奉行所出願に加わらず、今後の訴訟の見込み、ほか) (江戸) 篠田市左衛門 山田庄左衛門様 包紙とも	3月7日	横切継紙・1通	709-9
(書状、証拠ものの到着につき出願のため郷宿に相談、古絵図の他普請修復入用帳も差送願、必要証拠書類の所在、評定所留役と懇意の者に交渉、ほか) (江戸橋本町津久井屋より土堤惣代) 市右衛門、理兵衛、要左衛門、平之丞 山田庄左衛門様、山田健蔵様 包紙とも、709-10-1~3を同封	3月9日認	横切継紙・1通	709-10
(新保村の飛脚賃立替、六川寺島氏に絵図返却などにつき書付)		切紙・1通	709-10-1
(組合村々で人足遣払帳等の土堤修復に関する証拠書類の村ごと書上)		横切紙・1通	709-10-2
(書状、病気様子伺い、貸付一件で京都出役がはっきりせず不都合なので証文を持って当分引込の覚悟) 理兵衛 御兄上様、五郎太夫様、健蔵様、貴下	3月9日	横切継紙・1通	709-10-3
(書状、証拠書類の催促、元中野手代で小石川家来の浅草三筋町矢部権軒を通じて根回し) (從江戸橋本町津久井屋) 市左衛門、理兵衛、要左衛門 山田庄左衛門様 包紙とも	3月7日	横切継紙・1通	709-11
(書状、奉行所御糺の経過、押切村61年前大々切工事の仕様帳必要、松代、六川役人中への根回し、山王嶋・草間村のほか惣代願書至急送付願、ほか) 平之丞、理兵衛、要左衛門、篠田市左衛門 山田庄左衛門様、外組合御村々御役人衆中様、各貴下 包紙とも、709-12-1~5を同封	3月3日燈下認め	横切継紙・1通	709-12

追啓(紬小紋・羽織送付願) 理兵衛 山田様	33月4日朝	切紙・1通	709-12-1
(御勘定家来ほか4名名前書)		小切紙・1通	709-12-2
(書状、御貸付方松印一件寺内退去、刀身一本お届、土堤一件入用、牟礼火事見舞) 理兵衛拜 御兄上様、五郎太夫様、健蔵様、各責下	3月3日燈下	横切継紙・1通	709-12-3
(書状、19日訴状提出後呼び出しなし、市左衛門の押切古絵図持参出府を待上、歩兵は確かな人物を差し出すべき旨) 津久井屋二而丸山要左衛門、山田理兵衛 山田庄左衛門様、責下 2月23日出、3月6日着、羽場村久治帰国便	2月23日	横切継紙・1通	709-12-4
(書状、押切村古絵面に朱引迷惑の旨と惣右衛門申すにつき挨拶願) 津久井屋二而平之丞 山田庄左衛門様 封筒とも	3月2日	横切紙・1通	709-12-5
(廻章、土堤一条相談のため六川村藤屋へ集会願) (土堤惣代)要左衛門、理兵衛、寺嶋善兵衛、篠田市左衛門、山田庄左衛門 西江部村、東江部村、片塩村、安源寺村、立ヶ花村、草間村、羽場村、押切村、北岡村、山王嶋村、矢嶋村、清水村、六川村、桜沢村、南大熊村、北大熊村、小沼村南組、篠井村、新保村、右村々御名主衆中 包紙とも	8月17日	横切継紙・1通	712
(江戸関係書状一括) こよりで一括			729
(書状、去る権家より示唆があり、水損村々の確かな人物出府願) 大石實 西川国平、座下	3月13日	横切継紙・1通	729-1
(書状、水損場一件其向へお伺いの礼、対岸村々と江戸訴訟につき斡旋願) 信中野西川東玄 (聖堂内中村敬助様にて)大石新蔵様 包紙とも	4月7日	横切継紙・1通	729-2
(書状、先日内話の一条御陣内より内意あり、いまだ御公役様方名前不承の旨) (六川寺島)善兵衛 御両公様(山田庄左衛門様、篠田市左衛門様) 封筒とも	3月29日	横切継紙・1通	729-3
(書状、赤玄殿への示談不首尾につき再度申入の上要相談) 寺島善兵衛 山田庄左衛門様、篠田市左衛門様、御報	5月12日	横切継紙・1通	729-4
(書状、松代・中之条役所等へ出張留守中につきよろしく執り成し願) 郷左衛門倅弥兵衛(赤沼村成田郷左衛門) 寺島善兵衛様、尊下 封筒とも	2月21日	横切継紙・1通	729-5
(書状、先日内談の件篠田へもご相談願) 寺島善兵衛 山田庄左衛門様 封筒、括り紐とも	2月5日	横切継紙・1通	729-6
(書状、丹波島出張御公役名前判明、大門町江戸屋へ至急出向願) (問御所村出張、寺島)善兵衛 御両公様(山田庄左衛門様、篠田市左衛門様) 包紙とも、御名前写しを貼継	3月29日	横切継紙・1通	729-7
(書状、丹波島逗留公役の様子承りにつき、篠田らの出向内話願) 善兵衛 御両公様 封筒とも、「急用入」	3月29日	横切紙・1通	729-8
(書状、今井堤一条相談の雑用金支払願) 寺島善兵衛 山田庄左衛門様、篠田市左衛門様 包紙とも、729-9-1を同封	4月18日	横切継紙・1通	729-9
(吸物・茶代等諸賄額書上) 寺島善兵衛	(文久2力)戌4月18日	横折紙仮綴・1通	729-9-1
(書状、惣代側の説明に小前不満、当村・小布施御普請所の差し支え回避願) (山王嶋村)名主作右衛門 御惣代衆中様(江戸山崎丁四丁目机屋二而) 包紙とも	(慶応2)寅4月9日	横切継紙・1通	729-10

(書状、仮定杭一条をめぐる村内不和の経緯) (押切村)平之丞 御惣代篠田市左衛門、同山田理右衛門様、同丸山要左衛門様(江戸津久井屋二而) 包紙とも	4月2日	横切継紙・1通	729-11
(廻章、土堤一件御返翰につき至急参集願) 要左衛門、篠田市左衛門、山田庄左衛門 山王嶋村御名主作右衛門様、六川村御名主寺嶋善六郎様 封筒とも	2月13日	横切継紙・1通	729-12
(書状、今般満水で新堤切所多数につき当惑、明日場所内見願) (押切村名主)与惣右衛門 山庄公様、篠市公様、丸山公様、尊下 包紙とも	5月16日	横切継紙・1通	729-13
(書状、御普請所内一ヶ所危険になり羽場・北岡・押切の水防人足出勤の知らせ) 与惣右衛門 山田庄左衛門様、篠田市左衛門様、丸山要左衛門様、尊下 包紙とも	5月15日	横切継紙・1通	729-14
(大口道淳様ほか武家名前書上)		切紙・1通	729-15
(書状、ご依頼の堤古絵図・割付写等を見つけた旨) (小布施塩屋) 太三郎 山田庄左衛門様、健蔵様 包紙とも	5月20日	横切継紙・1通	729-16
(書状、訴状模様替につき要路へ働きかけ願、山王嶋村名主の心配、水内郡側村々の勝手な土手修復、水内郡江戸願書入手につき与送付、急場必要金の工面、庄左衛門病気につき篠田へ在府継続願) 山田庄左衛門 篠田市左衛門様、丸山要左衛門様、山田理兵衛様、各机下 包紙とも、729-17-1・2を同封	4月9日認	横切継紙・1通	729-17
(書状、山王嶋村堤証拠書物探索の経緯報告) 押切村平之丞 東江部村山田庄左衛門様、同賢蔵様 封筒とも	4月1日	横切継紙・1通	729-17-1
(書状、当方には土手一条先年の書類なし、贈物の礼) 太三郎 山田健蔵様 包紙とも	4月8日	横切継紙・1通	729-17-2
(書状、源八より預かりの脇差受取、押切仲右衛門へ100両為替承知、御申越の金200両・帷子送付、土井内氏御尋願) 小川五郎太夫、山田庄左衛門 (江戸本所番場町)山田理兵衛様、机下 包紙とも、729-18-1を同封	4月14日	横切継紙・1通	729-18
(書状、要左衛門帰国し上首尾報告につき安心、綿貫様一条で取斗願、場所見分開始につき篠田帰国願、要左衛門・健蔵が六川・松代・中之条へ罷越、送金・為替金の件承知) 山田庄左衛門 篠田市左衛門、山田理兵衛様、机下 包紙とも	4月14日認	横切継紙・1通	729-18-1
(書状、土堤一件で御下知前に立入人を立てるに際し誰がよいか差図願) (押切村)与惣右衛門、市之丞 山庄左衛門様、篠市左衛門様、山田理兵衛様、丸山要左衛門様、尊下 封筒とも	7月5日	横切継紙・1通	754
(惣代様方出張願の書付、立入人は1人でもよい旨) 与惣右衛門 山田様 754に同封	7月5日	横切継紙・1通	754-1
(押切村地内新規堤築立停止命令につき反論書付2通写)		美・1冊	875
預り一札之事(板倉甲斐守様御裏印付古絵図面1枚) 東江部村山田庄左衛門 押切村名主与惣右衛門殿 墨消	慶応2寅年2月29日	豎紙・1通	877
乍恐以書付御訴訟奉申上候(水難21か村惣代より水内郡村々を相手取り、堤修復故障致さざるよう訴訟) 松本直一郎御代官所信濃国高井郡押切村ほか10か村、右拾壹ヶ村惣代東江部村年寄山田庄左衛門煩二付代兼同村名主理兵衛ほか3名、真田信濃守御預り所山王嶋村ほか2か村、同領分南大熊村・小沼村、右五ヶ村惣代山王嶋村	慶応2寅年2月	豎継紙・1通	891

名主作右衛門、堀右京亮領分六川村ほか4か村、右五ヶ村惣代草間村名主忠七 御勘定御奉行所様 端裏書「慶応二寅二月江戸出訴之節、国より認め持参致候得共、書改二相成不用之分」			
乍恐以書付奉申上候(水難21か村惣代江戸より帰村届) 高井郡新保村名主彦市、安源寺村年寄要左衛門 松本直一郎様中野御役所 端裏書「寅十一月十七日 江戸惣代帰村御届書之写」	慶応2寅年11月17日	豎継紙・1通	898
預り一札之事(御普請関係帳簿9冊) 東江部村預り人山田庄左衛門 山王嶋村名主作右衛門 端裏書「預り書相済候分」、全面・庄左衛門印に墨消	慶応2寅年5月3日	豎継紙・1通	899
頼一札之事(押切村ほか20か村組合円徳耕地内郷水除堤修復につき江戸奉行所出願の惣代頼み証文) 片塩村名主平右衛門(印)、組頭六右衛門(印)、百姓代重兵衛(印)ほか19村53名 東江部村年寄山田庄左衛門殿代兼名主理兵衛殿、西江部村名主篠田市左衛門殿、安源寺村年寄要左衛門殿、押切村組頭平之丞殿、草間村名主忠七殿、山王嶋村組頭惣左衛門殿 包紙上書「惣代頼書 村々三役人連印之分」	慶応2寅年2月	豎継紙・1通	905
預り一札之事(万延元年水内郡と取替内済証文控・絵図の預り、江戸の土堤惣代へ送り着後返却すべし) 東江部村山田庄左衛門(印) 押切村名主与惣右衛門殿 全体・庄左衛門印墨消	慶応2寅年3月18日	豎紙・1通	906
(高井郡19か村引堤へ水内郡20ヶ村故障申立て、古来御尋につき元和元年以降由緒返答書) 山王嶋村治郎右衛門 御掛り御役人衆中様 端裏書「山王嶋次郎右衛門殿より参り候書面」	慶応元年5月日	豎継紙・1通	907
(書状、赤沼村・浅野村の心得違の申出への対応方につき) 与惣右衛門、市之丞 山庄左衛門様、篠市左衛門様、山田理兵衛様、丸山要左衛門様 封筒とも	7月25日	横切継紙・1通	935-3
覚(茶ほか休憩時の入用書上) 羽場村 御惣代衆中様 935-3に同封	寅7月	横切継紙・1通	935-3-1
(廻章、江戸惣代帰村につき相談のため中野芝屋へ集会願) 山田庄左衛門 西江部村、ほか17か村、右村々御役人衆中 包紙とも	4月20日	横切継紙・1通	935-6
廻章(評定所での内済仰付と惣代帰国につき通達) 935-11に同封		切紙・1通	935-11-1
立ヶ花村住還大橋御掛替奉願材木注文之御事(写) 立ヶ花村名主角兵衛、ほか2名 飯山御領分青山大膳様御役人氏井小助様	正徳5年未正月13日	折紙・1通	935-12
(廻状、土堤一件江戸出府は10月中旬に延期) 要左衛門、理兵衛、篠田市左衛門 片塩村、ほか20か村、右御村々御名主衆中 封筒とも	9月21日	横切継紙・1通	935-14
差上申御請書之事(10月中旬に訴答申し合わせ一同出府) 本多相模守領分信州水内郡赤沼村外拾八ヶ村惣代宿石村組頭林左衛門 御奉行様 935-14に同封	寅9月2日	豎紙・1通	935-14-1

人足・諸入用

(書状、猛暑の中惣代出張の礼、寿々木への支払金お渡し願、見舞昆布送付、など) 寺島善兵衛 丸山要左衛門様、山田熊太郎様	7月21日	豎紙・1通	476
覚(溜吉御賄、高井・水内割合の費用書上) すゝき 寺島様、御組合中様 476に挟込	午2月	横切紙・1通	476-1

(村別人足書上)		綴り・1綴り	485
(上口・深サ・平均・床間数書上、初番より22番まで) 611と関連力		折紙・1通	599
(順番・干支・間数書上) 599と関連力		帳崩れ・2枚	611
「土堤一件入用払方請取書入」 袋に借金証文(500両)の 反古紙使用		1袋	874
おぼへ(紬・駄賃計5両2朱余受取) にしまや彦左衛門 (印) 江部村市左衛門様	2月11日	切紙・1通	874-1
覚(白紬代金5両余受取) にしまや彦左衛門(印、中野 東町・西彦) 東江部山田昌(ママ)左衛門様	2月19日	切紙・1通	874-2
おぼへ(上田まで駕籠人足6人、計金5両1分請求) 諏 訪町代八 当所綿屋様	5月22日	切紙・1通	874-3
覚(普請代金20両受取) 押切村又七(印) 東江部村山 田庄左衛門様	6月16日	切紙・1通	874-4
覚(雑用帳ほか分、酒・肴・人足代ほか計2両2朱余受 取) まつたや与吉 六川御出役様	寅6月22日	横切継紙・1通	874-5
覚(中村様先触人足、見分時駕籠・弁当持人足代計2貫 300文受取) 御宿袋屋清左衛門 大熊村・小沼村御役 人中様		切継紙・1通	874-6
おぼへ(生鯛・生あら代金計1両1分余受取) 中野和 泉屋元兵衛(印) 両郡御惣代衆中様	寅6月23日	切継紙・1通	874-7
(13名人名・金額書上)		切紙・1通	874-8
預金証文之事(自普請入用金の内23両受取) 与惣右 衛門(印) 山田庄左衛門殿	慶応2年寅7月	豎紙・1通	874-9
覚(大極上類なし内山紙2帖代金600文書上) 加賀屋 佐助 上	(慶応元) 丑12月27日	切継紙・1通	874-10
入用書出シ(土堤組合酒・肴・朝飯ほか代金計41両3分 余受取) 芝屋仁兵衛 土堤御組合御名主衆中様	(慶応元) 丑12月25日	横長美・1冊	874-11
御預り申金之事(20ヶ村組合自普請金の内30両) 押 切村名主与惣右衛門(印) 東江部村山田庄左衛門殿	慶応2寅9月1日	豎紙・1通	874-12
自普請所入用金之事(21ヶ村自普請所入用立替金100 両預かり) 押切村名主与惣右衛門(印)、同組頭平之丞 (印)、同同又七(印) 右式拾壹村御惣代東江部村山田庄 左衛門殿	慶応2寅5月22日	豎紙・1通	874-13
「丑十二月土堤一件諸入用勘定書入」 未開封		包紙・1包	874-14
覚(酒肴・御茶漬代金1両3分2朱余受取) 湖月徳太郎 御惣代様	6月26日	切継紙・1通	874-15
覚(水防村々自普請入用金30両受取) 押切村名主与 惣右衛門(印) 山田庄左衛門殿	(慶応2) 寅9月23日	切紙・1通	874-16
覚(針新ほか代金計2両3分2朱余受取) 万屋林右衛門 (印、「飯山本町・萬屋」) 山田庄左衛門様	(慶応2) 寅4月19日	横切紙・1通	874-17
おぼへ(杭木・縄ほか山王嶋普請入用計34両2分1朱余 書上) 後筆にて寅7月9日作右衛門渡しの記述あり		横切紙・1通	874-18
覚(椎茸・酒・人足賃ほか代金4両3分2朱余書上、昼飯 19人分・夕飯22人分) 六川ふぢ屋茂作(印、「高井郡六 川村・富士屋」) 土手組合御掛り様	8月19日	折紙・1通	874-19

覚(白紬計2反・駄賃計5両1朱受取) 西間屋彦左衛門 (印) 江部村亀屋様	4月17日	切継紙・1通	874-20
覚(水除入用石代の内金10両受取) 寺島善兵衛(印) 山田理兵衛様、篠田市左衛門様	寅10月6日	切継紙・1通	874-21
(書状、約定の石は雁田・松村へ頼み置き追々取り集 め、金子内貸しのため10両拝借願) (六川)寺島善 兵衛 山田利兵衛様、篠田市左衛門様 封筒とも	寅10月3日	横切継紙・1通	874-22
(松代御預り、奉行・元ノ同心、御本領、元ノ名前 書) 874-24を挟込		(豎切)折紙・1通	874-23
覚(寺島様中野御出役雑用・町田様・井出様御歳暮ほ か代金計5両1分書上) 六川組五ヶ村 中野御惣代 様	慶応元丑12月	横切継紙・1通	874-24
覚(朝・中・夕飯、酒ほか代金計3両3分余書上) 富田 屋治兵衛 御扱人様	11月20日	横切継紙・1通	874-25
覚(西の内10枚、六川御役所御使ほか代金計1両余受 取) 高野屋武左衛門(印) 土堤一条御惣代衆中様 874-27、28を挟込	(慶応2)寅12月10日	切継紙・1通	874-26
覚(紬代金2両2分余受取) 西間屋彦左衛門 上	12月5日	切継紙・1通	874-27
覚(茶・筆工ほか代金計3両3分1朱余の割1両3分2朱余 勘定書上) ?人 高井郡御惣代中様	10月2日	横切継紙・1通	874-28
覚(徳左衛門様ほか朝・中・夕飯、酒ほか高井・水内分 計金6両3分余受取) 富田屋治兵衛 上	12月11日	横切継紙・1通	874-29
覚(白紬1疋代金3両3歩3朱受取) 綿屋喜三郎(印、「上 田原町・綿喜」) 上	(慶応2)とら10月14日	切紙・1通	874-30
覚(金3分2朱受取) 野田屋平助(印、「飯山本町」) 上	12月13日	切紙・1通	874-31
覚(坂本氏近火につき酒切手代、矢部出立につき手土 産代金1両ほか差引計2両受取) 信のや源七 要左 衛門様、彦市様	11月7日	横切紙・1通	874-32
(金200両預、内訳書上)		切継紙・1通	874-33
(贈金額書上、奥祐筆、勘定奉行の用人ほか、計金2両2 分留守宅へ持参)	10月	切継紙・1通	874-34
(瀬願出立道中わらじ・宿泊代ほか計4両2朱余差引1 両3朱余不足)		(小)折紙・1通	874-35
覚(茶目傘ほか計1両余受取) 上サや喜三郎(印、「麻布 谷町稻荷前・上総屋」) 彦七様 874-37を挟込	(慶応2)寅11月8日	横切紙・1通	874-36
覚(傘5本ほか代金1両1分余受取) 上サや喜三郎(印、 「麻布谷町稻荷前・上総屋」) 彦七様	(慶応2)寅11月8日	横切紙・1通	874-37
覚(贈金額書上、海沼様7両2分、御預御奉行長谷川三 郎兵衛白紬2反ほか、計39両1分と白紬3反、松代宿 払ほか金3両2分余) 874-39と畳込一括、一括表題「松 代御礼之節諸入用書付」		折紙・1通	874-38
覚(御四人様夜代・酒肴代ほか計2両2分余受取) 梅 たや弥五郎(印、「松代中町・御定宿」) 江部村土堤御惣 代様	(慶応2)寅12月	横切紙・1通	874-39
覚(金50両預け証文) 坂本良右衛門(印) 要左衛門殿、 彦市殿 端裏書「江戸坂本様へ五十両預ケ金之書付」	(慶応2)寅10月28日	切継紙・1通	874-40
覚(雁田・松村にて取集石、人足、縄ほか代金計35両3	(慶応2)寅12月26日	横切継紙・1通	874-41

朱余、内金差引残金25両3朱余お渡し願) 六川寺島善兵衛 山田庄左衛門様、篠田市左衛門様 874-42を挟込、端裏書「寅冬石寄代勘定書」			
(書状、土堤入用金返納分不足等の詫び、川除石取集賃金など残金お渡し願) 寺島善兵衛 山田庄左衛門様、篠田市左衛門様	(慶応2年)12月26日	横切継紙・1通	874-42
覚(出役様・扱入宿入用ほか入用惣ノ271両3分1朱余、内203両6度渡引、内41両3分3朱割合引、残金26両3分2朱余受取) 押切村又七	極月26日	横切継紙・1通	874-43
覚(生鰻・鯉こくほか代金1両1分3朱書上) 湖月徳太郎 御惣代衆中様		切紙・1通	874-44
おぼへ(長木・2間杭ほか金23両3分、惣左衛門出立・帰国時入用ほか書上) 874-46を挟込、端裏書「山王嶋入用書」		縦切紙・1通	874-45
おぼへ(普請杭木代23両3分、添翰願時5ヶ村松代罷出入用ほか計28両2分余受取) 山王嶋村名主作右衛門(印) 山田様	寅12月25日	切継紙・1通	874-46
(書状、山王嶋村普請手伝人足賃銭30両を倅にお渡し願) (六川)寺島善兵衛 山田庄左衛門様、同理兵衛様封筒とも	10月27日	横切継紙・1通	935-4
(廻章、土堤一件入用取調等につき中野芝屋へ出会願) (土堤惣代)理兵衛、要左衛門、篠田市左衛門 新保村、ほか18か村、右村々御名主中 包紙とも	12月8日	横切継紙・1通	935-5
(廻章、水際普請開始につき押切村御普請堤近辺へ丈夫な人足多数差し出し願) 山田庄左衛門、篠田市左衛門、要左衛門 片塩村、ほか6か村、右村々御名主衆中 包紙とも、北岡村名下に「人足三拾人差し出可申候」の下紙あり	19日	横切紙・1通	935-7
「土手一件請取書入」 裏書込「茂久通 四拾刃」、961-1～24在中	慶応3卯年	袋・1袋	961
覚(土手入用・酒肴代金ほか書上) ほていや 上	8月～11月	折紙・1通	961-1
覚(場所熟談につき桜沢・小沼村立替分代金ほか小沼村分書上、)	(慶応3)卯年	横切紙・1通	961-2
おぼへ(盆前・後の人足代金ほか山王嶋村分書上)	(慶応3)卯年	折紙・1通	961-3
(東江部村分出入雑用・暮諸入用計71両余書上)		縦切紙・1通	961-4
覚(細木計1038本代金4両1分1朱受取) 桜沢村名主定之助(印) 東江部村山田庄左衛門様	(慶応3)卯12月22日	横切紙・1通	961-5
覚(宿賄代金そのほか差引35両1分3朱余相済) 扱入高井郡御惣代中	(慶応3)卯12月23日	横切紙・1通	961-6
覚(土堤敷地・川普請人足賃ほか差引53両1分2朱余受取) 山王嶋村名主作右衛門(印)、代久左衛門 御惣代方様	(慶応3)卯12月24日	横切紙・1通	961-7
覚(酒肴・菓子ほか計2両3分3朱余書上) 金井屋 上	12月23日	切継紙・1通	961-8
記(土堤組合より金1000疋拝受) 傳田寸齋 御使中	(慶応3)卯12月24日	縦切紙・1通	961-9
覚(西之内1束・組合様分中奉書ほか代金書上) ひしや儀兵衛(印、「中野御薬種所」) 亀屋様	(慶応3)卯12月	横切継紙・1通	961-10
おぼへ(杭・樋ほか代金差引15両2分2朱受取) 山王嶋村名主作右衛門(印) 土堤惣代御衆中様 端裏書「卯八月晦日 山王嶋普請懸り受取書」	慶応3卯年8月	横切継紙・1通	961-11

(書状、浅野村庄屋ほか何気なき躰にて通行いたすこと心得がたきこと) 押切村名主又八 山田庄左衛門様、篠田市左衛門様、山田利兵衛様、丸山要左衛門様尊下包紙とも	7月28日	横切継紙・1通	961-12
(書状、松村石積人足代金11両1分請求) 六川村大嶋治兵衛、大熊村清水藤兵衛 東江部村山田庄左衛門様責下 封筒とも	(慶応3)卯7月10日	横切紙・1通	961-13
(包紙、「粗酒料 金七両」) 雁田村 土堤御組合中様包紙のみ		1包	961-14
覚(細代金6両1分2朱余受取) 坂屋賛助(印、「松代」) 上様 961-15-1~3を挟込	(慶応3)卯2月4日	横切継紙・1通	961-15
(細・人名書上)		切継紙・1通	961-15-1
覚(酒肴・茶漬代3貫164文書上) ふくだ菊蔵 上 961-15-3を挟込	2月6日	切継紙・1通	961-15-2
覚(酒肴・宿泊代3両1分2朱余書上) 丸尾長兵衛 上	2月6日	切紙・1通	961-15-3
覚(自普請入用金の内杭木代30両受取) 押切村名主又八、代市之丞 山田庄左衛門殿	慶応3年卯3月27日	切継紙・1通	961-16
(書状、土堤一件勘定50両落手、当暮逼迫のこと) 西篠田 東山田様	12月28日	切継紙・1通	961-17
覚(3両2分1朱余書上) 六川巻の木戸(家印、ヤマモ)宿式拾ヶ村組合土手組御名主中様、御せわ人中様	(慶応3)卯4月17日	切紙・1通	961-18
覚(35両受取) 山王島村作右衛門(印) 江部村山田庄左衛門殿	(慶応3)卯6月24日	切紙・1通	961-19
覚(杭数・人足数ほか村名・金額書上)		切紙・1通	961-20
覚(水防組合村々自普請所入用金50両受取) 押切村役人惣代取締役市之丞(印) 組合御村々御惣代山田庄左衛門殿	慶応3年卯6月26日	豎切紙・1通	961-21
覚(昼飯・酒肴ほか計5両3分2朱余受取) 芝仁 土堤御組合御惣代様	(慶応3)卯7月	横切継紙・1通	961-22
(土手一件六川分金額書上力)		切継紙・1通	961-23
覚(土堤一件内金利分受取) 西江部市左衛門(印) 東江部村理兵衛様	(慶応3)卯12月29日	切紙・1通	961-24
御通帳(松魚節・平目ほか代金4両3分3朱余受取) 和泉屋元兵衛(印、「中野横町」) 土堤掛御村々衆中様 963-1と2を挟込	慶応2年丙寅正月吉日	横半半折・1冊	963
覚(4両3分3朱余御通のこと) 963-2を挟込		切紙・1通	963-1
(書状、土手一件につき宇兵衛江戸行の合金の足しとしたいこと願) 泉元 篠田旦那様	8月11日	切継紙・1通	963-2

絵図

(山王嶋村地内御普請堤は3か村組合堤につき絵図面堤形へ引堤の願書) 高井郡山王嶋村役人惣代名主作右衛門、ほか立合5名、水内郡長沼組合七ヶ村惣代赤沼村名主兵左衛門、中尾村ほか7か村惣代神代村庄屋幾三郎、ほか立合3名 端裏書「本紙八山王嶋村へ相渡申候、此絵図面山王嶋村江惣代兩人并高井郡扱人調印願書差出、相手と為取替候分之写(印)」	慶応2寅年6月	豎継紙・1通	871
--	---------	--------	-----

覚(立ヶ花村地内堤敷地坪数の20か村へ割付) 871 に挟込		縦継紙・1通	871-1
(千曲川堤普請関係村々絵図、幕領・預地・私領の別)		1090×1840・1鋪	872
(押切村悪水堤用水堤絵図)		1120×1220・1鋪	873

千曲川瀬直し

出願・相論

乍恐以書奉願上候(水難の村々、千曲川曲流部分瀬直し致したく見分願) 当御支配所高井郡東江部村ほか10ヶ村、椎谷藩御支配所同郡草間村ほか4ヶ村、松代藩御支配所同郡南大熊村・小沼村、同藩御預り所同郡小沼村ほか2ヶ村、右村々惣代東江部村理兵衛、安源寺村要左衛門、西江部村市左衛門 中野御役所	明治3年年正月	1冊	614
(千曲川瀬直し関係一括包紙) 六川寺島善兵衛 東江部山田庄左衛門様、同理兵衛様 682全体を包む包紙		包紙・1枚	682
(包紙) 桜沢村名主定之助 六川村寺嶋善兵衛様 682-2以下を包む包紙、貼札「此書面六川寺嶋様御名前二候得共、北大熊村藤兵衛様御開封被下、夫ヨリ外々々御廻し被下候様奉願候」		包紙・1点	682-1
(書状、桜沢村定之助殿松代にて写取の書面御落手願) 善兵衛 山田様	11日	横切紙・1通	682-2
(書状、東京帰りの小布施村小洪屋からの情報、飯山坂本様の願筋立たず、改の加役6人下り) 要左衛門(松代より出ス) 寺嶋様、清水様、山田様 包紙とも	26日	横切紙・1通	682-3
(書状、松代町宿へ東京より到来の書類を写して送付、兵左衛門・奥右衛門の依頼により高井郡21ヶ村惣代らへ通達のため) 定之助 寺嶋善兵衛様、山田理兵衛様、清水藤兵衛様 682-4-1～3は同綴	4月9日	横切紙・1通	682-4-1
(書状写、土木司出張の松代藩邸で高井水内両郡惣代願書の提出を仰せ渡される、提出後沙汰待ちにつき高井郡21ヶ村惣代へ別紙願書下案につき通知願) 儀左衛門、久兵衛 成田兵左衛門様、住田奥右衛門様、外御惣代衆中様	3月26日	1冊	682-4-2
乍恐以書附御歎願奉申上候(今井村地内堀割瀬直しご理解願) 信州高井水内両郡六拾七ヶ村惣代水内郡津野村名主儀右(左)衛門、高井郡大嶋村久兵衛 民部省御役所	明治3年年3月	1冊	682-4-3
(白紙入包紙) 白紙は縦紙で印のみ、包紙上書「土手一件始り之節、押切村名主与惣右衛門印紙内密取置、此分不本意之筋二者有之候得共、右村方之義兎角不治り二而、殊二寄後年二至組合村江対し不実之義等有之時ノため、如此極内々取斗置候」		1包	701
(書状、東京より小池様・丸山氏御帰館、諸事打合せ願) (赤沼村)成田兵左衛門 (六川)寺嶋善兵衛様、外御惣代衆中様	4月26日	横切紙・1通	702
(差紙、申渡儀につき村役人差添出頭命令) 中野御役所(印) 東江部村庄左衛門、右村役人 包紙とも	辰10月5日	切紙・1通	703
(差紙、申渡儀につき出頭命令) 中野御役所 東江部村庄左衛門 703の包紙に挟込	正月20日	切紙・1通	703-1

(書状、松原様丹波島視察、松代藩へ差出済の連印書をご覽に入れる、松原様中野出張時に67か村呼出) (松代二而根津)久兵衛 理兵衛様、要左衛門様、善兵衛様、定之助様、外御一同様 包紙とも	(明治)5月11日	豎紙・1通(2枚)	767
千曲川通川除御普請目論見帳写 信濃国高井郡山王島村、小布施村	明治2年巳2月	美・1冊	869
(千曲川堤普請絵図) 高井郡山王嶋村名主作右衛門、組頭善右衛門、同多三郎、百姓代和吉 869と折り重ね	明治2巳年2月	550×760・1鋪	870
(書状、曲流一件で打合せの件了承、愚父松代出張につき代理で返答) 兵左衛門倅 中野局、六川局惣惣代衆中様 封筒とも、封筒表の差出人名は赤沼村成田兵左衛門	12月17日	横切紙・1通	935-13
乍恐以書付再応奉歎願候(曲流工事の件で今井村に反論、御慈悲の沙汰願) 当御取締所高井郡押切村、ほか10ヶ村、右村々役人惣代篠田市左衛門、東江部村年寄山田庄左衛門病氣二付代兼名主理兵衛、両安源寺村兼常年寄要左衛門 御料尾州様御取締中野御役所	明治2巳年正月	豎紙・1通(2枚)	936
上今井村より新川堀一件二附飯山御役場江差出候書附之写 上今井村百姓市郎右衛門印、ほか9名 飯山御会所	明治元辰年11月	美・1冊	937
乍恐以書付奉愁訴候(千曲川瀬直しにつき惣百姓御救助願) 上今井村百姓市郎右衛門印、同所熊太郎印、同村百姓代亀之助、同所高之助、組頭又右衛門、同所市左衛門、同所庄左衛門、同所金右衛門、庄屋柳右衛門、同所長次右衛門 飯山御会所	明治元辰年11月	半(仮綴)・1冊	948
信濃国高井郡・水内郡村々惣高書上 高井郡惣代六川村善兵衛、新保村治郎左衛門、大嶋村久兵衛、水内郡惣代津野村儀左衛門、赤沼村助右衛門 民部省松原土木大令司様、三浦土木少令司様	明治3午年2月	半・1冊	1029

会計所御用

奉請取手形之事(千曲川屈曲堀割普請諸式代・人足賃御下ケ金受取) 高井郡東江部村御普請会計方惣代庄左衛門、市左衛門、兵左衛門、六地蔵町奥右衛門 松代藩御役所下書		豎紙・1通	558
(書状、九反村土方へ貸付金25両の返済方、今井村為治ほか勘定合入込につき熊太郎立越願、水縄返納) (堀川掛)会計所 山田御本家様 包紙とも	未11月14日発出	横切紙・1通	716
(廻章、水除普請明日開始につき村々人数差出願、弁当・土持笠・鍬・チョリン等持参のこと) 山田庄左衛門、篠田市左衛門、要左衛門 新保村、篠井村、小沼村南組、北大熊村、南大熊村、桜沢村、矢嶋村、清水村、六川村、右村々御名主衆中 包紙とも	19日	横切紙・1通	768
(書状、8月14～16日の休暇は県の指示か問合につき返答) 立ヶ花村西原良八 東江部村山田庄左衛門様、尊下	8月2日	横切紙・1通	769
(千曲川瀬直し関係廻状一括) こよりで一括	(明治3)	1束	786
(廻章、土木司・藩県出役の仰渡をめぐり相談のため出勤願) 栗林出張会計所 安源寺村忠右衛門様、ほか13名 包紙とも	(明治3) 午11月10日	横切紙・1通	786-1
口演(廻章、明日土木司より申渡につき芝屋まで印形持参し出張願) 理兵衛、要左衛門 矢島村、中条村南組、清水村、中子塚村、六川村(善兵衛様)、羽場村、押切村、北岡村、山王島村、右村々御名主中 包紙とも	6月12日未ノ中刻	横切紙・1通	786-2
(廻章、土木司ほか出役より差図につき明朝惣人足差	(明治3) 午10月20日亥	横切紙・1通	786-3

出願) 会計所惣代 吉田村、岩舟村、西間村、西條村、小田中村両組、右村々御役人中 包紙とも	上刻		
(廻章、東側堀足分明日中仕上の指示につきできるだけ人足差出願) 栗林村御普請掛会計所 安源寺村、草間村、矢嶋村、清水村、六川村、北岡村、押切村、羽場村、右村々御役人中様 包紙とも	11月24日戌上刻	横切継紙・1通	786-4
(廻章、東側堀足分明日中仕上の指示につきできるだけ人足差出願) 栗林村御普請掛会計所 片塩村、西江部村、東江部村、新保村、篠井村、小沼村、北大熊村、南大熊村、桜沢村、右村々御役人中様 包紙とも	11月24日戌上刻	横切継紙・1通	786-5
(廻章、新川東通り御普請仕残分を明日にも出来上になるよう人足差出願) 栗林出張会計所 安源寺村、草間村、矢嶋村、六川村、清水村、羽場村、押切村、北岡村、山王嶋村、右村々御役人衆中 包紙とも	11月27日	横切継紙・1通	786-6
(廻章、昨日の通知にもかかわらず人足不差出の村あり、土木司の仰渡につき明日人足差出願) 栗林出張会計所 片塩村、西江部村、東江部村、新保村、篠井村、小沼村、北大熊村、南大熊村、右村々御役人衆中 包紙とも	11月28日	横切継紙・1通	786-7
(廻章、明後急入用につき軒別5俵宛会計所へ差出願、村別縛・俵数書上とも) 栗林出張会計所 安源寺村、草間村、矢嶋村、六川村、清水村、羽場村、押切村、北岡村、山王嶋村、右村々御役人衆中様 包紙とも	(明治3) 午後10月17日 亥上刻	横切継紙・1通	786-8
(廻章、昨日の通知にもかかわらず人足不差出の村あり、土木司の仰渡につき明日人足差出願) 栗林出張所会計所 草間村、矢嶋村、六川村、清水村、羽場村、押切村、北岡村、山王嶋村、右村々御役人衆中 包紙とも	11月28日午中刻	横切継紙・1通	786-9
口演(廻章、明日土木司より申渡につき芝屋まで印形持参し出張願) 理兵衛、要左衛門 片塩村、安源寺村、草間村、立ヶ花村、右村々御名主中 包紙とも	6月12日未ノ中刻	横切継紙・1通	786-10
(廻章、小池様要左衛門殿帰国につき相談のため芝仁へ出張願) (水防惣代)理兵衛、善兵衛、藤兵衛 西江部村、片塩村、草間村、立ヶ花村、右村々御名主中 包紙とも	4月25日	横切継紙・1通	786-11
(廻章、土木司より仰渡につき明日明後日男残らず差し出し堀場残り場所堀立願) 栗林村会計所 安源寺村、片塩村、西江部村、東江部村、新保村、篠井村、小沼村、北大熊村、南大熊村、桜沢村、右村々御役人衆中様 包紙とも	(明治3) 午10月29日	横切継紙・1通	786-12
(添状、人足御差し出しゆえこの廻章には関係ないが村継願) 会計所 草間村御役人中様 包紙とも	11月28日	横切継紙・1通	786-13
「勘定向入用先端書入ル」(千曲川瀬直し関係力)	(明治初)	1包	848
覚(矢嶋村納分等金98両余受取) 栗林村会計方丸山様、山田様、篠田様	(明治3) 閏10月24日	横切紙・1通	848-1
(金子勘定書付) 多くのものに墨消し		22通	848-2

人足・諸入用

「堀割買物請取書入袋」 長沼[]		袋・1袋	741
(書状、白米1石代金14両1分余請求) 浅野村十一屋宇三郎(印) 長沼津野町御役人中様	午7月4日	切紙・1通	741-1
覚(上酒計3斗8合代金6両3分1朱余書上) 新保村宇右		切紙・1通	741-2

衛門(印) 今井村上様			
覚(枇杷葉湯代金1両1分余受取) 菱屋儀兵衛(印) 上	6月28日	横切継紙・1通	741-3
(西江部夫草間村弥吉、茄子ほか品物代金書上)		切紙・1通	741-4
覚(白うり7本代200文受取) 新保村定右衛門 上様		切紙・1通	741-5-1
741-5-1~4は一綴り			
覚(茄子105玉代1貫500文受取) 西江部村源左衛門	7月3日	切紙・1通	741-5-2
覚(牛蒡ほか代1貫700文受取) 江部文六 御会計方中	7月2日	切継紙・1通	741-5-3
覚(木瓜ほか代434文受取) 東江部直蔵 上様	7月3日	切継紙・1通	741-5-4
覚(枇杷葉湯ほか代金2両1分余受取) 菱屋儀兵衛	6月27日	横切継紙・1通	741-6
(印、「御薬種所」) 上 741-7~11を挟込			
覚(上茶ほか代金3朱余受取) かし八や由之助 上	6月27日	切紙・1通	741-7
覚(手桶ほか代金2分2朱受取) 萬や浅五郎 上	午6月27日	切紙・1通	741-8
覚(品物代金1分3朱受取) 萬や勘兵衛 上	午6月27日	切継紙・1通	741-9
おほへ(8寸井・すり鉢ほか代136匁余受取) 萬や喜	6月27日	切紙・1通	741-10
十郎 上			
覚(味噌ほか代14貫600文受取) 綿屋溜店(印、「中野東	6月27日	切紙・1通	741-11
町」) 上			
おほへ(焼酎ほか差引計5貫946文受取) 国之助(印、	7月13日	横切継紙・1通	741-12
「水内郡上今井・糺邦」) 御上様			
覚(蝋燭8袋差遣し受取願) 東江部文六 会計御惣代		切継紙・1通	741-13
中			
覚(極生酒9升7合代金2両3分2朱余書上) 南郷村大黒	午7月21日	切継紙・1通	741-14
屋 長沼栗田町幸四郎様			
(茶代ほか計1両1分1朱余戸隠御参詣書附) 山川		切紙・1通	741-15
様 741-15と16は畳込一括			
覚(酒代ほか計3分余、山川様戸隠御参詣受取) 有田屋	7月15日	切継紙・1通	741-16
五右衛門 上様			
覚(玉そうめん代金3分1朱余受取) いつみや[] 上	7月7日	切紙・1通	741-17
覚(大福ほか代金2両受取) 近江屋六兵衛 住田奥右	7月24日	切紙・1通	741-18
衛門様			
覚(菊川1斗代金2両2分受取) 岩舟村中村屋蔵(印)	午6月24日	切紙・1通	741-19
長沼内町御名主三吉様			
覚(切素麵12把代1貫800文、要左衛門様へ差上、出帳		切紙・1通	741-20
に御印下され願) 御会計方中			
(胡瓜・白瓜21本代800文書上) 吉田村庄作		豎切紙・1通	741-21
覚(桜川9升7合代金1両3分2朱余書上) つるや(印、	7月9日	切継紙・1通	741-22
「大倉」) 上			
覚(晒ほか代金1朱余受取) 菱屋儀兵衛(印) 上	7月10日	切継紙・1通	741-23
覚(代金3貫100目受取) こんや佐左衛門(印) 上	午7月10日	切継紙・1通	741-24
741-24~26は畳込一括			
覚(丸竹1貫受取) 中の樽金 上	7月10日	横切継紙・1通	741-25
(旗竿手間代300文受取) 慶之介		豎切紙・1通	741-26

覚(手拭代1貫500文) 山之酒や店(カ) 上 741-27と28は折込一括	7月11日	豎切紙・1通	741-27
中野買もの(枇杷葉湯ほか代金差引13貫432文受取)	7月11日	豎切紙・1通	741-28
おぼへ(玉簾・池の尾代金1分2朱受取) なかや長右衛門(印、「中野・福寿園」) 上	7月19日	切継紙・1通	741-29
覚(上酒1斗1升5合代金1両3分2朱余受取) 山田屋蔵龍吉(印、「水内郡蟹沢村」) 赤沼村源兵衛様	7月7日	切紙・1通	741-30
覚(土瓶ほか計2分余受取) 芝屋伊助(印、中野横町) 上	6月26日	切継紙・1通	741-31
覚(晒代6匁5分受取) 坂口屋店(印) 上	7月16日	切紙・1通	741-32
覚(鮭5本ほか代金7両2分余受取) 野田屋吉助(印、「飯山本町」) 江部村惣吉様 741-33と34は折込一括	7月12日	横切継紙・1通	741-33
覚(内山紙代金2両2分3朱受取) 野田屋重右衛門(印、「飯山」) 江部村惣吉様	(明治3)庚午7月12日	切紙・1通	741-34
覚(桜川9升8合代金1両3分余受取) つるや 上 741-36を挟込	午7月12日	切紙・1通	741-35
(茄子ほか代5貫350文書上)		切紙・1通	741-36
覚(内山紙代金1両3朱余書上) 菱屋店(印、「信州中野・御栗種所・菱屋儀兵衛」) 喜平様	7月26日	切紙・1通	741-37
(本陣金5両、料理人2分、油大工2朱、髪結2朱ほか計13両2分2朱余書上)	7月14日	折紙・1通	741-38
(受取書綴り)		綴り・1綴(10通)	741-39
「明治三午年七月中の盆前品々雑用払、高井郡持分百弍拾五両三分、要左衛門取計候諸々請取書入」包紙は、椎谷藩・伊那藩への届書の反古紙を使用		1包	960
覚(まさごほんでん金2朱余書上)		小切紙・1通	960-1
覚(六川様宿泊雑用代39両余ほか受取) 高野屋武左衛門 今井堀割御惣代衆中様	(明治3)午7月13日	折紙・1通	960-2
今井地内堀割一件賄入用帳 池田屋御旅宿	明治3午年正月26日～2月6日	横長半・1冊	960-3
今井地内堀割一件賄入用帳 池田屋御旅宿	明治3午歳6月12日～25日	横長半・1冊	960-4
諸方払方覚(高井郡・両郡2ツ割、両郡7分3分割)	(明治3)午7月日	横長半・1冊	960-5
上今井村曲流一件二付取替金書抜帳(巳10月～7月、ノ23両余受取) さくら澤定之助	(明治3)午閏10月11日	横長半・1冊	969
覚(宿泊14人ほか代金差引7両1朱余書上) 穀屋七左衛門 御掛り御惣代衆中様	午7月	横切紙・1通	978
覚(松代玉井様宿泊ほか代金1両2分ほか書上) 袋屋(印) 各々様	午7月	横切継紙・1通	979
覚(かき・つぎ手間代ほか代金2両2分余書上) 経師屋安五郎 上	7月13日	横切紙・1通	980
(水防費六川村負担相論、上今井村贖米相論関係書類一括) こより紐一括		1束	1036
山田・シノ田割合勘定(辰12月六川村へ500円貸し)	(明治8)亥6月3日	横切継紙・1通	1036-1

六川勘定(戌10月丸山氏へ書き送りの控) 山田庄左衛門	(明治7)甲戌10月26日	横切継紙等を張り合わせたもの・1点	1036-2
水防入費割賦勘定書 1036-4を挟込	(明治6)癸酉1月	横切継紙・1通	1036-3
円徳耕地水防入費貳拾壹ヶ村割合 右水防元惣代東江部村山田庄左衛門、西江部村篠田市左衛門代倅篠田修助、安源寺村丸山要左衛門 六川村戸長副御中	(明治6)癸酉1月	横切継紙・1通	1036-4
記(羽場より200円入ほか仮預り丸山氏へ渡分)		横切継紙・1通	1036-5
(書状、上今井村新堀川一条につき協議整わず双方斟酌し所見申越されたきこと) 長野県第3課 北第19大区4小区江部村副区長山田庄左衛門殿 封筒とも、1036-6-2・3封入	(明治)11年4月15日	罫罫紙・1通	1036-6-1
(上今井村地租改正により約定抵触、新川敷潰地作徳米弁償、古川起返り地交換のこと所見申上) 北第19大区副区長山田庄左衛門 長野県第3課御中	明治11年4月	罫罫紙・1綴(2枚)	1036-6-2
(書状、上今井村贖米一件につき見込差出されたきこと) 長野近山二而市川和平拜 北第19大区御会所御中	第4月17日	罫罫紙・1通	1036-6-3
水内郡上今井村堀川一件調書 1036-8と疊込一括		罫罫紙・1通	1036-7
下水内郡上今井村堀川事業調書(得失経費表あり) 堀川総代吉邨駒之助、高見澤市右衛門、町田仲右衛門、丸山要左衛門 御掛御中	明治12年11月19日	罫罫紙・1通	1036-8
(書状、今井村新川堀割につき郡中尽力につき水災免れ大慶のこと、草津入湯のこと) 松原勝太郎(斐君) 山田庄左衛門殿、成田兵左衛門殿ほか6名	10月4日	横切継紙・1通	1036-9
記(山田庄左衛門へ水防惣代頼み諸入用六川村出入につき催促あるいは訴訟のこと頼み証文) 高井郡片塩村戸長堀内政吉(印)ほか17名 安源寺村丸山要左衛門殿、押切村永井重右衛門殿、新保村宮寄治助殿、小沼村小林茂右衛門殿 端裏貼紙「六川滞金一件惣代頼書水防組合二十ヶ村 要左衛門外三人宛」	明治6癸酉年1月	横切継紙・1通	1036-10
(回章、上今井村贖事件につき村方改正田畑地価取調、地価書上) 水防惣代丸山要左衛門(印) 羽場村(印、笹岡)、押切村(印、町田)、北岡村(印、北岡)、山王島村(印、小嶋)、六川村(印、小林)、清水村(印、宗)、矢嶋村(印)各村々用掛御中	明治10年9月3日	罫罫紙・1綴(4枚)	1036-11
北第拾九大区之内水防組合村田畑地価調(15ヶ村)		罫罫紙・1綴(4枚)	1036-12
議定書之事(上今井村地租改正につき貢租負担のことなど取決め) 第19大区1小区桜沢村用掛佐藤青次郎(印)ほか10名	明治9年6月	半・1冊	1036-13
書付ヲ以奉歎願候(千曲川瀬直しにつき上今井村贖米議定取消、潰地買請金1万3千円無利息26年賦にて拝借願) 信濃国下高井郡三ツ和村ノ内小沼土木起切惣代大宮清吉(印)ほか66名 長野県令檜崎寛直殿下高井郡書記、上高井郡々長、上水内郡々長の奥印あり	明治13年1月24日	半・1冊	1036-14

村 役 人

年代 成立年代 寛保2(1742)年～安政3(1856)年

数量 23点

歴史

山田庄左衛門家は東江部村役人としてはあまり多くの活動をしていない。表4の東江部村村役人表からは以下のことがうかがえる。すなわち、庄左衛門家は寛保・延享期、文久期には一時的に名主を勤めたがそれ以外の時期には勤めていないこと、そのかわり分家が名主をほぼ独占的に勤め組頭・百姓代についても同様に分家とその多くを占めていたこと、庄左衛門家は18世紀まではほとんど村役人として名前が出ないが19世紀以降百姓代をほぼ定席としたように見えること(ただし文化～天保期のデータが不足している)である。一言で述べるならば、山田庄左衛門家は表向きは東江部村役人としての活動をあまりしていないが、実際には村政に対する大きな影響力を持っていたとすることができる。表4には示すことができなかったが、山田庄左衛門が「東江部村年寄」という肩書を使っている例もあるので村方三役に名を連ねていない時でも村役人層の一員としての立場を保持していたと言えるかもしれない。

しかし、このような独占的立場を当初から山田家が村内において保持していた訳ではない。17世紀の東江部村村役人制について知りうる史料は多くは見出せないが、延宝期ころまでの名主は当初は主に宮崎家、綱島家といった山田家以外の者が勤め、その後、山田家分家(理右衛門、文右衛門など)と交替していった模様である。

構造と内容

上記の通り山田庄左衛門家が名主を勤めたのはごくわずかな期間で、ほとんどは分家がそれを勤めていたため、村役人史料の基本的なもの(宗門人別改帳、村入用帳など)が同家文書中にはあまり揃っていないことが特徴的である。また、ここに収めた史料の中には庄左衛門がまったく村方三役を勤めていない時期のものもあるが、分家が名主を勤めているので背後から関与したこともあると思われること、しばしば年寄という肩書を名乗っていること、などからその場合でも村役人としての活動の延長線上で作成したものを見なしてここに収めることにした。このサブ・グループは次のシリーズから構成されている。すなわち「領主関係」、「夫食拝借」、「相論」、「普請」、「その他」である。以下に必要なものに限りその概要を簡単に示しておく。

「領主関係」としては「御支配渡り并名主替心覚入」という袋入りの2通(作徳金受取覚、歴代代官名書上)があるが、作徳金受取覚は袋表書とは内容が齟齬するように思われるので、後から入れられたものかもしれない。「夫食拝借」としては夫食拝借割渡帳の帳崩れがある。目録(その1)掲載分を参考にすると、中野役所よりの夫食米拝借に関するものであると考えられる。「相論」としては、百姓和助弟酒乱狼藉に関する一札があるのみ。「普請」については17通とややまとまった量の史料が残っている。いずれも篠井川に架かる殿橋の御普請に関わるもので、寛保期(1741～1743)と寛政期

表4 東江部村村役人表

年代	西曆	名 主	組 頭	百 姓 代	典 拠
宝永4	1707	利右衛門	弥兵衛		232-1
宝永7	1710	利右衛門、文六	弥兵衛		261-2
享保11	1726	武兵衛			8
享保15	1730	与兵衛	太郎左衛門、新兵衛		74
享保16	1731	伊左衛門			10-1
享保17	1732	文右衛門			11
元文3	1739	理兵衛	金右衛門、平八	長百姓・文右衛門、同伊左衛門、同権兵衛、同文七、同金左衛門	45
元文4	1739	理兵衛	太郎右衛門、喜兵衛	伊左衛門	理85
寛保2	1742	庄左衛門	文左衛門、理右衛門	喜兵衛	2、55
延享元	1744	庄左衛門			27-1
延享3	1746	利右衛門	茂右衛門、文左衛門	文右衛門	理52
寛延2	1749	理右衛門	文左衛門、茂右衛門	文右衛門、金左衛門	理86
寛延3	1750	理右衛門	文左衛門、茂右衛門	金左衛門、文右衛門、庄左衛門	理73
宝曆3	1753	理右衛門	文左衛門、茂右衛門	金左衛門、文右衛門、庄左衛門	理71
宝曆4	1754	理右衛門	文左衛門、茂右衛門	庄左衛門、文右衛門、金左衛門	理54
宝曆5	1755	利右衛門	文左衛門、茂右衛門	文右衛門	242-1、理104
宝曆6	1756	理右衛門	文左衛門、茂右衛門	文右衛門	理36-46
宝曆7	1757	利右衛門	文左衛門、茂右衛門	文右衛門	理36-42-1
宝曆8	1758	理右衛門	文左衛門、庄吉	文右衛門	理36-53
宝曆9	1759	理右衛門	文左衛門、庄吉	金左衛門、文右衛門、庄左衛門	理95
宝曆10	1760	理右衛門	文左衛門		理2
宝曆11	1761	理右衛門	文左衛門、庄吉	文右衛門	427
宝曆13	1763	理右衛門	文左衛門、庄吉	文右衛門	理36-50
明和2	1765	理右衛門	文左衛門、庄吉	文右衛門	理53
明和3	1766	理右衛門	文左衛門、庄吉	文右衛門	265-1
明和4	1767	理右衛門	文左衛門、庄吉	文右衛門	理8
明和5	1768	理右衛門	文左衛門、庄吉	文右衛門	理36-5、理27
明和7	1770	理右衛門	文左衛門、庄吉	文右衛門	265-3
明和8	1771	理右衛門	文左衛門、庄吉	文右衛門	265-9
明和9	1772	理右衛門	文左衛門、庄吉	文右衛門	理24
安永4	1775	利右衛門			理36-61-1
安永5	1776	理右衛門	文左衛門、庄助	文右衛門	理100
安永6	1777	理右衛門	文左衛門、庄助	文右衛門	理28
安永7	1778	理右衛門	文左衛門、庄助	文右衛門	理25
安永8	1779	理右衛門	文左衛門、庄助	文右衛門	理96
安永9	1780	理右衛門	文左衛門、庄助	文右衛門	理36-11
天明元	1781	理右衛門	文左衛門、庄助	文右衛門	理72
天明3	1783	理右衛門			理36-3
天明5	1785	理右衛門	庄助、利左衛門	文右衛門	理108
天明7	1787	理右衛門	庄助、利左衛門	文右衛門	理105
天明8	1788	理右衛門	庄助、利左衛門	文右衛門	理32
天明9	1789	理右衛門	庄助、理左衛門	文右衛門	417-1
寛政3	1791	吉太郎	利七、治助	文右衛門	267-8-2
寛政4	1792	吉太郎	利七、伊右衛門	文右衛門	419-1
寛政5	1793	文六	利七、伊右衛門	文右衛門	428
寛政7	1795	文六	彦五郎、伊右衛門	忠助	理12
寛政10	1798	文六	彦五郎、伊兵衛	庄左衛門	419-3
寛政11	1799	文六	彦五郎、伊兵衛	庄左衛門	417-4
寛政12	1800	文六	彦五郎、伊兵衛	庄左衛門	417-6
寛政13	1801	文六	彦五郎	庄左衛門	267-7-1

年代	西暦	名主	組頭	百姓代	典拠
文化元	1804	文六	伊兵衛		422-1
享和4	1804	文六	伊兵衛		426-2
文化7	1810	文六			235-3-13
文化8	1811	文六	文蔵		235-4-1-18、26
文化9	1812	文六			235-5-2-9
文化10	1813	文六			235-6-20
文化11	1814	文六			235-7-1-8
文化12	1815	文六			235-7-1-43
文化13	1816	文六			235-9-2-8
文化14	1817	文六			235-9-1-10
文政元	1818	文六			235-10-1-12
文政2	1819	文六			235-10-2-12
文政3	1820	文六			235-11-14
文政4	1821	文六			235-11-43
文政6	1823	文右衛門	理右衛門、伊兵衛		理36-61-3
文政7	1824	文右衛門	理右衛門	庄左衛門	理36-44、理7
文政8	1825	文右衛門			235-12-1-54
文政11	1828	文右衛門			244-1
文政12	1829	文右衛門			245
天保2	1831	理右衛門	267-2によると名主文右衛門、組頭理右衛門		理36-27
天保4	1833	理右衛門			理36-13
天保5	1834	理右衛門			理36-19
天保6	1835	理右衛門			理36-32
天保7	1836	理右衛門			理36-23
天保9	1838	理右衛門			理36-34
天保11	1840	理右衛門	先組頭伊右衛門、跡組頭伊兵衛、市右衛門	庄左衛門	理36-16、理92
天保12	1841	理右衛門	市右衛門		理36-38
天保13	1842	理右衛門			理36-56
天保14	1843	理右衛門	伊兵衛、市右衛門	庄左衛門	理36-10、18
天保15	1844	理右衛門	伊兵衛、市右衛門	庄左衛門	理36-55、理78
弘化2	1845	理右衛門	伊兵衛、市右衛門	庄左衛門	理47
弘化3	1846	理右衛門	伊兵衛、市右衛門	庄左衛門	277-7-18、理59
弘化4	1847	理右衛門	伊兵衛、市右衛門	庄左衛門	理36-21
嘉永2	1849	理右衛門	伊兵衛、文六	庄左衛門	理36-17
嘉永3	1850	理右衛門	伊兵衛、文六	庄左衛門	理36-15、理82
嘉永4	1851	理右衛門	伊兵衛、文六	庄左衛門	理36-28
嘉永5	1852	理右衛門	伊兵衛、跡役栄左衛門	庄左衛門	理36-33、理91
嘉永6	1853	理右衛門			理36-31
文久2	1862	庄左衛門			246-2-1
文久3	1863	庄左衛門	理右衛門、市右衛門	文六	435-1
元治2	1865	理兵衛	市右衛門		435-2
慶應2	1866	理兵衛			82
明治元	1868	理兵衛			246-1
明治2	1869	理兵衛			山田顕善履歴
明治3	1870	文六			

典拠：理 = 山田理右衛門家文書、番号のみ = 山田庄左衛門家文書

註：ゴチックは山田家の一族であることが確実なもの

(1789～1800)のものがある。

関連史料

目録(その1)を参照。

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

村役人

領主関係

「御支配渡り并名主替心覚入」		袋・1袋	570
覚(年貢諸役を差し引いた作徳金残額の受取) 東江 部村山田庄左衛門 綿内村役代佐野七様	安政3辰年12月25日	切紙・1通	570-1
(歴代代官名・任期の書上)	(寛政以降)	折紙・1通(2枚)	570-2

夫食拝借

(夫食拝借割渡帳) 帳崩れ		横長美・1冊	466-6
---------------	--	--------	-------

相論

一札之事(当村百姓和助弟酒に狂い狼藉のこと) 下部 破損	寛政9年	縦継紙・1通	601
---------------------------------	------	--------	-----

普請

「寛政四子十月廿六日 殿橋御普請願一件、并古書物写 入」(袋をひらいたもの) 862~908は紐で一括、「川除 普請」の荷札とも		1枚	862
乍恐以書付奉願上候(往還板橋の村請御普請再願) 高 井郡東江部村名主庄左衛門、組頭久左衛門、惣百姓代卯右 衛門、ほか2名 中野御役所	寛保2年戌5月12日	縦紙・1通	863
「上 東江部村」		1包	864
差上申村請証文之事(東江部村地内北国往還板橋御 普請につき、控) 信州高井郡東江部村名主、与頭、同、 百姓代	寛保3年亥6月29日	縦紙・1通	864-1
差上ヶ申書付之事(往還板橋御普請仕来の訳、控) 名主、組頭、百姓代 端裏書「寛保三亥六月廿三日二御普 請御役人橋原政右衛門様へ差上申候ひかへ、当所なし」	(寛保3) 亥6月	縦紙・1通	864-2
請取申米金之事(御普請につき御入用金・人足扶持米 共受取書、控) 信州高井郡東江部村名主、組頭、同、 同、百姓代	年号月日	縦切紙・1通(2枚)	864-3
野呂猪右衛門御代官所信州高井郡東江部村往還橋御普 請出来帳 篤定治郎、伴為右衛門、橋原政右衛門	寛保3年亥7月	美・1冊	866
信州高井郡東江部村往還土橋御普請目論見帳 河尻甚 五郎 帳末の記載「寛政五年丑三月廿一日御下知御座候節 御仕用帳写取申候帳」		美・1冊	867
信州高井郡東江部村往還掛替御普請出来帳 篤定次郎、 伴為右衛門、橋原政右衛門	寛保3年亥7月	半・1冊	868

村役人/普請

差上申覚書之事(殿橋御普請所関係書類の控を提出、前々通り御普請所許可願) 高井郡東江部村庄左衛門、名主吉太郎、与頭利七、同伊右衛門、百姓代文右衛門 河尻甚五郎様御役所 端裏書「御普請所控書物差上候目録証文」	寛政4子年10月	豎継紙・1通	879
乍恐以書付奉願上候(篠井川往還板橋懸替御普請願、御普請帳は中野騒動で焼失) 信州高井郡東江部村名主吉太郎、与頭利七、同伊右衛門、百姓代久右衛門 河尻甚五郎様御役所 端裏書「殿橋願寛政四子十月、丑三月廿一日御土橋二御普請相叶御下知御ざ候」	寛政4年子10月	豎継紙・1通	887
乍恐以書付奉願上候(篠井川往還板橋懸替御普請願、御書物は中野騒動で焼失したが御普請所に相違なし) 風祭救馬御代官所信州高井郡東江部村名主吉太郎、ほか3名 御巡見様 端裏書「是八不相叶不申候」	寛政元酉年4月	豎継紙・1通	892
差上申一札之事(殿橋懸替御普請御入用のうち金1両3分受取) 高井郡東江部村名主文六、ほか3名 河尻甚五郎様御役所	寛政5年丑5月	豎紙・1通	893
覚(代官・手代の見分日時等書上)		切紙・1通	894
差上申覚書之事(庄左衛門家の御普請関係書類を差出、御普請許可願) 信州高井郡東江部村庄左衛門、ほか4名 河尻甚五郎様御役所	寛政4年子10月	豎継紙・1通	895
覚(板橋御普請御用釘・かすがい納品請負証文) 中野かちや甚五右衛門(印) 東江部村御名主庄左衛門殿	寛保3年亥7月1日	豎紙・1通	896
乍恐以書付奉申上候(橋御普請の材木其他一式村請、橋完成の日限も遵守、控) 高井郡東江部村名主文六、ほか3名 河尻甚五郎様御役所	寛政5年丑3月22日	豎切紙・1通	897

その他

覚(座頭衆が村継に来村する旨) 西間村名主 東江部村御名主所	7月24日	切紙・1通	466-223
--------------------------------	-------	-------	---------

近代の役職

年代 成立年代 明治3（1870）年～明治25（1892）年

数量 155点

歴史

幕末期に郡中取締役を勤めた山田庄左衛門であったが、明治初年には北信商社、千曲川瀬直し工事などの仕事に忙殺されている。明治3（1870）年12月には、中野県庁舎を焼き討ちして県官を殺害した中野騒動勢が旧郡中取締役・北信商社員をも標的に据えたため、本分家ともども屋敷を焼き払われているが、この時庄左衛門自身は掛屋として県庁公金の避難に腐心していたようである。その後、明治期の地方制度をめぐる政策が展開していくと、今度は区戸長職を歴任することになる。以下では区制の変遷を追いながら、庄左衛門の活動を見ていきたい。

明治4（1871）年4月戸籍法制定をうけて各藩県ごとに戸籍区の編成が進められたが、廃藩置県後の府県統合によって同年11月に統一な長野県が成立すると、当初は旧藩県の単位を残して旧区画を継承した区制（東江部村は第22区に）がとられていたものの、やがて矛盾を生ずることとなり、明治5年4月には管下6郡を旧単位にとられず72の区に再編成する区画改正が行われた（東江部村は第43区に）。第22区戸長は山田庄左衛門（健蔵）が勤めたが、第43区戸長は明治5年正月以来西江部村篠田市左衛門が勤め、副戸長を分家の山田文六が勤めた。この間篠田に交替した事情は不明だが、健蔵は若くして当主になったばかりである上に、中野騒動による屋敷焼亡、商社事件と心労が続き、同年6月に急逝したと関係があったかと推測される。さらに同年11月には区の戸長副と村の名主・組頭の職務分掌のあり方が問題になり、「区戸長事務章程」が制定され従来の戸長副が区長副に、名主・組頭が戸長副に改称され、区長の職務は戸籍事務のほか戸長の監視などに拡大された。そして明治6年2月には篠田にかわって山田庄左衛門（顕善、分家から入った新当主）が第43区区長に就任し（副区長は引き続き山田文六）、明治7年3月からは第44区の区長をも兼務した。

政府は地方官からの申立をうけて明治5年10月には大区小区制（大蔵省達146号）を認めていたが、長野県では区画改正に時間を要したため、ようやく大区小区制が発足したのは明治7年7月のことである。この時第19大区では山田庄左衛門が副区長に就任（区長は任命されず）したが、正副区・戸長はいずれも官選で、給料は民費支出ではあるが官吏の等級制に応じた統一的給与体系が採用され、区長（副区長）は区会所に詰めて事務を扱った（表5）。

表5 第19大区の構成 = 大区会所、 = 小区会所

第1小区	桜沢村、三ツ和村、新保村
第2小区	立ヶ花村、牛出村、草間村、安源寺村、栗林村、片塩村
第3小区	間山村、篠井村、新野村、更科村
第4小区	小田中村、西条村、岩舟村、江部村、吉田村
第5小区	中野町

以上の制度の下で地租改正、徴兵検査、町村合併などの諸事業が展開された。しかし明治11年7月に郡区町村編制法が公布されると、翌年6月にいたって大区小区制は廃止され、大区はその機能を郡に引き渡すこととなった。その際山田庄左衛門は明治12年1月から3月にかけて郡書記を勤めるがすぐに退任している。

なお、山田庄左衛門はこれ以外にも、勸業集談会や下高井郡全部組合会にも関わっていたようである。また、明治23（1890）年には貴族院議員（多額納税議員）に選出され、明治31（1898）年3月には分家の理兵衛が自由党から衆議院議員に当選し、同年9月には庄左衛門が憲政党から同じく衆議院議員に当選している。

構造と内容

ここでは幕末から明治期以降における、東江部村一村をこえた広い範囲での山田家の政治的諸活動を「近代の役職」として一括した。このサブ・グループは主に「幕末維新期の陣屋・県御用」、「第19大区副区長」というサブ・サブ・グループによって構成されるが、点数はあまり多くないものの「下高井郡全部組合会」、「貴族院議員」に関わって活動した際の史料が残されているので、これもサブ・サブ・グループとして立項した。

（1）幕末維新期の陣屋・県御用

この関係では、明治3（1870）のものと思われる公金輸送関係の史料が2点ある。山田家が中野代官所の掛屋を勤めていたことによるものであろう。

（2）第19大区副区長

ここでは関係文書を、「地租改正」、「区会」、「大区会所経費」、「県道工事」、「その他」のシリーズに分けて編成した。そのうち「大区会所経費」は会所維持に関わるもので、茶代や建物営繕費などが多いが、紙代、板木代、玉串料なども目に付く。「県道工事」は明治10（1877）年前後の、草津越えの県道箱山新道の工事・修繕に関するものが中心である。

（3）下高井郡全部組合会

これについては里道改修測量順序諮問案・歳出費目追加及流用方法案に関する史料が1冊あるのみである。

（4）貴族院議員

議員として政治活動を行う中で作成・授受された史料は多くなく、宇都宮大演習観兵式の宴会招待に関するものがあるだけである。

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

近代の役職

幕末維新期の陣屋・県御用

御金才領東京行諸入用帳(午六月十二日立、七月二日帰国)彦兵衛、吉兵衛	(明治3力)	仮綴(横長半)・1冊	998
御金荷物駄賃・造用払之控并二外入用共 塩屋七郎右衛門	(明治3年力)	横長半・1冊	1034

大区副区長

地租改正

(各小区ごと下げ渡しの旧村地順帳受取書)	明治9年8月5日～12日	1冊	607
----------------------	--------------	----	-----

区会

(区会の学事審議に対する建議書) 平穩村平人竹山由五郎、湯本由三郎 議長閣下 袋共、587-1～6は無地の袋入	明治11年2月23日	綴り・1綴	587-1
(区会での学校関係討議に対する意見メモ書)	(明治)	朱罫紙・2枚	587-2
(人名札、名刺力) 包紙共、包紙は明治11年の大区会議場宛区会議員委託書を利用	(明治)	小切紙・21枚	587-3
(議員代理出頭届) 北第拾九大区七小区平穩村竹節安吉 北第拾九大区 紙背に区会議長担当時のメモ書あり	明治11年2月22日	朱罫紙・1通	587-4
廿三日名刺(人名札) 包紙共		小切紙・18枚	587-5
(甲乙丙各組幹事および総幹事の投票書、大区区会議員による) 帯封、包紙共	2月22日	切紙・36通	587-6

大区会所経費

「明治八年従一月至十二月 金銀限受取切手入」	明治8年1月～12月	1包	726
証(第一県社生島足嶋神社への玉串拝受、19大区各小区の初穂、金43円91銭6厘) 右御社神務所(印) 第拾九大区副区長山田荘左衛門殿 726-1・2はこより紐一括	明治8年9月	罫罫紙・1通	726-1
(書状、玉串神前へ奉納遅延の詫びほか) (生島足嶋神社祠官)菅春風 (第拾九大区)山田荘左衛門様 封筒とも	9月27日	横切紙・1通	726-2
記(9月分月給15円25銭受取) 中野町屯所詰山本庫之助(印) 山田荘左衛門殿	明治8年10月3日	朱罫紙・1通	726-3
覚(酒ほか代金8両2分3朱受取) 柳長(印) 上	10月21日	横切紙・1通	726-4
記(蠟燭代ほか34銭書上) 726-4に挟込		横切紙・1通	726-5
記(判すりはけ大2丁代金18銭3厘受取) しほや七右衛門(印、「信州中野町塩屋」) 拾九大区役所御中	11月18日	切紙・1通	726-6
記(生糞ほか代金10銭受取) か々やむ兵衛(印、「信州中	(明治8)い11月18日	切紙・1通	726-7

近代の役職/大区副区長/大区会所経費

野・加賀武) 上 第拾九大区会社御中			
記(屯所経費立替分残金21円90銭7厘受取) 五小区取扱所(印) 第拾九大区会所御中	明治8年11月13日	朱罫紙・1通	726-8
領収之証(講習所新築金261円32銭5厘) 長野県 第拾九大区	明治8年4月23日	竪切紙・1通	726-9
記(宇治山代金45銭受取) 蔦屋平兵衛(印、「善光寺蔦屋正兵衛」) 拾九大区御会所御中	12月4日	切紙・1通	726-10
証(一等民費ほか金172円10銭1毛受取) 県庁詰区長副(印) 第十九大区区長副御中 726-12を挟込	明治8年10月23日	青罫紙・1枚	726-11
証(燕麦5人代金3銭受取) 長野県租税課(印、長野県勸業掛) 第拾九大区納 726-11に挟込	明治8年10月23日	切紙・1通	726-12
記(開拓使札引換下渡代金40銭受取) 第拾九大区壱小区副戸長若林惣左衛門(印) 副区長山田莊左衛門殿	(明治)8年6月12日	青罫紙・1枚	726-13
記(小はけ1枚代4匁受取) 浅埜村京屋幸吉(印) 十九大区会社様 726-14~16は畳込一括	5月23日	切紙・1通	726-14
記(明ほの代金9銭1厘5毛受取) 長ノ大門町藤屋嘉助(印) 大十九大区御会所様	5月23日	切紙・1通	726-15
記(喜撰山1斤代金25銭受取) つた屋平兵衛(印) 十九大区御会所	5月23日	切紙・1通	726-16
記(2ヶ月給分30円50銭受取) 中野町屯所詰四等邏卒中 邨重治(印)	(明治)8年7月24日	朱罫紙・1枚	726-17
(品物代金11銭6厘6毛受取) 福井や彦助 第拾九大区会所		竪切紙・1通	726-18
記(喜せん山1斤代金25銭受取) 蔦屋平兵衛(印) 拾九大区御会社(ママ)	11月9日	横切紙・1通	726-19
記(会所囲板堀材木ほか代金6円72銭7厘受取) 大工文五郎(印) 上	亥6月15日	横切紙・1通	726-20
記(1円以下紙幣交換のため金3円30銭預かり) 第廿大区副区長江口曾栄門(印) 山田莊左衛門殿	明治8年5月23日	青罫紙・1通	726-21
記(界紙代金6銭受取) かし八や与助(印、「信州長野柏屋与助」) 上	8月4日	切罫紙・1通	726-22
(御用状入封筒) 長野県権大属渡邊直 高井郡江部村第十九大区会所山田庄左衛門殿 御用状運賃請求書貼付、726-24と畳込一括	(明治)8年12月14日	封筒・1袋	726-23
(御用状入封筒) 県庁詰副区長 第拾九大区区長副御中 御用状運賃請求書貼付	(明治)8年12月14日	封筒・1袋	726-24
記(宇治山1斤代金25銭受取) 蔦屋平兵衛(印) 第拾九大区御会所様御中	7月30日	切紙・1通	726-25
(御用状入封筒) 長野県地理係 第十九大区副長山田庄左衛門殿 御用状運賃請求書・夫賃書付貼付	第9月23日	封筒・1袋	726-26
記(邏卒中屯所営繕費21円99銭5厘受取) 五小区戸長細野平作(印) 副区長山田庄左衛門殿	(明治)8年8月10日	緑罫紙・1枚	726-27
記(喜撰山1斤代金25銭受取) 蔦屋平兵衛 第拾九大区御会所	9月14日	切紙・1通	726-28
記(宇治山1斤代金1分落掌) 吉田たき沢又右衛門(印、「信州吉田本町滝澤又右衛門」) 拾九大区御会所御中	2月16日	切紙・1通	726-29

記(大祓祭典初料14円43銭5厘神納) 中野町神官会所 (印) 拾九大区会所御中 包紙とモ	明治8年1月2日	横切紙・1通	726-30
記(板11畳分ほか代金18銭8厘4毛受取) 戸狩村佐藤伊勢吉(印) 江部村第拾九大区御会所	第6月30日	横切継紙・1通	726-31
記(喜撰山1斤代金1分受取) 薦屋平兵衛(印) 大区御役人中様	4月27日	切継紙・1通	726-32
記(14卦判1枚代金50銭受取) 小田中村伊左衛門(印) 第拾九大区御会所 下部破損	12月30日	切紙・1通	726-33
(御用状入封筒運送賃請求書) 白井承(印) 第拾九大区区长副御中	8月2日	切紙・1通	726-34
記(喜撰山1斤代金25銭受取) 薦屋平兵衛(印) 第拾九大区御会所御支配中様	第8月29日	横切紙・1通	726-35
記(木上正2本代11匁受取) 横田屋文五郎 拾九大区会所様	9月16日	横切紙・1通	726-36
記(大祓初穂金12円87銭4厘受取) 神官会社(印) 第拾九大区御会所	明治8年7月4日	縦罫紙・1通	726-37
証(管内一等課賦金残198円47銭2厘2毛受取) 県庁詰副区长(印) 第十九大区副区长山田庄左衛門殿	(明治)8年6月14日	縦罫紙・1通	726-38
記(版木1枚彫代金81銭2厘5毛受取) 小田中村版木や伊左衛門(印) 第拾九大区御会所御中	(明治)8年4月24日	切紙・1通	726-39
覚(4分1釘50本代2銭受取) 小井屋店(印、「信州中野西町・萬金物所・小井屋大吉郎」) 上	亥4月15日	切紙・1通	726-40
記(焼印2本代金1両受取) 柳本利平代山本良太郎(印、「信州中野金利」) 上 (印、長野県下第拾九大区会所検印)(免税)あり	4月1日	切紙・1通	726-41
証(僕婢ほか金4円7銭3厘受取) 長野県租税課(印) 高井郡第拾九大区山田庄左衛門納	明治8年3月9日	切紙・1通	726-42
荷送券(神宮司荷物、馬浅焚助松) 信州中野中牛馬会社(印、「官許拾壹番組忠牛馬会社信州長野」) 第十九大区高井郡東江部村取扱所行	(明治)7年3月24日	縦切紙・1通	726-43
記(本場川極1斤代金20銭) 小布施塩屋茶店(印) 十九大区御会所御当番中様	亥3月19日	切紙・1通	726-44
記(金1円75銭受取) 片塩村上松平作(印) 第拾九大区御会所	亥3月5日	切紙・1通	726-45
覚(阿一紙2枚代800文受取) 長嶺や平助(印) 上	亥3月2日	切紙・1通	726-46
記(品物代金17銭8厘受取) 菱屋店(印、「中野中町薬種店菱屋儀平」) 拾九大区会所御中	4月14日	切紙・1通	726-47
記(滝ノ音代金25銭落手) 滝屋又右衛門(印) 第十九大区御会所御中 726-55までを挟む	1月30日	切紙・1通	726-48
記(火箸ほか代金61銭7厘受取) かしや増之助 拾九大区会所御中 726-49~51まで疊込一括	1月30日	切紙・1通	726-49
記(祠掌給料134円26銭7厘受取) 祠掌惣代片山司之輔(印) 会所御中	明治8年1月30日	罫紙・1通	726-50
記(会所弓張2ツ代12匁受取) 梅田屋幸助(印) 上	亥1月29日	切紙・1通	726-51
記(出雲玉串初穂料32円4銭2厘5毛受取) 配布人鈴木信(印、「出雲大社配布之印」) 第拾九大区副区长山田庄左衛門殿	亥1月16日	切継紙・1通	726-52

近代の役職/大区副区長/大区会所経費

記(神官給料周旋お礼、不納者告知願) 第十九大区神官 年番惣代宮崎肇 第十九大区副区長山田庄左衛門殿 封 筒とも	明治8年1月30日	青罫紙・1通	726-53
記(五徳代25銭受取) つた屋文七(印、「善光寺桜小路」) 十九大区御会所様	1月9日	切継紙・1通	726-54
記(地薄毛1枚代金2分2朱余受取) 青木屋弥兵衛(印) 十九大区会社	1月11日	横切紙・1通	726-55
証(明治6年分半租金132円16銭お下げにつき受取) 右 (第21大区)副区長武内豊見(印) 第拾九大区副区長山田 庄左衛門殿 半租下金お渡し願書状とも	明治8年1月29日	青罫紙・2通	726-56
記(喜せん山1斤代金25銭受取) つたや平兵衛(印、「御用 善光寺大門町御茶所薦屋平兵衛」) 十九大区御会社御中	4月7日	切紙・1通	726-57
請取証(金4円27銭4厘) 長野県租税課(印) 第拾九大区 村々	9月10日	豎切紙・1通	726-58
記(版木1枚代金10銭受取) 小田中村伊左衛門(印) 第 拾九大区御会所	(明治)8年5月3日	切紙・1通	726-59
記(13罫板代36匁書上) 小田中村伊左衛門(印) 第拾九 大区御会所	3月13日	切紙・1通	726-60
記(喜撰山1斤代25銭受取) 薦屋平兵衛(印) 第拾九大 区御会所	6月14日	切継紙・1通	726-61
記(分直秤1挺料金51銭3厘受取) 秤座(印) 726-63に挟 込	5月28日	切紙・1通	726-62
領収之証(第19大区内1234567小区困穀払下代金240円 95銭2厘) 長野県(印) 副区長山田庄左衛門	(明治)8年5月29日	豎切紙・1通	726-63
記(喜撰山1斤代25銭受取) 薦屋平兵衛(印) 第拾九大 区御会所	6月30日	切継紙・1通	726-64
記(開拓使引換金お下げにつき金4円受取) 第廿一大区 副区長武内豊見(印) 第十九大区副区長山田庄左衛門殿	(明治)8年6月28日	青罫紙・1枚	726-65
(品物代金3銭受取書) 菱屋店(印、「中野中町菱屋儀平」)	26日	切紙・1通	726-66
記(大工手間ほか64銭6厘8毛受取) 大工安吉(印) 第拾 九大区御会所	亥9月8日	切継紙・1通	726-67
記(13罫板1枚代金2朱余受取) 伊左衛門(印) 第拾九大 区御会所		切紙・1通	726-68
記(刷毛ほか代金12銭8厘受取) かゝ屋武兵衛(印、「中野 東町加賀屋」) 第拾九大区御取扱所	亥7月26日	切継紙・1通	726-69
受取証(第19大区1~7小区社寺半租下金合計93円77銭7 厘4毛受取) 壹小区副戸長若林惣左衛門(印)、貳小区副 戸長高見沢忠右衛門(印)、三小区戸長小林九之丞(印)、四 小区戸長山田文六(印)、五小区戸長細野平作(印)、六小区 副戸長春日与市(印)、七小区副戸長吉田忠右衛門(印)	(明治)7年12月28日	1冊	726-70
(御用状入封筒) 長野県 第拾九大区副区長山田庄左衛門 殿 御用状運送費請求書貼付	(明治)8年10月27日	封筒・1袋	726-71
記(丸喜方泊りほか代金3円37銭線替願) 春日与市(印) 山田庄左衛門様	明治8年12月28日	朱罫紙・1通	726-72
記(区内各小区村々初穂金34円6銭受取) 県社戸隠山社 祠掌京極興賢 第拾九大区会所副区長山田庄左衛門殿	明治8年12月13日	朱罫紙・1通	726-73
記(段罫大板2枚代金1円半12銭5厘受取) 小田中村伊左	12月1日	切紙・1通	726-74

衛門(印) 第十九大区御会所			
記(作花紙代金17銭受取) 菊屋久右衛門(印、「御用紙所久仕入」) 第拾九大区御会所御中	第12月22日	切継紙・1通	726-75
記(本と同じ26冊と同じ代62銭5厘受取) 福井や彦助(印、「善光寺東横町御帳面仕立所」) 第拾九大区御会所御中	12月29日	切紙・1通	726-76
記(後備軍町田と深井の高崎迄の旅費3円33銭4厘受取) 同五小区副戸長岩本五八郎(印) 第拾九大区副区長山田荘左衛門殿	明治8年12月30日	緑罫紙・1枚	726-77
証(一等民費383円受取) 県庁詰副区長武内豊見(印) 第十九大区副区長山田庄左衛門殿 726-79を内に挟込、726-80~83を挟込	明治8年第12月26日	朱罫紙・1枚	726-78
記(第19大区383円、民費書上)	子1月26日改	切紙・1通	726-79
記(鶯の花半斤代26銭6厘受取) 鶯屋平兵衛(印) 第拾九大区御会所御中 726-80~83は726-78に挟込	第12月26日	切紙・1通	726-80
記(綿14疊敷物代16円受取) 山城屋伸之介(印) 第十九大区会所御中	(明治)8年12月27日	切紙・1通	726-81
記(仙花紙80枚代26銭6厘受取) 菊屋久右衛門(印) 第拾九大区御社御中	第12月26日	切紙・1通	726-82
記(天竺布1丈余代82銭8厘受取) 山城や伸之助 第十九大区取扱所御中	亥12月27日	切継紙・1通	726-83
「収米米定入費割」(区戸長村吏一同中野改正調所江被召出御用中諸費、止宿柳や長左衛門、外近山宅借受)	明治8年12月16日~20日	1袋	726-84
記(宿泊費食費代金人名書上)	明治8年12月16日~20日	1綴	726-84-1
覚(食事代計14兩2分2朱余、御茶代3円受取) 柳長(印) 拾九大区御会所御中 726-84-2~4を挟込	12月24日	横切継紙・1通	726-84-2
覚(食事代計14兩2分2朱余書上) 柳長 上	12月20日	横切継紙・1通	726-84-3
覚(69人前代5円ト55銭書上) 柳長 上	12月20日	横切継紙・1通	726-84-4

県道工事

三等字箱山新道県道見積帳 北第23大区3小区長野新道町山崎菊治郎 北第拾九大区御役人衆中	明治10年丑9月日	半・1冊	909
記(見込違いにつき県道切開受負額増額願、日記工数取調書添) 北第23大区3小区長野新道町山崎菊治郎(印)、北第19大区7小区平穂村芝草文右衛門(印) 北第19大区山田荘左衛門殿	明治10年11月28日	半・1冊	910
記(見込違いにつき道作人足増加願、日記人足取調書添) 北第23大区3小区長野新道町山崎菊治郎(印)、北第19大区7小区平穂村芝草文右衛門(印) 北第19大区山田荘左衛門殿	明治10年11月28日	半・1冊	911
(書状、下金の礼、丁場見込違いにつき人足多分必要ゆえ増額願) (長野新道町)山崎菊治郎(印) (イへ)山田庄左衛門様 封筒とも	第12月1日	罫罫紙・1通	912
(村名・人足賃書上力)		罫罫紙・1通	913
以書付奉願候(県道修繕につき北道でなく南本道修繕願、戸狩村道絵図添) 右惣代人星川嘉門(印)、同佐藤宇一郎(印)、右用掛兼山本與四郎(印)、右区副戸長小嶋滝治	明治10年4月	美・1冊	914

近代の役職/大区副区長/県道工事

郎(印)、同春日與市(印) 長野県権令榑崎寛直殿			
記(道普請につき村々受持丁場割合、請負人投票、場所見廻りのこと書上、普請仕様添)		1綴	915
安臺組新道切開見込凡積(絵図ととも) 絵図1舗とも		罫罫紙・1通	916
記(村々石取人足数計2万1855人、御下金残2027円84銭書上)	1綴		917
議定取極之事(道路修繕人夫出金方取決) 右区(北第19大区7小区高井郡平穩村)戸長市川和平(印) 北第19大区副区長山田莊左衛門殿	明治10年5月	美・1冊	918
県道修繕御請書(椎名通信殿口達案、請書) 北第19大区1小区高井郡金穀公借共有物取扱土木起功総代佐藤音治郎(印)、竹内吉之助(印)、市川請之助(印)、ほか22村66名 長野県権令榑崎寛直殿 北第19大区副区長山田莊左衛門奥書	明治10年第3月	美・1冊	919
県道三等道路(北第19大区各小区毎の三等道路取調書、副区長山田莊左衛門による大区の総計修繕費見積取調書)	明治9年12月	美・1冊	920
三等県道修繕目論見帳(屋代村より飯山富倉經由高田まで、浅野村より中野町經由上州入山まで) 土木掛	明治10年第1月	美・1冊	921
県道修繕二付区内約定書 北第19大区1小区桜沢村用掛総代人兼佐藤青治郎(印)、総代人竹内吉之助(印)、同市川清之助(印)ほか22村92人 丁内挿入文書「四月二至再改之分西条村」折紙1通あり	明治10年3月	美・1冊	922
県道修繕費出納帳 北第19大区会処 丁内挿入文書3点あり	明治10年	半・1冊	923
(県道箱山道路模様替新道堀取請負約定書、県道箱山峯岩道敷下井堀割約定書) 第19大区山田庄左衛門様	明治10年10月	半・1冊	924
(字箱山岩道敷下積書、県道箱山峯岩道敷下ニ割請負書) 北第23大区3小区長野新道町山寺菊治郎(印) 北第19大区山田庄左衛門殿	明治10年11月28日	半・1冊	925
県道草津峠之分橋梁願済土木掛目論帳之写(高井郡平穩村)	(明治)11年5月26日	半・1冊	926
(三等県道修繕費高井郡平穩村分受取書、計3592円1銭) 右世話役湯本喜四郎(印)、同断山本利左衛門(印)、ほか8人 北第19大区副区長山田莊左衛門殿	明治10年12月3日	美・1冊	927
県道二付連印名簿(県道営繕は南道とすること、105名連印) 北第19大区6小区高井郡戸狩村 袋入、袋書「県道修繕書類入」ほか書込あり、袋は明治8年長野県参事榑崎寛直より莊左衛門1500円拝借証文の裏使用	明治10年3月17日	半・1冊	962
(道・橋の地代・修繕金など受取書) 989-1~7は折込一括	明治11年~12年	罫罫紙・7通	989
記(箱峠県道敷地代金2円50銭受取) 北第19大区6小区副戸長春日與市(印)、同小嶋瀧治郎(印) 副区長山田莊左衛門殿	明治11年12月29日	罫罫紙・1通	989-1
証(箱峠県道修繕金立替、道敷変換新道地代計82円26銭9厘8毛受取) 右区戸長近山勝右衛門(印) 副区長山田莊左衛門殿	明治11年12月21日	罫罫紙・1通	989-2
記(市川和平箱山弁当代立替金30銭受取) 北第19大区7小区副戸長吉田忠右衛門(印) 北第19大区副区長山田莊左衛門殿	明治12年1月20日	罫罫紙・1通	989-3
記(草津越新道修繕金50円受取) 北第19大区7小区高	明治12年1月20日	罫罫紙・1通	989-4

井郡平穩邨用係宮崎喜右衛門(印)、副戸長吉田中右衛門(印) 北第19大区副区長山田庄左衛門殿			
記(小田野組和合橋管繕費20円受取) 北第19大区7小区高井郡平穩邨用係宮崎喜右衛門(印)、副戸長吉田忠右衛門(印) 北第19大区副区長山田庄左衛門殿	明治12年1月20日	豎罫紙・1通	989-5
記(川原新道掛橋管繕費5円受取) 北第19大区7小区高井郡平穩邨用係宮崎喜右衛門(印)、副戸長吉田忠右衛門(印) 北第19大区副区長山田庄左衛門殿	明治12年1月20日	豎罫紙・1通	989-6
記(箱山県道修繕出来、各小区戸長出張見分時賄料2円受取) 北第19大区5小区中野町近山勝之助(印) 会所御中	明治12年1月18日	豎罫紙・1通	989-7
(村ごと道普請距離・人足数書上)		横長美・1冊	999
夜間瀬境ヨリ湯田中川原追分迄取調書		豎罫紙・1通	1000
(道修繕費、人夫数ほか書上) (金子勘定書)と記(仕様帳渡し願)を挟込		横長美・1冊	1001
(草津県道修繕金等勘定書)		仮綴(横長美)・1冊	1002
草津峠修繕目論		仮綴(横長半)・1冊	1003
三等県道平坦之部修繕成算帳(明治十年十一月皆済精算之分)	(明治10)	横長美半・1冊	1004
(道路図面、北第十九大区六小区高井郡戸狩村)		275×382・1鋪	1005
(道絵図、第一～十三号に区分)		275×390・1鋪	1006
記(道路区分覚)	3月17日	折紙・1通	1007
道路修繕変転願書 (北第拾九大区七小区)右総代人宮崎与助、村用掛新井治三郎、同断室田与治兵衛、副戸長吉田忠右衛門、戸長市川和平 長野県権令榑崎寛直殿 高井郡平穩村新道図を綴込	明治10年6月4日	1冊	1008
道路修繕変転願書 (北第拾九大区七小区)右総代人宮崎与助、村用掛新井治三郎、同断室田与治兵衛、副戸長吉田忠右衛門、戸長市川和平 長野県権令榑崎寛直殿 高井郡平穩村新道図を綴込	明治10年6月4日	1冊	1009
道路修繕変転願書 (北第十九大区七小区)右総代人宮崎与助、村用掛新井治三郎、同断室田与治兵衛、副戸長吉田忠右衛門、戸長市川和平 長野県権令榑崎寛直殿 高井郡平穩村新道図を綴込(1008・1009の図と別)	明治10年6月4日	1冊	1010
道路修繕変転願書 (北第十九大区七小区)右総代人宮崎与助、村用掛新井治三郎、同断室田与治兵衛、副戸長吉田忠右衛門、戸長市川和平 長野県権令榑崎寛直殿 高井郡平穩村新道図を綴込(1008・1009の図と別)	明治10年6月4日	1冊	1011
(高井郡中野町ノ内字箱山及戸狩村同地二接シ県道路線調査修繕并岩石砲割為請負候箇所書上) 北第拾九大区五小区戸長近山腰右衛門 同大区副区長山田庄左衛門殿	明治11年10月5日	1冊	1012
(道路修繕請負書綴)	(明治11)	1綴	1013
(道路関係費下渡金受取書綴)	(明治10～明治11)	1綴	1014
(草津越県道修繕費下渡金受取書綴)	(明治10)	1綴	1015
(箱山県道修繕費受取書等綴)	(明治10～明治11)	1綴	1016

北第拾九大区道路略図		280×390・1鋪	1089
------------	--	------------	------

その他

(席次図(部分)、警察、各大区傍聴人席、官吏傍聴席などあり)		1鋪	586
(書状、長野町祭礼および区内用向調べ不行届につき長野行は14・5日頃の予定) 間山小林拜 東江部山田御氏様、御答	7月10日	切継紙・1通	680
(書状、学校取締方人選、郷社祭典執行、荒地検査の担当が租税課に変更、商社の件ご配慮願、貸付金証文書替の件ご高配願) 小林拜 山田御氏様	7月29日	縦罫紙・1通	688
(神官給料の儀につき伺書) 県庁詰副区長大日方忠怒、同山田荘左衛門、同斎藤弥惣吉、区長足立誠 長官宛	明治8年5月30日	罫紙・1通	1062
(書状、学校教師の儀につき明日飯山表行きのこと承知) 安源寺村高見澤忠右衛門 東江部村山田庄左衛門様	8月27日	横切紙・1通	1063

下高井郡全部組合会

(里道改修測量順序諮問案、歳出費目追加及流用方法案) 弱弱番版	明治22年10月22日	仮綴・1冊	606
---------------------------------	-------------	-------	-----

貴族院議員

(宇都宮大演習観兵式の宴会招待状、貴族院議員山田荘左衛門宛) 宮内大臣 封筒共、565-1・2を同封	明治25年10月18日	1通	565
(栃木県通牒の摘要通知書) 浅田徳則 山田荘左衛門殿	明治25年10月18日	罫紙・1通	565-1
宴会参入之証 (宮内省)	明治25年10月26日	名刺大・1通	565-2
「廿七年五六月出京申請取書」 封筒印刷「貴族院議員山田庄左衛門殿」		1袋	766

書 状 入 袋

年代 成立年代 文久3（1863年～明治18（1885）年）（主に明治5～同12年）

数量 215点

歴史および構造と内容

このサブグループは、主に明治5年前後の「壬申七月ヨリ書状入」（474）と明治10年前後の「入用ノ書状入并請取書共」（764）とからなり、いずれも第11代当主山田莊左衛門顕善の時代のものである。

山田顕善は表1や図1にも見られるように、明治5年6月の先代（とは言っても自分の甥である）の死去に伴い、同年9月に分家理兵衛家（亀屋）から本家へ入って莊左衛門を相続した人物である。これらの書状入袋は相続直後の時期のものが主で、若干はそれ以前のものも含んでいる。いずれも山田家の活動全般にわたる（本書に即して言うならば全てのサブグループにわたる）もので、その内容は実に多様である。以下、特徴的なものについて若干の紹介をしておく。

には、親類等との間での縁談に関するものや、小作料納入や借金返済などに関するものなどがあり、他にも二分金問題・商社事件に関して他の商社員と取り交わされたもの、第43区区長として地券取調について他区の区長とやりとりしたもの、学事世話方として学校で使う本の注文を行った関係のもの、長野県庁の営繕会所詰合惣代に関わるもの（表1には「建営事務重立取扱方」と記載）などがある。また、山田家が幕末時点でかなりの大名貸しをしていたことは「諸経営／金融／大名貸」の項から明らかだが、旧藩への調達金処理法に関する書状なども残されている（同じ項の799に関連資料が多数ある）。

では、特に中江正直と山田松三郎の書状が目につく。中江正直についてはどのような人物か詳しいことは不明だが、新政府を解職され山田庄左衛門を頼って中野へ移住しようとしたこと、（おそらく新政府時代には）銀行関係をはじめ博覧会・コレラ・西南戦争その他の情報を山田家に流していること、移住後は松代士族設立銀行（第六十三国立銀行、明治11年設立）に関わっていたこと（横山憲長氏のご教示によると、明治12年前後に頭取八田知道の下で短期間支配人を勤めていた）などが少なくともうかがえる人物である。松三郎は図2の系図にあるように分家鶴屋の三男で、後に横浜生糸合名会社に勤務した人物である。この時点ではまだ東京へ出てようやく職を見付けたところのようで、地元へ呼び戻そうとする本宅からの指示に応じないで東京に残ろうとしている様子がうかがえる。

なお、この他に「到来書入」3袋（985、990、993）があるが、細目掲載は目録（その3）にまわした。

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
「壬申七月ヨリ書状入」	(明治5年前後)	袋入・1袋	474
(書状、地券調べ難航ゆえ山田家の地生米代価・小作買継相場の定め方につき伺い) 小林拝(間山村小林九之丞) 山田様 封筒入、第四十四区罫紙	(明治6力)1月2日	青罫紙・1通	474-1
(書状、扇子料への礼と別紙目録の物進上) 栗田市左衛門、豊嶋廣右衛門、友成慎次郎、志賀又右衛門 山田庄左衛門様 包紙共、474-2・1・2を同封	3月18日	横切継紙・1通	474-2
覚(山田庄左衛門宛進物書上、綿・下小杉・金引)		切紙・1通	474-2-1
(書状断簡、役人の異動につき) 前欠、追而書部分のみ		横切継紙・1通	474-2-2
(書状、屋敷買代金支払のことで礼) 宮下兵左衛門 山田庄左衛門様 包紙共	4月11日	横切継紙・1通	474-3
(書状、山田家子息の縁談進め方につき、中山潮堂子とともに仲介) 塩入拝(新町塩入治五郎) 山田様、参人々御中 封筒共	1月2日	横切継紙・1通	474-4
(書状、見込みは既に立ったので安心のこと、ほか) (從東京)則剛(力) 老大人様(山田庄左衛門様) 包紙共、包紙の印(東京小網町稲荷堀・マル重・南越定便所)	第4月	横切継紙・1通	474-5
(書状、下酒屋帳調べにつき光来願、借入金返済方につき) 小川弥左衛門(牟礼宿、包紙では小川千代吉も連名) 山田庄左衛門様 包紙共	4月7日	折紙・1通	474-6
舌談(縁女の髪は当着の上直すこと) 山田文六 山田庄左衛門様 包紙共、文書に作成・受取なし(包紙の記載による)	4月6日	切紙・1通	474-7
(書状、父積善院三回忌につき光来願) 牟礼宿小川千代吉 東江部山田庄左衛門様	西3月日	切紙・1通	474-8
(書状、仏前へ香料恵投の礼) 大内勘左衛門 山田庄左衛門様 包紙共	4月21日	横切継紙・1通	474-9
(返書、長野表出張の節に立ち寄る日程につき) 中山潮堂 東江部山田御本宅様、貴答尊下	11月18日	切紙・1通	474-10
(書状、借入金返済猶予願) 古海村北村七郎右衛門 山田庄左衛門様、玉床下 包紙共	(明治6)西1月15日	横切継紙・1通	474-11
(書状、借入金不返済につき証文書替願、この懸書をもって証文に代える) (古海村)北村七郎右衛門 山田庄左衛門様、玉床下 包紙共	(明治13)辰9月26日	横切紙・1通	474-12
(書状、界紙100枚ほど借用願) 綿貫生 山田様	7月1日	切紙・1通	474-13
(書状、一件示談の様子につき承知、差支の100両を立て替えて送る旨) 山田庄左衛門(東江部村ヨリ、使富太郎渡) 長野あみだ院中村氏方ニテ・山田理兵衛殿上書「金百円相添」	6月9日	横切継紙・1通	474-14
(書状、新町よりのさいみが麻廣に着荷した案内) 長野より、中山潮堂 東江部村山田庄左衛門様、当用		横切継紙・1通	474-15
(書状、飢饉・二分金不通用につき借入金返済延期願) 古海村(北村)七郎右衛門 東江部村庄左衛門様、尊下包紙共	明治2年巳12月20日	折紙・1通	474-16

(書状、100円受け取り済方整った旨、隈太郎事件は罰金ですみそうにない旨) (中村二而同)理兵衛 御父上様(山田庄左衛門)	第6月9日	横切継紙・1通	474-17
(返書、熊太郎一件につき借入金返済は庄左衛門が引き受けるべき旨) (長野あみた院町)中村善右衛門 山田庄左衛門様 包紙共	1月20日	横切継紙・1通	474-18
(書状、金200両借用願) 北村七郎右衛門 山田庄左衛門様、尊床下	(慶応3力)卯10月20日	横切継紙・1通	474-19
(返書、隈太郎一条につき病気の回復を待つて参県する旨、佐野・沓野・田中の帳面処理につき) 間山小林 東江部山田様、貴答	11日	横切継紙・1通	474-20
(書状、地券取調帳近日提出につき印形差遣願) 新野中山實之助 東江部山田庄左衛門様、貴下	4月14日	横切紙・1通	474-21
(書状、御令室様病氣見舞、ほか) 大内碩治郎 山田庄左衛門様 包紙共	4月16日	横切継紙・1通	474-22
(書状、再度の金子無心) 駒沢式左衛門 山田庄左衛門様、貴下 包紙共	2月5日	横切継紙・1通	474-23
(書状、水車質置証文・借家証文を差し上げ、金100両・古証文・差入証文を遣わされたき願) (上田)新井甚左衛門 山田庄左衛門様、尊下 封筒共、封筒表書「証書二通添」、同裏書「当方より相渡置申候返り証文控入」、文書奥に差入書1通の雛型あり	(文久3)12月28日	横切継紙・1通	474-24
(書状、借金返済日延願) 関菊之助 山田庄左衛門様	9月1日	横切継紙・1通	474-25
(書状、長野より活字板本代料請求につき内金差出願) 山岸精一郎 山田様 表書「活字御布達相添、当用」		横切継紙・1通	474-26
(書状、拝借金の証券印紙改正猶予願) 麹池省三(新潟客中より) 山田庄左衛門様、玉生下 封筒共	9月第1日	横切継紙・1通	474-27
(書状、五月中の借入金今月末まで返済猶予願) (中條村)関菊之助 山田庄左衛門様 封筒共	8月26日	横切継紙・1通	474-28
(書状、忌明御法事につき遺物受納、こちらよりも香料・麩菓子呈上) 大内碩次郎 山田庄左衛門様 包紙共	8月18日	横切継紙・1通	474-29
(壬申正月十五日諸方より内々注進有之候得者、不斗村松君江極密可伺上候心得二而申述候愚書、貨幣論) 474-30-2~9はこの罫紙に包まれ、こよりで一括	(明治5)	赤罫紙・1通	474-30-1
(書状、上京の香雲大人につき近況報告、借財、文明開化の気遣、香雲先生此頃開拓使之御用達見タヨウナモノになる、など) 高秋田(カ)、東京上野南大門町 山田扱古先輩、函史	2月5日	横切継紙・1通	474-30-2
(書状、紫シャツ送付、先日はおはんに面会でできず残念の旨) まずより 東江部やまだ通子		罫紙・1通	474-30-3
(書状、災難見舞い不都合の詫び、中野県移転の見舞い、ほか) 頼母拜(松代山寺常正) 子用種丈御前(東江部山田庄左衛門殿) 包紙共、1枚は追加	7月24日	横切継紙・1通(2枚)	474-30-4
(旧藩への調達金処理法、旧貨幣交換法などにつき心得方通知書) 邨松 山田庄左衛門様 封筒共		横切継紙・1通	474-30-5
(書状、諸貨幣上納の可否、新貨条例1冊贈呈、ブランドン受納の礼、ふじのやはなの年始文をお届けみさを(邨松操) 山田大人(山田庄左衛門様) 封筒共	(明治5)壬申正月6日	横切継紙・1通	474-30-6

書状入袋

(書状、官札を金円に引き替える割合に関する浮説を否定、松代札の通用方) むらより(村松力) 山田兄包紙(再利用)共	十五日亥刻認(正月15日)	横切継紙・1通	474-30-7
(書状、上田帰りの商人より二分金札二枚半で一円として通用させる民部省触出の旨を聞き驚愕) 隆拜(中野町綿貫孝造) 山田大君様(山田庄左衛門様)包紙共	正月15日	青罫紙・1通	474-30-8
(書状、旧藩債書出を認直し各庁2通づつ提出すべき旨) 邨松 やまた通子、直展(山田庄左衛門様) 封筒共	(明治5壬申)きさらき十九日(2月19日)認	横切紙・1通	474-30-9
(書状、身上大不如意で東京奉公のつもりゆえ借金利息引下願) 坂口屋久兵衛(中野にて綴) 山田御親君様、尊下 封筒共	2月23日	折紙・1通	474-31
(書状、久助へ5両お恵みの礼、御尊母様病気見舞) 中野町綿貫孝造 東江部村山田忠造様、尊答	10月7日	横切継紙・1通	474-32
(書状、文六の新町表出向につき小子心得) (長野出先より出、中山)潮堂 東江部村山田庄左衛門様 包紙共	3月31日	横切継紙・1通	474-33
(書状、御厚情への礼、御内君の診察につき) 中島松寿 山田理兵衛様	菊月26日	横切継紙・1通	474-34
(書状、会社へ出向後参上する旨、書類文庫を中野へ差送り願) 間山小林九之丞 東江部山田理兵衛様	6月20日	横切継紙・1通	474-35
(書状、借金証文書替遅延の詫び、中条村関菊之助宛貸金は近日中返済される由) (押切村曾我)市之丞 山田様 封筒共	8月15日	横切継紙・1通	474-36
(書状、借金返済日延願) 篠田修輔 山田様、尊下	1月18日	横切継紙・1通	474-37
(書状、御厚情への御礼と証書を認め差し上げる旨) 北村七郎右衛門 山田庄左衛門様、尊床下	西3月10日	横切継紙・1通	474-38
記(金200両の3年分割返済につき一札、雛形) 474-38に挟込		横切継紙・1通	474-38-1
(書状、大蔵省官員着につき急速出張願) (中村谷右衛門宿)曾我市之丞 山田庄左衛門様	(明治5)壬申11月13日正八ツ時認	豎紙・1通	474-39
(書状、小作寄初取遅れ、春蔵買次理兵衛分は三日以内に揃う旨返答) 新野中山拜 東江部山田様、貴答	1月10日	横切継紙・1通	474-40
(書状、御息女の祝儀と貴君本宅相続につき祝詞) (新町)塩入嘉源多 山田理兵衛様、尊下 封筒共	11月15日	横切継紙・1通	474-41
(書状、県官吏の区内順廻ほかにつき返答) (間山)小林(九之丞)拜 山田様 封筒共	11月21日	茶罫紙・1通	474-42
(書状、穢多依の出来につき) 新野中山拜 東江部山田様、貴下当用	1月18日	横切継紙・1通	474-43
(書状、書面の趣承知、印の一件で昨晚加藤様内々御泊りにつき当惑) 小林九之丞 山田庄左衛門様、御報	14日	横切継紙・1通	474-44
(書状、盗人召捕につき盗難品仮下げの旨)	2月19日	横切紙・1通	474-45
(書状、今般事件の役用手伝につき証文改日延願) (新野村)堀佐右衛門 山田庄左衛門様 封筒共	1月5日	横切継紙・1通	474-46
(書状、営繕庁今月中御用仕舞の指示により、新町行き延引やむなき旨) 中山潮堂(長野出張先より出)	11月24日	豎紙・1通	474-47

東江部村山田庄左衛門様			
(書状、借金返済延期願、当てにしていた講金が暴動などのため入手できないので) (古海村)小林七郎右衛門 山田庄左衛門様、玉台下 封筒共	(明治4)末4月15日	横切紙・1通	474-48
(書状、昨日お願いした金子を篠田宇三郎へ渡すよう願) (中野町)曾我新蔵 山田旦那様、尊下 封筒共、封筒書込「新大判二月廿七日宇三郎江渡」	2月26日	横切継紙・1通	474-49
(書状、心配の場所成功につき、ほか) 松原勝太郎(古東京麻布) 山田庄左衛門様 封筒共	3月4日	横切継紙・切紙・1通	474-50
(親切への礼、委細は安源寺より聞くべき旨の差入書) 474-50に挟込		小切紙・1通	474-50-1
(書状、愚息兵右衛門拝借金の返済方につき返答) 善光寺二而、佐山又五郎 山田庄左衛門様 封筒共	4月3日	横切継紙・1通	474-51
舌代(金子不融通につき田地入揚金2年分支払延期願) 木嶋高石村(萩原)善右衛門 山田熊太郎様 包紙共	6月26日	横切継紙・1通	474-52
(書状、精算帳清書や伐木方取調のため多忙、新町の取り計らい方願、当月中参上の旨) (中山)潮堂(長野にて認出入) 山田御本宅様、人々中 包紙共、包紙上書「琉球豊添」	4月7日	横切継紙・1通	474-53
(地券掛へ風邪による遅延を伝言してほしい旨申上書) 細野平作 山田庄左衛門様、同熊太郎様	20日	横切継紙・1通	474-54
(書状、後役が入札により決まった旨) (新野邨)中山實之助 山田庄左衛門様 封筒共	1月20日	横切継紙・1通	474-55
(書状、死者埋葬届の作成方、新野・当方の小作勘定方につき) (間山村小林)九之丞拜 庄左衛門様、野下 封筒共	第1月12日	横切紙・1通	474-56
(書状、11日より授業開始、別紙1冊を学事世話方で回覧してほしい旨) (飯山町)進士義則、中条信可 山田庄左衛門様 包紙共	戌1月5日	横切継紙・1通	474-57
記(進士氏書状と学則写を篠田、高見沢、学校分校へ回覧してほしい旨) 本宅 文六サマ 474-57に挟込	1月8日	切継紙・1通	474-57-1
(書状、中江旦那が尊公と内話したいので当方へ来臨願) (長野中村宿)曾我市之丞 山田様、尊下 包紙共	第1月11日	横切紙・1通	474-58
(書状、間山村・篠井村の出獲物取調につき役元より小前へ達方の伺) (間山村)小林(九之丞)拜 山田様 封筒共、罫紙に「第四十四区」とあり	12月22日	青罫紙・1通	474-59
(書状、権堂宮本国太郎屋敷地券下げ渡し出願、ご注文の時計差し上げ) (長野東町二テ)熊太郎拜 (御在宅)山田御賢父(庄左衛門)様 包紙共、包紙上書「箱入時計相添」	12月12日	茶罫紙・1通	474-60
口演(東京製精眼の値段等通知) 熊太郎拜 御父上様 474-60に同封	12日	切紙・1通	474-60-1
(書状、当小作方今日取り極めにつき) 新野村中山實之助 東江部村山田庄左衛門様	12月26日	横切継紙・1通	474-61
(書状、学校本注文の件、市村忠助に関する差し込みあり) 小布せ(小布施)高井辰二郎 東江部山田庄左衛門様	1月5日	横切継紙・1通	474-62
(書状、新野村畑方引方につき) 間山村小林(九之丞) 山田大夫(東江部山田庄左衛門様) 包紙共、474-63-1	12月27日	横切継紙・1通	474-63

書状入袋

を同封			
(書状、小作相場・小作料納入の件) 中山實之助 山田庄左衛門様 474-63の包紙に同封	12月27日	横切継紙・1通	474-63-1
(書状、学校必用之本東京へ注文の件) 小布せ(小布施)高井辰三 東江部山田庄左衛門様	十二月念六日(12月26日)	横切継紙・1通	474-64
(書状、紅色原紙御入用・菱屋の件) 間山村小林九之丞 東江部山田庄左衛門様 包紙共。474-65-1を封入	12月30日	横切継紙・1通	474-65
(包紙、竹ノ内氏分預り印紙用)		横切継紙・1通	474-65-1
(書状、学校本御注文の件) 小布施高井辰二 東江部山田庄左衛門様	12月29日	横切継紙・1通	474-66
(書状、出直し上等金三銭中等式銭に関して) 小林山田様		横切継紙・1通	474-67
(書状、地券掛に関して明後日伺う件) 小林 山田様	6日	横切継紙・1通	474-68
(書状、当月朔日郵便にて公債証書御届けの件) 東京浅草小嶋町拾八番地麹池省三 信州東江部村山田庄左衛門様 包紙共		横切継紙・1通	474-69
(書状、亡母・亡伯父の三廻忌法会は本日朝より) 北篠田経輔 東山田様 包紙共	9月16日	横切継紙・1通	474-70
(書状、御恩借年賦残分20円当月28日まで返済猶予願) (上条村)佐山政司 (東江部村)山田旦那(庄左衛門)様 封筒共	明治6年酉第12月20日	横切継紙・1通	474-71
(書状、上田布屋ほか参り新旧公債換金レート定約、公債証書引替の周旋) (東京浅草小嶋町拾八番地)麹池省三 山田庄左衛門様、閣下 包紙共	戌第1月31日	横切継紙・1通	474-72
(須坂穀町分と尊宅分一手取り扱い引替願、公債証書下付の見込み) 474-72の包紙に同封		切紙・1通(2枚)	474-72-1
(書状、新旧公債の換金レート通知、引替の際は謝金をとり私が取り次ぎ) 麹池省三 山田庄左衛門様、玉生下 474-72の包紙に同封、封筒共	戌第2月1日	横切継紙・1通	474-72-2
(書状、原野取調の件、松代旧藩へ用達金1・2割お下げの由通知) 岩船村町田八兵衛 東江部村山田庄左衛門様	12月16日	横切紙・1通	474-73
(書状、年賀挨拶、御祈祷御祝い神籤受納願) (戸隠山)武井磨寛信(花押) 山田庄左衛門様、参人々御中 包紙共	1月吉日	折紙・1通	474-74
(書状、今一度拝眉いたしたきこと) 中江正 篠田卯三郎殿、曾我新造殿	第1月	横切継紙・1通	474-75
(書状、年賀挨拶、貴公様・講中様の祈祷・祝い・配札等につき指図願) (戸隠山)武井磨 (東江部村御世話人)山田庄左衛門様、参人々御中 包紙共	酉2月23日	横切継紙・1通	474-76
(書状、新野村小作方につき中山氏と談判、新野地主小作引方の見込み) 中山家にて中山実之助、小林九之丞 東江部山田庄左衛門様、玉座下	12月28日	横切継紙・1通	474-77
(書状、県庁敷地下知の件で当惑、区長給料不都合につき20円立て替え内渡し、梅光庵翠山娘のプロフィール) 小林(九之丞)拝 山田大君(庄左衛門) 封筒共	11月14日	横切継紙・1通	474-78
(書状、精眼手元へ借り出しているの、使いの者派遣願) 長野宿同熊太郎 御在宅山田庄左衛門様	15日	豎紙・1通	474-79

(書状、御県用で今日出県、村惣取穀書出方の書式伺い次第戻り、参上する旨) 間山小林九之丞 東江部山田庄左衛門様	12月19日	横切紙・1通	474-80
(書状、安田村米受取に今夜出頭できないことの詫び) 新保村小林五郎左衛門 東江部村御主人様		横切紙・1通	474-81
(書状、参堂配慮の礼、高井水内両郡六十七村の石碑建立方につき、善光寺力) 六川堀、拜 山田庄左衛門様 文中に石碑の略図あり	12月11日	横切継紙・1通	474-82
(書状、東江部村の墓地取調書類を差し戻し) 小林、拜 山田御氏様	7日	横切紙・1通	474-83
(書状、牧野氏婿入りに病気のため不参加、中野綿貫氏と相談して万端取り計らい願) 間山小林九之丞 東江部山田理右衛門様、貴下	6月4日	横切継紙・1通	474-84
(先触継送状、上条村佐山政司宅への出張命令など模様通知) 間山小林九之丞 東江部山田庄左衛門様、貴下	11月9日午後4時	横切継紙・1通	474-85
(石田様・奥村様各区巡回予定の通知書) 細野平作、山岸精一郎、小林九之丞(湯田中二而小林九之丞) (東江部村山田庄左衛門様)	第11月10日午前6時	縦紙・1通	474-86
(書状、お取り持ちの件、当人幼年につき数年見合わせたく、先方へ差し延ばし方願) 新野中山實之輔 東江部山田理右衛門様、至急要用	7月24日	横切継紙・1通	474-87
(書状、地券調上帳日限厳守、去冬中売買地方上帳は全て入れ替えてよい旨内々御沙汰あり、宿で盗難に遭う、東西江部・岩船・西間合村の噂、ほか) 山田庄左衛門(長野郷宿中村より) 東江部山田理右衛門殿、理兵衛殿、内用向直披	2月13日	横切継紙・1通	474-88
古刀子(古金、銅・鉄ほかの数量書上)		切継紙・1通	474-89
記(阿弥陀院中村善右衛門に用立金100円を渡してほしい、留守宅心付け頼む、拙者来月一日帰宅予定、ほか) (長野出張先山田)庄左衛門 (東江部村山田)理兵衛殿、理右衛門殿 包紙とも、包紙上書「証文巻通入、中村善右衛門殿ヨリ飛脚差立便」	3月23日	縦罫紙・1通	474-90
(書状、愚父隣村へ検査出張につき明日お立ち寄り申すべき旨通知) 間山村小林永太郎 江部村山田文六様、尊下	4月23日	横切紙・1通	474-91
(書状、未開封) 東江部戸長山田文六 須坂町戸長副御中、尊下直展 未開封、包紙とも		1通	474-92
(書状、商社事件ご尽力の礼、往還混雑によりお預金による塩荷物売り払い遅延の詫び) 大古間宿高橋清藏 東江部村山田庄左衛門様、貴下 包紙共、包紙朱上書「平安大至急態飛脚」	11月27日	縦罫紙・1通	474-93
(書状、昨日約束の銭200円、この者へお貸し渡し願) 泉屋新造(印、「信州中野和泉新」) 山田庄左衛門様 包筒とも	10月9日	横切紙・1通	474-94
(書状、倅が学文修行のため江戸へ家出、会社取片付心配につき明日中野へ出張) 間山村小林九之丞 東江部山田庄左衛門様、貴下	9月23日	横切継紙・1通	474-95
(書状、長野表参事の要望により稼圃・新羅山人両幅借用願、曾我氏より申上の通り身上向きのお願) 綿貫孝造 山田庄左衛門様	9月23日	横切継紙・1通	474-96

愚啓(商社事件あらまし落成の礼、地租改正につき見込み内談願、ほか) 中村利周 山田庄左衛門様 包紙共

(書状、参県帰着の報告、明日の会社集会に出張願、善敬院様御遺物拝受の礼) 間山小林九之丞 東江部山田庄左衛門様、責酬

(書状、商社事件思し召しに叶わず、会社へ出張願、息子の学校入門につき相談) (間山)小林(九之丞) 山田大君 包筒共

(書状、証書案・勘定書を受取、認め替えにつき疑問点、10円ご入帳願) 小林七郎右衛門 山田庄左衛門様、玉床下 包筒共

(書状、詰所向の長さにつき通知) 嘗繕方(会所) 詰合惣代 山田理兵衛様

(書状、坂口屋一件につき金100円で皆済承知願) (中野)山岸精一郎 山田庄左衛門様 封筒共

(書状、学校開校などの入費割合につき区内一同集会の状況報告) (間山)小林(九之丞) 山田様 封筒共、103-1を同封

(貴区・当区は他区より万事行届なのでわずかな入費のことでこれほどの勤功を失うなという書付)
の乗取交来如

(書状、法会御香料・出産祝などの礼、昨年中塩10駄代金立替の旨、ほか) (牟礼)小川弥右衛門 山田様 封筒共

(書状、御本家注文の天臘学校用本荷着の知らせ) 高井辰二 山田文六様、座下

記(舎

衛門様、貴下 (書状、国民軍・郷社祭典・学校につき) (間山) 小林 (九之丞) 拝 山田様 封筒共	7月26日	横切継紙・1通	474-116
(書状、御注文の細美・仕切書差送り、昨年は麻高値ゆ え不満ならば善光寺麻廣へ返却すべき旨) (新町 村) 大内勘左衛門 山田利兵衛様 包紙共	6月27日	豎罫紙・1通	474-117
(書状、時節柄当迫の旨、郵便継立方のため時計借用 願) 中村啓造 山田理兵衛様	7月10日	豎紙・1通	474-118
(書状、柳沢村川岸より積入、賃永内話の礼) 曾我市 之丞 山田理兵衛様、尊下 119-1を折込	9月29日	青罫紙・半裁・1通	474-119
記(船頭名前10人分書上)		青罫紙・1通	474-119-1
(書状、御材木検査につき倉持様出張) 曾我市之丞 山田庄左衛門様、尊下	(明治5) 申10月19日	豎罫紙・1通	474-120
(書状、御用状拝見承知) 曾我市之丞 山田庄左衛門 様	(明治5) 壬申10月6日	堅切罫紙・1通	474-121
舌代(大蔵省御掛大取込当惑、名主印形遣わし願) 長野出先二而山田理右衛門 東江部村山田庄左衛門様、 急用	11月15日	豎罫紙・1通	474-122
(書状、村松様より預りの10円を証書と引換に差上) 町田拝 山田様	11月7日	横切継紙・1通	474-123
(書状、赤岩村材木運賃を取扱者へ預けるので取計 願、惣代の賞与は建営出来次第) 倉持権少属 山 田庄左衛門殿 包紙共	11月2日	横切継紙・1通	474-124
(書状、母死去の旨返答、かねて内願のこと聞済の礼) 松川細野平作 東江部村山田庄左衛門様、坐下貴答	6月2日	横切継紙・1通	474-125
(書状、恩借金のうちに見馴れぬ文字の貨幣あるにつ き伺) 松川細野平作 東江部村山田庄左衛門様 「貴 下、貨幣添」	6月6日	横切継紙・1通	474-126
(書状、来月には味よきもの手配、ついては百金融通 願) (松川細野) 平作 (御出張先) 山田様、尊下 封筒 共	5月29日	横切継紙・1通	474-127
(書状、母の看病につき暫時出勤猶予願) (松川村) 細 野平作 (長野御出張) 中村利周様、御出勤中様、床下 包紙共	5月29日	豎罫紙・1通	474-128
(書状、地券などで多用ながらご書面の趣至急取計る 旨) 中山實之助 山田庄左衛門様	3月7日	横切継紙・1通	474-129
(書状、暴火後初の無尽会合につき出席願) (従長 野) 近山与吉郎 山田庄左衛門様、尊下	4月13日	横切継紙・1通	474-130
(書状、願い済みの上不日帰省出立につき挨拶) 倉 持権少属 東江部村山田庄左衛門殿、間山村小林九之丞 殿、不及貴答	(明治5) 壬申10月晦日	横切継紙・1通	474-131
(書状、粗品御笑納願) 齋藤(政太郎) 山田様		横切紙・1通	474-132
記(舶来リキュール大瓶3本の送り券) 山しる屋仲之 助(印、「信州善光寺大門町・マルマツ・山城屋仲之助」) 山田庄左衛門様 上書に「伊べ村」と記載	(明治6) 酉6月24日	横切継紙・1通	474-133
(書状、借金50両返済し残金当暮まで猶予願) 坂口 や治兵衛 山田庄左衛門様、貴下	8月5日	横切継紙・1通	474-134
(書状、建具皆着、駄賃残金1両2分も受取) 營繕会所	(明治5) 壬申8月16日	豎紙・1通	474-135

書状入袋

詰合惣代 山田理兵衛殿			
口演(当村田初小作入書抜帳のお遣し願、長助分買次願につき伺) 中山拜 山田様、当用	11月12日	横切継紙・1通	474-136
記(廻章1通受取) 第四十二区区长	11月9日	切紙・1通	474-137
(書状、隣区のよしみで代価付調方・生糸工女差出方につき問合、菅織方へ出張も遅延) (間山村) 小林(九之丞) 拜 山田様 封筒共	3月14日	横切継紙・1通	474-138
(書状、箆笥納品、篠棚の注文も待ち上げる旨) 鳶屋文七拜 山田様	11月7日夜	横切継紙・1通	474-139
(書状、御婚礼の祝儀進上) 塩入嘉源太(従新町) 山田理兵衛様、参人々御中 包紙共	10月12日	横切継紙・1通	474-140
(書状、長野中村氏の様子、来月長野へ同伴出張願) (間山) 小林九之丞 山田庄左衛門様、御下 封筒共	10月31日	豎罫紙・1通	474-141
口演(昨日返金予定の35円を今日差し上げる旨) 新野村堀佐右衛門 東江部村山田庄左衛門様、貴下	10月21日	横切紙・1通	474-142
(書状、弊妻昨夜男子出産の知らせ) 牧野荘右衛門 山田庄左衛門様、御侍史	10月12日	横切紙・1通	474-143
(書状、25年賦・50年賦の件、一条正札引替の件など) 苗柳沢富八様ニテ、須原鉄二 山田様 包紙共	8月18日	横切紙・1通	474-144
(書状、氏神祭典で若者芝居興行につき御入来願) 押切村より、富岡又右衛門 東江部村山田庄左衛門 包紙共	10月8日	横切紙・1通	474-145
(書状、本堂屋根替相談の集会に参集願) 大徳寺世話人惣代喜代五郎 山田熊太郎様、山田利兵衛様、山田文六様、山田理右衛門様	10月1日	横切紙・1通	474-146
(書状、未開封) 宅ヨリ 中野出先山田理兵衛殿、返文開封せず		横切紙・1通	474-147
(書状、いずみや新造金子300円借用願の仲介) (中野泉屋新造殿方二而同理兵衛) (東江部村山田庄左衛門様) 包紙共	10月10日	横切紙・1通	474-148
(書状、刈干の手間賃・駄賃などにつき) 新野中山實之助 東江部山田庄左衛門様、貴報	10月4日	横切紙・1通	474-149
(書状、県への願書に区长押印の上至急差送願) 長野花サニ而同理兵衛 東江部村山田庄左衛門様、至急要用	10月2日	横切紙・1通	474-150
(書状、会社貸附金より50両借用の手配願) (篠田) 経輔 山田様	(午)11月10日	横切紙・1通	474-151
(書状、商社事件のことで中野へ出向すべきところ村々上帳に忙殺され暫時猶予願) (長野東町寓居) 中村利周 山田庄左衛門様 包紙共	10月4日	横切紙・1通	474-152
(書状、御珍状柳公権之御状を中村様へ呈贈の勧め) (長野寓) 熊太郎拜 御賢父様(山田御本家様)	21日	罫紙・1通	474-153
(書状、証書と引換に金子借用願、当町売捌所印紙未発行につき無印紙で) 松川村細野平作 東江部村山田庄左衛門様、机下	6月2日	横切紙・1通	474-154
(書状、金子借用の礼、本証文認方、関東筋等商売の都合で返済期限を8月に変更願) 斎藤佐右衛門 山田庄左衛門様	12月10日	横切継紙・1通	474-155

(書状、飯山よりの客の土産の樽1樽肴1折を呈上) 小林九之丞 山田理兵衛様	6月4日	横切継紙・1通	474-156
(書状、嘗繕懸倉持様帰京につき惣代中参集願、地券調の帳面提出の催促) 間山 県下にて、小林九之丞 東江部山田庄左衛門様、貴下	2日	竪紙・1通	474-157
口演(公債証書の件当月8日迄に長野で相談したい旨) 関菊之助 山田御主人様 封筒共	2月6日	青罫紙・1通	474-158
(書状、富左衛門作畑の小作料減免願、村方預金のことで近日参上する旨) 中山實之助 山田庄左衛門様、尊下	2月1日	横切継紙・1通	474-159
(書状、塩荷物値段引き下げのため薦屋源次郎に御送金の15円を渡し尽力させる旨)	8月26日	横切継紙・1通	474-160
「入用ノ書状入并請取書トモ」		袋入・1袋	764
(書状、株式会社発起の相談まとまらず) 中江正直 山田庄左衛門様、親展	9月18日	横切継紙・1通	764-1
(書状、博覧会、コレラ予防法、西南戦争、松代銀行発起出願の様子、など) 中江正直 山田庄左衛門様、親展	(明治10)9月25日	横切継紙・1通	764-2
(書状、無事東京着の挨拶、麹地氏の仲介で三井組か海送会社が浜表西嶋組に周旋してもらう旨)(東京府下五大区二小区小嶋町拾八番麹地省三方)松三郎 山田伯父様 包紙、封筒とも	(明治7)2月10日発	切紙・1通	764-3
(書状、店を辞めないのが家政見習いに帰宅できない旨父君に謝罪願) (南仲通吉田年(力)兵衛方)松三郎 謹述 仁兄熊太郎山田君 封筒とも	7月20日認	竪継紙・1通	764-4
(書状、東京で商法研究を兼ねて奉公したいので愚母ら世話願) 綿貫助太郎、頓首再拜 山田御老君、玉座下 封筒とも	11月15日	竪罫紙・1通	764-5
(書状、弊店の近況、東京第壹国立銀行渋沢より応需入金、上州・奥州へ為替手配、旧小野組居館西潤館へ転居、ほか) (南仲通五丁目七十九番地)松三郎 山田伯上様、御兄上様 封筒とも	(明治9)第6月13日	横切紙・1通	764-6
(書状、道中無事着京、体格検査を終え三四日後には入団の予定) 山田浦治郎 山田伯父君、閣下	3月27日	横切紙・1通	764-7
(書状、約束の塩につき荷主と交渉の経緯報告、200円程借用願) (牟礼宿)柳沢六左衛門 山田庄左衛門様 封筒とも	10月7日	切紙・1通(3枚)	764-8
(書状、来月の御宅訪問の日程通知) (筑摩県管下安曇郡池田村)市川直三郎 山田理兵衛様、侍史 封筒とも	7月23日	横切継紙・1通	764-9
(書状、仰せのごとくするもいまだどうとも決まらず 困り入る旨、ほか) 千越より 山田兄上様 包紙とも、764-9に同封	7月23日	横切継紙・1通	764-9-1
(書状、博覧会、コレラ、銀行に関する巷説、ほか) (駿台南甲賀町八番地楠新兵衛方ニテ、中江)正直 山田 老大人、侍史 封筒とも	10月16日	横切継紙・1通	764-10
(書状、本宅家政のことで呼戻を受けるも帰村できない旨承引願) 松三郎 山田理兵衛様、山田文六様、山田理右衛門様、各閣下 封筒とも	7月20日	横切継紙・1通	764-11
(書状、解職に際し中野辺へ移住希望につき都合伺) 中江正直 山田庄左衛門様、曾我新造様 封筒とも	11月20日	横切紙・1通	764-12

書状入袋

(書状、名目は貸したものの和泉屋新造の借金弁償請求迷惑) 長野邨松 信州高井郡江部村山田荘左衛門様	(8月25日)	横切紙・1通	764-13
(書状、疎遠を詫び身体強健の報告、実家へも回送願) (東京浅草向柳原一丁目第三十五番地高松凌雲塾二テ) 曾我金二郎 山田叔父様 包紙とも	(明治10年10月18日午前8時発)	横切紙・1通	764-14
(書状、政府解職に際し中野辺へ移住希望につき再び世話願) (筑前福岡ヨリ中江) 正直 荘左衛門様 封筒とも	12月29日認	横切紙・1通	764-15
(書状、荷物20箇および槍1筋送付につき受取願、ほか) (駿州藤枝宿より) 正直 山田老台、侍史 封筒とも	(明治10)2月18日	横切紙・1通	764-16
謹述(貴台御老母様御薨去のお悔やみ) 山田松三郎 山田御伯父様、台展	8月10日	切紙・1通	764-17
(書状、大区会所事務に関する問合への返答遅延の詫び、返答は別紙に下札で) 若林(桂造) 山田老君、閣下 封筒とも、764-18-1・2を同封	(明治12)1月23日	横切継紙・1通	764-18
(大区会所事務受渡心得の各箇条につき問合書) 北第十九大区山田荘左衛門 下札多数	(明治)12年1月14日	仮綴・1綴(4枚)	764-18-1
(牛込区区长より府庁宛伺書写、旧区務所の建物什具等処分につき) 第十九大区の朱罫紙、酒造稼、水車など列記の小切紙を挟込		罫紙・1通	764-18-2
(書状、該地移住以来百般御厚慮の礼、銀行事業につき相談) (中江) 正直 山田老台 封筒とも	8月17日	横切継紙・1通	764-19
(松代土族設立銀行の支配人就職希望につき株金投下願書) 764-19に疊込		1冊	764-19-1
人力車譲り渡し之事(11円) 北第廿二大区六小区水内郡(第五拾八番地) 宇木村高梨広右衛門 高井郡江部村山田庄左衛門様	明治11年1月21日	罫紙・1通	764-20
(書状、御変革ノ事件歎ずるなかれ、寄留証送付の礼) (横浜ヨリ、吉田方山田松坡) 弟實 御兄上様(熊太郎) 封筒とも	1月24日夜	切紙・1通	764-21
(書状、疎遠打過の詫び、別願ほか) (筑摩郡豊丘村百瀬) 田鶴、百拜 御尊父様、閣下 封筒とも、書状端に筑摩県長野県合併の記載あり	9月23日	横切継紙・1通	764-22
(田面積、地番、地字、筆数、小作人書上)		切紙・1通	764-23
(小作人別地種、反別、地価等書上)		横切継紙・1通	764-24
(地所買入に関する書上)		横切継紙・1通	764-25
(人別地番、地字、地種、反別、地価金など書上)		折紙・1通	764-26
「到来信書入」 山田 細目は目録(その3)に掲載	明治16年2月～17年1月	1袋	985
「到来信書入」 山田 細目は目録(その3)に掲載	明治12年2月～14年2月8日	1袋	990
「到来信書入」 細目は目録(その3)に掲載	明治18年2月	袋・1袋	993

郷村仮会所・富田屋

年代 成立年代 明治3(1870)・4年前後(干支の記されているものは午・未が多い)

数量 129点

歴史

中野村(町)の富田屋治兵衛関係史料である。富田屋は慶応3(1867)年「中野町軒並名前順帖」(綿貫家文書、中野市立図書館寄託)に「郷宿渡世」として記載されている。居所は中町上で、当主は慶応期が久助、明治初年が治兵衛である(中野市教育委員会大滝敦士氏のご教示による)。

ここに含まれる熊坂村重左衛門の出張延期願書状(648-6)の宛所には「中埜局郷村仮会所富田屋治兵衛様」とある。この郷村仮会所については、明治3(1870)年3月「中野局郷村会所創建得失申出方廻達」(『長野県史近代史料編』第1巻(維新)、427号)に、中野役所から「開局之際不取^(敢カ)散中野村与吉始メもの江、当分郷村仮会所申付置候処、中二者幣害相生し候儀茂有之哉二相聞、旁今般更^(弊)二郷村会所取建候ハ、上下之弁利可相成哉与見込候、就左之件々相尋候条村々組合限り申合、得失之見込無伏蔵当月廿日限り可申出事」(箇条書を省略)という指示が出ている。箇条書の内容から見ても郷宿の機能を臨時に引き継いだものであろうと考えられる。

構造と内容

ここにあるのは富田屋に宛てられた代金受取書が大半で、受取書の性格上年代まで記されているものが見当たらないが、干支のわかるものには午・未が多い。明治3(1870)・4年前後のものと考えられる(762-41の干支は庚午)。この点からすると、堤防組合もしくは北信商社の関係で富田屋において会合が催され、そこで要した諸費用が富田屋を経て山田家から支払われた(商人・職人は富田屋に請求したり、受取書を送ったりした)と考えることも可能である(堤防組合か北信商社かなどの見極めが難しいが、それでもいずれかのサブ(サブ)グループには属することになる)。

大半のものはそれで説明できると思われるが、中には説明困難なものも含まれている。例えば654は富田屋が郷宿として中野陣屋の差紙を金井村に届けた際に同村名主から渡された受取書である。664-3は牟礼宿柳沢氏が県庁の長野移転に際して従来富田屋に預けていた「紙文庫」を返却するよう求めた書状である。いずれも富田屋の郷宿・郷村仮会所としての機能にもとづくものではあるが、山田家とは直接関係のないもので、これが山田家に渡されて残る理由が判然としない。

以上の理由から、山田家のどのような活動の結果、これら富田屋治兵衛宛受取書等が山田家に残されたのか明確にできなかったため、このように単独の大項目として別記することにした。

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
郷村仮会所・富田屋			
(富田屋治兵衛宛領収書綴) 644-1を挟込、644 43まで	明治	1綴り(43通)	644
覚(若柳・諸白・新酒ほか差引計10両2分3朱余受取) 久井(力)わた屋酒店 富田屋様 綴り外れ	未2月10日	横切継紙・1通	644-1
覚(針金・折釘ほか代金計5両3分余相済) 小竹屋与三 郎 富田屋様	午極月	横切継紙・1通	644-2
(4ツ時より9ツ迄若林要作ほか、時間・人名書上)		横切継紙・1通	644-3
三寸代(酒代7両にて勘弁のこと) 岩舟小土井一五二 中野富田屋御主人様	二月大卅日(2月30日)	横切継紙・1通	644-4
(戸隠利助3両3分余ほか書上) 前欠		横切紙・1通	644-5
覚(三味線糸・金平糖ほか代金3分余書上) 塩屋七郎 右衛門 富田屋次兵衛様	未正月晦日	横切継紙・1通	644-6
覚(襖・煎餅ほか代金7両2朱余書上) かミ屋太七 富 田屋治兵衛様	未正月晦日	横切継紙・1通	644-7
覚(呑口ほか代金3分1朱余書上) 塩屋七郎右衛門 富 田屋次兵衛様	未2月晦日	横切紙・1通	644-8
覚(御用弓張・小道具代ほか代37匁余書上) 梅たや 孝助 富田屋治兵衛様	午12月	横切紙・1通	644-9
おぼへ(鍋ほか代600文書上) 辻本屋徳兵衛 とみた や治兵衛様	未2月	横切紙・1通	644-10
覚(大平2ツ代7匁余書上) 小升屋源五右衛門 中町富 田屋様	未正月	横切継紙・1通	644-11
覚(大根・草履ほか代金6両1朱余書上) 天福屋喜十郎 富田屋様	2月晦日	横切継紙・1通	644-12
覚(寄糸・唐薄ほか代金書上) 高木屋利三郎 富田屋 治三郎様	未2月晦日	横切継紙・1通	644-13
覚(白米5駄代金38両2朱余差引金お渡し願) 金井 (力)村綿屋より 富田屋治兵衛様	2月17日	横切継紙・1通	644-14
覚(ようとう代金1分3朱余書上) 水木屋才衛 中町と み田屋様	未2月30日	横切紙・1通	644-15
覚(味醂ほか代金書上) 井か屋酒店 とみた屋様	10月12日	横切継紙・1通	644-16
覚(品物代金2両3朱余書上) 水木屋才衛 とみ田屋様	12月5日	横切継紙・1通	644-17
覚(茄子・玉子ほか代金3分2朱余書上) 八百金 とみ 田や治兵衛様		横切継紙・1通	644-18
覚(丸弓張仕立ほか代金3分2朱余書上) 梅たや孝助 富田屋治兵衛様	未2月30日	横切紙・1通	644-19
覚(鼠足袋2朱余書上) した屋佐太郎 とみたや治兵衛 様	未2月晦日	横切紙・1通	644-20
覚(西ノ内3枚172文書上) 指物屋与兵衛 中町富田屋 様	午極月	横切紙・1通	644-21
覚(豆腐・揚げほか代9貫932文書上) 八百金 上町と		横切継紙・1通	644-22

み田や様			
おほへ(簀・柘植櫛ほか代5貫450文書上) 山しろや とみだや		横切継紙・1通	644-23
覚(酒5升代金差引1分1朱余書上) 白木や九左衛門 中町富田屋様	未2月	横切継紙・1通	644-24
覚(羊羹5本代金1分1朱余書上) おたてや正兵衛 富田屋治兵衛様	未正月30日	横切継紙・1通	644-25
覚(七輪の網・針金ほか代金1両2朱余書上) 小竹や 源五右衛門 中町とみだや様	未正月	横切継紙・1通	644-26
覚(煎餅・お使ほか代金7両3分余書上) 加賀屋太兵衛 (力) 富田屋治兵衛様	未2月晦日	横切継紙・1通	644-27
覚(豆腐・揚げほか代金3分1朱余書上) 八百金 とみ 田や治平様	2月30日	横切継紙・1通	644-28
覚(福寿香・毒けし代金332文書上) 長嶺や平助 富 田や様	未2月晦日	横切紙・1通	644-29
(地代1分2朱請求書) 井賀太 富田屋サマ		横切紙・1通	644-30
覚(おふと代金2貫書上) 万屋清右衛門 富田や治兵 衛様	未2月	横切紙・1通	644-31
おほへ(米洗桶ほか代金1両1分書上) 藤五郎 富田 屋様	2月29日	横切紙・1通	644-32
覚(豆腐12丁代1貫200文書上) 虎や倉吉 とみだや様	未2月30日	横切継紙・1通	644-33
覚(揚げ・豆腐代金書上) 二八や 富田屋様	未2月晦日	横切紙・1通	644-34
覚(すき油ほか代金書上) 釘屋平吉 富田屋次兵衛様	未2月晦日	横切紙・1通	644-35
覚(火燵1畳手間代ほか代金1分1朱書上) 畳屋清吉 とみだや治兵衛様	未2月晦日	横切継紙・1通	644-36
覚(鼠小倉・男あだほか代金2両2朱書上) 岩井屋吉左 衛門 富田屋治兵衛様	未2月	横切継紙・1通	644-37
おほへ(かなし(力)代金書上) 青木屋治助 中町富田 屋様	午12月	横切継紙・1通	644-38
(静岡・雁田ほか村名書上、天神質一件(力)、(裏面)二 月十日大作様)		横切継紙・1通	644-39
覚(嶋毛(力)ほか計25匁9分書上) 八百屋新八 富田 屋様	未正月	横切継紙・1通	644-40
覚(鍋つる・鍋鑄掛ほか代金1分2朱書上) なへや友七 中町富田屋様	未2月晦日	横切継紙・1通	644-41
覚(布団・蚊帳代金書上) 黒岩茂兵衛 富田屋様	未2月	横切紙・1通	644-42
覚(塩・酒ほか代金6両1分書上) ならや寅吉 富田屋 次平様	未正月朔日	横切継紙・1通	644-43
送状之事(太物荷物ほか) 松井田はせ川吉左衛門(印、上 州) 信州中のとみだ屋治兵衛様 648は畳み込み一括	卯8月29日	横切継紙・1通	648-1
覚(金52両1分受取) 高井野村左兵衛 中野留田屋様	6月24日	横切紙・1通	648-2
(書状、肴頂戴の礼、筍を少々送付) しゃん 松太郎様		横切継紙・1通	648-3
覚(小紋羽織ほか金1両1分3朱余書上) 松葉屋伊八 富田屋松之助様	7月14日	横切紙・1通	648-4

覚(湖月楼払方金3両、御役所より捕亡方様御出役の際懸り請求) 奈良屋寅吉、北屋新助、伊賀屋彦兵衛、綿屋孝兵衛		切継紙・1通	648-5
(書状、愚父商売他行、下拙湿毒につき参会延期願) 熊坂村重左衛門 中埜局郷村仮会所富田屋治兵衛様	8月23日	切継紙・1通	648-6
覚(黒砂代金13銭書上) 坂口や久兵衛 富田屋松之助様	午7月	切継紙・1通	648-7
覚(九子星ほか代金203匁書上) 三野屋彦八(印) 富田屋治兵衛様	10月2日	横切継紙・1通	648-8
覚(羽織ほか代金計56両余受取) 中村治兵衛 富田屋治兵衛様、松太郎様	午4月12日	横切継紙・1通	648-9
覚(みさとうし代・小倉帯3本代差引勘定書)		切紙・1通	648-10
覚(ふしのこほか代金書上) 上本 助 富田屋治兵衛様	巳10月27日	切紙・1通	648-11
覚(数の子ほか代金〆1分3朱余書上) 天龍屋 富田屋御客様	12月19日	切継紙・1通	648-12
覚(羽織ほか代金〆7両1分余書上)		長崩れ・1通	648-13
覚(煙草入・札入ほか代金〆10両2分余受取) 横田由兵衛 富田屋様	6月24日	横切紙・1通	648-14
覚(煙草代金〆22匁書上) 美濃屋源治 富田屋様	午7月	切継紙・1通	648-15
おぼへ(善光寺駄賃ほか〆金15両余書上) 上		横切紙・1通	648-16
送り(白板6枚ほか送り状) 善光寺萬屋吉右衛門 中の中町とみた屋中	12月19日	横切継紙・1通	648-17
覚(紺足袋・晒・内山紙ほか〆20両余書上) 高利 富田や治兵衛様 荷札「信州東江部村山田家」、麻紐とも	午7月	仮綴・1冊	648-18
覚(上備後表9枚ほか〆4両余受取) 中 屋惣兵衛 富田屋治兵衛様 649は畳込一括	2月27日	横切紙・1通	649-1
覚(品物代金1分3朱余書上) とみたや治兵衛 柳澤村林左衛門様	10月	切継紙・1通	649-2
(書状、御郡中の安石代願の様子伺い、願書提出期日、中之祭役所管下の様子) 成田兵左衛門 中村善右衛門様	12月5日	横切継紙・1通	649-3
(書状、地震も当国は何事もなく、私共無事着につきご安心のこと) (従松井田)はせ川吉左衛門(印、「松井田」) 中のとみた屋治兵衛様	2月20日	横切継紙・1通	652
覚(御差紙1通受取) 金井村名主文兵衛(印) 中の富田屋治兵衛様	巳正月28日	切継紙・1通	654
(書状、ゴロフク・女帯等につき) 柳澤村林左衛門(印、「柳川屋」) 富田や松様(中野中町富田や治平様) 欠損	9月18日	横切紙・1通	658
覚(簀300膳代1分余受取) 能登屋與吉 富田忠太郎様 664-1～9は重ねて畳込	未 正月15日	切継紙・1通	664-1
覚(高井野村百姓返済金の勘定)		切紙・1通	664-2
(書状、県庁移転見舞、人別調べで多忙につき無沙汰の詫び、長野県引き渡しにつき預け置いた紙文庫お返し願) 牟礼宿柳沢六左衛門 中野富田屋治兵衛様	7月26日	横切継紙・1通	664-3
(御茶代等書上)		切紙・1通	664-4
覚(酒・泊代等書上) 富田屋治兵衛 上 抹消あり	11月5日	横切継紙・1通	664-5

覚(豆腐・おから代書上) 佐市 富田屋様		横切紙・1通	664-6
(酒2斗代書上) 綿屋酒造店 富田屋治兵衛様	未2月	切紙・1通	664-7
(万病感応丸の包紙)		切紙・1枚	664-8
覚(豆腐・油揚・おから等代金受取) 栗田屋助右衛門 富田屋様	7月14日	横切継紙・1通	664-9
(受取書類綴) 新聞紙片、こより紐とも、762-1~51は同綴		1綴	762
(貸し借り差引1両1分3朱余差上)		切紙・1通	762-1
覚(古海行ほか無尽使書上) 新小路伊兵衛 富田屋様	7月	切紙・1通	762-2
覚(辰12月1両3分1朱余書上) 芝屋伊介 つるや作五郎様	午7月	横切紙・1通	762-3
覚(草履ほか代金1両1分2朱余書上) 天龍屋 富田屋様	午7月	横切継紙・1通	762-4
覚(個数代金計8貫400文余書上) 佐市 富田屋様		横切継紙・1通	762-5
(下木島村・下笠原村ほか金額勘定書)		折紙・1通	762-6
覚(炭代金2朱書上) 木屋稻吉 中町とみ田屋		小切紙・1通	762-7
おほへ(片手桶ほか代金2分2朱余受取) 高田屋藤五郎 富田屋次兵衛様	午7月	横切継紙・1通	762-8
覚(品物代金1貫書上) 八百金 富田や治平様	午7月日	切紙・1通	762-9
覚(生麩1斤ほか差引代金2両2分余書上) 鈴木屋寅之助 富田屋治兵衛様	午7月	横切継紙・1通	762-10
覚(うら雪紙・三月大根種ほか代金1分余書上) 指物屋与兵衛 中町富田屋様	午7月	横切紙・1通	762-11
覚(煙草入ほか代金9両余書上) 横田由兵衛 富田や様	7月日	横切継紙・1通	762-12
覚(宝来83匁ほか代金2両2分3朱余書上) 釘平 富田屋様	7月14日	横切紙・1通	762-13
おほへ(手間賃・戸居直し代ほか1両3分1朱書上) 大工源右衛門 とみたや様	7月14日	横切継紙・1通	762-14
覚(真綿代内金1両受取) いせ屋小平太 富田屋様	午7月14日	切紙・1通	762-15
覚(唐晒2尺1寸ほか代金1分3朱余書上) 青木屋弥兵衛 富田屋治兵衛様	午7月	切紙・1通	762-16
覚(弓張道具ほか代金3歩2朱余書上) 梅田や孝助 富田屋治兵衛様	午7月	横切紙・1通	762-17
覚(す代450文ほか書上) なら屋鉄五郎 中町富田屋サマ	午7月	切紙・1通	762-18
覚(つき手間ほか代金28匁書上) 経師屋 とみたや様	7月14日	切紙・1通	762-19
覚(米上1つ代金1貫100文書上) 萬や清右衛門 富田屋治兵衛様	午7月	切紙・1通	762-20
覚(川男下駄ほか代金1貫612文書上) 下太や定五郎 とみたや様	7月14日	横切継紙・1通	762-21
覚(絹糸・縮緬ほか代金1分3朱書上) 大竹や 富田屋様	午7月	横切継紙・1通	762-22

覚(隠宅・見せほか置替代金3両余書上) 豊屋清吉 とみたや治兵衛様	午7月13日	横切継紙・1通	762-23
覚(摺棧4本・稲妻折釘4本ほか代金2分余書上) 小竹 屋与三郎 中町富田屋治兵衛様	午7月	横切継紙・1通	762-24
覚(玉子10代金600文書上) 山本屋 富田屋様	午7月	切紙・1通	762-25
覚(品物代金2貫書上) 柳屋物吉 とみ田屋次兵衛様	7月14日	切紙・1通	762-26
覚(からかみほか代金1両2朱余書上) ならや昌助 富田屋様	7月14日	切継紙・1通	762-27
覚(白玉ほか代金11匁300文書上) 近江屋友右衛門 とみたや治兵衛様		切紙・1通	762-28
覚(人足賃2分余書上) 与七 富田屋様	午7月	切継紙・1通	762-29
おほへ(簪・達磨ほか代金簪預り分引940文貸し相済) 山しろや とみたや様	7月12日	横切継紙・1通	762-30
覚(羊羹・粕てらほか代金1分余書上) おたてや正兵 衛 富田屋治兵衛様	午7月日	切継紙・1通	762-31
覚(杉板・大垂木ほか代金1両3分余書上) 小竹屋源五 右衛門 とみたや次兵衛様	午7月	横切継紙・1通	762-32
覚(団扇・下駄ほか代金1両余受取) 高のや民左衛門 富田屋様	午7月	切継紙・1通	762-33
覚(ふとんほか代金46匁4分書上) 黒岩茂兵衛 富田 屋様	午7月	切紙・1通	762-34
覚(火打石ほか代金2朱余書上) しばのや庄八 富田 屋様	7月4日	横切継紙・1通	762-35
覚(土州半紙・油紙包ほか代金4両3分余書上) しほ や七郎右衛門 富田屋次右兵衛様	午7月	横切継紙・1通	762-36
覚(男草履下駄ほか代金36匁余書上) 岩井屋吉左衛 門 富田屋治兵衛様	午7月	切継紙・1通	762-37
覚(2口計4両1分余書上)		切紙・1通	762-38
覚(とせう丸代金1分2朱書上) すしや 富田屋	18日	横切紙・1通	762-39
覚(上酢ほか代金2両2分余書上) 布屋政五郎 富田屋 治兵衛様	午7月	横切継紙・1通	762-40
覚(男山計1石7斗6合代金30両2朱余書上) くら井わ か屋酒店(印、「水内郡倉井村若屋」) 中ノ富田屋次兵衛 様	庚午7月10日	横切紙・1通	762-41
覚(油・塩代金計10両3分余書上) 奈良や寅吉 富田や 治兵衛様	午7月	横切継紙・1通	762-42
覚(白足袋ほか代金2分余書上) おたてや利兵衛 富 田屋治兵衛様	午7月	横切継紙・1通	762-43
覚(縮面代金3分書上) 丸無店 富田屋[]	7月14日	切継紙・1通	762-44
おほへ(鍔釜・鍋ほか代金2朱余書上) 松本屋徳兵衛 富田屋次兵衛様	午7月14日	横切紙・1通	762-45
覚(土佐紙・大判ふのりほか代金7両3分2朱余相済) 富津屋久米吉 富田屋治兵衛様	午7月14日	横切継紙・1通	762-46
覚(布団・蚊帳ほか代金6両2分2朱余書上) つたや	午7月	横切継紙・1通	762-47

とみたや様			
覚(草鞋・襖ほか代金差引勘定受取) かミ屋太七 富 田屋治兵衛殿	午7月14日	横切継紙・1通	762-48
覚(日数書上、和栗・高井野・赤岩村行金額書上)		切継紙・1通	762-49
覚(煙草・男帯ほか代金3分1朱余書上) す々や新七 富田屋治兵衛様	午7月	横切継紙・1通	762-50
覚(大高紙・土瓶ほか代金3分2朱余書上) 芝屋伊介 富田屋治兵衛様	午7月	横切継紙・1通	762-51

付 録

マイクロ収集史料目録(1)・(2)

信濃国高井郡東江部村山田庄左衛門家文書(現地分)

【文書所蔵者】山田顕五氏(長野県中野市東江部)

【記号】

(1) : F2002-01 (2002年度収集)

(2) : F2003-01 (2003年度収集)

【数量】

(1) 56点・5479コマ・10リール

(2) 51点・5839コマ・10リール

【閲覧条件】

史料の紙焼本を通常の所蔵史料と同様の手続きで閲覧することができる。同様に複写することもできる(有料)。

信濃国高井郡東江部村山田庄左衛門家文書(1)

フィルム番号 F2002-01
史料請求番号 P2002-01

撮影番号	史料番号	製本番号	表題	年代	形態	作成	受取	数量	リール番号	コマ数	備考
1	18-1-1	1 2	大福差引帳(後半は、味噌、油などの品目別・帳簿、末尾に戒名一覧、諸事覚書)	元文3年 (～寛保2年)	横長美	東江部村山田理兵衛 (五代庄左エ門)		1冊	1	283	帳未括付綴撮影略
2	18-2	3 4	田畑検地野帳書出	宝永5年 正月	横長美	文六 (四代目庄左衛門)		1冊	1	190	
3	18-3-1	5 6	村々高反敵帳(片塩村畑方、安源寺村畑...)	享保13年 2月	横長美	山田理兵衛		1冊	2	152	
4	18-3-2	6	(高反別小作米書上)	- - -	横長美			1冊	2	14	18-3-2～7は、18-3-1尾 未に結付
5	18-3-3	6	高反別改書出帳	元文2年 11月	横長美	岩舟村		1冊	2	16	
6	18-3-4	6	寛(高引直し願)	卯ノ年 10月 17日	横長美	東江部村理兵衛	岩船村名主角兵衛	1冊	2	6	
7	18-3-5	6	(反別分米書上)	- - -	綴り			1綴	2	6	
8	18-3-6	6	寛(反別小作米書上)	- - -	横長美			1冊	2	10	
9	18-3-7	6	(家屋敷田畑合引石余の内訳)	(寛文7年 9月 2日)	状			1通	2	2	
10	18-4	7～10	万差引帳	天保12年 丑 5月 吉日 (天保8～嘉永4年)	横長半	山田庄左衛門		1冊	2	386	次のリールへ続く
11	18-4	7～10	万差引帳	天保12年 丑 5月 吉日 (天保8～嘉永4年)	横長半	山田庄左衛門		1冊	3	161	
12	18-5	11	享保六丑年ヨリ已來之本長ヨリ田畑質流地元長より書写、此帳面江地方一件書写出申候	明和9 壬辰年 3月 吉祥日 (享保6～文政4年)	横長美	山田庄左衛門願元写之		1冊	3	6	
13	18-5-1	11	巻番長元長書出帳	享保6年 寅 正月		山田文六			3	61	18-5-1～10は筆写表題
14	18-5-2	11	式番長諸差引帳 (享保十二末年より丑年迄用)	享保12年		山田庄左衛門			3	39	
15	18-5-3	11	三番長大福差引帳	享保18年 丑 正月 吉日		山田理兵衛			3	31	
16	18-5-4	12	四番長大福差引帳	元文3年 戌 正月 吉日		山田理兵衛			3	25	
17	18-5-5	12	五番長万差引書出帳	寛保2 壬戌年 霜月 吉辰		山田庄左衛門			3	66	
18	18-5-6	13	六番帳万差引書出帳	寛延3 庚午歳 正月 吉辰					3	92	
19	18-5-7	13	七番万差引書出帳	宝曆12 壬午歳 五月 吉祥日					3	63	
20	18-5-8	14	八番帳万差引書出帳	明和9 壬申歳 正月 吉祥日					4	32	
21	18-5-9	14	九番万差引書出帳	天明5 乙巳歳 正月 吉祥日					4	47	

撮影番号	史料番号	製本番号	表題	年代	形態	作成	受取	数量	リール番号	コマ数	備考
22	18-5-10	14	拾番万差引書出帳	寛政11己未歳正月吉 享保14年西正月吉日	横長美	山田理兵衛		1冊	4	47	
23	18-6-1	15	東江部村持地田畑西蔵水帳 改書出帳	享保17子ノ年8月写	横長半			1冊	4	104	
24	18-6-2	15	村中畑成持高覚	享保3年戌3月	横長半	東江部村山田利兵衛		1冊	4	6	18-6-2・3は、18-6-1に 結付
25	18-6-3	15	前々畑成銘々名前改帳 午ノ写	(宝暦3年~同11年)	横長美	山田庄左衛門		1冊	4	32	次のリールへ続く
26	18-7-1	16~18	萬差引書出帳	(宝暦3年~同11年)	横長美	山田庄左衛門		1冊	4	320	
27	18-7-1	16~18	萬差引書出帳	(宝暦3年~同11年)	横長美	山田庄左衛門		1冊	5	113	
28	18-7-2	19	(金銭出納・万覚帳・証文など綴り、18-7-1に結付)	(宝暦9年~同12年)	綴り			1綴	5	82	
29	18-8-1	20~23	萬差引書出帳	宝暦12壬午歳5月吉日 (宝暦12年5月~明和9年3月)	横長美	山田庄左衛門		1冊	5	406	帳未括付綴撮影略、次のリールへ続く
30	18-8-1	20~23	萬差引書出帳	宝暦12壬午歳5月吉日 (宝暦12年5月~明和9年3月)	横長美	山田庄左衛門		1冊	6	73	
31	18-9-1	24~26	萬差引書出帳	(寛保)霜月吉日 (寛保2年~延享4年)	横長美	山田庄左衛門		1冊	6	394	帳未括付綴撮影略
32	18-9-2	27	(金銭出納・小作料など)	(延享3年前後)				1冊	6	1	
33	18-10	27	田畑名寄帳	天保14年卯10月	横長半	山田庄左衛門頭済		1冊	6	99	
34	18-11	27	御年買高役帳	万延元年申10月吉日	横長半	季積		1冊	7	58	
35	18-12	28-29	戊寅小作入帳	明治11年第7月改	横長半	地主山田庄左衛門		1冊	7	267	
36	18-13	29	御年買金請取通	文久2年戌10月日	横長半			1冊	7	8	
37	18-14	29	御年買金請取通 (納入理兵衛分)	元治元年10月	横長半	高井郡安田村名主 名右衛門ほか2名		1冊	7	10	
38	18-15	30-31	御年買高役帳	明治4年辛未3月	横長半列	山田庄左衛門		1冊	7	222	
39	18-16	32	王申小作帳	明治5年2月吉日	横長半	地主山田理兵衛		1冊	8	46	
40	18-17	32	当所惣田畑銘々持高名寄 取調帳	文政11年子11月吉日	横長半			1冊	8	38	
41	18-18	32	東江部村分田畑名寄帳	嘉永4年亥8月吉日	横長半			1冊	8	11	
42	18-19	32	癸酉小作帳	明治6年2月吉日	横長半	地主山田理兵衛		1冊	8	30	
43	18-20	33-34	甲戌小作入帳	明治7年2月吉日	横長半列	地主山田庄左衛門		1冊	8	326	
44	18-21	35	丁丑小作米金受取帳	明治10年8月3日	横長半			1冊	8	53	
45	18-22	36-38	万差引調帳	天保3年5月	横長半列	山田庄左衛門		1冊	9	415	(小口)「十二番」
46	18-24	38	名寄帳 (東江部村庄左衛門分)	安政2年3月	美	新井村名王安兵衛 ほか6名		1冊	9	6	袋入

撮影 番号	史料 番号	製本 番号	表 題	年 代	形 態	作 成	受 取	数量	リール 番号	コマ 数	備 考
47	18-25	39 40	丁丑小作入帳	明治10年 第7月	横美半列	地主山田莊左衛門		1冊	10	240	
48	18-26	41	御年貢請取通帳 (江部村納入山田庄左衛門分)	文久2年 戊 10月 日	横美半	安田村名主与左衛門、 組頭名右衛門		1冊	10	29	
49	18-27	41	御年貢金請取通 (東江部村納入理兵衛分)	元治元年 10月	横美半	吉村名主作右エ門 ほか2名		1冊	10	25	
50	18-28	41	寅小作米勘定帳	慶応3 卯 3月	横長美	小川村西山助右エ門	江部村山田庄左衛門 様、篠田市左衛門様	1冊	10	34	18-28と29は二ツ折一 括
51	18-29	41	信州東江部村山田庄左衛門様 ・西江部村篠田市左衛門様 質小作勘定帳	慶応元 丑年 12月	横長美	小川村西山助右衛門		1冊	10	12	
52	18-30	41	小作米勘定帳	慶応4 辰年 3月	横長美	越後國小川村 西山助右衛門	江部村山田様、 篠田様	1冊	10	32	
53	18-31	41	小作引方取調帳	慶応4 辰年 10月	横長美	奈良屋實吉		1冊	10	14	作太郎・伊右エ門
54	18-32	42	東江部村持地田畑名寄帳	文政11年 子 11月 吉日	横長美	山田莊左衛門		1冊	10	64	
55	18-33	42	新保村田畑小作方改見分帳	文政3年 庚辰 7月	横長美			1冊	10	47	
56	18-33-1	42	(小作地区)					4鋪	10	7	
57	18-34	42	西江部村分田畑名寄帳 (これも小作人・小作米の帳簿)	嘉永4年 亥 9月 吉日	横美半			1冊	10	7	
58	18-35	43	末小作入帳	明治4年 2月 吉日	横美半	地主山田理兵衛		1冊	10	46	
59	18-36	43	新保村田畑名寄覚	元禄16年 5月 15日 (延宝2年)	横美半	東江部村山田文六		1冊	10	29	延宝2年検地帳を元禄 16年に写したものを(庄 屋六兵衛殿二而)
60	18-38	43	丁丑夫倉并日雇帳	明治10年 1月 吉日	横見半			1冊	10	40	

信濃国高井郡東江部村山田庄左衛門家文書(2)

フィルム番号 F2003-01
史料請求番号 P2003-01

撮影番号	史料番号	製本番号	表題	年代	形態	作成	受取	数量	リール番号	コマ数	備考
1	18-39	44-45	癸酉小作入帳	明治6年2月	横半半列	地山田庄左衛門		1冊	1	271	
2	18-40	46	丙子小作米金受取帳	明治9年8月 文化13年 (~嘉永3年)	横半半			1冊	1	55	
3	18-41	46	年々御年貢皆済勘定帳写		横半半	山田庄左衛門文済		1冊	1	75	
4	18-42	46	午小作入帳	明治3年2月	横半半	地山田理兵衛		1冊	1	31	
5	18-43	47-48	御年貢高役帳	文久2年正月	横半半列	山田庄左衛門顯義		1冊	2	242	
6	18-44	49-50	丙子小作入帳	明治9年7月	横半半列	地山田庄左衛門		1冊	2	287	
7	18-45	51-52	乙亥小作入帳	明治8年2月	横半半列	地山田庄左衛門		1冊	3	282	
8	18-46	53-54	穀物差引帳(貼用印紙代出納 扣を含む)	慶応2年正月 (~明治10年)	横半半列	山田庄左衛門		1冊	3	259	
9	18-47	54	甲戌小作入帳	明治7年2月	横半半	地山田理兵衛		1冊	3	27	
10	9-11-1	55-57	万差引書出帳	明和9年正月	横長美	信州高井郡東江部村山田庄左衛門顯元		1冊	4	500	「八番」 128、 はらべ ル番号
11	9-11-2	58-60	万差引書出帳	文政6年正月	横長美	信州[]東[]山田庄[] 躰濟		1冊	5	416	130
12	9-11-3	61-63	万差引書出帳	寛政11年正月	横長美	信州[]山田庄[]		1冊	6	459	129
51	9-11-4	64-68	諸差引帳	享保12年~享保18年	横長美	山田庄[]		1冊	11 .12	777	132 R11-600コマ R12-177コマ
13	9-11-5	69-72	元長[]	享保6年正月	横長美			1冊	7	685	131
14	9-11-6	73-76	万差引書出帳	天明5年正月	横長美	信州東江部邑山田庄左衛門顯治		1冊	8	635	「九番」 133
-	9-11-7	77	(御年貢并諸夫錢納通、租税及 区入費受取通一括)		ひも括り			1括り (9冊)			
15	9-11-7-1	77	御年貢并諸夫錢納通	明治4年10月	横半半	東江部村納人山田庄左衛門	吉村御役人衆中	1冊	9	25	
16	9-11-7-2	77	御年貢并諸夫錢納通	明治4年10月	横半半	東江部村納人山田庄左衛門	中村御役人衆中	1冊	9	20	
17	9-11-7-3	77	御年貢并諸夫錢納通	明治4年10月	横半半	東江部村納人山田庄左衛門	安田村御役人衆中	1冊	9	33	
18	9-11-7-4	77	租税及区入費受取通	明治9年12月22日 ~明治12年7月24日	横半半	北第廿一大区三小区高井郡 高野村之内旧寒沢組 田庄左衛門	北第拾九大区四小区 高井郡江部村納人山 田庄左衛門	1冊	9	16	
19	9-11-7-5	77	租税及区入費受取通	明治9年11月2日 ~明治12年7月24日	横半半	北第廿一大区三小区高井郡 高野村之内旧犬飼組用掛小林 茂右衛門	北第十九大区四小区 高井郡江部村納人山 田庄左衛門	1冊	9	16	

撮影番号	史料番号	製本番号	表題	年代	形態	作成	受取	数量	リール番号	コマ数	備考
20	9-11-7-6	77	租税及区入費受取通	明治10年10月 ～明治12年8月19日	横半半	北第貳拾大区六小区高井郡 下木嶋邸	北第十九大区四小区 高井郡江部郵納入山 田庄左衛門	1冊	9	6	
21	9-11-7-7	77	租税及区入費受取通	明治10年9月12日 ～明治12年8月18日	横半半	北第貳拾大区高井郡柳澤村	北第十九大区四小区 高井郡江部村納	1冊	9	8	
22	9-11-7-8	77	租税及区入費受取通	明治10年7月23日 ～明治12年8月18日	横半半	北第二十一大区二小区高井郡 穂高村之内旧小見村	北第十九大区四小区 高井郡江部郵納入山 田庄左衛門	1冊	9	7	
23	9-11-7-9	77	租税及区入費受取通	明治10年10月31日 ～明治12年4月23日	横半半	北第貳拾大区六小区高井郡 天神堂邸	北第十九大区四小区 高井郡江部郵納入山 田庄左衛門	1冊	9	8	
24	9-11-8	77	御年貢金納通	明治3年10月	横半半	権堂村役元	伊部村山田庄左衛門	1冊	9	6	
25	9-11-9	77	家事覚	明治2年4月	横半半	高井郡東江部山田拾代孫引請 躰仁(花押)		1冊	9	13	
26	9-11-10	78	貸金催促帳	明治5年正月	横半半			1冊	9	79	
27	9-11-11	78	田畑反動分米改帳	貞享3年7月	横長半	高井郡中野村六兵衛		1冊	9	18	137
28	9-11-12	78	田畑高反別庄兵衛持地名寄 改帳	享保19年3月	横長半			1冊	9	14	138の1
29	9-11-13	78	子極月諸勘定惣寄合帳	延享元年	横長半			1冊	9	28	139
30	9-11-14	79 79	貸金期限月々書抜帳	明治7年2月	横半半	山田勘定所		1冊	10	77	
31	9-11-15	79	文政六未年新保村夫録帳写	文政6年	横長半			1冊	10	12	
32	9-11-16	79	田畑反別庄兵衛持地名寄改帳	. . .	横長半			1冊	10	25	表紙粘紙「享保十九年寅三 月庄兵衛様江分地帳但此帳 面之方相分り申候とあり
33	9-11-17	79	小作年貢不納指滞人小前書付 御役所江訴状写扣	(宝暦12年)	横長半			1冊	10	16	
34	9-11-18	79	吉田村田畑小作吉田村・新井 村年貢滞人小前勘定帳	宝暦12年正月	横長半	信州高井郡東江部村文治郎		1冊	10	26	
35	9-11-19	79	吉田村小作年貢年々不納覚帳	宝暦8年12月	横長半			1冊	10	27	
36	9-11-20	80	辰年吉田村田畑小作不納滞人 連判帳	宝暦10年12月	横長半			1冊	10	10	
37	9-11-21	80	(貸金書上帳力)	. . .	横半半	高井郡平野村字江部山田理右衛 門和孝		1冊	10	77	表紙欠
38	9-11-22	80	新保村小作年貢勘定残不納帳	文政6年2月	横長半	地主東江部村庄左衛門		1冊	10	11	146
39	9-11-23	80	御高反別取調帳	明治3年5月	横長半	西間村名主友八		1冊	10	12	167

撮影番号	史料番号	製本番号	表題	年代	形態	作成	受取	数量	リール番号	コマ数	備考
40	9-11-24	80	新保村田畑高反別畑成銘細小前帳	明和2年3月	横長半			1冊	10	10	169
41	9-11-25	80	名寄田畑高辻畠成共	元文4年4月	横長半			1冊	10	25	140袋入り 袋表書「元文四年未四月十九日田畑名寄帳数右衛分書記有」
42	9-11-26	80	田畑取調差引帳	文政9年8月	横長半			1冊	10	11	157
43	9-11-27	80	小作田畑納諸掛勘定帳	文政8年2月	横長半	高井郡新保村		1冊	10	16	156
44	9-11-28	81	小作一件日記	文政7年正月8日 ~ 文政7年6月23日	横長半			1冊	10	23	153
45	9-11-29	81	新保村出作地反別取調帳	文政7年6月	横長半	当御代官所信州高井郡東江部村庄左衛門		1冊	10	25	154
46	9-11-30	81	新保村一件書付扣	文政7年4月	半			1冊	10	17	155
47	9-11-31	81	新保村差戻地田方	.	横長半			1冊	10	15	175
48	9-11-32	81	新保村小作年貢勘定残不納帳	(文政6年2月)	横長半	地主東江部村庄左衛門		1冊	10	8	147
49	9-11-33	81	高井郡新保村分地持高名寄帳(写)	文政6年4月	美	地主東江部村庄左衛門		1冊	10	75	152
50	9-11-34	81	新野村小作一件写	明治元年 ~ 2年	美			1冊	10	23	166

史料目録 第80集

しなののくにたかいくんひがしえむらやまだしょうざえもんけ
信濃国高井郡東江部村山田庄左衛門家文書目録(その2)

印刷発行 平成17年3月31日
発行者 人間文化研究機構国文学研究資料館
編集 アーカイブズ研究系
〒142-8585
東京都品川区豊町1丁目16番10号
電話 03 - 3785 - 7131(代)
印刷所 株式会社 三協社
〒164-0011
東京都中野区中央4丁目8番9号

(本文用紙は中性紙を使用)

本書は国文学研究資料館史料館の『史料館所蔵史料目録』(第78集まで発行)を継続しています。

ISBN4-87592-104-7